## 平成19年度放送大学大学院開設予定授業科目講義内容

平成18年11月発行 第 6 版

放送大学学園 教務部教務課

## 1. 総合文化プログラム

		頁	開設年次	メディア	単位
番号	◇文化情報科学群◇				
				mu	
	総合情報学('06)		18	TV	2 2
2	総合人間学('06)	4	18	R	,
3	言語文化研究 I ('07) -国語国文学研究の成立- (平成19年度開設科目)	7	19	R	2
4	言語文化研究Ⅱ ('05) ~都市と旅ーフランス語で世界を読む~	10	17	R	2
5	言語文化研究Ⅲ('05)-現代日本語の様相-	14	17	R	2
6	表象文化研究('06)		18	ΤV	2
7	情報化社会研究('05)ーメディアの発展と社会ー	20	17	TV	2
8	地域文化研究 I('06) -近現代ヨーロッパ史-	23	18	R	2
9	地域文化研究Ⅱ('06)-東アジア世界の歴史と文化-	26	18	R	2
10	地域文化研究Ⅲ('07)-ヨーロッパの歴史と文化- … (平成19年度開設科目)	29	19	TV	2
11	日本文化研究('05)-神仏習合と神国思想-	35	17	R	2
12	比較文化研究('05) -若者とジェンダー-	38	17	TV	2
13	文化人類学研究('05)-先住民の世界-	40	17	ΤV	2
14	国際社会研究 I ('05) -開発経済学-	43	17	TV	2
15	国際社会研究Ⅱ ('07) —中国近代政治史— (平成19年度開設科目)	46	19	R	2
16	国際政治('07)	49	19	TV	2
17	EU論('06)	52	18	TV	2
	◇環境システム科学群◇				
18	数理システム科学('05)	- 57	17	R	2
19	情報システム科学('06)	60	18	R	2
20	複雑システム科学 ('07)(平成19年度開設科目)	63	19	TV	2
21	地球環境科学('05)	67	17	TV	2
22	物質環境科学 I ('05) -分子から機能性物質・生体まで	70	17	TV	2
23	物質環境科学   ( ′ 0 3 ) −環境システムとエントロピーー ···································	- 74	15	ΤV	2
24	生命環境科学   ('05) -生物多様性の成り立ち-	· 76	17	TV	2
25	生命環境科学Ⅱ('06)ー環境と生物進化ー	- 79	18	TV	2
26	認知行動科学 ('06) 一心身の統合科学をめざして	82	18	· TV	2
20	【臨床心理プログラムと共通】				
27	生活科学 I ('05) 一食の科学	85	17	R	2
28	生活科学Ⅱ('06) - 住民主体の住居環境整備	. 88	18	TV	2
20	建康科学('05) -人々の健康を支える基盤	91	17	TV	2
30	精神医学('06)   【臨床心理プログラムと共通	94	18	R	2
130	(相)下陸子( 00)		1	1	

## 2. 政策経営プログラム

		開設年次	メディア	単位
		,		
31	経営システム I ('06) 一企業の公的経営 - 96	18	R	2
32	経営システムⅡ ('05) -経営者機能 - 99	17	R	2
33	経済政策 I ('05) -現代政策分析- 102	17	TV	2
	経済政策 II ('05) 一財政金融政策 — 105	17	R	2
	地方自治政策 I ('05) -自治体と政策107	17	TV	2
36	地方自治政策Ⅱ('04)-自治体・住民・地域社会-	16	R	2
	世界の芸術文化政策('07)(平成19年度開設科目) 112	19	TV	2
38	文化政策の展開('07) -芸術文化の振興と文化財の保護-	19	R	$\frac{1}{2}$
İ	(平成19年度開設科目)			
39	福祉政策 I ('06)-福祉政策の形成と実施-118	18	R	2
40	福祉政策Ⅱ('06)-福祉国家と福祉社会のゆくえ-	18	R	2
41	法システム I ('06) - 生命・医療・安全衛生と法	18	R	$\frac{1}{2}$
42	法システムⅡ ('07) -比較法社会論-日本とドイツを中心に127	19	TV	$\begin{bmatrix} -2 \\ 2 \end{bmatrix}$
	(平成19年度開設科目)			_
43	法システムⅢ('06)-情報法- 130	18	R	2
44	技術社会関係論('04)	16	R	$\begin{bmatrix} -2 \\ 2 \end{bmatrix}$
45	環境マネジメント ('06)	18	TV	2
	環境工学('07)(平成19年度開設科目) 138	19	TV	2
47	都市デザイン論('06) 142	18	TV	2
			• '	ا "

## 3. 教育開発プログラム

			T	T
48	教育文化論('05)-人間の発達・変容と文化環境-	17	R	2
49	教育経営論(' 0 4) 148	16	R	2
	学校システム論('07)(平成19年度開設科目) 150	19	TV	2
	教育課程編成論('06)-学校は何を学ぶところか-	18	R	2
	認知過程研究('07)-知識の獲得とその利用- (平成19年度開設科目) 156	19	R	2
	教授・学習過程論('06)-学習科学の展開- 159	18	TV	2
54	学校臨床社会学('07) (平成19年度開設科目) 163	19	R	2
	学校臨床心理学('05) 【臨床心理プログラムと共通】 166	17	R	2
	生涯学習論('06)-現代社会と生涯学習-	18	R	2
	人間情報科学とeラーニング('06)173	18	ΤV	2
58	発達心理学特論('07)	19	TV	2
	(平成19年度開設科目)			İ
	才能教育論('06)-身体活動能力の開発-	18	TV	2
	市民性形成論('07)(平成19年度開設科目) 184	19	R	2
61	逸脱行動論('06)187	18	TV	2

### 4. 臨床心理プログラム

		開設年次	メディア	単位
62	臨床心理学特論('○○○ 190	17	R	4
63	臨床心理面接特論('07)(平成19年度開設科目) 194	19	R	4
64	臨床心理学研究法特論('06)200	- 18	R	2
ſ	発達心理学特論 ('07)【教育開発プログラムと共通】… (176)	19	TV	2
	(平成19年度開設科目)			
		18	TV	2
	【総合文化プログラム(環境システム科学群)と共通】…(82)			
65	  社会心理学特論('05)-発達・臨床との接点を求めて-	17	TV	2
66	家族心理学特論('06)	18	R	2
	精神医学 ('06)【総合文化プログラム(環境システム科学群)と共通】…(94)	18	R	2
617	吃什么妞儿仔妈儿妹伙 /' 0.7\	19	R	2
67	<b>臨床心理地域援助特論('07)</b> (平成19年度開設科目) 209			
	学校臨床心理学('05)【教育開発プログラムと共通】…(166)	17	R	2

### = 総合情報学( '06) = (TV)

[主任講師(現職名):中島尚正(産業技術総合研究所理事)] [主任講師(現職名):原島博(東京大学大学院教授)] [主任講師(現職名):佐倉統(東京大学大学院助教授)]

### 全体のねらい

急速に発展している情報技術は、現代の情報化社会を支える基盤として社会全体に大きな影響を与えており、広く産業、経済、政治、教育、芸術、文化等における知的活動を質的に変えつつある。社会の諸活動における知の営みと情報の関係を正しく理解することは、21世紀に生きる私達にとって、文系・理系の区別なく必要とされることであり、総合情報学は広義の情報リテラシーを幅広く身に付けることを目的としている。

口	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 節 名
1	総合情報学の視 座	講義の第1回目として、総合情報学の全体像を概観し、併せて講義の進め方についてオリエンテーションをおこなう。	中島 尚正 原島 博 佐倉 統	中島 尚正 原島 博 佐倉 統
2	情報技術の発展 (1)ーメディ アの進化ー	・情報技術の発展過程 ・ 情報技術の発展パターン(法則)	原島 博 北川 高嗣 (筑波大学 教授)	1
3	情報技術の発展 (2) —新しい リアリティの可 能性—	<ul><li>・ヴァーチャル・リアリティ、ミックスト・リアリティ</li><li>・ウェアラブル・コンピュータ、ユビキタス・コンピュータ</li><li>・ 人間と情報技術の関係</li></ul>	原島 博北川 高嗣 (筑波大学教授)	i ' I
4	産業と生産の情 報化	情報化の流れは、生産と流通のしくみを一変させ、情報関連産業だけでなく、製造業をはじめとして産業の構造を変容させている。ここでは、その実例を紹介しながら、これからの産業と生産の方向を考える。	中島尚正	中島 尚正

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
5	情報と経済	情報化とともに経済のグローバ 進むが、コミュニティの衰退といいる。近年、新たな交換媒体としる「地域通貨」を紹介しながら、 関連、コミュニティの今後のありる。	う問題も生じて て注目されてい 情報化と経済の	西 部 忠 (北海道大学大学院助教授)	植田 (東京) 大授 西 (東京院) 西 (東京院) 市 海 (東京院) 市 海 (東京院) 市 大大学 (東京院) 中 (東京院) 中 (東京院) 中 (東京院) 中 (東京院)
6	情報と組織	・情報化時代の経営学 ・組織論、企業戦略、顧客関係 ・ネットワーク・ビジネス ・セキュリティ	,	佐倉 統	佐倉 統
7	メディアアート とテクノロジー	コンピュータの出現で可能にな しい動きについて、映像を中心に		原島 博	原島 博
8	情報化時代とメ ディア	多様なデジタルメディアの普の世界にどのような変容を引き起か、今後、メディアの世界と我々係を構築できるのかを、ソシオ・に、ビデオ・ジャーナリズム、メシーなどのキーワードを織り込る。	こしつつあるの はどのような関 メディア論を軸 ディア・リテラ	佐倉 統	佐倉 統
9	情報化社会と教 育	バーチャルユニバーシティ(オ 大学教育)やホームスクーリング や通信教材によって自宅で学習す て大きく変容しつあるフィンラン を追い、これからの教育環境のあ 論する。	(ネットワーク る形態) によっ ドの教育の現状	山 内 祐 平 (東京大学 大学院助教 授)	佐倉 統 山内 祐平 (東京大学 大学院助教 授)
10	情報装置として の人間	人間は、環境との間でインタラクラ情報装置であると考えることかうな情報学の立場からの人間理し、併せて、情報学と進化論を報認知や行動を捉えようとする最近る。	ざできる。このよ 解の系譜を解説 ぎびつけて人間の	植田 一博 (東京大学 大学院助教 授)	佐倉 統 植田 一博 (東京大学 大学院助教 授)

回	テーマ	内容	講	<ul><li>担当</li><li>師名</li><li>・職名)</li></ul>	講館	币 名
11	ロボットと情報	科学情報の流通のあり方と併せて、 ・ロボット研究の現状と展望 ・人間観との関係 ・ロボットと社会 について解説する。	佐倉	統	佐倉	統
12	情報と脳	科学情報の流通のあり方と併せて、脳科学の最前 線と情報技術の関係を紹介し考察する。	佐倉	統	佐倉	統
13	情報と生命科学	科学情報の流通のあり方と併せて、ゲノム科学の 最前線を解説するとともに、新しい遺伝観、生命 観について考察する。	佐倉	統	佐倉	統
14	情報化社会と人 間	・情報化技術が人間をどう変えるか ・情報化社会の倫理 ・哲学や人文学と情報化技術	佐倉	統	佐倉	統
	総合情報学の展 開と課題	講義の最終回として、3名の主任講師の座談会形 式で、総合情報学の今後の課題について語る。	中島原島		中島原島	尚正博
15			佐倉	:	佐倉	統

### = 総合人間学( '06) = (R)

〔主任講師(現職名): 柏原 啓一(東北大学名誉教授)〕

### 全体のねらい

西洋哲学は、主として人間の知的な働きに、人間らしさを求めてきた。だが、この主知主義に基づく 近代科学の偏重に翳りが見え始めた現在、人間を感情や意志や身体をも含めた諸機能の総合とみなして 「人間学」を唱えた哲学者達の思想に、改めて注目する必要がある。総合的全人という人間の新たな自 己理解に、道をつけたい。

旦	テーマ	内 容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
1	人間学と人類学	人間学の原語のアンスロポロジーは、人類学とも 訳される。この語の使用の例を歴史的に振りかえっ て、哲学的人間学に対する自然人類学や文化人類学 の相関と相違について考察し、人間を総合的全人と して理解する哲学的人間学の特質を明らかにする。	(東北大学	柏 原 啓 一 (東北大学 名誉教授)
2	哲学における人 間観	哲学の歴史における人間の自己理解のあとを概観し、西洋の人間観が知的理性に重きを置いてきた主知主義であることを見届ける。そのために、古代ギリシアにおける自然哲学から人間哲学への進展、近代哲学における知識論の形成のあとなどを探る。	, · _	同上
3	科学と技術の時 代	近代の主知主義的な人間観のもとで、科学とそれにともなう技術とが大きな進展を見せたが、その背後に生じている問題に目を向ける。今日のわれわれにとって科学と技術の持つ意味を探るとともに、知性偏重を修正するための全人的視点の必要を説く。		同上
4	カントの人間学 (1)	カントの主著が『純粋理性批判』『実践理性批判』 『判断力批判』の三つから成ることの意味を、人間 学的な観点から考える。すなわち、カントが知的理 性の限界を指摘して、善や美の価値を求める人間の 精神活動をも理性とみなし大事にしたことに注目す る。	同上	同上
5	カントの人間学 (2)	カントの最晩年の著書である『実用的見地における人間学』の内容を紹介しながら、カントの考えていた人間学の構想が、現実的な人間を、認識、感情、欲求の三つの能力の総合と捉えて、この総合的人間の持つ課題の具体化の記述にあることを確認する。	1	同 上

旦	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
6	シェリングの人 間学的図式	後期シェリングの哲学において、近代の知的理性を中心とする人間観が崩され、替わって意志を中核に据える考えが提出される。ここではシェリングの『人間学的図式』の遺稿を取りあげて、シェリングの考えていた人間学の内容とその問題点に触れる。	柏 原 啓 一(東北大学 名誉教授)	柏 原 啓 一(東北大学 名誉教授)
7	フォイエルバッ ハによる神学の 人間学化	フォイエルバッハのキリスト教批判は、キリスト教の神学を人間学に読み替えることであった。その語るところを追いながら、フォイエルバッハが近代理性に替えて感情を中心とする人間学を構築したことを見届け、さらにそのことの問題点をも指摘したい。	同上	同上
8	ディルタイの生 の哲学	ディルタイは、知、情、意の総合から成る人間を生(生きること)と呼び、これを全体的人間(全人)とも称した。このディルタイの生の哲学に、精神文化を形成して止まない総合的全人の人間学を認め、その立場で説かれた解釈学や世界観学について触れる。	同 上	同上
9	シェーラーの哲 学的人間学	哲学的人間学の名称を用いてみずからの哲学の構築をはかったシェーラーの思想を取りあげる。有機体に階層を設け、人間を植物や動物の性格を含みつつこれを超えるものと規定するその方法に批判はあるが、世界開放性や可塑性に人間の特質を認める点は評価したい。	同上	同上
10	キルケゴールの 実存思想	キルケゴールによって提出された実存としての人間観について考える。キルケゴールの語る実存とは、普遍的な理性というあり方に尽くされない自由な人間であり、自己の主体性の形成を課題とする人間である。近代を越える新たな全人としての人間観の典型をここに見る。	同上	同上
11	ニーチェの超人 思想	価値の転換を唱えて旧来の哲学の枠組の解体をはかったニーチェの思想を取りあげ、超人と名づけられたニーチェの人間観について解説する。ニーチェの語る超人とは、自己完結的なあり方を打破し、たえず未来へと自己形成にいどみかかる力動的な人間のことである。	同上	同 上
12	ヤスパースの実 存開明の考え	ヤスパースの主著『哲学』の中で、人間がどう理解されているかを探る。人間は、日常的な生き方や科学的な知識獲得などさまざまな位相をしめすが、究極的には、自己の無根拠を知る限界状況によって、実存としての真の人間らしさに目覚めるのだ、という。	同上	同上

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
13	ハイデガーの現 存在分析	ハイデガーは、『存在と時間』において、存在の 意味を探求する中で人間を現存在と呼び、この現存 在の分析を通して存在解明を行う。この現存在とし ての人間を、ハイデガーがどのように捉えているの かを学びながら、総体としての人間の姿を検討する。	(東北大学	柏 原 啓 一 (東北大学 名誉教授)
14	欠如態の人間	哲学的人間学を唱導するプレスナーやゲーレンの 思想を紹介する。人間の脱中心性による世界開放性 を説くプレスナーも他の動物に較べて人間を欠陥存 在と呼ぶゲーレンも、人間を欠如態と見ている点に 特徴があり、ここに人間の文化形成の無限の可能性 を求めたい。	,	同上
15	人間学の総合性	総合人間学の講義の締め括りとして、改めて人間学の総合性について述べる。そして、国際化にともなう文化の多元化や価値の多様化の進む現代には、ことにこのような総合人間学の語る総合的視点からの未来開放的な人間理解が求められることに言及する。	同上	同上

.

開設 事務局 科目 科目 履修 単位 平成 19 年度 大学院科目 8910294 無 2 **⊐-**}\* 区分 記載欄 年度 制限 数

 科目名 (メディア) =
 言語文化研究 I ( '07) = ( R )

 -国語国文学研究の成立 

[ 主 任 講 師 (現職名):長島 弘明 (東京大学大学院教授)]

#### 講義概要

江戸時代の国学は、日本古来の精神のあり方を考究する学問であったが、その一方で、古語や古典文学を文献を通じて明らかにする学問であった。その意味で、国学は、今日の国語学研究・国文学研究の先蹤と見なすことができるが、幕末・明治という変動の時代の中で、その国学的な語学研究・文学研究が、西欧文化をはじめとする様々なものの影響のもとに変容を重ねつつ、近代的な国語学研究・国文学研究として成立していった過程を明らかにする。

#### 授業の目標

この授業では、国学から国語学研究・国文学研究への学問的方法の変化を考察するだけではなく、国学・国語学研究・国文学研究が研究対象にしている、ことば(国語)や文学(国文学)自体が幕末・明治期にどのような変化を遂げているかを併せて考察し、研究対象の変容が、それを研究する方法の変容や革新と、密接に関わっていることを理解してもらうことを目標としたい。

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
1	歌学・国学・国 文学研究	伝統的な歌学を基盤として沖・真淵・宣長らによって研 代になって新たな近代的国立 緯と、その変化の具体的様本 史的な状況について考察する	催立した国学が、明治時 文学研究へと変化した経 目、またそれを促した歴	(東京大学	
2	大学の設置と国 文学研究	江戸時代の幕府の学問所が 学設置にいたる高等教育の学 文学科から和文学科へ、さら 組・改称の経緯について解認 文学研究が抱えていた問題に	学制改革における、和漢 らに国文学科へという改 总しながら、初発期の国	同上	同上
3	文献学の成立	留学してドイツ文献学を学 学の方法を取り入れたとされ 点を当て、江戸時代の国学者 批判や注釈等の文献学的方法 検証する。	1る芳賀矢一の業績に焦 皆や漢学者による、本文	同上	同上
4	文学史の成立	国文学の時代性に鋭い感性 全史」を構想した藤岡作太郎 史の概念の成立について考察 思想学、倫理学の観点から3 津田左右吉・和辻哲郎らの業	『の業績を中心に、文学 とする。併せて、歴史学・ 文学の歴史を俯瞰した、	同上	同上

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
5	国文学と民俗 学・歴史社会 学・文芸学	文献学と文学史の方法を基本文学研究も、時代の変化に伴っ域の方法から大きな影響を受ける中でも、特に大きな影響を受ける・ 法・歴史社会学的方法・文芸学する。	って、隣接する学問領 けることとなるが、そ 与えている民俗学的方	'' ' ' '	林 廣親 (成蹊大学 教授)
6	詩歌論の近代Ⅰ	江戸時代の和歌・俳諧が、一歌としての短歌・俳句に生まれが確立・展開していく様相を、 歌批評等の検討を交えながらまとして短歌・俳句の革新につい	れ変わり、また新体詩 同時代の詩歌論、詩 考察する。(Iは、主	(白百合女	(白百合女
7	詩歌論の近代Ⅱ	同上。(Ⅱは、主として新んいて)	本詩の成立と展開につ	同上	同上
8	漢詩文の近代	江戸時代後期の漢詩文と明治と断絶に注目しながら、漢詩で漢詩文の批評などにも言及し落し、古典化への歩みを進めて考察する。	改良論や漢詩無用論、 つつ、近代文学から脱	長島 弘明 (東京大学 大学院教授)	(東京大学
9	小説論の近代 I	江戸時代の戯作から近代小記 西洋の文学・文学論の移入(政 「没理想主義論争」等々)、 説批評・文芸評論の展開等、相 る。(Iは明治中期、紅露・銀	治小説・『小説神髄』・ 言文一致体の問題、小 <sup>策々な観点から検討す</sup>	,	
10	小説論の近代Ⅱ	同上。(II は、自然主義、えど、明治末から大正あたりまで		同上	同上
11	演劇論の近代	演劇の近世が演劇の近代にまける活歴の試み、演劇改良が発生等の動きを押え、時々のでつい、具体的に検討してゆく。	運動の時代、新派劇の 寅劇論の展開に留意し	林 廣親 (成蹊大学 教授)	林 廣親 (成蹊大学 教授)

旦	テ	<b></b>	マ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
12	国語等	学の成	<b>文立</b>	明治時代において、国学 過程において、語学研究が かを構築論的に解説する。 言語文化の様相を検討する	その中において、近代の	近藤 泰弘 (青山学院 大学教授)	近藤 泰弘 (青山学院 大学教授)
13	文法4	研究 Ø	の近代	明治期の文法研究がどの 西洋文典と和文典との折衷 上のものになっていった。 え、「文法」というものの 方を提示する。	かを実例を検討しつつ考	同上	同上
14	表記表記	m 論とi	近代の	外国語との出会いから生と表記改良への意欲がどのたか、またそれが近代的なように関わったかを検証す	日本語表記の成立にどの	屋名池 誠 (東京女子 大学教授)	屋名池 誠 (東京女子 大学教授)
15	外国。研究	人の日	日本語	明治時代の帝国大学の外 査し、外国人による日本語 要性を述べ、その研究がそ の学術に影響を与えたかに	の後どのような形で日本	同上	雨上

### 言語文化研究Ⅱ('05) = (R) ~都市と旅ーフランス語で世界を読む~

[主任講師: 工藤 庸子(放送大学教授)] [主任講師: 池上 俊一(東京大学大学院教授)]

#### 全体のねらい

グローバル化の時代、英語以外の外国語に親しむことに、どのような意味が、そして愉しみがあるのだろうか。フランス語の文献だからこそ浮上させることのできる世界像のようなものがあるのだろうか。「都市と旅」と題したこの講義は、19世紀のパリを基点に始まるが、時代としては中世から現代まで、地理的空間としては、フランスの国境をこえて世界の各地を射程に入れる。ただし全体の構成は世界史概論のようなものではなく、鉄道、女性、食文化、国土、少年文学、港町、日本といったふうに、毎回、具体的なトピックをとりあげる。そして比較的平易なフランス語のテクストを引き、歴史学や文化論に立脚した考察を行うことになる。主題にアプローチする手法や切り口を提示して、大学院レヴェルの論文の書き方へのヒントを与えることも大きなねらいである。フランス語を解さぬ者であっても受講可。

回	テーマ	内	容	講 師 名	放送担当 講 師 名 (所属·職名)
1	世界のなかのフランス語	導入は「明晰ならざるものはフランの謎解きから。18世紀のフランスの知想を追っていた。これに対して個別性とアイデンティティを保証ランス語の文献に親しむことにより見えてくるのだろう。旅行記の分材の『東方紀行』をとりあげる。「オ植民地化した広大な地域に普及し、かなるステータスを与えられてい「広域フランス語圏」とは何か。	語は、いわゆる「普遍言語」 て「国語」とは、国民国家の するものだ。それにしてもフ り、どのような新しい世界が 行の一例として、ネルヴァル リエント」をはじめとして、 浸透したフランス語は、い	工藤 庸子 (放送大学 教授)	工藤 庸子 (放送大学教授)
2	パリと鉄道	長距離の旅行を可能にした鉄道とい 半から中葉にかけてヨーロッパにも 変容させるとともに、文学や絵画の 上げられた。いくつかの作品を参照 をたどり、それが都市住民の集合的 いて考察する。	普及し、都市の風景を大きく 題材としてもしばしば取り しながらパリと鉄道の関係	石井 洋二郎 (東京大学 大学院教授)	石井 洋二郎 (東京大学 大学院教授)
3	旅人としての新し い女性たち	安全で快適な旅が可能になった19的にましてゆく。ベル・エポックの舎や新大陸出身の「さすらいの女」ル)たちが少なからずいた。ピカソド・スタイン、富豪の娘に生まれ「轟かせたナタリー・クリフォード・のフランス文学に大きな足跡をのこながら強靱な、新しい時代のフェミ	のパリには、フランスの片田 (コレットの小説のタイト と交流した作家ガードルー 「レスボスの女」として名を バーネイ、そして20世紀 こしたコレット。孤独であり	工藤 庸子	工藤 庸子

	テーマ	内	容	講師 名	放送担当 講師名 (所属·職名)
4	パリの市場と食糧調達	~58 年に建設され、魚介類、 一ズ、野菜、果物と、ありとも れ返るパリ中央市場を舞台とし き、仲間と暴動を画策する痩せ な人に助けられながらも、最終 でしまう。 それにしても、なぜパリだけに うになったのか。それはどこか 中継点としての市場の形態・場 か。当局は、安定した供給、価 な態度で臨んだのか。こうした	の胃袋』(1873年)は、1857 鳥肉、豚肉加工品、バター・チ らゆる食べ物が洪水のように溢 している。第二帝政に反感を抱 っぽちの陰気な主人公は、色々 的には陽気な狂騒を繰ら広げる 的には陽気な狂を繰らま 的にはときないな出され 、溢れ返るほど食糧が集まるよ ら、いかにしてやってきたのか。 所はどのようにしてやったの 格の高騰防止、税の徴集にどん ことを、アンシャン・の変遷をた 9世紀にいたるまでの変遷をた	(東京大学	
5	都市の鐘の音	パリ』には、殷々と鳴り響く鐘は、作家の想像力の産物ではなかけて、ほとんど唯一のメディ報を提供していたのである。鐘り、それが共有されていたからある。また都市において鐘の音び声などと補い合っていたこと	ゴーの『ノートル・ダム・ド・の音の美しい描写がある。これい。鐘の音は、中世から近代にアとして、住民にさまざまな情の音には、いわば「文法」があこそ情報は的確に伝わったのでは、ラッパの音や太鼓の音、叫、そして世俗権力と教会権力、戦」があったことも重要である。	同上	<b>同</b> 上
6	国民と国土	「国土」がどのように描写され 機的に意味づけられてゆくかを らは、ノルマンディーの片田舎 都市パリを夢見る断章を抜粋し ガイドブックなどに言及する。	・フランス』をひもときながら、、周縁の地方と中心の首都が有考える。『ボヴァリー夫人』かに住むヒロインが、幻想の巨大、さらに参考資料として、旅行「国土」こそが、祖先の遺してのだという自覚が共有されたとび形成されてゆくのである。	工藤庸子	工藤 庸子
7	愛国心は少年文学 から?	間世界一周』をとりあげる。分パールシー教徒の女性を救出す 横断鉄道にまつわる冒険であるいうライヴァルに関する表象説 初期の世界観を検証する。つき 校教材『二人の子供のフランス	ジュール・ヴェルヌの『八十日 対の対象となるのは、インドで るエピソードとアメリカの大陸 。ここではアングロサクソンと 置の分析を通じて、第三共和制 に大ベスト・セラーとなった学 必歴』を検討の対象として、子 成するために、共和国が採用し のなのかを探る。		同上
8	港町の表象	路、見知らぬ「他者」との出会 ふれる異国情緒と、いささか犯 居している。このような港町の	「は、古来より異文化接触の十字 いの場である。そこには魅力あ 雑で喧噪にみちた活動性とが同 受表象を、詩人や作家その他の文 よし、港町に固有の文化と社会に	(東京大学 大学院教授)	

回	テーマ	内容	講師 名	放送担当 講師名 (所属・職名)
9	移動する人々とフ リーメイソン世界 共和国		,	深沢 克己
10	砂漠というトポス	『星の王子さま』を糸口として、砂漠というトポスについて考える。歴史的な視点と表象としての解釈を交差させる手法が眼目である。ナポレオンのエジプト遠征軍が発見した「文明のアーカイブ」としてのナイル河沿いの砂漠、探検家たちの遭遇した沈黙のサハラ砂漠、アルジェリア周辺のエグゾティスム、というふうに、地理的な空間を特定しながら考察する。検討対象となる人物は、ナポレオン遠征軍の従軍画家ヴィヴァン・ドゥノン、探検家の先駆ルネ・カイエ、旅行記の作者モーパッサン、そして単身サハラ砂漠に踏みこんだ例外的な女性イザベル・エベラールなど。	工藤 庸子	工藤庸子
11	旅する詩人たち	南米に生まれてフランスに渡ったロートレアモン、フランスに生まれてアフリカに脱出したランボー — 19世紀半ばに生きた2人の詩人の対照的な軌跡をたどりつつ、それぞれの作品とからめて「旅」と創造行為の関係を考える。	石井 洋二郎	石井 洋二郎
12	島とユートピア	清浄な海は大陸の穢れを洗い流し、文明がもたらす精神の疲弊を癒してくれる — 南太平洋の「楽園」をめぐる神話は今日も生きている。植民地史と探検史、そして人類学などの文献を参照しながら、ユートピアとしての島について考える。18世紀にタヒチを「発見」して「愛の島」という伝説を生みだしたブーガンヴィルと19世紀末にポリネシアを永住の地に選び、文明の起源に遡ろうとしたゴーギャンが、主たる考察の対象となる。	工藤 庸子	工藤庸子
13	アジアと文明の遺 跡	フランスがインドの彼方に位置する「インドシナ」に注目したのは、19世紀の半ばのことである。カンボジアの密林に眠るアンコール・ワットの遺跡は、植民地化の流れのなかで、いかなる文化的意味を担ったか。探検家のアンリ・ムオ、海軍士官として現地を訪れたピエーリ・ロティなどの紀行文を読む。さらに1931年のパリ植民地博覧会の会場で、アンコール・ワットの模型が表象したものを「文明の遺跡」という観点から考察する。本来「遺跡」とは国民が受けついでゆく「文化遺産」である。アンコール・ワットがカンボジアという国家に帰属することを、歴史の知見として学ぶことも課題となる。	同 上	同上
14	幕末明治の日本と フランス	フランスにとって幕末維新期の日本は、地政学的にも強い関心の対象であった。欧米列強は中国に次いで日本に開国を迫ったが、その過程でフランスはイギリスとの間で熾烈な外交戦を余儀なくされた。そのため日仏修好通商条約締結後は、陸軍顧問団をはじめ、さまざまな使節団を送り込んだ。さらに鎖国のベールを脱いだ極東の島国は一部の人々の興味を呼び覚まし、少なからぬ旅行者が日本を訪れた。この回は全権団随行員ド・モージュや美術収集で有名なギメなどが残した日本滞在記をもとに、この時期のフランス人の日本観を探る。	柏倉 康夫 (放送大学副学長)	

回	テーマ	内	容	講	担 当 హ 名 ·職名)	講	師 名
15	奴隷の旅・クレオー ルの声	の『法の精神』とメリメの『タ 立て役者ヴィクトル・シェルシ オール作家たちの活動に目を転	」、その極限的な歴史の記憶を	工藤	庸子	工藤	庸子

.

# 言語文化研究 III ( '05) = (R)現代日本語の様相 -

〔主任講師: 姫野 昌子(放送大学教授)〔主任講師: 上野田鶴子(元東京女子大学教授)〔主任講師: 井上 史雄(明海大学教授)

### 全体のねらい

現代日本語をさまざまな角度から考察する。言語は、その民族の文化と深く結びついている。 現代日本を映す鏡としての日本語の様相を知ることによって我々自身の姿も客観的に捉えうるの ではないだろうか。日本語学の立場から日本語の表現形式や談話構造を、社会言語学の立場から そのヴァリエーションと史的変化を取り上げる。

口	テーマ	内容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属·職名)
1	音象徴語の機能 と用法	外界の事象と語音の間にある種の関連性を持つといわれる音象徴語(擬音語・擬態語)について形態的・意味的・統語的特徴を中心に考える。どのような形で日本語の表現を豊かなものにしているか、文学作品や新聞記事などの実例も参考にしながら、分析する。	(放送大学 教授)	姫 野 昌 子 (放送大学 教授)
2	語構成のすがた : 複合語の構造 と意味用法	限られたことばで森羅万象を表現するには、語の合成が必要になる。日本語にはどのような合成語の類型があるのか、構成要素間の関係を形態的に整理し、その特徴をさぐる。例えば、「雨上がり」と「値上がり」は、形は似ていても、意味機能は全く異なる。種々の語例を通して複合語の実態を調べる。	同 上	同上
3	語構成のすがた : 派生語の構造 と意味用法	接辞の中で、生産力のあるものは、多くのことばを作り出す。日本語の語彙を豊かにしている派生語を中心に、その様相をさぐる。例えば、「子供っぽい」と「子供らしい」は、どのように意味用法が異なるか。種々の語例を通して接辞と派生語の実態を調べる。		同上
4	語における意味 の構造	日本語を豊かに彩ることばの意味について考える。どの言語の語彙も独自の形態で現実世界を分類し、構造化しているといわれる。反義語、類義語などの意味関係を通して、日本人の考えを探る。日本語の固有語である和語を中心に取り上げる。		同 上
5	類義表現の分析	似たことばの微妙な使い分けをどう分析したらよいか。語は星座のように並び、連想の網の目によって他の語と関連づけられているといわれる。いくつかの意味分野の語群の中から類義語を選び、分析する。日本語を学ぶ外国人学習者への視点も取り入れる。	同上	同上

匝	テーマ	内	容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属·職名)
6	授受動詞の用法 と話者の視点	授受動詞「あげる・くれ としてものの授受を、補助 示す。対応する敬語「さし だく」等の動作主にも目を 照し、日本語にみられる話	あげる・くださる・いた 向け、他言語の場合を参	上野田鶴子 (元東京女 子 大 学 教 授)	l
7	指示詞の用法と 結束性	「こ・そ・あ・ど」の体の指示と文脈の指示に用い 指示詞の用法を中心に指示 び、他言語の場合を参照し のあり方をみる。	詞の担う機能について学	词 上	同上
8	助詞の「は」と「が」		心に、日本語における助 言語の場合を参照し、日	同上	同 上
9	省略を用いた表 現	日本語は文脈に依存する といわれる。いわゆる「省 上げ、明示的言語の場合を いわれる日本語の様相につ	参照し、暗示的言語とも	同上	同上
10	受け身表現による述べ方	同じことがらを述べるの 受動的に述べる場合がある 類の受け身表現を取り上け 条件を眺め、他言語の場合 る述べ方の特徴をさぐる。	、ぞれぞれの用いられる	同上	同上
11	日本語の発音が変わる	ガ行鼻濁音の衰退・外来本語発音の変化を耳で確かセント平板化・ (尻上がりョンの機能変化を、歴史的	・半疑問) イントネーシ	井上 史雄 (明海大学 教授)	井上 史雄 (明海大学 教授)
12	若者ことばの源 流と新語・新方 言	現代の若者ことばを、日 ける。また、新語の理論的 の若者ことば・新語の例と ン・ミタク・〜チッタ・ナ 程をみる。また、新語の発	して、ウザッタイ・ジャ ニゲニなどの東京流入過	同 上	同上

ш	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
13	ラ抜きことばと サ入れことば	ラ抜きことばとサ入れことばの源流と最近の拡大 過程をみる。数百年前からの動詞活用単純化の動き で、中部地方での動詞活用の整理傾向に源流がある。 また、チガカッタのような新しい形容詞や、「ニュ ースな女」のような新たな用法も位置づける。	井上 史雄	井上 史雄
14	新型敬語の用法	現代語の敬語用法の丁寧語化を考える。また、「あいまい表現」(~のほう)との関連性をみて、談話パターン、言語行動全体の中に位置づける。対人関係のとらえ方自体が、タテ社会的なものからヨコ社会的なものへと変化しつつあると、捉える。	同上	同上
15	日本語の未来	難易度という観点から日本語を世界の諸言語の中に位置づける。日本語は、言語の基本構造は中程度の難易度だが、敬語と文字が難しい。外来語流入にともなって、音韻や文法にも、また言語行動・文字にも欧米化がみられる。日本語は欧米人にとって難易度が下がる方向に、変化が進んでいる。		同上

## = 表象文化研究( '06) = (TV)

[主任講師(現職名):渡辺 保(演劇評論家)] [主任講師(現職名):小林康夫(東京大学大学院教授)]

[ 主 任 講 師 (現職名) : 石田 英敬 (東京大学大学院教授)]

### 全体のねらい

新しい角度からの表象文化研究。本年度の新機軸は表象文化研究を美術、建築、彫刻、文学、演劇、音楽、映画の各分野を拡大し、かつ、平易に現代的に学生に理解されるように企画した。

回	テーマ	内容		執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
1	表象の舞台(I)	「ラス・メニナス」をめぐって。 ベラスケス「ラス・メニナス」。ミッコー「言葉と物」。表象の問題の一般の問題。空間の問題。近代の問題。演 の問題。空間の問題。近代の問題。演 置。身体。 表象文化研究のキーワード解説。	的設定。主体	大学院教	(東京大学
2	近代の閾 一近代の乗り越 えとディドロー	<ul><li>1 ディドロと『百科全書』</li><li>2 存在と表象がずれる以前</li><li>3 『百科全書』における全体性と普遍</li><li>4 カントを乗り越えるディドロ</li></ul>	<b>遍性</b>	青山 昌文 (放送大学 教授)	青山 昌文 (放送大学 教授)
3	表象の舞台(Ⅱ)	マネの作品(「草上の昼食」、「オラン道」、「フォリーベルジェールのバーぐって。スキャンダルとモデルニテ。パリの成立。鉄とガラスの都市。フラのなかの出会い。「表象」から「投影ション)」へ。無意識のイマージュ。	」など)をめ 「世界の首都」 ヌール。都市	(東京大学大学 )	
4	詩と記号	マラルメからソシュールへ: マラルメの詩と「言語の学」の構想を、書物・言語の問題をめぐって概説したールの記号学がどのように19世紀の問いを転換させたのか、「一般言語学ナグラム」研究にかけられていた表象を解説する。	のち、ソシュ 言語と表象の 講義」と「ア		石田 英敬 (東京大学 大 学 院 教 授)

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
5	文化装置の誕生 表象の政治性 -	<ol> <li>都市と表象装置</li> <li>広場・街路・劇場</li> <li>塔と超高層ビル</li> <li>美術館の誕生と現在</li> </ol>	青山 昌文 (放送大学 教授)	青山 昌文 (放送大学 教授)
6	伝統と近代(I) 一九代目団十郎 の試みー	演劇における近代と伝統的な古典劇の表象の分析。 明治の名優九代目団十郎は、近代にふさわしい歴史 劇としていわゆる「活歴」をはじめた。その成功と 失敗の両面を分析する。	渡辺 保 (演劇評論 家)	渡辺 保 (演劇評論 家)
7	伝統と近代(II) 一 九 代 目 団 十 郎・挫折と回帰 一	明治二十七年七月、日清戦争がおきる。この戦争劇が流行。九代目は、これによって川上音二郎の戦争劇に敗退して古典に回帰する。その挫折と回帰を通して近代の意味を問う。	渡辺 保 (演劇評論 家)	渡辺 保 (演劇評論 家)
8	表象の舞台(Ⅲ)	「大ガラス」をめぐって マルセル・デュシャンの作品(「階段を降りる裸体」、 「彼女の独身者たちによって裸にされた花嫁、さえ も」、「泉」、「遺作」など)をめぐって。キュビ ズムとフォービズム。「表象」から「構成(コンポ ジション)」へ。無意識の欲望。レディーメイド。 オブジェ。シュールレアリズム。「ナジャ」の物語。 マニフェストの時代。見る装置。	小林 康夫 (東京大学 大 学 院 教 授)	
9	女性作家と身体	「身体の美の歴史」とは、とりわけ「女性の美」の問題だった。堂々と「男性の美」を鑑賞してしまった女性作家の身体性とは、いかなるものか。舞台から写真、そしてラジオまで、あるいは美食からファッションまで、貪欲に 20 世紀の前半を生きぬいて、国葬という儀式によって顕揚されたコレットを素材とし、市民社会におけるジェンダー構造の変容という新たな問題系を浮上させる。	(放送大学	工藤 庸子 (放送大学教授)
10	映像の時代 一映画と越境の 体験ー	19世紀末にフランスで発明された映画は、またたく間に国境を超えて広がり、物語装置として成長をとげた。ハリウッド的「夢の工場」の強大化による、映像文化の画一化が進む一方、さまざまな「新しい波」が今もなお、映画の可能性を問い直し続けている。映像の時代を担い続ける、映画に固有のダイナミズムを明らかにする。	野崎 歓 (東京大学 大学院助教 授)	
11	音楽の解体	20世紀に入って、音楽の分野では「音楽の解体」が起こったといわれる。そのようにいわれる理由はどこにあるのか、また、音楽は20世紀に入って実際どのように変質したのか、19世紀以前の「調性」音楽の「機能和声体系」にまで遡って考察する。	笠 原 次 (放送大学 助教授)	笠 原 潔 (放送大学) 助教授)

П	テーマ	内容		執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
12	表象の舞台 (IV)	「マリリン・モンロー」をめぐって: ウォホール・ニューヨークの時代。芸術かることと「記号化した現実」との関係を、 ルに代表されるポップ・アートの表象戦略 つつ解き明かす。	ウォホー		小林 東京 東大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大
13	表象メディア論 I ーテレビを考え るー	TV の表象文化研究: 日常生活がテレビという記号装置によって れる私たちの世界の表象を、マクルーハン ディア論を紹介した上で、テレビ番組の表 具体例を提示しつつ分析する。	/以後のメ	石田 英敬 (東京大学 大 学 院 教 授)	石田 英敬 (東京大学 大 学 院 教 授)
14	表象メディア論 Ⅱ コンピュータ 	メディアとコンピュータの表象世界: サイバースペース上に成立するヴァーチャリティがもたらした表象世界とはどのよか。コンピュータ・アートの作品にみるま分析することによって明らかにする。	うなもの	石田 英敬 (東京大学 大 学 院 教 授)	
15	文化創造の現場 へ - 来るべきもの のために-	表象文化研究の現在: 19 世紀からの現代の表象文化を通時的に扱 21 世紀の文化の行方を表象文化論の視点 する。	-		小林 康夫 (東京大学 大 学 院 教 授)

•

# = 情報化社会研究('05) = (TV) ーメディアの発展と社会ー

[ 主 任 講 師: 柏倉 康夫(放送大学副学長)]

### 全体のねらい

情報革命と遺伝子工学の進展で幕をあけた新たな時代に、私たちの生活はどのような変化をとげるのか。未来を予測するのは困難だが、一つ確実にいえるのは、情報環境の変化が大きな要因になることである。ただ情報の世界にあっては、新たな伝達手段が登場しても、以前の技術がなくなるわけではなく、私たちは多様化する伝達手段を使い分けながら必要な情報を摂取する。それがひいては私たちの社会の枠組みを大きく変化させていく。20世紀後半に始まったデジタル革命によって、工業文明から情報文明と呼ぶべき新たな段階に入った私たちの社会のあり様を、情報の視点から考察する。

回	テーマ	内	容	執 筆 講 師 (所属・	名	講	節 名
1	コミュニケーショ ンと伝達 ードブレのメディ オロジーを中心に ー	フランスの哲学者レジス・ドブレメディオロジー講義」の中で、そとは、高度な社会的機能を伝達そおいて扱うものだと述べている。人間集団の象徴活動とその集団の易関係を、宗教、イデオロギー、例に即して検証している。だが、で輪争と反発も引き起こした。そロジー」の思想を中心にコミュニ考える。	皮が提唱するメディオロジー 作用の技術的構造との関係に 事実、ドブレはその著作で、 の組織形態との関係の間にあ 文学、芸術などの具体的事 この新たな思考モデルは一方 別回の講義では、「メディオ	柏 倉 (放送)学長)	康 夫 大学副		康夫
2	時間意識の変容 一 2 0 世紀の芸 術・文学に現れた時間—	情報伝達手段の進展と変化は、きをあたえ、意識のあり方を変化さ20世紀にかけて発展した輸送手では、とりわけ時間に関する私がそしてインターネットで個々人なの心が接続される」事態が起これの時間意識はどのように変貌する登場した代表的な文学作品などを	をせてきた。19 世紀半ばから 段や、新たに登場したメディ たちの認識を大きく変えた。 が結ばれる現在、いわば「人々 りつつある。このとき私たち らのか。この問題を 20 世紀に	同	Ŀ	同	Ŀ
3	話し言葉の復権 書くこと・話すこ と	印刷技術の発明とその発達につれ値をますます減らしているように らゆるところで見られるが、といで顕著である。たとえば学術研究 行される本や論文が重視され、記室での討論の比重が下がっている性と知」の著者フランソワーズは、こうした傾向に疑義を申して心に話すという基本的伝達手段の	こ見える。こうした現象はありわけ高度な社会生活の局面 究においては、次々に印刷刊 講義や講演、セミナー、研究 5。「本のように話す――口承 ・ワケ(CNRS研究所長) なてている。彼女の議論を中	同	Ł	同	Ł
4	印刷・書物・電子テ クスト	印刷出版の歴史で革命を起こした年ころにグーテンベルクが発明から凡そ 500 年間、この技術が人向上に与えた影響は計り知れない紙に印刷して書物をつくり、新聞報を伝えるとともに、知識を蓄利は、第二の革命といわれるコンテクストの持つ意味が大きく変制媒体の変遷をたどりつつ、「ラ	した活版印刷術である。それ 、間のリテラシー(読み書き) い。人々は鉛活字でインクを 明、雑誌を発行し、膨大な情 責してきた。だが印刷物の世 ノピュータの導入によって、 つりつつある。この回では印	同	Ł	印	Ŀ

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
5	拡大する映像世界 一写真・映画・テレ ビー	19世紀以来、写真・映画・テレビイアは、集団的あるいは個人的想力を発揮した。ただ注意しなけれ画、テレビはそれぞれメディアとある。しかも、映像がコンピュー的変化が起こっている。現実とそのコンピュータのシミュレーション先行する事態が生じている。「イえる。	像力を形づくるのに大きな ばならないのは、写真、映 しての機能が異なることで タと結びつくことで、本質 の映像という関係が逆転し、 機能により、映像が現実に	柏倉・康夫	柏倉 康夫
6	ラジオの過去と現 在 一あるメディアの 歴史—	カナダ生まれの文明批評家マーシディア論」で、ラジオというメデュれはかつてラジオが民族や文化を動かした経緯があったことを指いう新たな情報システムが出現しし手と受け手を一対一でつなぎ、という側面を強めている。そしてたらしている。20世紀前半をリーアがたどって役割を検討する。	イアを部族の太鼓と呼んだ。 の深層に訴えかけて、歴史 している。しかしテレビと て以降、ラジオはむしろ話 個人的メッセージを伝える 、それがラジオの復権をも	同 上	同 上
7	絶え間なき通信の 時代	通信の技術はこの 100 年で大きく ケーブルの設置、電話の普及、そ ちの通信技術は、人々が生活し行 に大きく貢献し、仕事や職場のあ 場した新たな通信技術が、利用者 理的環境をいかに変えてきたか。 る携帯電話などの移動体通信の特 する。	して携帯電話の登場。これ 動して、人間関係を築くの り方を変えた。ときどき登 を取り巻く社会的環境と物 世界的規模で普及しつつあ		吉井 博明 (東京経済大 学教授)
8	放送規制の展開	免許制度の下に置かれた放送事業制と密接なかかわりを持ってきた規制がどのような変遷をたどってを中心に振り返るとともに、とくにメディア・多チャンネル化やデジ放送メディアの制度的規制に対すっ、放送メディアの制度的規制に対すっ、放送メディアの制度的特質を	。この回では放送の制度的 きたかを、アメリカの事例 こ 1980 年代以降に進んだ多 タル化の過程で起こった、 る新たな論議を題材にしつ		音 好宏 (上智大学助 教授)
9	放送メディアの現 状と課題	近年の電気通信技術の発達などをなど、放送サービスは、いま大きっ今後、放送サービスは、社会的・づけられ、またこれまで果たしてに維持されうるのか。放送はさまな送メデイアの現状を踏まえつつものを検討する。	な変革の時期を迎えている。 制度的にはどのように位置 きた社会的機能はどのよう ざまな課題に直面している。	同上	同 上
10	コンピュータ·ネッ トワークの開発思 想	1969年に稼動し始めた国防総省のインターネットのバックボーンとのコンピュータネットワークはどれたのか。ARPAネット構築を代部長リックライダーの思想形成年代に情報化社会の未来像がどのり上げる。	なったことで知られる。こ のような思想のもとに生ま 進めた情報処理技術部の初 の過程を縦軸にして、1960	(関西大学助 教授)	

回	テーマ	内容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属・職名)
11	だれもが使えるコ ンピュータの誕生	現在のパーソナルコンピュータで使われている、書類・ルダ・ゴミ箱などのある「デスクトップメタファ」は、年代にゼロックス社で生まれて広まったものである。当開発者たちが思い描いた未来のコンピュータ社会とはどうなものであったか。この回では、誰もがコンピュータう時代がどのようにして始まったのかを検証することで日の情報化社会形成の発端を考える。	1980 時、 のよ を使	喜多 千草
12	情報の画一化と社 会 戦争報道の 現実	伝達手段が飛躍的に拡大した結果、マスメディアがにぎ 題設定能力が強化され、政治・社会、ひいては経済活動 が、メディアが選択し提供する情報に左右される事態と ている。しかもマスメディアの寡占化が進み、新聞、雑 テレビの分野で資本を同じくする系列では、同一のニュ や論調が世界規模で流され、世論形成に力をふるってい この回では、以上のよう状況を、ヴェトナム戦争と湾岸 を例に検証する。	まで なっ 学長) 誌、 ース る。	
13	文化と情報経済	グローバル化する世界には、ソフトパワーとして世界にな影響力を持つ文化の浸透と地域社会に根づいた多元的化との相克が横たわっている。インターネットによる情大交流時代を迎え、メディアによる文化の発信は、多国さまざまな政治的課題を超えて、自国文化の経済化や安障上の主題ともなっている。情報化社会におけるソフトーと文化経済について考察する。	な文 (立命館大学 報の アートリサー 間の チセンター客 全保 員教授)	武邑 光裕 (立命館大学 アートリサー チセンター客 員教授)
14	デジタル社会の著作権	デジタル社会は、これまでの重量的媒体によって支持さきた情報を符号化し、旧来の媒体概念を離散、流動化さいる。複製、改変が容易に行えるデジタル情報の特性か著作権やコピーライトの概念そのものが根本的に問われる。公共性と私有制の間で揺れ動くデジタル社会におけ的所有権や著作権のあり方を検討する。	せて ら、 てい 同 上	同 上
15	情報化社会の行方 一 個人・地域・国 家 一	ますます多様化する情報手段は、既存の国家や民族の概 影響をあたえずにはおかない。それは地球規模で棲み分 共生が可能な社会システムの構築を期待させる。情報技 進歩は今後も私たちの生活や社会構造を変え続けるに違 い。だが一方で、それは個人のレベルや集団レベルで情 格差を生み、それが時間とともに拡大する危険をはらん る。さらにはアイデンティティーの危機やリアリティー 失といった事態をもたらすことも危惧される。情報化社 将来を検討する。	けと 術の 吉井 博明 いな 報の 武邑 光裕 でい の要 音 好宏	柏倉 康夫

# 地域文化研究 I ( '06) = (R)近現代ヨーロッパ史 -

〔主任講師(現職名):木村 靖二(大学評価・学位授与機構教授)〕〔主任講師(現職名):近藤 和彦(東京大学大学院教授)

### 全体のねらい

ヨーロッパ、とりわけ西欧社会が過去2世紀半の近代・現代の歴史過程で生み出した価値体系(文化全般)は、ヨーロッパ以外の現代国家・社会の骨格ともなっている。21世紀に入った現在、ヨーロッパ近代・現代の全体像はようやく明らかになろうとしている。18世紀中葉から現在まで、時代を追いながらそれぞれの重要なテーマを取りあげ、ヨーロッパ近現代史がもつ問題群を考えていきたい。

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
1	長い19世紀と 短い20世紀	フランス革命前後から第一次世界大戦までの時代を「長い 19 世紀」、第一次世界大戦から 1991 年のソ連・東欧社会主義圏の解体までを「短い 20 世紀」とする時代区分は、ヨーロッパ史では近年受け入れられるようになった。この新しい時代区分を参考に、ヨーロッパ近現代の主要な問題を紹介する。	(大学評	(大学評価・学位授
2	啓蒙の時代	この講義の前半では、18世紀末から展開する本格的な近代(「長い19世紀」)の歴史をあつかう。今回はその前提として、啓蒙の時代(18世紀)における科学革命と『百科全書』をはじめとする出版、そして活発な公共圏を考える	(東京大学 大 学 院 教	(東京大学
co	産業革命と資本 主義システム	産業革命は 18 世紀末のイギリスに始まり、産業資本主義のシステムは世界史を大きく転換させた。だが、発明発見による生産力だけで世の中は変わるだろうか。最近の市場を重視する研究を踏まえて、消費社会の成熟から産業革命と資本主義システムの意味を再考する。	同上	同上
4	フランス革命と 国民国家	近代政治はフランス革命期の人権宣言から始まるとされる。しかし、封建制度の廃止、「自由・平等・ 友愛」をとなえたフランス革命にも、暗い裏面があった。国民国家という観点から、アメリカ独立、フランス革命、ナポレオン帝制を考える。	同上	同上
5	改革とロマン主義	19世紀前半、イギリスが着々と自由主義の改革をかさねていたのと対照的に、ヨーロッパ大陸諸国はロマン主義の時代である。社会も文化も個性と情熱にあふれていた。激動のなかで諸国民の独立運動があり、また資本主義の矛盾をただすべき社会主義の構想もとなえられた。	同上	同上

囯	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
6	戦争と国民の苦闘	19世紀半ば以降、イギリスはパクス・ブリタニカとよばれる繁栄を謳歌し、フランスもこれに続いた。これに対抗すべく、中欧・東欧の諸国でもさまざまの試行錯誤が続いたが、クリミア戦争はロシア、イタリア、ドイツ、そしてオーストリアの将来に決定的な影響を及ぼした。	(東京大学 大 学 院 教	
7	「西洋事情」と 明治日本	19世紀後半、ヨーロッパ・アメリカが近代国家を構築していたちょうどそのときに、日本は開国し、急速な近代化を遂げた。波高き国際社会のただなかで祖国の行方を模索した日本人の「西洋事情」をめぐる問題意識を跡づけ、その同時代的な意味を考える。		同上
8	帝国主義と大衆 社会	1870年代から第二次産業革命、科学技術の発達、公教育制度の普及、大衆社会の登場によってヨーロッパの内部も変わり、またアジア・アフリカとの関係も変化してくる。世界的な人口爆発と移民、本国内の富裕化、国家の役割と女性の解放論、そして列強による世界分割がきわだつのもこのころからである。		同上
9	世紀末文化とベ ルエポック	19世紀末から第一次世界大戦まで、ヨーロッパは安定した経済成長期を経験した。それに支えられて市民文化は爛熟期を迎え、先進諸国を中心に楽観的未来観がひろがった。しかし、他方ではそうした傾向に反発する新しい文化活動や政治運動も台頭してきた。	(大学評価・学位授 毎機構教	(大学評価・学位授
10		第一次世界大戦はそれまでの国際関係・国内政治はもとより、人々の心性をも根底から揺るがし、同時に「戦争の世紀」でもある「短い 20 世紀」の開幕を告げた。大きな時代の転換点となった大戦を、破壊と創造の観点から再考する。		同上
11	両大戦間期の混 沌	第一次世界大戦終結から第二次世界大戦が開始されるまでのほぼ 20 年間は、両大戦間期とよばれている。19 世紀的価値観がヘゲモニーを失いながらも、20 世紀の価値体系も形成途上にある「宙づりの時代」のなかで、新しい政治・文化を模索する試みを考察する。	1	同上
12	ナチズムと第二 次世界大戦	ヨーロッパにおける第二次世界大戦は、「文明の破断」とまでいわれたナチス・ドイツによるユダヤ人・スラヴ系諸民族などにたいする蛮行で知られる。このようなことがなぜ起こりえたのか、それはヨーロッパの近代文明とどう結びつくのかを、最近の研究成果に基づき検討する。	同上	同上

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
13	分断のヨーロッ パと冷戦	1950年代はじめ、ヨーロッパの東・西両陣への分断はほぼ確定した。それはヨーロッパ内部だけではなく、ヨーロッパと非ヨーロッパ地域との関係にも大きな変化をもたらした。分断にいたった背景は何か、分断がもたらしたものは何かを分析しながら、冷戦下の状況を考える。	(大学評価・学位授	木村 靖二 (大学評 価・学位授 与機構教 授)
14	現代社会への変 容と「近代」へ の疑義	l	同上	同上
15	短い20世紀の終 わりと新しいヨ ーロッパ	1991年のソ連の崩壊は、一つの時代の終わりでもあった。20世紀における社会主義の意味を検討しながら、さらに日本の状況とも比較しながら、新しいヨーロッパ (EU) の誕生の意義と歴史的位置づけを考える。	同上	同上

# 地域文化研究Ⅱ('06) = (R)-東アジア世界の歴史と文化-

[ 主 任 講 師 (現職名) : 川勝 守 (大正大学教授) ] [ 主 任 講 師 (現職名) : 吉田 光男 (東京大学大学院教授)]

[主任講師(現職名): 浜口 允子(放送大学教授) ]

### 全体のねらい

東アジア世界とはなにか。その文化や社会はどのように形成され、いかなる特徴をもっているか。本講は東アジア世界を構成する中国・朝鮮を中心として、その歴史と現在をさまざまな角度から考察しつつ、併せてその研究方法や研究の現状を明らかにする。

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
1	東アジア地域文化研究の方法、その特殊性と課題	東アジアの地域文化とは、中国の政治世界とその政治文化の影響を受けて古代以来の国家と社会の歴史を作ってきた朝鮮・日本・ヴェトナムなど周辺諸国の歴史文化をいう。その内容をいかに捉えるか。研究方法、研究目的については、その特殊性や課題に関連させて、学習・研究の指針を説明する。		(大正大学 教授) 吉 田 光 男
2	東アジア世界と は何か、その考 え方と現代的意 義	東アジアの地域文化を理解するためには、冊封関係とよぶ中国皇帝と周辺君長との政治外交が行われる世界を東アジア世界として理解することが前提である。その理解にもとづき中国中華世界の展開、朝鮮・日本・ヴェトナムの中華世界の形成を捉え、東アジアの多極構造の歴史展開を考察する。	川 勝 守 (大正大学 教授)	川 勝 守 (大正大学 教授)
3	東アジアの世界 文化遺産	東アジア地域の世界文化遺産はどのようなものが現在登録されているか。中国、朝鮮、日本、ヴェトナムなどについて、その内容を説明し、その文化遺産の特徴や特色を検討することを通じて、東アジア地域文化の一般的傾向や文化の価値などを考える。	川勝 守 (大正大学 教授)	川 勝 守 (大正大学 教授)
4	中華帝国の生成・展開・崩壊 一皇帝制度と官 僚制-	中華帝国の政治システムの特徴は、BC221年の 秦統一以来二千年にわたる皇帝制度とその行政施行 機関たる官僚制にある。皇帝はどのようにして出現 したか、13世紀の元世祖と14世紀の明太祖の事 例を比較して、その官僚制を登用方法(科挙制度)、 財政、税制度、裁判制度などの諸制度と関連させて 考察する。	(大正大学	川 勝 守 (大正大学教授)

田	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
5	朝鮮近世の政治 システムー士族 と両班―	政治エリートである士族に焦点を当て、朝鮮近世の 政治世界を解読する方法を考えていく。儒教、科挙、 両班をキーワードにして、官僚制度や行政制度を分 析し、政治と社会との相関関係や人々の政治意識に せまっていく。		(東京大学
6	中国近世の経済 システムと都市 網の形成	唐宋時期と明清時期という二回の商業革命の内容を 比較し、そこに窺える中国経済の社会動態の構造的 特色を理解したうえに、それが一八世紀の人口爆発 や都市化の進展にどのように関連したかなど、今日 における中国経済の飛躍の歴史的前提を考える。	川 勝 守 (大正大学 教授)	
7	朝鮮近世の流通と経済	朝鮮近世の流通経済は国家が強い統制をしていたところに特徴がある。貢人、市塵など、現在もっとも注目を浴びている研究課題を中心として、国家と商業の関係を考察し、朝鮮近世の経済世界がもつ特質を検討する。	吉 田 光 男 (東京大学 大 学 院 教 授)	吉 田 光 男(東京大学大 学 院 教授)
8	伝統中国の社会 構成一中国エリ ートの生涯ー	中国近世は郷紳社会と呼ばれる。前近代から近代にかけて中国エリートの最後に登場した郷紳階層は宋元時代の士大夫やはるかな六朝や隋唐の士人とどこが異なるか。また、同時期の日本の武士や朝鮮の両班とどのような類似点と異質点があるか。ある郷紳エリートの生涯を通して伝統中国の社会構成を考えてみる。	川 勝 守 (大正大学 教授)	川 勝 守 (大正大学 教授)
9	朝鮮近世の社会 集団	氏族、郷案、郷吏など、朝鮮近世国家と住民との中間にはさまざまな社会集団が存在していた。現代の社会調査による研究成果をとりいれながら、朝鮮近世における社会集団のもっていた歴史的意味を考察する。	(東京大学 大 学 院 教	(東京大学
10	中国近世の生活 文化	中国近世の生活文化は今日の中国生活文化に直接に つながる。上海付近の綿業地帯と蘇州付近の製糸絹 織物業地帯の各市鎮志の年中行事・民間習俗の事例 から娯楽や遊びは中国近世生活文化のいかなる特色 や価値を示すものであろうか。	1 :	川 勝 守 (大正大学 教授)
11	朝鮮伝統社会の 文化と生活	朝鮮伝統社会は、儒教、仏教、道教、漢字などの外 来文化が、巫俗などのさまざまな固有文化と融合す る世界であった。近世の朝鮮を中心にして、朝鮮に おける伝統文化のあり方について、生活面まで掘り 下げながら検討する。		吉 田 光 男(東京大学大 学院教授)

旦	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
12	東アジアの家 と女性	家族制度とその道徳律の る。そうした両性関係の ともに、近現代におけるる	社会的関係は、一般に父権 影響を受けてきたとされ 形成過程を明らかにすると との態様についても考える。 ら家族や宗族を中心とした 祭する。		川 勝 守 (大正大学 教授) 浜 口 允 子 (放送大学 教授)
13	中国近代都市 形成と人々の 活	生 になるとそうした伝統都 近代都市が誕生する。それ 如何なる役割を果たした 相互にどのような関係を	歴史があるが、19世紀中葉市とは異なる新しい性格の にはどのような空間であり、 のか。また、そこで人々は 築きつつ如何なる暮らしを 20世紀の中国都市社会を考		浜 口 允 子 (放送大学 教授)
14	中国近現代農 社会の特質と 遷	変 おも引き継ぐものであっ の大多数をしめる農民の ったか。副業のあり方を	村社会は伝統的な態制をなた。その農村にあって人口 生活はどのようなものであ 中心にその具体相を述べ、 ように変化したかを考察す	浜 口 允 子 (放送大学 教授)	浜 口 允 子 (放送大学 教授)
15	現代中国の歴 的位置	まやそこから脱却するの	主義の受容にはじまり、いか、それとも深化させるのある。この変化の大きい半点に着目して検討する。	(放送大学	浜 口 允 子 (放送大学 教授)

開設 科目 科目 履修 単位 事務局 平成 19 年度 大学院科目 8910308 無 2 ין⊷ב 制限 数 年度 区分 記載欄

 科目名 (メディア) =
 地域文化研究Ⅲ('07)=(TV)

 ーヨーロッパの歴史と文化ー

[ 主 任 講 師 (現職名) : 草光 俊雄 (放送大学教授) ] [ 主 任 講 師 (現職名) : 宮下 志朗 (東京大学大学院教授)]

#### 講義概要

これまでヨーロッパの歴史は各国別に分断され、それらを一冊にまとめて論じるということが多かった。外交や戦争を扱うときには勿論他国との関係が論じられるが、それもあくまでも一国の歴史という脈絡のなかでしかなかった。しかしヨーロッパはいろいろな意味で、考えられる以上に有機的につながっている。ギリシア・ローマの古典文化、ゲルマン民族、キリスト教という三大要素ばかりでなく(民族的、宗教的にももっと複雑ではあるが)、古くからヨーロッパの人々は旅をし、知見を広め、自国の文化のなかにヨーロッパという普遍的なものを作り上げてきたと言っても良い。本講義ではそのようなヨーロッパの歴史のなかからいくつかのテーマを選び、国境にまたがる地域に広がる、国境を越えた文化を採り上げる。それはあるときには空間を支配する関係についてのネットワーク論であり、人やモノの移動や交流、交換と流通を考える社会史や文化史でもある。またヨーロッパが非ヨーロッパと出会ったときに自らのアイデンティティをどのように築いていったか、そしてそれがヨーロッパの地球規模での進出にどのような役割を果たしたのか、といった点にもふれて考えてみたいと思う。

#### 授業の目標

当然のことながら、包括的なヨーロッパの歴史を学習することが目標ではない。授業で採り上げるテーマを一つのきっかけ、あるいは参考にして、学生のみなさんが自らの関心で越境する文化について調べたり書いたりしてくれることを望んでいる。放送授業や教科書にはそのためのいくつかの方法やヒントをちりばめておくつもりである。

п	テー		マ	内	容	講	師	名	放送: 講師 (所属・)	名
1	イント! ョンー/ 情報の3	(, '	モノ、	授業の全体のテーマを紹介し、ヨーロ 見ていくなかで、人、モノ、情報など を越えて交流していったか、そしてそ にしてヨーロッパのアイデンティティ たか考えるヒントをまず提示する。	ごがいかに国境 それがどのよう	教:	放送: 受)	大学	草 光 (放送教授)	大学
							東京 学 🦻	大学	(東京 大 学   授)	大学
	「旅人」	の	誕生	古来人々は戦のため(侵略や略奪、領はるばる遠路他国への旅をしてきた。 教のためあるいは商業の目的で、多く ず地球規模での旅をも行ってきた。そ なかで得た知見は様々な形で残される	また宗教の布 くの困難を顧み そうした活動の	(	東京	大学	宮 下 : (東京 大 学	大学
2				ばカエサルの『ガリア戦記』、ルイン 『日本史』、マルコ・ポーロ『東方見 しかし近世になり、人々は知的好奇」 いはたんなるレジャーのために旅を る。旅のネットワークとはどんなもり うか、それぞれの旅人がどのような	ス・フロイスの L聞録』など)。 心のため、ある さするようにな のだったのだろ				草 光 / (放送 教授)	
				っか、それぞれの旅人かどのようなに したのか。イギリス貴族のイタリア・ アーや、国内でも旅行家であったアー のフランス旅行などを例にとって考え	へのグランドツ ーサー・ヤング	70.00				

	<u> </u>			T		
回	テーマ	内	容	講師	名	放送担当 講師名 (所属・職名)
3	国境を越える書物	印刷 は を に か に か に か に か に か に か に か で い た い と な り あ に し と な と か 発 く る と は と な と な り あ に し と な り あ に し と な り あ に し と な り あ に し と な り あ に し せ れ で の き と な り あ に し せ れ で の ま る し く に 書 こ 都 フ た の で の ま る に の る 国 身 と い た ら に 書 と が な り あ い ら の は の な に の る い ら の が の と を し に か に の る に の る に の る に の る に の る に の る に の は ら の な に の る に の は ら の は に の な に の は ら の は に の な に の は ら の は に の な に	に向いては、大変である神野のでは、大変である神野のでは、大変である神野のでは、大変である神野のでは、大変である神野のでは、な変でない。 アール ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	大学 授)	大学	宮(大授) 高(大学教育、一次) 宮 応授) 宮 応授) 宮 応授)
4	北欧ってきたからたか	がし史口で見代とな化たヴーっ主構与陸てにるらが体現、てのツ独えに交らを過アロて義築えヨきさいの作的政理で者すの強力と、返とてで時のたに代ス世イ与諸討れる田はでる辺と際欧れ接独よ以り己欧とンとンてのる過とのようなが、合をキパ成、れ近口北影バ例上対域であるで界自しま繰他さ確ン起さ第、代ッ欧響ルをげ討すが、てのツ独えに交らを過アロて義築えヨきさいの作的はでる辺と際欧れ接独よ以り己欧とンとンてのる過とのように会は大きをな。のト識民がィ駆ィく貌とで目話したがは像、路だ通信これ巻の社るサけテ事をに、標準に対している。	歴ーけに現触る文っにヨよトらを大れ成あれ解具歴ーけに現触る文っにヨよトらを大れ成あれ解具を一けに現触を文っにヨよりを要して、	(大阪 語大学	外国	古代大学助教辅国教

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
5	「好奇心」と「探 究心」 一啓蒙主 義と博物館の思 想〜		(放送大学 教授)	草 ( 数
6	コレクターの誕生と芸術作品の流通	収集する欲望・ふるまいは、「を、ので、ない。このでは、「きいい。このでは、「きいので、そのでは、「きいので、そので、といいで、で、といいで、で、といいで、で、といいで、で、といいで、で、といいで、で、といいで、といいで、といいで、といいで、といいで、というで、といいで、といい	(放送大学 教授)	
7	食文化の地政学	今日ヨーロッパの食文化は、各国ごとに、また一国内でも地域ごとに特徴が見いだされる。一方、ある種普遍的とも呼べるヨーロッパ的な料理方法が存物も地域によって異なる。そしてそれはかつては素材の生育地域と密接に関連していた。イギリスや北フランス、北ヨーロッパには葡萄の生育が適さなかっために葡萄酒の生産は不可能であった。そうがまなアルコールであったし、またリンゴからとれたサイダー酒(シードル)も作られた。ヨーロッパを地政学的に捉えて、イギリスやフランスそしてイタリアなどの食文化を考え、さらにはなぜイギリスがボルドーやブルゴーニュの支配に固執したのかなどとい	' '	· ·

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 節 名
		った問題を考えてみたい。葡萄酒は教会のミサかせなかったが、アルコールそのものの魅力もたであろう。放送授業ではイタリア・トスカーワイナリーを訪ねてそこで作られるワインやスブオイルについて取材したものを使う予定であ	もあっ ーナの オリー	
8		ユーラシア大陸の東の大国ロシアと西欧諸国、イギリスとの文化的接触と影響について考える世に遅れてキリスト教国家となったロシパ諸国を取り入れた点で他のヨー家を持たな点でも西欧的な市民社会形成といる。とかし16世紀半ロッパの覇権を対める。とくに17世紀にピヨトール帝はオランイギリスなどに長期旅行を進めようとした。対は特にピョトール帝の旅行を詳しくをした。対は特にピョトール帝の旅行を詳しくをしている。との世紀にある。とくに17世紀にピヨトール帝はかようとした。対け、ロシアの内部にある西欧にある。	5。中 ギリ 大学 国とかで 大学 関本 では 関本 では 関本 では 関本 では 関本 では 関本 ので は のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが	· .
9	奢侈と経済〜ヨ ーロッパ・ブラ ンドの成立〜	奢侈は一国の経済を大きく変化させる。さらに影響は一国を超えて広い地域に広がっていく。世紀のヨーロッパは奢侈の広がりが新しい技術み出し、その中で特産品が生まれそれがまた。及していく。どのような技術が生まれどのよう品が生み出されたのか、この分野の世界的Maxine Berg 教授へのインタビューなどを交換の品の成立について考える。	18 (放送大学 術を生 教授) なく普 うな製 り権威	1
10	異端のディアス ポラ	ワルド (ヴァルド) 派は、リヨンの豪商ペトノウァルドウスが12世紀に創始した、贖罪と対説く説教団である。この「リヨンの貧者」は告告を受けて、ボヘミア、北イタリアなどに散しいくが、やがて衰微、フランスでは南仏の山地で、落ち武者のようにして、信仰の火をともしくことになる。しかしながら、16世紀といき、立事の世紀を迎えると、オリヴェタン訳の治しながら、26世紀というで、なずの世紀を迎えると、オリヴェタン訳の治証との結びつきを強め、以行に関して改革派との結びつきを強め、以行に関して改革派との結びつきを強め、以行い方に関して改革派との結びつきを強め、以行い方に関して改革派との結びつきを強め、以行い方に関して改革派を担っていく。こうしたり、京の流転を、現地調査を交えつつ報告し、宗教の治した。	青貧を (東京大学 東端宣 大学 現のので 地ののでい うますの と で も で も は で も り で り で り り り り り り り り り り り り り り	
11	アラビアン・ナイトの「発見」	アラビア語の説話集『アラビアン・ナイト』 8世紀初頭以来、ヨーロッパ各国語に翻訳され ーロパ人の東方幻想の基盤、諸芸術の霊感源で 大きな役割を演じてきた。その受容の様相を、 自体に見られる改変や、文学、音楽、絵画、 映画などへの応用という視点から紹介する。	h、ョ (東京大学 として 大 学 院 教 翻訳 授)	

旦	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
12	スポーツの近代 化	ツが近代的な形をとるよう ギリスであったが、それる あり方と国境を越えたス く。授業では特にテニス、 り上げ、必ずしもイギリン のスポーツがいかにイギリ 歩んだかを考える。また「	た暇の遊びであったスポー うになったのは19世紀イ ざれの国々の余暇の様々な ポーツへの変化を見てい ボートレース、登山を採 ス発はなかったこれ リスにおいて近代化の道を オー、どのように独自の発展 り見ていくことにする。	(放送大学	草(教 宮 (大授) 名 (大授) 本 大授 (大 ) 本 大授)
13	近代読者の成立	越境して、なって理解は、なって理解は、なって理解は、なって理解は、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが	なく、ことでは、 ことでは、 ことでは、 ことではなる。 「 1 5 歳 になる。 「 1 5 歳 になる。 「 2 を書きる」とはがる。 「 3 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 がれたいに、 でる。 がれたいに、 でるとも、 でるとも、 でるとも、 でるとも、 でるとも、 でるとも、 でるとも、 でるとも、 でるとも、 でるというと、 できると、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	(東京大学 大学院教授)	(東京大学
14	アーサー王伝説の展開	ブ強いと、   たっア文駐中マア嫌る返材し石にりたいた。とそとサでしのスサれは現供らすたかんー歴ンは、   たっとそとサでしのスサれは現供らすにくいり刷口れるのと実み上したマ人話がのた半り説の小地で、   にくいまれた、   にくいり刷口れる。の世紀にくいり刷口れる。   にくいり刷口れる。の世紀の大けのが、   にくいり刷口れる。の世紀の大けのと実み上したマ人話が、のた半り説の小地の大力によりによりによりにない。   にくいり刷にないた。の世紀によりにないます。   にくいり刷にないた。の世紀には、   にくいり刷にないた。の世紀には、   にくいり刷にないた。の世紀には、   にくいり刷にないた。の世紀には、   にくいたのに、   にくいり刷にないた。の世紀には、   にくいり刷にないた。の世紀には、   にくいり刷にないた。   にくいりのには、   にくいりのにはは、   にくいりのには、   にくいりのにはは、   にくいりのにはは、   にくいりのにはは、   にくいりのにはは、   にくいりのにはは、   にくいりのにははは、   にくいりのにはははははははははははははははははははははははははははははははははははは	おおいます。 を主にながれた。 を主になが、 を主になる。 をでする。 をででする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。	(慶応義塾 大学教授)	高(大) 宮(大授) 宮応授 志大院 東学 下東学 郎学教

回	テーマ	内容	:	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
		なったファンタジー文学の基礎を形成 ーサー王伝説の発展とその特色を探る の狙いである。			
15	まとめ	14回の授業を振り返り、総括する。 学生達がそれぞれ自分の関心で調べ、 のヒントや14回では扱えなかった面 マについて語る。	研究するため	草 光 俊 雄 (	(放送大学 教授) 宮 下 志 朗 (東京大学

# 日本文化研究( '05) = (R)一 神仏習合と神国思想 一

[ 主 任 講 師: 高木 昭作(東京大学名誉教授) ] [ 主 任 講 師: 末木 文美士(東京大学大学院教授)]

#### 全体のねらい

「日本文化研究」の「文化」を、文化人類学、比較文化学、文化断絶などという時の「文化」、すなわち社会に蓄積された思想、行動様式であり、各人は新たにそれに付け加えつつも、それに影響されて考えかつ行動する。日本人に影響を与え続けた「文化」として、この講義では神国・仏国思想について考える。

П	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
1	秀吉・家康の神国・ 仏国思想	「文化」の意味を簡単に定義したのち、 日本人に強く影響した「文化」の一例として、豊臣秀吉、徳川家康がそれぞれ海外に送った一種の外交文書の中から、日本型華夷思想としての神国・仏国思想を抽出する。	1	高木 昭作 (東京大学名 誉教授)
2	日本型華夷思想としての神国・仏国思想	秀吉・家康の神国思想が中世に作られた神仏習合思想に深く影響されていることを指摘し、自民族中心主義としての日本型華夷思想の存在は既に倭王武の上表文に見られることを紹介し、さらに明治期の教育勅語がこれによっていることの指摘を通じて、 が天皇制と密接な関連にあることを述べる。	高木 昭作	高木 昭作
3	生活のなかの神と 仏	よく日本人は無宗教であると言われるが、宗教的な信念や世界観として意識化されないかたちで、神仏信仰は生活のすみずみに浸透している。盆や正月の年中行事のほか、占い・祭礼・お守り札などの多様な民俗信仰を手がかりに、生活文化としての宗教を考える.	1	· · · ·
4	国家権力と神仏信 仰	古代の鎮護国家の仏教、近世の寺請制、近代の神仏分離令や国家神道など、日本の宗教はつねに時の為政者の政治的な意図によって大きくその性格を規定されてきた。その歴史的経過を概観しながら、日本宗教の特徴を国家や社会との関係に即して明らかにする。	中村 生雄	中村生雄
5	祖先祭祀と他界観	日本人の大半にとって仏教と神道は、先祖の霊を供養しその成仏を願うこと、氏神や鎮守の神に家族や地域共同体の安泰を祈ることで受け入れられてきた。死者を神や仏として祭祀の対象とする日本人の宗教感情について、その歴史的要因と問題点を検討する		中村 生雄

田	テーマ	<b>内</b> 容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 節 名
6	古代の神々	古代の神々について、記紀神話を中心に紹介する。しかし、 記紀神話は決して古くからの伝承をそのまま伝えるものでは なく、7世紀末から8世紀はじめの政治情勢を反映したもの であるから、その背景をおさえる必要がある。		末木 文美士 (東京大学大 学院教授)
7	仏教の日本化	仏教は単なる宗教に留まらず、先進的で総合的な文化として大陸から導入された。どのような新しい文化が導入され、それがどのように変容されて日本に定着したか、古代を中心に検討する。	末木 文美士	末木 文美士
8	神仏習合の形成	仏教の日本化のひとつの形態は、日本の神々を取り入れ、神仏習合という独特の宗教のあり方を生み出したことである。どのような経緯で神仏習合が形成されたか、その過程を検証する	末木 文美士	末木 文美士
9	鎌倉仏教の世界	鎌倉時代は、今日の大宗派の祖師たちが出現したこともあって、日本の仏教史の中でも特に注目されることが多い。最近の研究動向を紹介しながら、祖師たちだけでなく、より広い視野から鎌倉仏教を見直す	末木 文美士	末木 文美士
10	中世神道説の形成	古代よりの神仏習合の過程は、中世に至り神に関する教説を生み出した。それを中世神道説という。中世神道説には真言密教の影響を受けた両部神道、伊勢神宮祠官による伊勢神道、天台系の山王神道等の複数の流れがあり、それらは互いに関連しあいながら、中世の宗教世界の一角を占めていた。ここではその歴史的展開を跡づける。	伊藤 聡 (茨城大学助教授)	伊藤 聡 (茨城大学助 教授)
11	中世神道説と中世 の思想・文化	中世神道の教説は、仏教、中国思想(儒教・道家・道教)などが、教理化の根幹に深く関わっており、一種外来思想の日本化としての特徴を持つ。また、歌学、謡曲、軍記物語等の中世文芸で中世神道説の濃密な影響を受けているものも多い。この時間は、中世神道説と、さまざな思想・文芸との関連を考える。	伊藤 聡	伊藤 聡
12	中世の神話叙述	中世には古代とは異なる、中世独特の神話が多数作られた。 それは記紀神話を基本にしながらも、中世社会に相応しく改 変されたもので、神仏習合的要素が色濃いのが特徴だった。 このような中世神話を具体的に解読しながら、中世人の宇宙 観・世界観を探る。	伊藤 聡	伊藤 聡

回	テ	_	₹	内容	講	ß	<b>万名</b>	講	<ul><li>担当師 名</li><li>・職名</li></ul>
13	中世の王	 在是	<b>思想</b>	中世における天皇の権威は、実質的な権力の逓減に反比例 するように上昇した側面がある。 それは特に神秘的性格を帯びたものであった。神国思想をは じめ、三種神器信仰、即位灌頂 等の天皇をめぐる宗教的言説を採り上げ、中世における王権 の意味を考える。	伊	秦	聡	伊藤	聡
14	神仏関係	 美の変	变容	中世の神仏関係は、近世になると儒教の導入などにより、 大きく変容する。その中で、儒教や国学、復古神道などから 排仏論が主張され、神仏習合に疑問が呈されるようになる。 その経緯を概観する。	末	木	文美士	末木	文美士
15	神国・仏藩制	国思	想と幕	神仏習合の中世に始まり、近世を通じて作られ続けた起請 文について説明し、その意味が実質的には変化していること の指摘を通じて、秀吉による全国統一が具体的には「惣無事」 体制への諸勢力(大名・町・郷村・宗教団体など)の統合で あったこと、つまり「秀吉の平和」の強制に他ならなかった ことを指摘した後、近世における平和(秩序)の意味につい て考える。	高	木	昭作	高木	昭作

## 比較文化研究( '05) = (TV) 一若者とジェンダー-

〔主 任 講 師: 宮本 みち子(放送大学教授)〕

#### 全体のねらい

若者の社会的地位や役割は、文化と社会経済構造の影響を受けて、歴史的にも国や民族によっても異なる。ポスト工業化社会では、青年期から成人期への移行が長期化し、若者が大人になるプロセスが大きく変貌しつつある。このような現象を、世界の複数の社会にまたがって比較文化の手法でみていくことによって、若者のあり方がどのような文化や社会経済条件の影響を受けているのかを検討する。また若者とその他の世代との関係についてもみていく。

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
1	比較文化として の若者	若者をなぜ扱うかその意味を整理し、講義の全体像を 示す。また、青年期・ポスト青年期・成人期という用語 の検討をする。	宮本みち子 (放送大学教 授)	宮本みち子 (放送大学教 授)
2	人類史のなかの 「若者」 1	人類史のなかで、地球上の諸社会における若者の位置付けに関する資料は限られている。しかし 19 世紀以降の世界の民族誌にみられる若者の位置付けを概観する。特定社会において、人間の一生の経緯として年令又は加齢による基準を重視する社会と年令以外の基準を重視する社会があること、同一社会でも諸状況の変容によりこれらの基準が変動することなどを説明する。	原 ひろ子 (城西国際大 学客員教授)	原 ひろ子 (城西国際大 学客員教授)
3	人類史のなかの 「若者」 2	現在、地球上の諸社会は、何らかのかたちで国民国家に組み込まれている。19世紀以降、20世紀中葉までの産業革命・「近代化」にともなう生業の変化,学校教育の普及、栄養状態・疾病の変化,日常生活の変化、平均寿命の延びなどが社会における若者の生活や位置付け、「一人前」の基準などに対してどのように影響したかを男女比較及びジェンダーの視点を含めて考える。	同上	同 上
4	イヌイトの 「若者」: 「伝統」 時代	カナダ北極圏に住むイヌイトの若者・青少年の生活を 通して、「伝統的」生活から「近代」への変化を、ジェ ンダーの視点を交えて考察する。	本多 俊和 (スチュアー トヘンリ) (放送大学 教授)	本多 俊和 (スチュアー トヘンリ) (放送大学 教授)
5	イヌイトの 「若者」:現状		同上	同上
6	インドの青年像 (1) 「青年」の誕 生	インドの諸コミュニティの通過儀礼や婚姻などに言及しながら、ジェンダーやカーストなどによって多様な「青年期」のあり方について考える。合わせて植民地期以降の変化にもふれる。	押川 文子 (国立民族学 博物館教授)	(国立民族学

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
7	インドの青年像 (2) 独立インド から経済自由化 の時代へ	学歴競争、就職事情、留学など国際移動、結婚などを 例に、現代インドの青年たちの日常の変化を同時代の視 点から考える。	押川 文子	押川 文子
8	現代社会におけ る若者(1)	戦後日本の工業化時代に、青年期がどのようにして形成され、「成人期への移行」のプロセスが定式化されたかを、ジェンダー、社会階層、地域性をふまえてみていく。	宮本みち子	宮本みち子
9	現代社会におけ る若者(2)	ポスト工業化時代に、若者の存在がどのように変化したのかを、ジェンダー、社会階層、地域性をふまえながら、欧米諸国と日本を比較しながらみていく。	同上	同 上
10	現代日本の若者 (1)	日本の若者を、高学歴化、少子・晩婚化、親への依存期 の長期化などの側面から検討し、その意味を考察する。	岩上 真珠 (聖心女子 大学教授)	岩上 真珠 (聖心女子大 学教授)
11	現代日本の若者 (2)	ニュー・エコノミーの進展に伴って、若者の労働分野で、二極化が起こっている。能力を発揮し、高給をとる若者がいる一方、フリーターと呼ばれる不安定な労働者が大量に出現している。その実態に焦点をあてながら、若者と仕事・労働市場の問題を検討し、夢見るフリーターに未来はあるかを考える。	山田 昌弘 (東京学芸 大学教授)	山田 昌弘 (東京学芸大 学教授)
12	現代イタリアの 若者	イタリアの若者の実態を、親子関係、結婚意識・行動 の変化に着目して紹介し、その社会的背景を検討すると ともに、若者のライフコースの変化が何を意味するのか 検討する。	岩上 真珠	岩上 真珠
13	若者研究の展開	社会変動が若者の成人期への移行に及ぼすインパクトと、若者の社会的地位の変化に関する研究動向を整理・検討し、これからの研究を展望する。	宮本みち子	宮本みち子
14	若者をめぐる 社会・文化的課題 (1)	雇用問題など、現代社会がかかえる若者の問題を総括し、それに対応する青年政策の潮流を、いくつかの国の事例と、EU,国連レベルの動向に焦点をあててみていく。	同上	同上
15	若者をめぐる 社会・文化的課題 (2)	14 回に続き、現代社会がかかえるその他の若者の問題を総括し、それに対応する青年政策の潮流を、いくつかの国の事例と、EU,国連レベルの動向に焦点をあててみていく。	同上	宮本みち子原 ひろ子

## 文化人類学研究( '05) = (TV)~先住民の世界~

[主任講師: 本多 俊和(スチュアート ヘンリ) (放 送 大 学 教 授)]

 [ 主 任 講 師: 大村 敬一
 (大阪大学大学院助教授) ]

 [ 主 任 講 師: 葛野 浩昭
 (聖心女子大学助教授) ]

#### 全体のねらい

今日、グローバリゼーションによる世界の画一化が進む一方、世界各地の民族やエスニック集団にみる文化的な多様性への関心が高まっている。こうした文化の多様性を正しく理解することによって、自民族至上主義(自民族中心主義)を克服し、真の意味での異文化理解にもとづいた共生的な国際関係の構築に貢献することが、文化人類学の重要な使命の一つである。この授業では、先住民に焦点を絞ってその歴史と現状を検討し、グローバリゼーションと文化的多様性の相克を共通のテーマとし、近代国民国家と先住民、国際法・憲法における先住民、言語政策と民族語保存運動、マス・メディアと先住民、先住民のアート、伝統的な知識と近代科学、「伝統」と「近代化」などを主題とした講義を通して、それぞれの分野の第一線で活躍している講師のフィールドワークを加味した授業で、文化多様性の理論と問題点を浮き彫りにする。

口	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
1	先住民とは何か	先住民という概念をさまざまな視点から検討する。先住 民族と少数民族、エスニック集団の違い、16 世紀にヨ ーロッパの歴史に登場した「野生人」としての先住民、 「野蛮」視されてきた先住民像の修正などの問題を包括 的にとり上げ、欧米を中心とした世界観を文化の多様性 の視点からとらえなおす。	(スチュア ート ヘン	本多 俊和 (スチュア ート ヘン リ)(放送大 学教授)
2	文化多様性への 扉: 人類学と先住 民研究	グローバリゼーションが進行し、様々な紛争が頻発する今日の世界で、人類学は文化相対主義を支柱に文化多様性の尊重を掲げ、異なる価値観に対する寛容の精神を育んできた。しかし、こうした文化相対主義には、価値観が異なる文化的他者と自己の間に壁を築いてしまう本質主義に陥るおそれもある。この授業では、こうした人類学の理論的問題が先住民研究の場で先鋭化することを示し、理念的に文化多様性を議論するだけでなく、フィールドワークという具体的な現実の場に密着して文化多様性を考えることの重要性を示す。	(大阪大学	
3	人類学的実践の 共同へ: フィール ドワーク と先住 民	本質主義批判、オリエンタリズム批判の向けられる 人類学であるが、そのフィールドワークは、あくま でも個別具体的な人々と私との対面的な関係とその 変化に基礎を置くものである。そして今日、先住民 の中には、それぞれ個別の想いや立場で自分たちの ことを調べ、学び、教え、表現するフィールドワー ク的営みを重ねている人々が少なくない。この授業 では、人類学者のフィールドワークと先住民自身の フィールドワーク的営為とを重ね共同して見つめる ことを通して、人類学的実践の持つ可能性について 考える。		

回	テーマ	内容	:		放送担当 講師名 (所属・職名)
4	民族文化として の 採 集 狩 猟 活 動:イヌイトの事 例から	採集狩猟を基盤とする生業活動は、農耕の対極に位けられることが多いが、極北地帯のイヌイトの生業を事例に、こうした二項対立的な解釈を吟味するこ通して、現代における「伝統」と「近代」についてる。	活動とを	本多 俊和 (スチュア ート ヘン リ)	本多 俊和 (スチュア ート ヘン リ)
5	民族文化として のトナカイ 飼 育:サーミの事 例から	1970年代、或る女性は「体が続く限り遊牧を続い」と語った。90年代、EU統合を前にして将の不安を抱えながらも、或る男性は中学生の息連れてトナカイの追い込みに出かけた。2003年子の生まれた一人の青年は「今はいろんな選択」あるけど、息子にもトナカイ飼育をして欲しい語る。この授業では3人の映像を通してサーミトナカイ飼育を紹介すると同時に、それがサー族文化の存続・発展の要であることについてもある。	来子、肢」人ミへを息がとの民	葛野 浩昭	葛野 浩昭
6	野生の科学と近 代科学:先住民 の知識	世界の先住民は、狩猟・漁労・採集や農耕、牧畜な 生業活動を通して、環境を持続的に利用するための 体系を築き上げてきた。この講義では、カナダ極北 イヌイトを事例に、伝統的な知識の可能性を問い ら、伝統的な生態学的知識が、グローバル化の原動 なってきた近代科学に対して提起する問題を考察す	知識の認が力と	大村 敬一	大村 敬一
7	ロシア極東地域 における先住民 企業の生き残り 戦略	ソ連崩壊と社会主義計画経済の破綻、資本主義化を したその後のロシア経済の混乱はシベリアや極東 といった辺境地域にすむ先住民の経済にも大きな を与えた。ここでは沿海地方のウデへという少数民 狩猟企業を例にとりながら、彼らの生き残り戦略を する。	地域 打撃 族の	佐々木史郎 (国立民族 学博物館教 授)	佐々木史郎 (国立民族 学博物館教 授)
8	先住民社会の変 化と女性	ヨーロッパの入植者との接触によっておおきな社 化を経験したオーストラリアの先住民社会では、社 諸側面で変化への対応が見られる。見過ごされがち 性たちも、この変化のなかにあり、柔軟な対応によ 社会に力を与えることにもなっている。ジェンダー 点から先住民社会の変化を考える。	会の な女 って	窪田 幸子 (広島大学 助教授)	窪田 幸子 (広島大学 助教授)
9	アフリカの焼畑 と混作:在来農法 の語られ方	アフリカの熱帯雨林地帯では、狩猟採集、混作・焼業など、自然との絶え間ない相互作用の中で、自然み出した多様性を生かす技法が発達している。国家業が森林を保護・活用すべき経済資源であると見なで、地域住民にとっての森との関係の全体像を考え	が生 (や企 ; す中	小松かおり (静岡大学 助教授)	小松かおり (静岡大学 助教授)

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
10	メディアと先住 民: 表象する側と される側	政府によるメディア政策。活字。 ての博物館、「民族」音楽などの ント社会のメディアに表象され を利用する先住民の自己表象を	の媒体を通して、ドミナルる先住民像とメディア	(スチュア	
11	民族文化から芸 術活動へ:文化 の創造的動態	先住民の間で高まりを見せている。この授業では、時に生活。 お動は、時に生活を支え、時にから、「大きななどのでは、一大ななを変えるための、」が、民族文化の復興運動では、一大は、大きなが、から芸術活動は、先住民からのまた、グローバリゼーションを媒介する声として、世界へは、では、大きないる。この授業ではイン活動を取り上げる。	にエスニック・アイデ 民族文化資源の利用で もある。そして、これ first-voice として、 と文化多様性の潮流と 向けて発せられ、響き	葛野 浩昭 大村 敬一	葛野 浩昭 大村 敬一
12	先住民運動:過 去、現在、未来	第二次世界大戦後におきた先住 戦後のアメリカ合衆国にはじま 点をもつ先住民運動が世界的に く。	った公民権運動に出発		本多俊和 (スチュア ート ヘン リ)
13	先住民族と憲法	先住民族の権利を国内において との適合性を考えなくてはなら 人権主体性が認められるか、特別 則に反しないか、憲法の明文にな な権利をどのように保障するか 本講では諸外国の事例も参照し	ない。民族という集団に 川な権利の保障は平等原 ないが民族にとって重要 など問題は少なくない。	常本 照樹 (北海道大 学大学院教 授)	
14	アイヌ語の現在と未来	現在世界的に問題となっている 語」について考えるために、その をとりあげ、特にアイヌ語を今 人々の動きを、アイヌ語教室やア 自主的に活動しているアイヌた し、国や道の政策との関係を見た おいてそういった運動の持つ意	ひとつとしてアイヌ語 継承しようとしている イヌ語弁論大会などで ちに焦点を当てて紹介 ながら、日本という国に	中川 裕 (千葉大学 教授)	中川 裕 (千葉大学 教授)
15	座談会 共同の学問、共 生の世界へ	以上の授業で提起された課題や がら、先住民の視点から文化的な 総括を行なう。			本多 俊和 ( ー ト へ ン リ ) 大村 敬 一 葛野 浩昭

## = 国際社会研究 I ( '05) = (TV) - 開発経済学 -

[主任講師: 髙木 保興(放送大学教授)]

#### 全体のねらい

先進諸国と比較して生活水準が低い途上国では、農業開発や工業化によって高度成長を達成し、先進諸国へ追いつくことを最優先課題に位置づけている国が多い。ところが、債務危機や通貨危機、あるいは、グローバリゼーションや国際テロと内外に問題が山積し、なかなか順調な発展を遂げることができない。この講義では、途上国が直面する主要な問題を取り上げ、経済発展のための対策を議論する。

回	テーマ	内容	講師	1 名	放 送 講 fi (所属・	6 名
1	開発経済学の課 題	開発経済学が分析対象とする途上国の「貧困」の考え 方や測り方を紹介すると同時に、この講義では主要 な力点をどこに置くか、講義全体はどのように構成 されているか、など、この講義の目的を明らかにし たい。	(放送	保興		保典
2	耕地の利用形態	定率(あるいは、刈分)小作の非効率性とは何か、天 候に左右される農業では、耕地の借地契約はどうな っているかなど、農業に不確実性と農民の働くイン センティブを導入して、耕地の利用形態を比較する。	同	Ŀ	同	上
3	農村共同体の相 互扶助	農村共同体に多く見られる相互扶助を保険として みると、どのような議論ができるだろうか。市場経 済化が共同体の紐帯を弱体化するなら、相互扶助に 代わる安全網は考えられるだろうか。	同	Ŀ	同	上
4	インフォーマル な農村金貨しと インターリンケ ージ	農村では、お金の貸借契約と労働雇用契約や農産物販売契約などが同時に締結されることが少なくない。なぜ、このようなインターリンケージ・ディールがなされるのだろうか。これによって貧しい農民は助けられているのだろうか。	同	Ŀ	同	上
5	マイクロ・ファ イナンス	農村に民間銀行が積極的に進出しないのはなぜか。100 ドル前後の少額貸付の返済率が9割を超えるのはどうしてか。マイクロファイナンスは農村の貧困削減に威力を発揮しているのだろうか。	同	Ŀ	同	上

回	テーマ	内容	講聞	5 名	放送 講師 (所属・	1 名
6	農産物価格と農 民の組織化	農産物価格は農民の生活水準に大きな影響を及ぼす。しかし、政府による介入政策は望ましい効果を 期待できない。農民がより有利な価格で農産物を販 売できるには、どのような試みが可能だろうか。	髙木	保興	髙木	保興
7	市場形成と工業 化	生活水準の向上は分業によって達成される。市場 経済化と分業はどのように関係しているのだろう か。分業と工業化は密接に結びつくのだろうか。	同	Ŀ	回	Ł
8	工業化が意味するもの	工業化とはどんな現象を指すのだろうか。工業化はどんな要因によって進展しているのだろうか。工業化を促進することは可能なのだろうか。	同	上	同	<u>+</u>
9	一極集中と環境 問題	途上国では、首都人口が異常に膨張している現象 が多く見られるが、なぜなのだろう。人口集中は大 気汚染や河川汚濁の主原因となりやすい。途上国の 国内環境問題には、いかに対処すればいいのか。	同	上	同	上
10	農業と工業の相 互連関	一般には、農業と工業の開発政策はそれぞれ個別に考えられる。しかし、両者は互いに密接に関連しあっているから、両者を同時に考慮に容れられるようなマクロ政策が望まれる。	同	Ŀ	同	Ŀ
11	世界経済の変容	第一次石油危機を契機として、世界経済は戦後の 高度成長から低成長への局面へと転換し、生産的投 資に使用されていた資金が株式や債券のようなスト ックに向かうようになって来た。国際的な資本移動 の開始である。それは、途上国にどのような環境を 提供しているのであろうか。	同	Ŀ	同	Ŀ
12	効率性重視の構 造調整	効率性を追求するにはどうすればいいだろうか。 政府という経済主体は効率追求に適しているか。市 場に任せば、総てうまくいくのか。経済の自由化政 策は効果を発揮できるのであろうか。	同	Ŀ	同	Ł

旦	テーマ	内容	講師	币 名	放 送 排 講 師 (所属・肝	名
13	資本移動と通貨 危機	通貨危機を引き起こす原因はどこにあるのか。なぜ、東アジアで通貨危機は発生したのだろうか。もう二度と深刻な通貨危機に直面することはないのだろうか。	高木	保興	髙木	保興
14	政府の役割(1) - 「大きな政府」 から「小さな政 府」へ-	してきたか。戦後の世界的成長期に当然と考えられ	同	Ŀ	同	上
15	政府の役割(2) ー制度とインセ ンティブ供与ー	『東アジアの奇跡』では「賢明な政府」と評価されたのに、10年も経たないうちに「無能な政府」と呼ばれるようになったのは、なぜか。これからの政府に期待される役割とは。	同	上	同	上

.

事務局 開設 科目 科目 履修 単位 平成 19 年度 大学院科目 8910316 有 2 記載欄 年度 区分 J~ド 制限 数

科目名 (メディア) = 国際社会研究 II ( 'O 7) = ( R )- 中国近代政治史 -

〔主任講師: 山田 辰雄(放送大学教授)〕

#### 講義概要

歴史なくして現代を語ることはできない。なぜなら、現代は過去の歴史構造に拘束されているからである。その反面、過去は現代のすべてを説明することもできない。なぜなら、現代は過去に経験しなかった新しい現象を生み出すからである。本講は、現代の中国政治を意識しつつ、20世紀前半の中国近代政治史を扱う。

#### 授業の目標

- ①各回の教科書に基づく講義は放送の半分とし、後の半分は各回の括弧内の問題について原資料を提示し、 学生とともに分析の過程、論理構成、学界の動向等について学ぶ。
- ②各回の課題は、政治学・政治史の問題として一般性をもたせる。
- ③全体の流れとして、近代中国政治史に集権・独裁と自由・民主との対比を鮮明にする。
- ④中華人民共和国の政治を常に意識しておく。

回	テーマ	内容	1 " ' '	放送担当 講 師 名 (所属·職名)
1	中国近代政治史 を学ぶために	学部での勉強の蓄積を踏まえて、大学院で中国近代政治史を学ぶために必要な問題を取り上げる。分析力・構成力の涵養、課題の選択、資料の収集、参考書、図書館・研究機関・本屋、語学、国際交流等の問題がそれである。(一つの論文ができるまで)。	山田 辰雄 (放送大学	
2	清末の政治	19世紀の中国の王朝体制は、内なる矛盾と外国の 圧力のなかで崩壊の危機に直面していた。この危機 をいかに克服するかをめぐって、洋務運動・変法運動・革命運動が生まれ、中国の近代化の潮流が形成 された。(改良と革命)。		同上
3	辛亥革命	1911 年辛亥革命が起こり、清朝が崩壊した。革命勃発の原因と過程、軍隊の役割、議会制民主主義の成立と崩壊、2つの憲法、袁世凱の台頭、革命の指導権などの問題を通して、辛亥革命の性格を論じる。(代行主義)。		同 上
4	袁世凱の政治	袁世凱は清朝の軍近代化の指導者であり、辛亥革命後政権を掌握した。彼は武力を基礎にして反対派を弾圧、議会制民主主義を破壊して、最後に帝制権立を試みた。従来革命に対する反動と捉えられてきた袁の政治を現代的観点から再考する。(袁世凱政治の評価について)。	同上	同 上

回	テーマ	内	容	講師	6 名	放 送 講 ・ 節属・	6 名
5	軍閥政治	1916年の袁世凱の死からよる北伐完成までは、軍閥混軍閥混戦の過程を通して軍閥代中国に軍閥が生まれたのか史的位置づけを論じる。(人	戦の時期と呼ばれる。 とは何か、どうして近 、軍閥の行動様式と歴	同	上	同	<u>+</u>
6	中華革命党から中国国民党へ	1919年の中華革命党から中国革命の変容でもあった。 として、軍閥の反乱、大衆運ンテルン・中共の働きかけ、 あった。(党・軍・大衆)。	この転換を促した要因 動の台頭、ソ連・コミ	同	Ł	同	上
7	中国共産党の成 立と国共合作へ の道	1921年の中国共産党の誕生を反映していた。その背後にシア革命、新文化運動と五四間もない中共は労働者・農民民党に接近していく。(中国	は第一次世界大戦、ロ 運動等があった。誕生 の組織を基礎にして国	山田	辰雄	田山	辰雄
8	国共合作の政治	1924-1927 年国共両党は、 共通の目標の下に統一戦線を ここでは、国共合作の展開と わせてその後の両党の発展を らかにする。(三民主義の解	形成した(国共合作)。 崩壊の過程を扱い、あ 示唆する政治路線を明	同	Ł	同	Ł
9	蔣介石の台頭と 訓政時期の諸問 題	国民党は、蔣介石の指導下に 年には北伐を完成してひとま 政権は、孫文の理論に則り訓 主主義)を開始したが、その 年に多くの問題を残した。( の政治参加)。	ず全国を統一した。新 政時期(指導された民 統一の不完全さ故に後	同	Ł	同	Ŀ
10	中国共産党のソ ヴィエト革命	1927 年国共分裂後、中共中た。この基盤は労農兵からなった。党中央は都市中心の革国民党の弾圧に破れ、農村を頭する。(李立三と毛沢東)。	るソヴィエト政権であ 命に重点を置いたが、 基礎とした毛沢東が台	同	Ŀ	同	Ł
11	安内攘外政策と 抗日民族統一戦 線政策	1931年の満州事変の勃発は 党と共産党の再接近をもたら する両党の対応、民衆の抗日、 西安事件などを通して両党の じる。(安内攘外論と抗日民	した。日本の侵略に対 、国際関係と国内建設、 対立と接近の過程を論	同	Ł	伺	Ŀ

回	テーマ	内容	講角	i 名	放 送 排 講 師 (所属・1	名
12	抗 日 戦 争	1937-45年の時期を扱う。日中戦争は日米開戦により、太平洋戦争に拡大していく。日本軍の侵略、国共両党の協力と対立、戦争をめぐる国際関係が分析の対象となる。国共両党はまたこの戦争を通して戦後の力関係の基礎を築いた。(毛沢東の権力確立過程)。	同	Ŀ	同	Ŀ
13	国 共 内 戦	1945年日本の敗戦とともに国共両党の対立は激化する。アメリカによる両党の調停も失敗に帰し、46年から内戦が勃発する。土地革命、知識人の動向、インフレ、国民党の腐敗と軍事的誤りが中共の勝利に貢献した。(中国革命における中間派について)。	同	上	同	<u>†</u>
14	日中関係の 160 年	今日、日中間に歴史問題をめぐる対立が絶えない。 中国近代政治史を踏まえ、日中両国民が相互に理解 しあえる枠組みを提起したい。時代区分、多様な側 面(相互依存、競存、敵対)、多国間関係の側面か らこの問題を論じる。(日本の基本的立場と新しい 枠組みを求めて)。	同	Ŀ	同	Ŀ
15	20 世紀中国政治 の連続性	その時々の現代中国の政治を取り上げ、歴史的観点から分析する。今回は、1989年の天安門事件を、20世紀中国政治の歴史的連続性の観点から分析する。(アィデンティティ、排他的支配、代行主義)。		Ŀ	同	上

事務局 開設 科目 科目 履修 単位 大学院科目 平成 19 年度 8910324 無 2 J--}\* 区分 記載欄 年度 制限 数

· 科目名 (メディア) = 国際政治 ( '07) = (TV)

[主任講師(現職名):藤原帰一(東京大学大学院教授)]

#### 講義概要

現代世界の国際関係を解説する。第一部(基礎)では国際政治の基本概念を説明する。第二部(外交)ではより焦点を絞って、外交とは何を目的にどのような手段を行使する政策領域であるのかを考察する。次に、第三部(体系)では国際政治の体系を、横並びの闘争(力の均衡)と縦の支配(帝国と覇権)、さらに横断的な協調の可能性(相互依存)から考察する。第四部(変容)と第五部(統合と紛争)では現代国際関係の特徴を議論する。

#### 授業の目標

現代国際政治に見られるさまざまな現象を、ごく基本的な問題に置き直して検討する。平和は兵隊が保つのか、非西欧諸国は主権国家といえるのか、戦争を制限する試みには意味はあるのかなど、素朴で、トゲのように刺さる問題から議論を起こし、歴史上の事例を踏まえて考えてゆく。ひとつの状況を異なる視点から考え、そのなかでとることのできる複数の選択を構想する能力を身につけることが、この授業の目的である。

			•	
	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
1	基礎1 戦争の体系とし ての国際政治	近代国際政治は国家を主体とし、その国家が戦争を 遂行することを当然の手段として認める体系であ る。どうしてそのような体系が生まれたのか、ヨー ロッパ中世末期の状況にさかのぼって、国際政治の 誕生を議論する。		
2	基礎2 国際秩序はどう 構想されてきた か	国家間の対抗が国際政治の常であるとしても、戦争 ばかりが続くわけではない。それでは、戦争がない 状態はなぜ生まれるのか、またそれはどのような条 件によって支えられるのか。思想家たちの構想にさ かのぼって、国際秩序の類型を整理する。		藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)
3	基礎2 誰が国際政治の 主体なのか	国際政治は国家を主体とする体系である、といわれる。だが、それにはどんな意味があるのか。国家と市民を主体とする国際政治概念の相克を論じる。	藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)	藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
4	外交 1 国益とはなにか	外交の目的は権力を行使することで自国の国益を最大にすることである。それでは、何が権力として有効に働くのか、また国益とはなにか。それが今回の課題である。	(東京大学	
5	外交 2 外交政策の類型	外交政策にはさまざまな手段と領域がある。そして、 数多い手段のうち、どれを選べばもっともその状況 に適切な対応となるのか、その判断が外交政策の当 否を決めることになる。外交政策の多様な類型につ いて考察する。	(東京大学 大 学 院 教	(東京大学
6	外交3 外交政策はなぜ 誤るのか	さまざまな国際問題、特に危機管理に関わる領域では、昔から実に数多くの判断の誤りが繰り返されてきた。なぜ、外交政策は間違えるのか。外交政策の決定を扱うこの回では、その一点に絞って考えてみたい。	(東京大学 大 学 院 教	
7	体系 1 力の均衡とはな にか	国際政治のなかでももっとも基本的な概念が力の均衡であり、現実主義者にとってはほとんど唯一の秩序の観念である。この力の均衡の意味を、それを体現した制度とされるウィーン体制の検討を通して考える。	(東京大学	
8	体系 2 帝国の系譜	大国による他の地域の支配は、ローマ帝国の昔から 植民地帝国など数多く行われてきたが、このような 「帝国」を概念として明確に捉える試みは、こと国 際政治学のなかでは少なかった。この限界を捉えて、 帝国の系譜を考察したい。	藤原帰一 (東京大学 大学院教 授)	藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)
9	体系3 相互依存は国際 政治を変えるか	貿易が拡大すれば戦争は引き合わなくなるのではないか。これは、アダム・スミスの昔からリベラリズムを支えた観念のひとつである。だが、ほんとうにそういえるのか。相互依存の進展と国際政治の変容を検討する。	,	藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)
10	変容1 国際関係はどの ように拡大した か	現代の国連には実に数多くの諸国が含まれており、 しかもその多くは非西欧地域に属している。だが、 非西欧諸国が国際秩序を形成し、担う存在であると はとてもいえない。それでは、国際関係の地理的拡 大とは、いったい何だったのか、考えてみたい。	藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)	(東京大学

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
11	変容 2 国内政治と国際 関係	近代国際政治の始まりにおいて国内世論の果たす役割はなかった。それがいま、民主化の進展とともに、国内の世論が外交政策を左右することも珍しくなくなり、それが逆に外交における伝統的合理性を脅かしている。内政と外交の相克を検討する。	(東京大学 大 学 院 教	藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)
12	変容 3 戦争とその変化	冷戦期の戦争とは、核抑止体制のもとで、核戦争に つながる可能性の少ない紛争を大国が熾烈に戦うと いうものだった。その冷戦も終り、大国の国際政治 と地域紛争とのつながりは切れている。そのなかで 生まれた戦争のかたち、新しい戦争について考える。	藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)	藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)
13	統合と紛争1 EUはなぜ生ま れたのか	長く敵国であったドイツとフランスが同じEUのもとで協力するという変化ほどヨーロッパ統合の成果を示すものはない。それではなぜEUは成立したのか。また、地域統合はヨーロッパに限られた現象なのか。地域統合の過程と条件を考える。	藤原帰一 (東京大学 大学院教 授)	藤原帰一(東京大学大学院教授)
14	統合と紛争2貿 易紛争の政治学	現代国際政治の特徴は、経済分野の争点が、戦争と 平和という伝統的課題と並び、時にはそれ以上に重 要となった点に求められる。通貨体制と貿易体制に ついて、統合の進展と、その生み出した新たな紛争 について解説を加えたい。	藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)	藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)
15	統合と紛争3国 際政治の制度化	予算を見ても、人員を見ても、国連は世界政府と呼べるようなものではない。だが、国連のような公式の組織ばかりでなく、非公式の協議や機構を見れば、 国際関係における制度形成はやはり進んできた。制度化の条件を探ってみたい。	藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)	藤 原 帰 一 (東京大学 大 学 院 教 授)

[ 主 任 講 師 (現職名) : 柏倉 康夫 (放送大学副学長) ] [ 主 任 講 師 (現職名) : 植田 隆子 (国際基督教大学教授)] [ 主 任 講 師 (現職名) : 小川 英治 (一橋大学大学院教授)]

#### 全体のねらい

EU 論では、欧州統合について、その歴史から現状の分析、さらには今後のゆくえについて、政治学、経済学、法学、国際関係論、社会学、文化論等のアプローチを通じて、様々な角度から多面的に考察することをねらいとしている。そして、EU における統合のプロセスやメカニズムそして統合がもたらす諸効果そして EU が抱える今後の課題を理解することができる。

田	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
1	ヨーロッパ統合の歴史	本講義では、欧当本では、欧当イマののとのでは、欧当イのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	れたいなどからないでは、これたいが、大きなでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	(東京外国	渡 邊 啓 貴 (東京外国語大学教授)
22	機構と政策決定の仕組み	EUという言葉と同様に EC EUと ECは同じなのか、どの EU の政策の中には、EU がいり、構成国を引っ張が進めるのか、でなって政策があるのが異なって政策があるのが、 EU は単なるではなく、EU 内には 意思決定を行い、同時に 履行 EU の政策はどのように決定にはどのようなものか。 EU の政策はどのようなものか。 EU の以降に講義される具体的なを説明する。	ような関係にあるのか。な関係に定機協力。を関係に定機協力。を関係を定義ののとのとのとのとのでは、というのでは、というのでは、というのでは、というのでは、というのでは、というのでは、というのでは、というのでは、というでは、というでは、というのでは、はいうのでは、はいうのでは、はいうのでは、はいうのでは、はいうのでは、はいいいうのでは、はいいいうでは、はいいいうでは、はいいいいいは、はいいいいいいいいいは、はいいいいいいは、はいいいいいいいは、はいいいいいは、はいいいいは、はいいいいは、はいいいいは、はいいいいは、はいいいいは、はいいいいは、はいいいは、はいいいいは、はいいいいは、はいいいは、はいいいいは、はいいいいは、はいいいは、はいいいは、はいいいは、はいいいは、はいいは、はいいいは、はいは、はいはいは、はいはいはいは、はい	中西優美子 (専修大学 助教授)	中西優美子 (専修大学 助教授)

田	テーマ	内容		放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
3	EUの法制度	EUは「法の共同体」と言われるように、EUは構成 国が合意した条約に基づいて行動する。構成国がこれまで合意した条約にはどのようなものがあるのか を説明する。また、EUの機関は条約に基づいて立法 を制定したり、決定を行ったりする。EU立法には、 どんなものがあり、どのような特徴をもっているの かを説明する。また、EUは、国際組織ならびにアメ リカや日本などの第三国とも交渉を行ったり、国際 条約締結したりする。ここでは、立法手続や条約締結 結手続について取扱う。さらに、EUの基本原則(権 限付与の原則、補完性原則および比例原則)、構成 国と EU との関係を説明し、EU 法に対する理解を深 める。	(専修大学 助教授)	中西優美子 (専修大学 助教授)
4	EUの司法制度	EUの司法制度は、EUの立法制度と深く結びついている。EUの機関が立法を制定する際に、条約に定められた手続が遵守されたか、EUは立法する権限をもっていたか。そのような審査をする手続、すなわち、EU立法が EU 法に違反して制定された場合、そのEU立法を取消す、欧州司法裁判所による取消訴訟が存在する。EUの機関が立法を制定すると、構成国にひ立法を執行する義務を負う。その履行が確保されているか否かを審査する手続、構成国に対する条約違反手続がある。判決に従わない場合に対する条約違反手続がある。判決に従わない場合に対する条約違に関連する事項に関して判決を下すにあたれて、EU 法の解釈の方法が分からない場合、国内裁判所に先決裁定を求めることができる。EU が国際協定を締結するにあたって、その協定が欧州司法裁判所に先決裁定を求めることができる。EU 法と合致するか否かを事前に明らかにするために、EU の機関および構成国は欧州司法裁判所に意見を求めることができる。	(専修大学) 助教授)	中西優美子 (専修大学 助教授)
5	経済統合への道、統合にかかわる政策	l	(一橋大学大学院教授)	小川 英治 (一橋大学 大学院教授)

回	テーマ	内	容	講 師 名	放送担当 講 師 名 (所属·職名)
6	通貨統合	マーストリート条約に出ている。 ドリースを経済のでは、1999年1月にといる。 には、1999年1月に関係を経済のでは、1999年1月に関係を発力ででは、 では、1999年1月に関係を発生のでは、 では、1999年1月に関係を発生のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ド収り面では が通り流のの下州盟制同た、ま の関うなのの下州盟制同た、ま の関うなのの下州盟制同た、 の関うなのの下州盟制同た、 ののでする が通り流のの下州盟制同た、 ののでする。 ののでする ののでする ののでする ののでする ののでする ののでする ののでする ののでする ののでする。	小川 英 治 (一橋大学 大学院教授)	
7	経済・通貨統合の現実	1992年に完成した市場・大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	そしたが・の大きな、はないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	小川 英治 (一橋大学 大学院教授)	
8	EU の国境管理 〜移民とイスラ ーム〜	EU 統合により、内部国境がったが、シェンゲン空間の属する国際では、ビザ発行や難民審査を関連をいう点では、「東」を関連をいう点では、拡大したの間に新国境と民族の分ができた。こうした国境管理の前ろと、既に対した国」だが、既に定住外国とな新移民に対して警戒的ない。こうは、対して管戒的ない。こうは、対して管理の前のでは、対して管理の対象に対して管理の対象に対して管理の対象に対して管理の対象に対して管理の対象に対して管理の対象に対して管理の対象に対して管理の対象に対して管理の対象に対して管理の対象に対して管理がある。	の参加/不参加により、 か多加/不参加により、 か国境で理を残す国に分 ・移民して関境の管理 はないでは、 はないででである。 を通りないでである。 はないでである。 にはいるでである。 にはいるでは、 にないでは、 にないがいる。 にないが、とない。 にないる。 にない。 にないる。 にない	梶 田 孝 道 (一橋大学 大学院教授)	梶 田 孝 道 (一橋大学 大学院教授)

旦	デ	- 7	内容		執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
			助」のもとに管理はなされている。巨大な共同成立され、国境は外囲国境のみとなったことか管理の内実が変化し、国境管理から現場での省と重点移行が見られ、この問題はアイデンティ・カードによる管理の問題ともリンクする。で非正規移民の流入とスマグリングの増加、他テロ対策の必要が生じ、各国の内務省や警察のが進んでおり、市民社会の状況と対照的である	ら理ィー方連 大力で携		
9		言語の多様 言語政策	EU は 2004 年 5 月、25 か国体制となり、域内用語は全部で 20 か国語となった。フランス・クーブルでは、「多言語文化はチャンスかハンデャップか」と題したシンポジウムが開催されたに、多様な言語をEUの文化的資産とするためまざまな企てが行われている。欧州議会での自使用の保障、EU 委員会での翻訳作業の実態、場すべての人々に複数の言語を習得する機会を携るエラスムス計画の実践など、域内の多言語のと相互理解と連帯の促進につとめる EU の言語の意義を考察する。	が、この目或是の ノキうさ語のす態	柏 倉 康 夫 (放送大学 副学長)	柏 倉 康 夫 (放送大学 副学長)
10	EU の ティテ	アイデン	戦間期に始まる欧州統合の運動では、戦争防止もに、市民の自由を守るために民主主義を堅持という指導理念が息づいていた。これは戦EC(EU)の誕生とその後の拡大にも引き継がれEUのアイデンティティーとなってきた。域内にては単一市場を形成する過程で、互いの価値観重する「相互承認の原則」として根付き、EUは原則を域外に対して経済のもならず政治的にもしようとしている。イラク戦争で見られたアメとEUの意見の相違の根底は、こうした考え方違がある。この回では EU のアイデンティティ成を歴史的に展望する。	寺後 て 見よっく するの 、 つ尊の 応力相	柏 倉 康 夫 (放送大学 副学長)	柏 倉 康 夫 (放送大学 副学長)
11	EU の	拡大	第一次から第五次までの拡大の系譜を歴史的にし、その特色と意義を検討する。とくに、欧州西対立が終結した後の軍事的非同盟諸国(スウデン、フィンランド、オーストリア)への第四大、および、2004年5月の旧共産党一党独裁諸よびマルタ、キプロスへの拡大を中心に解説すさらに、バルカン諸国への拡大過程、トルコと盟交渉についても検討する。	州で東 ウェー拡 四次拡 者国お	植田隆子(国際基督教大学教授)	植田隆子(国際基督教大学教授)
12	EU の	対外関係	EUの共通外交安全保障政策(CFSP)が導入さに至った歴史(その前身の欧州政治協力につい説明する)と、その概念、およびそれを支えるの組織・政策形成の仕組みについて検討する。に、CFSPの枠より広い、EUの対外関係に関し、度の高い、拡大EUが隣接する国々に対する政対米関係、対ロシア関係や国連、欧州安全保障機構(OSCE)などに対する政策についても解説	v E U S 要、力 もU S 要、力	植田隆子(国際基督教大学教授)	植田隆子(国際基督教大学教授)

回	テーマ	内 容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
13	EU の安全保障 政策	CFSP の「道具」と言われる、欧州安全保障防衛政策 (ESDP) について、その概念とそれを支える EU の機関 (政治安全保障委員会、軍事委員会、軍事幕僚部、防衛庁、衛星センターなど) および、具体的なケース (作戦行動の実際) について検討する。 EU の安全保障政策は EU の多くの加盟国が属している北大西洋条約機構 (NATO) との緊張・協力関係の中で形成されてきたので、大西洋同盟との関係についても解説する。	(国際基督 教大学教授)	植田隆子(国際基督教大学教授)
14	EU の科学技術 政策	欧州における科学技術の 大きく、といまで、 大きないが、 大きないで、 大きないで、 大きないで、 大きないで、 大きないで、 大きないで、 大きないで、 大きないが、 大きないで、 大きないで、 大きないで、 大きないで、 大きないで、 大きないで、 大きないで、 大きないがが、 大きないがが、 大きないがが、 大きないがが、 大きないがが、 大きないがが、 大きないががが、 大きないがが、 大きないがが、 大きないがが、 大きないがが、	(国際基督教大学教授)	北原和 失 (国際基督) 教人学教授)
15	日本と EU の関 係	第2次大戦以後の日本と欧州の関係は大きな変遷をたどった。まず、冷戦期においては、日欧関係の並存 治的に良好な関係と経済的に厳しい摩擦関係の並存 状態が長く続いたが、その典型的な例を上げ、このような関係の存続した背景を検証する。次いで、冷戦の終了後、特に1995年頃より日欧関係は全般的に良好な「協力の時代」となってきたが、何故そのような変化が起きたのか、日欧双方における状況を検証し、その上に立って将来的展望を探る。さら欧州統合の前進が米欧関係に及ぼしている影響を概観し、日米欧関の関係にいかなる意味を持つのとと概観し、日米欧間の関係にいかなる意味を持つのとと概観し、アジアの地域統合の動きにつき、欧州統合の歴史とアジアの現状を比較しつつ、欧州統合が示すアジアへの教訓探り、日本の進むべき方向を探求する。	(国際基督 教大学客員	木 村 崇 之 (国際基督 教授)

## = 数理システム科学('05)=(R)

[主任講師:熊原啓作(放送大学教授)] [主任講師:砂田利一(明治大学教授)]

#### 全体のねらい

現代科学はコンピュータの発達とともに、多くのものが数量化され処理される。数量化されたデータに対して数学モデルがたてられ、数学的手法によって数学的構造が調べられ、その結果がフィードバックされる。このような方法で研究され理解される学問を数理科学と呼んでいる。この講義ではその数学的手法となる代表的な数学を、できるだけ具体例に即して解説する。

回	テーマ	内 容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
	現代数理科学の概 要と特徴	現代数理科学の概要と数学モデルの意味、関連する現代数学 の概観、種々の数学的手法とその特徴について解説する。放 送では担当講師それぞれが各システムへの導入も述べる。		熊原 啓作 (放送大教 授)
			砂田 利一 (明治大学教授)	砂田 利一 (明治大学教 授)
1				浦川 肇(東 北大学大学院 教授)
				志賀 徳造 (東京工業大 学大学院教 授)
2	線形 システム 1 線形性,線形写像	線形代数学で扱う線形変換は、比例関係の一般化であるが、 さらに無限次元関数空間に一般化すれば、積分変換が自然に 現れる。応用上も重要な変換の多くは積分変換である。また 連立 1 次方程式を一般化したものが積分方程式である。この 概説を与える。	熊原 啓作	熊原 啓作
3	線形 システム 2 積分変換と固有関 数展開	関数空間の内積とノルムを解説し、対称核を持つ積分作用素を導入する。実対称行列は直交行列で対角化できる。その一般化として、対称核をもつ積分変換に対するヒルベルト・シュミットの固有関数展開を述べる。	熊原 啓作	態原 啓作
4	線形システム3 微分方程式の境界 値問題と固有値問 題	自己随伴型の2階の線形常微分方程式の境界値問題を積分方程式に変換して、その解をグリーン関数を用いて表示する。またヒルベルト・シュミットの展開定理を用いて微分作用素の固有関数展開を求める。さらに工学で扱われる線形システムを解説する。		熊原 啓作

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
5	連続システム 1 膜の振動問題	物理的な問題の定式化を述べて、太鼓の音の問題がディリクレ (ノイマン) 固有値問題に帰着されるまでを述べる。	浦川 肇 (東北大学大 学院教授)	1007.7
6	連続システム2 境界値固有値問題	ディリクレ (ノイマン) 固有値問題の固有値がレーリー商に よって特徴付けられること、および固有値の漸近的な性質を 述べる。ディリクレ (ノイマン) 固有値問題の固有値は、ク ーラントらによって創始された「有限要素法」により計算機 で計算される。		浦川 隆
7	連続システム3 有限要素法	有限要素法の数学的基礎を学ぶ。	浦川 肇	浦川 肇
8	連続 システム 4 等スペクトル問題	有名な「カッツの問題の解答」、すなわち、同じ音を出すが、 しかし形の異なる太鼓の例が「折り紙」によって作られるこ と、そしてどうしてそれらの太鼓が同じ音を出すのか、その からくりを解き明かす。	浦川 肇	浦川 肇
9	離 散 シス テ ム 1 コミュニケーショ ン・ネットワークと グラフ	数理科学の多くの分野に、離散的モデルとしてのグラフが登場する。その1つの例としてコミュニケーション・ネットワークを取り上げ、効率性と経済性を兼ね備えたネットワークのモデルを、グラフの言葉で表現する。グラフの基礎概念と、その歴史的背景を解説する。	砂田 利一	砂田 利一
10	離散システム2 効率的ネットワー クと離散的ラプラ シアン	ネットワーク理論における「拡大定数」の概念を導入し、この定数が大きいグラフが効率的ネットワークのモデルであることを見る。さらに「拡大定数」を、幾何学的量である「チーガー定数」と比較し、さらにこれを計算量が少ない量と比較するため、「離散的ラプラシアン」の概念を導入する。		砂田 利一
11	離 散 システ ム 3 固有値とチーガー 定数	「チーガー定数」と離散的ラプラシアンの「最小正固有値」とを比較する。多様体上のラプラシアンに対する固有値問題の類似として、「チーガーの不等式」を確立し、「最小正固有値」の大きいグラフが、効率的グラフを与えることを示す。 最後に純粋に理論的問題とネットワーク理論との関わりについて解説する。	砂田利一	砂田 利一

回	テーマ	内容		執 筆 担 講 師 (所属・暗	名	講	節 名
12	確 率 システム 1 確率の基本概念と 確率モデル	ランダムな現象を記述する確率モデルの基本概念で象、確率変数、分布、独立性について説明し、大数の中心極限定理などの確率論の基本原理を解説する。さ体的な確率モデルの例をいくつか取り上げる。特にn*ムや最適戦略の問題から実生活にも有益な示唆が得らあろう。	法則、 らに具 'n ゲー	志賀 ( (東京工 学大学) 授)		志賀	徳造
13	確率システム2 人口論の確率モデ ル	人口動態を推定するための基本的なモデルとしてゴルワトソンモデル (GW モデル)を取り上げる。この GV ルの解析には母関数の方法が有用で、確率1で絶滅がか否かの判定の問題、絶滅時間の期待値やモーメントの絶滅しないという条件のもとでの人口の振る舞いなど数を用いて解析できることを学ぶ。	W モデ 起こる D計算、	志賀 徳	告	志賀	徳造
14	確 率 シ ス テ ム 3 ランダムウォーク	グラフなどの離散的空間上のランダムな歩み(ランダーク)は最も基本的な確率モデルで応用も広い。このに対し再帰性(出発点に必ず戻れるか?)の判定、そ連してnステップ推移確率の極限的振る舞いを調べる際、nステップ推移確率の積分表現および積分に関す解析が有効に用いられる。	モデル れに関 。その	志賀 徳	告	志賀	徳造
15	確率 システム 4 相互作用のある確 率モデル	多くの成分が互いに影響し合いながらランダムに変化率モデルは統計物理、集団遺伝学等と関連しながら近速に発展してきた分野であるんその中の基本的なモデて、投票者モデルを取り上げる。主たる問題は社会にンサスが成り立つか否かを判定する問題であるが、そンダムウォーカー達の出会い確率を求める問題に帰る。	年、急 ルとし コンセ れはラ	志賀徳	告	志賀	徳造

1

### = 情報システム科学 ( '06) = (R)

[ 主 任 講 師 (現職名) : 長岡 亮介 (放送大学教授) ] [ 主 任 講 師 (現職名) : 平尾 淳一 (大東文化大学教授)]

#### 全体のねらい

情報科学は、技術的な応用という実用性の観点からも、文化全体への影響力の大きさという社会的な観点からも、もっとも注目される科学の領域であることは疑いない。しかし、他方で、情報技術のあまりに急激な発展と普及、爆発的な知識の蓄積と拡大は、技術の開発者と技術の利用者の間の溝の拡大として結果し、結果として大量に生産される技術の大衆消費的な状況を産みつつあるといっても良い。これは、科学的な知識の継承と発展という視点から見ても、危機的なことである。

本講義は、通常、情報科学とよばれる分野に属する数多くの話題の中からいくつかを選び、それらについて、科学、技術、歴史、社会の複眼的視点から眺望を試み、現代情報化社会の抱える諸問題を考えるための科学的な最小限の基礎知識を講じようとするものである。

技術的な話題も必要最小限に登場するが、情報技術についての知識や経験は教材を理解する上で必須でないが、受講生の経験、知識に応じた自発的な研究学習が期待される。

回	テ	<u> </u>	マ	内	容	講師	名	放送講師	1 名
1	情報 (1)	化の	歷史	はじめに講義全体の趣旨を 今日の情報化社会が誕生す た情報化の歴史(PC以前 意味を反省的に捉え返す。 照されるソフトウエアの入 講義を理解するに際して必 注意点を述べる。	るまでに人類が辿ってき きで)を概観し情報処理の 合わせて、講義の中で参 手方法をはじめ、後半の	(放送	亮介 长大学	*	亮介 送大学
2	情報 (2)	化の	歴史	PC の普及からインターネ るまで情報化の急激な展開	7.0.7	長岡	亮介	長岡	亮介
3	情報(		学的基	情報の基礎にある符号化を いて概観し、機械が「計算 「情報伝達」することの意	〕したり「思考」したり	1	文化	平尾 (大) 大学都	東文化
4	情報の		学的基	画像と音声といった mult 心に、情報の取得・表現・ おける数学的背景を解説す	伝達といったプロセスに	平尾	淳一	平尾	淳一

回	テーマ	内容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属・職名)
5.	情報管理、ファイル管理	ディレクトリなどファイルシステムの基本につい述べる。また、テキストファイルとバイナリファル、実行ファイル (プログラム) とデータファイルの違い、いわゆるファイル名、拡張子、OS につい述べる。	<b>イ</b> レ	平尾 淳一
6	テキスト処理の 基礎(1)	情報の作成と管理は、情報処理の根幹である。とわけ文書情報は、人間の知的な活動の中心にあるいって良い。コンピュータを活用した文書管理にいて数回をかけて論ずる。テキスト処理言語として高性能なエディタを紹介する。	<u>-</u>	長岡 亮介
7	テキスト処理の 基礎 (2)	Perl を中心に、本格的で応用範囲の広いテキストを理言語を紹介する。	心 長岡 亮介	長岡 亮介
8	論理的な文書作 成	Web の言語である HTML で一気に普及したマーデップランゲージのもっとも典型的かつ規範的か実用的な LaTeX の基本的な特徴である論理的な文作成術を概説する。	>	長岡亮介
9	テキスト処理言 語と LaTeX	表計算ソフトなどで作られた基礎データをもとに、 LaTeX で処理できるデータを作る基本的な手法を 介する。		長岡 亮介
10	ウェブのマーク アップ	ウェブのマークアップ言語である HTML の考え方 およびそれを補完ないし拡張する技術を紹介する。	、 平尾 淳一	平尾 淳一
11	マルチメディア と XML	簡単な画像処理および画像や音声を含むデータの表現・構成のためのマークアップを紹介する。	<b>支</b> 平尾 淳一	平尾 淳一

回	テーマ	内	容	講師	担 当 币 名 ·職名)	許良	币名
12	インターネット による情報発信	インターネットを支える基本を解説する。	×技術とサーバの仕組み	平尾	淳一	平尾	淳一
13	ソフトウエアの 開発を巡って	プログラミング(ソフトウコ 体的な姿を紹介する。	-アとしての実装)の具	長岡	亮介	長岡	亮介
14	ICT 社会と知の 変容	インターネットの歴史的な意 ウエアの運動がもたらした失 る。		長岡	亮介	長岡	亮介
15	インターネット 時代の諸問題	セキュリティをはじめ、イン 深刻な諸問題について考える		長岡平尾	<b>亮</b> 介 淳一	長岡平尾	淳一

事務局 開設 科目 科目 履修 単位 大学院科目 平成 19 年度 8920230 2 記載欄 年度 区分 制限 コート" 数

科B名 (メディア) = 複雑システム科学 ( '07) = (TV)

[ 主 任 講 師 (現職名):生井澤 寛 (放送大学教授)]

#### 講義概要

自然科学、特に物理学は、自然の理解にあたって、構成要素や基本的・普遍的な原理の追究を、ときには理想化や単純化をしながら行ってきた。こうして我々は、通常見る物質が、原子・分子から成り、それらが、電子、陽子、中性子などの素粒子から成り、素粒子はさらに・・・と言うように階層性を持つ構成要素とそれらの相互作用を発見し、ミクロな世界だけでなく、宇宙の生成に至るまでの自然の様々な様相の理解にかなりの成功を収めたし、いまでも同様のやり方で探求を続けている。

では、例えば空気が主に窒素、酸素と水の分子からなることを知って、台風がどうして、どこに、いつ発生し、どういう運動をするかを理解できるだろうか。これは決して易しい問題ではない。まず問題を難しくするのは、分子の数が膨大であることによる複雑さのほかに、海流、海水から太陽熱を吸収して蒸発する水蒸気と上昇気流、雲の生成消滅等、熱平衡にない(非平衡)状態、エネルギーや物質の出入りがある状況(開放系という)、さらに無数の雲の渦の生成消滅と非線形な相互作用が絡むからである。非線形な作用があれば、要素の数が少なくても、運動には本質的な複雑さが生ずるし、加えて、開放系で非平衡状態であるために、複雑さは増す。にもかかわらず、いつか無数の渦の中のどれかが成長して台風という形(形態形成)を取り、一つの存在として発達しながら(自己発展・自己組織化)動き始める。

実は良く見れば、我々が日常見るほとんどのもの(生命・生物と進化、乱れた水の流れ、気象など)が、この様な複雑システムであり、ものの変化や秩序の形成は非平衡性、非線形性によって動かされている。これらの様相を、「木(構成要素)もみながら森(全体)も見る」と言う見方で探求し、自然や社会現象、経済活動などを理解する手がかりを得ようと言うのがこの科目のねらいである。

#### 授業の目標

複雑システムの示す複雑さの要因とそれから生まれる多様な可能性を理解することによって、自然現象を総合的に探求する姿勢を養う。

□	テ	 マ	内容	講	餌	名	放講所	師	名
1	複雑ま	可から	マクロな系は、分子数が多すぎてとても個々の分子の運動まで追跡できない典型的な複雑シストを導入し、体積にとエントロな変数のでと、不のでと、不のである。しかし、私では、平衡状態のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	,	井澤	- 寛	生井	澤	寛

田	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
2	複雑さから何が 生まれるか	前講で見た複雑さを産むものから、さが出現するかを見よう。非線形代表はカオスである。ここではまで線形電気回路で最初に発見されたカオスの性質・可能性について考えオスにも見られる自己相似性がも大性とスケール不変性、臨界現象にでよれらの性質が、経済現象にどうでながるかを専門家にインタヴィニう。	生による複雑さの非 が、上田紹介し、カ さる。そしてタル さらすて見て行うれ でいて、どう予測に	生井澤 寛	生井澤 寛
3	準結晶:複雑さ の中の美しさ	19世紀以来の古典結晶学では、原べる方法は原子を周期的に並べて終けであると信じられてきた。しかしの常識を覆す準周期タイリングを持結の発見があった。準周期性、身称性、自己相似性、高次元結晶学がする複雑構造である準結晶の秘密を	吉晶にすることだ 、1980 年代に こ モチーフとする準 ド結晶学的回転対 など、原子が構成	堂寺 知成	堂寺 知成
4	複雑分子:秩序 構造の建築家	ソフトマター、複雑流体(界面活性 ブロック共重合体)の領域では、複 組織化(ボトムアップ)的にメソス 造 を作ることが知られている。分 新しい多様な秩序という観点で従 し、複雑性と多様性の意味を議論で 性を増す ように分子をデザインす メデス・タイリング、ケルビン多可 生成される。	複雑な分子が自己 スケールの秩序構 子の複雑さが作る 主来の研究を概観 ける。さらに複雑 けることでアルキ	堂寺 知成	堂寺 知成
5	共連続相:ミク ロ世界のラビリ ンス	さまざまな物質、生命系では 2 種具に入り組んだ共連続相とよばれる相りわけソフトマター系では数学的にとよばれる種々の周期的な共連続相する。幾何、物理、化学、生物、ご発展してきた共連続相の研究を概範ションで 構造形成を観察する。	構造が現れる。と こ周期的極小曲面 構造が自己組織化 L学の境界領域で	堂寺 知成	堂寺 知成
6	ダーウィン進化 機構	ランダム突然変異と自然淘汰に基で 化機構は、ラマルク進化機構と異な セントラルドグマや物理化学と整合 はまた、生物進化のみならず、一般 最適化問題・学習問題の解法でもあ	より、分子生物学 合性がある。それ 段的な複雑な系の	伏見 譲	伏見 譲
7	分子を進化させ る I	ダーウィン進化機構を試験管の中の適用すると、ランダムな塩基配列の発しても、高機能な分子が速やからこれは情報の物理的起源と言うべきた、物質の自己組織化現象の極致との起源に関する、RNA ワールド仮記である。	の分子集団から出 こ進化してくる。 きものである。ま こもいうべき生命	伏見 譲	伏見 譲

回	テーマ	ď	容	講師	6 名	放送 講 師 (所属・	百名
8	分子を進化させ る II	ダーウィン進化機構を試験で うとすると、遺伝子型/表現 決する必要がある。この対象 は1分子の進化に対しては く、生命の起源においてウィ 示唆を与えている。	見型対応付けの問題を解 芯付けのウイルス的戦略 細胞型戦略より効率が良	伏見	譲	伏見	譲
9	粉体とは何だろ うか:砂は流れ るか	砂の様に巨視的な大きさを打 ルギー散逸が重要な物体を制 砂やガラスビーズの振る舞り 崩、地震までも含めて紹介 探る。	粉体と言う。実験室での ハから、砂丘の運動、雪	早川	尚男	早川	尚男
10	粉 体 の 振 る 舞 い:経験則とし て何が知られて いるか	粉体の特徴や統計則を幾つだけの衝突で散逸を表現する。でであるとは異なり、依存する。また、粉体を積が出る時には普通の流体ではり速度が比例するのに対しての2乗に比例する(バグノーした状態でも一様状態ははいくという現象やその法則な	はねかえり係数は、高校、衝突速度や角度に強くみ上げると力は一様に伝が伝わる。また粉体がある。また粉体がとがなりないとがないとがないといいに対しまた空中に分散を定でクラスター化して	早川	尚男	早川	尚男
11	粉体をどう記述 するか	未だに粉体を統一的に物理い。そのうち、シミュレーする理論的手法、ガス状態式を用いて、バグノールドの紹介する。	ション法や、応力鎖に関 の記述とその連続体方程	早川	尚男	早川	尚男
12	複雑さを生み出す基礎	*相転移と臨界点:対称性 二元合金の模型、平均場近 界点 *量子系の相転移:ミクロ 体系、量子融解転移	似、液相気 相転移と臨	今田	正俊	今田	正俊
13	空間構造と時間 構造の発生	*空間構造:欠陥と秩序の破 秩序 *非平衡ダイナミックス: スピノーダル分解・核形成 *自己組織化		今田	正俊	今田	正俊

囯	テーマ	内容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属·職名)
14	強相関量子系	*量子相の多様性と複雑性:多電子系、多原子系、 物質の性質の多様さ *強い相関・ゆらぎと階層構造	今田 正俊	今田 正俊
15	複雑さの他の例 とまとめ:複雑 システム科学の 可能性	複雑さは、訳の分からないものをもたらすだけでなく、秩序や組織、新しい構造も産み出す。非平衡・開放系の簡単な例では、エネルギー散逸や粘性によりきれいな渦(ベナール対流)が生まれたり、化学反応の時空構造が自発的に生ずる(ベルーゾフ・ジャボチンスキ反応)。脳の働きも、複雑システムとしてだんだん把握できてきている。受精卵からの発生や、細胞・機能分化も、制御された実験の進化で、複雑な仕組みが解きあかされてきている。ここでは、この生物化学の進歩を、専門家に伺う。そして、まだ進化の途中にある複雑システム科学の可能性について考えて行く。		生井澤 寛

### = 地球環境科学( '05) = (TV)

〔主任講師: 木村 龍治(放送大学教授)〕 〔主任講師: 藤井 直之(名古屋大学名誉教授)〕 〔主任講師: 川上 紳一(岐阜大学教授)〕

#### 全体のねらい

地球は、大気、海洋、地殻、マントル、核などのサブシステムが集まった一つの巨大なシステムである。 地球を構成するサブシステムは構成物質が異なるため、さまざまな時間スケールで変動している。また、現 在の地球環境は、46 億年にわたる地球の歴史的産物である。地球システム科学の立場から、地球のダイナミ クスの研究方法や歴史解読のアプローチを講義し、地球環境と人間の関わりについて考察していく。

回	テーマ	内容	1	放送担当 講 師 名 (所属·職名)
1	地球システムからみ た 地 球 環 境	私たちは変動する地球環境の中で生きている。天気の移り変わりや異常気象は、変動する地球環境を身近に感じることができる現象である。気候の変動には数十年から数百年スケールのものから、10万年周期の氷期・間氷期サイクルまである。さらに、プレート運動による大陸の離散集合の歴史は数億年といった長い時間スケールの中で起こる。さまざまな時間スケールで変動する地球環境を理解するには、地球をシステムとして捉える地球システム科学の考え方や研究手法が重要である。	木村 龍治教 授) 藤 并 古 屋大学 名 著 教 授) 脚子 一 人 大学 名 整 一 人 大学 名 专 大学 名 大学 名 大学 名 大学 名 大学 名 大学 名 大学	,
2	地球システムの成 立 と 特 異 性	地球環境は 46 億年前の太陽系の形成に始まる長い時間の 経過の中で変化してきた歴史的産物である。地球には海があ り、多様な生物が生息しているユニークな惑星である。惑星 形成過程や生命の起源論、グリーンランドやオーストラリア で進められている初期地球環境の地球史的研究の現場を紹介 しつつ、地球システムの成立とその特異性について考察する。	川上 紳一	川上神一
3	気象システム	毎日の天気予報に深く関係する気象の変化のメカニズムについて述べる。現在の天気予報は地球全体の大気循環のコンピューターシミュレーションを基礎にして行われているが、シミュレーションの初期値を作成するために気象観測が必要である。気象はグローバルな大気循環からローカルな現象まで、さまざまなスケールの現象が階層構造をなしている。特に集中豪雨など気象災害をもたらすメソスケールの気象は特別なプロジェクト研究が必要である。現代の気象研究の最前線を紹介する。	吉 崎 正 憲 (気象庁気象 研究所主任研 究官)	吉崎 正憲 (気象庁気象 研究所主任研 究官) 木村 龍治
4	海洋システム	海洋は地球環境に大きな役割を占めているが、人間が陸地に住んでいるために、その実態を明らかにするのは容易ではない。しかし、海洋は陸地と同じような豊かな生物環境を構成している。海洋に関する物理、生物、化学、地学などのさまざまな側面を現代の海洋学はどのような方法で研究するのであろうか。特に、海洋研究船による現代の海洋調査について述べる。	小池 勲夫 (東京大学海 洋研究所長)	小池 勲夫 (東京大学海 洋研究所長) 木村 龍治

囯	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
5	近未来の海洋観測	人工衛星の発展や IT 革命によっ 方法で、海洋の観測ができるよう。 究船による観測が主流であったが、 無人の漂流ブイによる海洋観測が そのプロジェクトを「アルゴ計画 ニョのモニターのために、赤道太 が実施されている。それらの近未。 プロジェクトに関わっている研究。	こなった。従来は、海洋研現在、国際協力によって、 現在、国際協力によって、 全世界で展開されている。 」という。また、エルニー 平洋で係留ブイによる観測 来を指向した海洋観測を、	湊 信 也 (海洋研究開 発機構アルゴ グループサブ リーダー)	岡 正太郎 (海洋研究開発機構アルゴ グループ研究 員) 木村 龍治
6	気候変動 1	地球は常に太陽から、ほとんどにもかかわらず、大気環境が常にろうか。変動には、さまざまな周期雷雲や台風などの突発的な気象優化は、中緯度帯に形成されているでによる。季節変化は、太陽放射原因はかなり解明されているが、ある。数年の変動はエルニーニョより長い気候の変化は、海洋の変の変動特性について考察する。	変動しているのはなぜであ 明が存在する。短い変動は、 乱の発生による。天気の変 偏西風の流体力学的な不安 量の変化による。それらの 1 年より長い周期の変動も 現象に関係している。それ	木村 龍治	木村 龍治
7	気 候 変 動 Ⅱ	1988年以来、地球環境問題が大れをきっかけにグローバルな気候コンピューターシミュレーションが実施されている。東京大学気候日本の気候研究の中心的存在であた住教授が現代の気候研究の最前に	変化の研究が盛んになり、 によって、将来の気候予測 システム研究センターは、 るが、その所長を長く務め	住 明正 (東京大学教 授)	住 明正 (東京大学教 授) 木村 龍治
8	生物圏と地球システム	生物圏も地球システムの重要な 水生態系、珊瑚礁、干潟などの生 球環境とどのように関わっている 表層の炭素循環に対する海洋微生 る。	態系を紹介し、それらが地 かを講義する。特に、地球	川上 紳一	川上 紳一
9	固体地球と表層環境の カップリング	過去の大規模火山噴火の事例紹性を論じる。さらに、地球の火山 クスと密接に関わっていることを 大陸の形成・分裂サイクルと表層 活動などを講義する。	活動は、プレートテクトニ 示す。また、大陸移動、超	藤井 直之	藤井 直之
10	マントルダイナミクス	プレートテクトニクスの原動力 解するには、地球内部ダイナミク ある。地震波トモグラフィーによ の研究、地球内部物質科学の知見 マントル対流のコンピュータシミ し、地球内部の変動のしくみを解	スを詳しく研究する必要が る地球の3次元構造モデル を用いたその解釈、さらに ュレーションの結果を紹介	藤井 直之	藤井 直之

□	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師 名
11	地球磁場変動	地球磁場の特徴とその時間変動を論じる。また、地球磁場 の逆転現象、地質時代の地球磁場を研究する古地磁気学の原 理を講義し、地球磁場の変動と地球環境の関連性を論じる。	藤井 直之	藤井 直之
12	地球史解読	地球の歴史を解読するには、地層や岩石に刻まれた過去の 出来事を読み解く必要がある。K/T境界の粘土層の分析結果 をもとに提唱された恐竜絶滅の天体衝突仮説を解説し、この 仮説が地球史研究に与えたインパクトを紹介する。古生代末 の生物大量絶滅事件に関する研究にも言及する。また、南オ ーストラリアの潮汐リズムを記録した堆積岩から地球自転周 期や月軌道を復元する研究を現地での取材を含めて紹介し、 地球史の解読のアプローチを紹介する。	川上 紳一	川上神一
13	地球を変えた光合成	地球が誕生したころの大気には、ほとんどまったく酸素がなかった。現在の地球大気の20%は酸素分子でできており、性質が大きく変化した。その移り変わりを記録したさまざまな堆積岩から地球大気の変遷を読み解いていく。地球大気に酸素をもたらした最初の微生物として注目されているシアノバクテリアとその構築物であるストロマトライトについて、南オーストリア、現生ストロマトライト、縞状鉄鉱床などの露頭の様子を解説する。	川上神一	川上 紳一
14	全球球結事件と多細形動物 の 出 現	約8億年前から6億年前の氷河時代の地層が世界各地に分布する。それらが堆積した緯度を推定する古地磁気学、氷河堆積物と縞状炭酸塩岩や縞状鉄鉱床の奇妙な組み合わせやその謎解きから提唱された全球凍結仮説、そして、これらの氷河時代が終わって突然登場する多様な多細胞動物など全球凍結仮説を巡る研究現場(南オーストラリアの縞状鉄鉱床、氷河堆積物の露頭紹介)をレポートし、地球史解読の研究の進め方、検証可能な作業仮説の重要性などを論じる。46億年の地球と生物の歴史を振り返り、変動する地球環境と生物進化の関連性を明らかにする。	川上 紳一	川上 紳一
15	地球環境と人類の 未 来	地球環境変動を地球システム科学のアプローチで研究する 意義を総括する。また、地球環境と生物進化から私たち人類 が歴史的存在であることを確認する。人類の出現とその地球 環境への影響をグローバルかつ地球史的に捉え、多様な生物 との共存していくためには何をなすべきか考察する。また、 地球環境の理解には、地球科学の研究が不可欠なことを、オ ゾン層の破壊など具体例をもとに示す。	木村 龍治藤井 直之川上 紳一	木村 龍治 藤井 直之 川上 紳一

# 物質環境科学 I ( '05) = (TV)分子から機能性物質・生体まで -

[主任講師: 濱田 嘉昭(放送大学教授)] [主任講師: 田隅 三生(埼玉大学学長)]

#### 全体のねらい

物質の織り成すすべての現象は、その基礎単位を構成する物質の性質とそれらが互いにどのように影響を与え合っているかで決まる。化学の立場では、分子が基礎単位であり、それらの相互作用の結果として、マクロの物体の存在形式と変化が理解できる。したがって、自然環境を物質レベルで考察する場合には、分子の性質とそれらがどのように相互作用しているかを知ることが重要である。すなわち、物質の階層的な解釈、相互作用の観点、変化の大きさと方向に関係する動的平衡の観点が重要である。また、環境という言葉は、ある系とその系の外との関係があることを前提にしているが、その内と外とを区別するものがあることになる。物質系では膜がそれに当たる。一方、膜は境界を定めるだけではなく、物質とエネルギーの移動を調節している場合が多い。これらについても考察することにする。本講義では、物質環境を化学の視点で捉え、解釈し、場合によると問題の解決の方法を獲得することを目的とする。ただし、現状でさまざまに論じられている環境問題を直接に取り上げるのではない。これにはまだ、原因や方法に未解決の問題があるし、立場の違いによる解釈や方針の違いも存在する。この講義では、それらに自然科学、特に化学の立場から正しく接近できるような講義を行いたいと考えている。

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
		基礎的理解	(生活と物質)		
1	身の回りの物質と 物質循環	われわれの日常生活にどのよのようなかかわりをもっているる材料、生命を構成する物質、 宇宙環境と物質、エネルギーを 理する。物質は存在するだけで 姿・形を変え、環境を維持する 然、生命を含み、どのような物 うに変化しながら循環している	人間活動を支える材料、地球・ 生み出す物質などについて整なく、さまざまな循環の中で、 と同時に変化させている。自 関が、時間・空間的にどのよ	(埼玉大学学	田隅 三生 (埼玉大学学 長) 濱田 嘉昭 (放送大学教 授)
2	標準・基準を決める	自然科学において得きれた結 自然現象を表現する言葉(物理 こと、その量が精度良く定性的・ とになる。ここでは、が多な とになる。ここでは、が必めい。 とになるがは、が必めで うな仕組みででぶるの理定数が のか、また基礎物理になかが、デー のがある。そのようなデータが も紹介する。	れていることが必要である。 定量的に表現・伝達できるこ 単位系 (SI 単位系) について のか、また SI 単位系がどのように決められて がどのように決められて がどのようにとにどんな意味が に決めることに、精度良く で、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	高 柳 正 夫 (東京農工大学教授)	高柳 正夫 (東京農工大 学教授)

回	テーマ マンガス 分光環境計測	内	容	執筆担当講師名(所属・職名)	講 師 名 (所属・職名)
3	<b>万几果児司</b> 积	り放出したり)するかを調べな種類の分子からできている。 しているのか、どの程度の量ができる。このような方法を、 環境計測に用いられているいて、その原理、装置、解析法2	くつかの分光計測手法につい から実際の応用例までを実例を 公定法や ppm など環境計測に	高柳正夫	高柳 正夫
		相と	相互作用		
4	平衡と変化	察すると激しい変化を起こし 見落ち着いて見える静水や空気 行っており、その中に含まれ ている可能性がある。すなわ きである。また、物質系の変	える物質的対象も、ミクロに観 ている場合もある。例えば、一 気中の分子は激しい衝突運動を る分子には激しい反応が起こっ ち、動的平衡にあると考えるべ との方向を決めるのはエネルギ れらに関して、基本的な理解を	濱田 嘉昭	濱田 嘉昭
5	相と相互作用	うより、集合体としての性質が ち、分子が気体・液体・固体の 示す性質は大きく異なる。水は 特にそれがわれわれの関わる。 いて例示して解説する。最近、	変化は、個々の分子の反応とい が関係する場合が多い。すなわ のどの相にあるかで、それらの および二酸化炭素を例にとり、 物質環境の中で果たす役割につ 第4の相とも言うべき超臨界 寺異な性質を利用した技術につ	濱田 嘉昭	濱田嘉昭
6	分子間相互作用	の分子で構成された系である。 単純に集合しただけではない。 作用の種類と特徴を調べ、それ 作っているか、その結果がどる 調べる。分子が集合できる力の るが、特に水素結合は本質的に いる系の例と性質を学ぶ。(よ Waals 力などは、分子が集合し	できるマクロの物体は、ミクロしかし、この集合体は分子が分子と分子を結びつける相互ならがどのような物質の系を形のような性質として現れるかをの源泉にはさまざまなものがあて重要である。水素結合をして、ウラスタ→ミクロ構造→マクある。その他の相互作用の種類と話す。)	濱田 嘉昭	濱田 嘉昭
7	高分子の構造	成繰返し単位が繋がった1次元様々な性質を示し、生活に役置 質の基盤となっており、高分 る原子間の化学結合から理解 に影響を及ぼしあいながら、後 運動は構造を反映している。最	高分子は、大きな分子とも、構造の結晶ともみなすことができ、なっている。高分子の構造は性子の構造は、その構成要素であすることができる。原子は相互數少な振動を行っており、振動高分子の振動運動、振動を観測振動の観測から得られる構造	古川 行夫 (早稲田大学 教授)	古川 行夫 (早稲田大学 教授)

旦	テーマ	内容	講	師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
8	高分子と機能	われわれの生活には高分子からできている製品がり、有機 EL ディスプレイに代表される有機電子デバ発されている。それらの製品では、導体・半導体・ある様々な高分子の電気的性質や、色などの光学的用されている。高分子の性質は、高分子構造を基盤構成要素である電子の状態により決定されている。おける電子の状態、電子状態を観測する実験法であ定法、電子状態と性質に関して解説する。	イスも開 絶縁体で 性質が利 として、 高分子に	川行夫	古川行夫
9	有機分子の自己集 合化	近い距離にある分子どうしには分子間力が働き、 己集合化して様々な構造体を形成する。中でも両親 は、水中において疎水相互作用により自己集合化し やベシクルといった会合体を形成する。膜分子の構 体の構造の相関、そこにはたらく分子間力の原因に 触れつつ、生命活動の基本単位である生体膜につい る。また、階層性を上げた構造体が示す機能の例と を介したイオンの輸送現象についても触れる。	媒性分子 ( 、ミセル 学 造と会合 ついても て概観す	原 正東京大学大院教授)	菅原 正 (東京大学大 学院教授)
		新機能材料および生命と分子			
10	自己複製するジャ イアントベシクル	第9章では、両親媒性分子の自己集合化によるべき 状二分子膜)の 形成について述べた。ところで、ベ 中でも光学顕微鏡で観察可能なジャイアントベシク 始細胞のモデルとして関心を集めている。ジャイア クルの二分子膜は、外部環境と内部の反応系を仕切 あると共に、膜自身が、生命活動の 維持に必須な情 分子変換の場となりうる。ここでは、ジャイアント の二分子膜が自己の膜分子合成の反応場となること 膜分子が生産され、ひいてはベシクルが分裂して増 いう、ベシクルの自己複製系のダイナミックスにつ する。	シクルの ルト 隔 が で きゃく に な か く は べ 壁 達 ル と は な よ ら り ら と 殖 す る と	原 正	菅原 正
11	光学活性分子と生 命	左手と右手は互いに鏡像の関係にあり、そのまませることができない。分子にも同様の関係が存在すある。例えば、糖やアミノ酸である。前者は重合しンやセルロースになり、後者は蛋白質になる。すな命にとって必須の構成要素である。これらは、光の回転させるなどの働きがあり、光学活性分子とも呼原子の立体的な配置の違いが生命に決定的な役割をいる場合が多い。光学活性分子の働きについて説明らを選択的に合成する方法、検出する方法などにつする。	る場合がプロックを はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。	田嘉昭	濱田 嘉昭
12	分子の立体構造と 生命	生命は外界からさまざまな分子を取り入れて、生材料あるいはエネルギー源として、さらに、情報のて用いている。味や匂いは外部との、神経伝達物質ンは生体内での情報伝達物質である。また、健康やの回復に薬を用いる。これらの分子がその機能を発合、その立体的な形と反応に直接関与する部位の性である。分子の立体構造と生命活動との関連を考察	手段とし ( やホルモ 授 病気から 揮する場 質が重要	山 秀明 北里大学教 )	梅山 秀明 (北里大学教 授)

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	1 )
13	生体膜:脂質と二分 子膜	生命の基本単位である細胞は、膜によって外と内を仕切ることによって成立っている。これらの膜の構造を担うのはリン脂質等の両親媒性分子である。両親媒性分子は、水中では単分子膜、ミセル、二分子膜など様々な集合体を作る。生体膜の透過障壁や流動性といった機能は、脂質二分子膜の性質によっている。生体膜成分である脂質の構造、生体膜の基本構造としての脂質二分子膜の構造と性質を概説する。	遠藤 斗志也 (名古屋大学 大学院教授)	
14	生体膜: 膜タンパク 質と膜輸送	細胞を構成する生体膜は脂質二分子膜と膜タンパク質から 構成されている。生体膜は、脂質二分子膜による透過障壁と して機能するだけでなく、必要に応じて情報や物質の流れを 媒介するインテリジェントなインターフェスである。こうし た機能を担うのは、生体膜に配置された様々な膜タンパク質 である。生体膜における膜タンパクの性質と構造、膜タンパ ク質が媒介する膜輸送の仕組みを概説する。		遠藤 斗志也
		まとめと展望		
	環境問題と物質	物質と環境の関係について、化学的観点からのまとめを行 う。自然環境を空気、水、土と分けた場合、どのような物質 が関与しているのか、何が問題とされているのか、どのよう	田隅 三生	田隅 三生
15		な対策を講じればよいのかの問題提起と現状の対策について 紹介する。	濱田 嘉昭	濱田 嘉昭

## 物質環境科学Ⅱ ( '03) = (TV)環境システムとエントロピー -

〔主任講師:中山 正敏(九州大学名誉教授)〕

#### 全体のねらい

いわゆる環境問題は、人間の生産活動の結果が人間の生活環境を悪化させるところから生じた。この講義ではその自然現象としての側面を理解するために必要な、物理学的な考え方について説明する。まず非平衡の場合を含めた熱力学の手法について述べる。この方法の限界を指摘し、いくつかの手法を紹介する。

Image: control of the	<b>ਰ</b> − ਵ	内容	執筆担当講師名	放送担当講師 名
1	環境システム	一般に、生産や生命活動を行う能動系とそれを包む環境によって、環境システムが構成される。環境は、能動系に資源、エネルギーを供給し、廃棄物、廃熱を受け取る。それが大きくなり過ぎたことが、環境問題である。環境システムの特徴について概観する。	(所属·職名) 中山 正敏 (九州大学名 誉教授)	
2	物質、エネルギーの 保存則	系の変化における基本法則を考える。物質とエネルギーは 保存される。物質変化の階層に応じて、分子、原子、核子の 総数が一定である。系のエネルギーの増分は、系になされた 仕事と加えられた熱の和に等しい。これを熱力学第一法則と いう。	同上	同上
3	エントロピーの増 大則	自然界には、熱伝導、拡散などの不可逆な変化がある。その向きを指定する法則を考える。物質やエネルギーの無秩序度を表す状態量を導入し、これをエントロピーという。不可逆変化はエントロピーの増大する向きに起きる。これを熱力学の第二法則という。	同上	同上
4	熱 機 関	技術者たちが蒸気機関を作った後で科学者たちが、それで 出来る最大の仕事量を考察した。カルノーの熱素説による考 察がエントロピーの発見につながった。それでは、効率でな く能率を最大にしようとするとどうなるだろうか。	白鳥 紀一 (九州大学元 教授)	
5	開放系の熱力学	エネルギーや物質の出入のある開放系について、熱力学を 考える。その場合には、自由エネルギーを導入すると便利で あることを示す。また、エクセルギーを導入し、それが系が 環境との平衡から外れている度合を表すことを示す。	同上	中山 正敏
6	混合と分離	ヒトや生態系に悪い影響を与える物質が環境に散らばると 環境問題になる。散らばっている有用な物質をいかに分離し て集めるかが資源問題である。散らばるのは物の本性で、エ ントロピーの増大する過程である。資源環境問題を混合・分 離の過程から考える。	同上	白鳥 紀一
7	物質と放射	物質中の電子や原子などのミクロな粒子の持つエネルギーは、いくつかの特定の値に限られる。熱放射は空間の中を熱を伝える光(電磁波)である。そのエネルギーは、光量子を単位として物質とやり取りされる。量子性と環境問題の関係について考える。また物質循環と放射のグローバルな状況について述べる。	中山 正敏	中山 正敏

0	テーマ	内容	講	師 名	放送担当 講師名 (所属・職名)
8	エントロピーの原 子論	マクロな量であるエントロピーと、系のミク 関係を考える。マクロには一つの状態にある系 見れば原子などの運動によって多数の異なる状 る。エントロピーは、対応するミクロな状態の に比例する。	ロな状態との も、ミクロに 態に存在でき 白	鳥 紀一	
9	熱 ゆ ら ぎ	マクロには熱平衡にある系も、ミクロにはそいでいる。環境の中にある系に対する環境のゆ調べる。また環境の中を動く系には抵抗力が働を越えた距離を動かすには、k T程度の仕事が示す。	らぎの影響を き、熱ゆらぎ 中	山 正敏	同上
10	情報とエントロピ 一	情報とエントロピーは相補的である。情報はどの物理量によって担われるが、それが意味の理量の熱ゆらぎが小さく、その値が保持されるそのような場合には熱力学ではなく、システムスによる研究が必要となる。	あるのは、物 場合である。	同上	同上
11	マクロなゆらぎ	環境の中では、風の変化のように、熱ゆらぎ スケールのマクロなゆらぎが起こる。これは、 態からずれると、外的な変化に対して大きな応 う性質を持つからである。マクロなゆらぎの特 響について考える。	系が熱平衡状 北 答をするとい (	原 和夫 国際基督教 学教授)	北原 和夫 (国際基督教 大学教授)
12	散 逸 構 造	外的条件を変えて、系の中の物質やエネルギ きくして行くと、時間的空間的構造を持った新 る。この構造を散逸構造という。散逸構造の一 上下方向に循環する対流である。環境問題と散 について考える。	しい状態に移 例は、流体が	同上	冏 上
13	リサイクルと環境	リサイクルをすれば、資源の消費や廃棄物がいいはずだ。しかし、場合によっては、リサイエネルギーがかかったり、リサイクル処理中に出されたりする。そこで、意味のあるリサイクいて考える。	クルに手間や 井 毒性物質が放 (	野 博満 東京大学名 教授)	井野 博 満 (東京大学名 誉教授)
14	材料の環境負荷評 価と選択基準	環境にいい材料の使い方は、リサイクルばか 製品を長持ちさせることや、自然の物質循環に 選んで使うことも大事である。環境負荷評価 ( ルアセスメント)の方法と、材料選択の基準に	合った材料を ライフサイク	同 上	同上
15	定常能動系と物質 循環	能動系が定常であるためには、それに接する常でなければならない。物質に関しては閉じた質が環境を循環することによってこれは果たさ増大したエントロピーは、宇宙空間に棄てられ球ではどうだろうか。	地球では、物 れる。その際 中	山 正敏	中山 正敏

# 生命環境科学 I ( '05) = (TV)一生物多様性の成り立ちー

[主任講師: 松本 忠夫(放送大学教授)]

#### 全体のねらい

生命体は様々な地球環境のもとで、おそらく40億年近くかけて進化してきたが、その結果として、今日の大きな生物多様性が見られる。そのような多様な生命体の姿は、ゲノムの中の遺伝情報が表現型として表れたものである。本講義では、遺伝情報がどのようにして進化史の中で改変し、また現実にどのように発現されて多様化しているのかを環境との対比で見ることとする。さらに、野外自然における生物多様性の調査法を解説すると共に、人間活動が生物多様性の減少に大きく影響している現代の様相を見ることにする。

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
1	「生命環境科学 I」 のねらい、生物多様 性について	今日の生物の多様性が生じた理由は実にさまざまであるが、特に大きな理由として無機環境への適応性、生活資源の獲得力、そして生物間の相互作用がある。それらに関しての様相を概観し、本講義全体のねらいを解説する。		松 本 忠 夫 (放送大学教 授)
2	様々な生物社会と その成立メカニズ ム	生物は多かれ少なかれ、同種個体が集団(群れ、群落、コロニーなど)を形成して生活しているものが多い。そのような集団を社会と見ることができるが、いかなる理由でそれらの社会が成立しているのかについて、特に環境との関連で説明する。	松本 忠夫	松本 忠夫
3	植物の多様な繁殖 様式と、動物との関 係	植物では、動物とは個体性が大きく異なり、動物にはみられない多様な性表現が存在する。ここでは、被子植物にみられる性表現と受粉様式の進化を解説するとともに、それには動物の影響が大きかったことを紹介する。また、植物が動物からの摂食に耐えるためのさまざまな適応戦略を説明する。	大原 雅	松本 忠夫 大 原 雅 (北海道大学 大学院教授)
4	動物の多様な繁殖 様式	通常の動物は有性生殖を行うが、中には単為生殖、多胚生殖、 幼形生殖などの無性生殖を行うものがいる。また、親による 子の保護様式と関係して、卵生、卵胎生、胎生などが見られ る。さらに哺乳類では雌親による授乳が発達している。本章 では、このように多様な動物の繁殖様式を説明する。	松本 忠夫	松本 忠夫

囯	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
5	植物の発生と環境 適応	植物は固着生物なので、環境に対し 進化の過程で発達した。中でも植物 成に関しては、環境適応が必須のた の発生は、外界の環境に適応して実 る。葉の発生の可塑性と環境適応と 制御する遺伝子の働きの視点から、	の生活を支えている光合 め、光合成器官である葉 に大きな可塑性を発揮す の関係について、発生を	塚谷 裕一 (東京大学大 学院教授)	塚 谷 裕 一 (東京大学大 学院教授)
6	動物の発生と環境 適応 (i) 諸事例	動物の中には、発生・発育過程においるの形態や性質が大きく変化するもめの環境適応と解釈される。また、性転換をする魚類、さらには昆虫類現象にもふれる。そして、そのようたらす進化的要因および体内メカニ	のたちがいる。生存のた 繁殖における戦略として の環境適応としての多型 な多様な形態や性質をも	松本 忠夫	松本 忠夫
7	動物の発生と環境 適応 (2) 昆虫の翅形質 の例	昆虫類はその進化の中で翅を獲得す 栄できた。しかし、昆虫によっては る。一方、チョウ類のように翅の色 り、擬態していたり多彩な分類群が な昆虫類における翅形成の有無、色 成立するに至った進化的要因および について説明する。	翅を形成しない種類もい 彩や斑紋が華美であった いる。ここではそのよう 彩や斑紋の多様性などが	松本 忠夫 三浦 徹 (北海道大学 大学院 助 教 授)	松本 忠夫 三浦 徹 (北海道大学 大学院助教 授)
8	社会性生物におけ るカースト分化	社会性生物は、集団で生活し、その 多数のワーカーや兵隊など非生殖者 見られることを特徴としている。そ 栄している。ここでは動物の社会性 て、繁栄の鍵となっているカースト 的要因およびカースト分化の分子生 ておもにシロアリを例にして説明す	といったカースト分化が して、陸域において大繁 について解説する。そし 分化がもたらされた進化 物学的メカニズムについ	松本 忠夫	松本 忠夫 三浦 徹
9	社会行動の発現メ カニズム、 ミツバチの例	ミツバチは多様なハチ類の中でも最た昆虫として、分子生物学の分野できるして、その多様かつ複雑な行動、用するダンス言語(記号的言語)やめの攻撃行動(利他行動)は、脳機興味深いものである。ここではミツ学の現状を紹介し、その将来像を展	近年、注目されつつある。 特に、働きバチたちが利 、コロニーを防衛するた 能の進化という観点から バチを巡る分子社会生物		久 保 健 雄 (東京大学大 学院教授)
10	菌類における環境 適応	菌類の環境適応は、意外に理解が乏 境に対する適応的な反応を行なうこ では特に、大型真菌類の子実体(い る環境適応をとりあげる。また重力 な反応を示す。これらが胞子散布に	とが知られている。ここ わゆる茸の部分)におけ に対しても子実体は顕著	塚谷 裕一	塚谷 裕一
11	菌類の形態形成メ カニズム	菌類の形態形成は、その組織構造の 例えば細胞性粘菌は、アメーバ状の にシグナルをやりとりして、機能分 なる形態形成を成し遂げる。また真 の器官であるが、基本的に菌糸が複 作り上げられており、分化の程度は 容易に起こる。これらの形態形成メ されていないが、特異な機構であり	細胞が集合した後、互い 担をしながら多細胞から 菌類の子実体は、多細胞 雑にからまりあいながら 残く、脱分化・再分化が カニズムは未だ十分理解	塚谷 裕一	塚谷 裕一

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 節 名
12	生物環境の調査法 (陸上生物)	植物群落は、陸上の生態系の一息空間の構造を大きく規定して性、さらには動物の生息空間とするための方法と、その結果の経 陸上の動物の調査法は、動物のられているが、ここではその中り上げ、解説するとともに、調と対応づけるやり方についても	いる。植物の種組成や種多様 しての植物群落の構造を調査 分析法についてまず紹介する。 種類に応じた様々な方法が知 から鳥類の個体数調査法を取 査結果を植物群落の調査結果	加藤 和弘 (東京大学大学院助教授)	
13	生物環境の調査法 (水界生物)	水界にも多様な生物が生育・生生物の種類に応じて異なる。こ頭に置き、一次生産の主体であ容易で環境指標性も高い底生無説明する。さらに、そのようなを分析して、種多様性の数値化さらには生物の生息環境の善しても解説する。	こでは河川での生物調査を念る付着藻類と、調査が比較的 育椎動物の調査方法について 調査によって得られたデータ や生物相の地点間での比較、	加藤和弘	加藤和弘
14	人間活動と生命環 境科学(1) 生物の絶滅問題と 生物多様性の価値	現在の地球における生態系の多 多様性に対しての人為の影響は 代では非常に多数の生物が絶滅 ている生物が多い。特に熱帯多 の喪失は、生物多様性を一気に 重大問題である。ここでは、そ 明し、絶滅をくい止める方策に 多様性の価値についても考える。	たいへん大きい。そして、近し、現在も絶滅の危機に瀕し雨林域における森林群集全体著しく減少させてしまうのでのような生物絶滅の様相を説ついて考える。さらに、生物	松本 忠夫	松本 忠夫
15	人間活動と生命環 境科学(2) 環境に放たれた人 工物質および移入 種の影響	近年、人間は生活向上のためにきた。そして、現在はある意味でしかし、それらの化学物質そのに放たれたとき、生命体をおびがある。その様な物質として殺り、内分泌攪乱、ガン誘発など物多様性にも影響を与えているおよび対策について説明する。地域からの不用意な生物の移入る例についてもふれる。	では大変便利な時代となった。 ものあるいは変形物は、環境 やかす物質としても働くもの 虫剤、除草剤などいろいろあ が疑われていて、それらは生 と思われる。そこでその様相 ここでは、さらに、世界の他	松本 忠夫	松本 忠夫

## = 生命環境科学 II ( '06) = (TV) -環境と生物進化-

[主任講師(現職名):二河 成男(放送大学助教授)]

#### 全体のねらい

生物の個体にとっては、自分自身を除くすべては環境である.このような意味における環境と生物の相互作用を軸として、生物の進化を総合的に考えることにする.

田	テーマ	内容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属·職名)
1	生物にとって環境とは何か	生物にとっての環境とは、物理的自然環境だけではなく、細胞内環境、生体内環境、異種生物間相互作用等があることを紹介する.	1	石川 統 (元放送大 学教授)
2	原始地球環境と 化学進化:生命 誕生への第一歩	地球は今から 45 億 5000 万年前に誕生した。原始地球環境で無生物的に有機物が合成され、蓄積した有機物を基に生命が誕生した。こうした過程を概説するとともに、当時の生態系特に海底熱水系についても述べる。	(東京薬科	山岸 明彦 (東京薬科 大学教授)
3	生命の起源と RNA	生命誕生間もない頃の原始的な生命体はいったいどのような物であったか。有力な説の1つに RNA ワールド仮説がある。この仮説では、原始的な生命体を形づくっていた物 質は主に RNA 分子であり、現在では DNA やタンパク質が担う遺伝情報や触媒機能といった生命活動の基礎を、生命の起源の頃は RNA が担っていたとする。その根拠について解説する	(放送大学	二河 成男 (放送大学 助教授)
4	極限環境での生物の生存戦略	さまざまな極限環境、たとえば 100℃以上の高温、低温、高圧、酸性、アルカリ性等に、生物とくに微生物が生育している。微生物がこれらの環境に適応するためのさまざまな戦略を解説する。	山岸 明彦 (東京薬科 大学教授)	山岸 明彦 (東京薬科 大学教授)
5	細胞内環境	細胞は生物を構築する最小単位であるとともに、機能分子にとっては環境としての意味をもっている. 細胞の起源にも触れつつ、その働きを解説する.	石川 統 (元放送大 学教授)	石川 統 (元放送大 学教授)

囯	テ ー マ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
6	酸素と生物	原始地球上には酸素は乏しかったが、光合成生物の 出現によって、その濃度は飛躍的に上昇した.酸素 濃度の上昇が生物進化に与えた影響について概説する.	石川 統 (元放送大 学教授)	石川 統 (元放送大 学教授)
7	原核細胞から真 核細胞へ	真核細胞は異なる種類の原核細胞が共生しあうことによって生まれたと考えられている. その根拠を紹介しつつ, 細胞小器官の機能について述べる.	石川 統 (元放送大 学教授)	石川 統 (元放送大 学教授)
8	多細胞体制	多細胞生物を構成する細胞や組織は、周囲の生体内環境との整合性の下に維持されている。多細胞生物の起源とともに生体内環境の実態について紹介する。	石川 統 (元放送大 学教授)	石川 統 (元放送大 学教授)
9	発生の場として の細胞環境	生物の発生において個々の細胞は周囲の環境からの情報を受容して分化する。環境要因としては細胞外基質や分泌因子などが重要であり、その作用機構の解明が進んでいる。この講義では発生における細胞環境や幹細胞の環境(ニッチ)について概説する。	八杉 貞雄 (首都大学 東京教授)	八杉 貞雄 (首都大学 東京教授)
10	生物の大進化と 地球環境	生物の進化が環境要因の影響下におこることはいうまでもない。環境の影響は発生中の生物にとっても重要であり、近年は環境を通した発生と進化の密接な結びつきが明らかになりつつある。この講義では、進化、発生、環境の全体像について概説する.	1	八杉 貞雄 (首都大学 東京教授)
11	寄生:異種生物 という環境にお ける生存戦略	寄生者にとっては、宿主生物の体内が生きていく環境である。寄生者と宿主の間にみられる高度な相互作用、そして巧妙な駆け引きや生存戦略について学び、理解を深める。	(産業技術	
12	内部共生と進化	密接な生物間相互作用のもとに成り立つ「内部共生」と、それにともなう相互依存関係の発展としてとらえられる生物進化について、多様な実例に沿いつつ紹介し、その本質と帰結について考察する。	(産業技術	1

П	テーマ	内容		放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
13	環境とゲノム	ゲノム維持機構は、環境ストレスから生物を守ると ともに、様々な環境に適応する多様な生物種を生み 出す原動力にもなっている。このシステムを支える 分子 の働きを解説する。		三谷 啓志 (東京大学 教授)
14	生物集団の個体 数変動	生物の数の多さ少なさ、変動性・安定性などはどのように決まっているのかについて紹介し,それが生物進化に果たす役割について解説する.	1	宮下 直 (東京大学 助教授)
15	生物種間の相互 作用と進化	自然界で生物種どうしは競争・捕食・寄生・共生など相互に作用し合いながら共存しており、これが生物の多様性を生みだす原動力となっている。ここでは生物間相互作用の実態と、それが生物の多様化に果たす役割について概説する。	(東京大学	

### = 認知行動科学 ( '06) = (TV) -心身の統合科学をめざして-

〔主任講師(現職名):西川泰夫(放送大学教授)〕

#### 全体のねらい

人の心や行動を解明しようと取り組む分野は、現状多岐にわたる。なかでも、心理学が果たしてきた役割は大きいが、一方では、哲学的思索や思弁をふまえながらも、現在では、認知科学、行動科学、数理言語学、情報科学、コンピュータ科学、そして脳神経科学や物理学などからの科学的取り組みが新たな地平を開いている。こうした分野を統合して、認知行動科学と総称する。その背景、基盤、応用、そして新たな展開状況を解説し、自らの自己実現から心身の健康さらに安全で豊かな社会の実現に向けて、各自がこの問題解決に創造的に取り組むさいに欠かせない基本的概念体系や論拠を提示する。

□	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
1	プロローグ	認知行動科学―心身の統合科学を目指して一。 常識問題―フレーム問題―。パラダイム・シフト。 認識の源泉―ボトム・アップかトップ・ダウンかー。 パターン認識。問題解決。創造の源、計算力。 認知行動科学への導入。記述、解説用語のレベル。 意味論のはざま。演繹論理と形式論理。	(放送大学	西川泰夫(放送大学教授)
2	認知行動科学の 背景 (1)	○ 心身をめぐる思弁と思索から。 デカルトの心身二元論。心とは。身体とは。 心身問題。言葉と自由意志。動物は言葉を持つか。 クレバー・ハンスの事例。条件反射学。実験行動分 析学。機械は知性を持つか。チューリング・テスト。 脳、ニューラル・ネットワーク。カントの呪縛。	同上	同上
3	認知行動科学の 背景(2)	○ 心身をめぐる思索から科学的実証へ。 ホッブスの心身一元論。推理、心は名辞の計算機。 オートマトンの系譜。動物霊気の正体。 ガルヴァーニの起死回生実験。デカルトの心身問題 の解消に向けて。精神物理学。三段論法。アリスト テレスの形式論理学。形式化、抽象化、そして数学 化の意義。論理学の基本ルール。関係構造。 同一律、矛盾律、排中律。逆、対偶、反対関係。	Ì	同上
4	認知行動科学の背景(3)	現代記号論理学、命題論理学と述語論理学。 命題論理学。文章と文章を結び付ける4つの規則。 真理値、真理値表、真理関数。論理関係構造、演算。 論理代数の基本法則。矛盾、トートロジー。 述語論理学。主語の変数化、述語化。文章の関数化。 一変数関数、二変数関数、多変数関数。量化、量化 記号。公理系の無矛盾性、完結性。	同上	同上

回	テーマ	内容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属・職名)
5	認知行動科学の 背景 (4)	「反射」の仕組みから「脳」のモデルへ。 精神的分泌現象。パヴロフの条件反射学。無条件刺激と無条件反応の結びつき。条件付け操作、強化、消去、消去抵抗、自然回復。精神的分泌の正体。高次条件付け。一次信号系、二次信号系。洞察対試行錯誤。ケーラーのチンパンジーの知能テスト。ソーンダイクのネコの問題箱。条件反応を引き起こすメカニズム。神経系のタイプ。パヴロフの脳モデルの制約、限界とその後の展開。脳神経細胞は、非線形関値素子。	同上	同上
6	認知行動科学の 基盤(1)	行動(の)科学。行動心理学。ワトソンの行動主義。 行動主義宣言。行動主義者の綱領。心理学の数学化。 行動科学としての心理学。心は白紙。経験論。環境 論。学習。情動条件付けーアルバート坊やの事例一。 ワトソンの心理科学史の上での評価。新行動主義者 たちの取り組みから一操作的概念の役割と意義。ミラーの獲得性動因論、不安とは。動因低減、動機論。	同上	同上
7	認知行動科学の 基盤(2)	実験行動分析学―オペラント心理学ー。 スキナーの略年譜。スキナーの排除する「理論」とは。三項関係。機会刺激―オペラント行動―強化の随伴性。弁別刺激。強化子(正、負、罰)。強化のスケジュール。スキナー箱。累積記録器。日常場面での行動分析。刺激制御下にある自発オペラント行動。環境は、行動を淘汰する。相互間の刺激制御。	<b>同上</b>	同上
8	認知行動科学の 基盤 (3)	人間情報処理システム。入力情報の変換・伝達・処理・伝達・再変換・情報の出力過程。情報の流れの中で。情報伝達容量。SN比。情報量。情報量の単位。負のエントロピー。秩序と無秩序。対数関数。サイバネティクス。フィードバック・システム。ホメオスタシス。サーボ・メカニズム。情報伝達経路としての人。魔法の数「7±2」。情報の処理とは。チャンク化、コード化。語の冗長性。	同上	同上
9	認知行動科学の 基盤(4)	認知過程論。情報処理システム・モジュール。 直接記憶範囲。注意の範囲。スパーリングの実験から。部分報告法。全体報告法。記銘。直後再生。遅延再生。感覚貯蔵。リセット機能。パターン認識。セルフリッジ・モデル。パンデモニアム・モデル。おばあさん細胞説。ネットワーク説。ボトム・アップ・プロセス。トップ・ダウン・プロセス。予期図式。創造性、創造的問題解決。	同上	同上
10	認知行動科学の 基盤(5)	記憶システム。一次記憶、二次記憶。行動論と記憶。 エビングハウスの忘却曲線。無意味つづり。節約率。 記憶崩壊と干渉理論。順行・逆行抑制。緊張理論。 抑圧理論。短期記憶過程と長期記憶過程の分離。 系列位置曲線。初頭効果。親近性効果。短期記憶情報の検索過程。高速悉皆走査直列処理。中途打ち切り走査。長期記憶過程。確率過程論モデル。	同上	同上。

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
11	認知行動科学の 基盤 (6)	中央制御システム。脳のモデル。形式ニューロン。シナプス結合荷重(係数)。閾値。シグモイド関数。形式ニューラル・ネットワーク。パーセプトロン。分類。誤り訂正学習法。ヘッブの疎通原理。パーセプトロンの計算。パターン変換計算。学習収束原理。隠れ層。排他的or計算。非線形力学系モデル。ホップフィールド・モデル。エネルギー関数。極小値。ボルツマン・モデル。	同上	同上
12	認知行動科学の 応用 (1)	動物モデル。行動療法。薬理療法。行動医学。パヴロフの分化条件付け。実験神経症。消去法。消去抵抗。拮抗条件付け。系統的脱感作法。葛藤のタイプ。マッサーマンの実験。心的ストレス。ワトソンの情動条件付け。刺激汎化。スキナーのオペラント技法。行動修正・変容法。応用行動分析学。教育工学。エア・クリブ。行動薬理学。生活習慣病。刺激制御。自己制御。環境設計(ユートピア論)。	同上	同上
13	認知行動科学の 応用(2)	動物モデル。認知行動療法。心身問題。ブラディ実験。ストレス刺激・ストレス反応。心身症。心的疲労。ストレスと免疫機構。ワイス実験。三つ組み法。統制群、実験群、ヨークト群。回避・回避葛藤。心因性胃障害。セリグマン実験。学習性絶望感。無力感。心因性うつ症モデル。信念、世界観。自己制御。経験の後遺症。対処可能性。認知行動的対処法。認知行動的免疫法。認知行動的耐性強化法。ハイテク導入技法。バイオ・フィードバック法。薬理法。	同上	同上
14	認知行動科学の 応用(3)	動物モデル。比較認知行動科学。 スキナーのコロンバン・シミュレーション計画。 ハトによる認知過程のシミュレーション。 二羽のハトによる言語を用いた会話。創造的問題解 決過程。高い天井につるしたバナナをつつくハトの 洞察。短期記憶過程。ハトのメモ取り。自己認識。 自己認識実験パラダイム。ハトの鏡像理解。応用比 較認知行動科学。行動工学。	同上	同上
15	エピローグ	認知科学の成立基盤再考。人間の知性再考。心の記号・計算論。論理関係構造。四則演算。文法。人工知能研究(ダートマス会議)。情報科学セミナー。情報処理システム。記述のレベルと用語。形式体系。チューリング・マシンの計算。デネットの計算論を巡る論理地図。高教会派計算主義。禅的全体論。ドレイファスの反記号論・反計算論。身体・文脈・意図、志向性。サールの中国語の部屋思考実験。意味の役割。チューリング・テスト再考。ペンローズの反人工知能論。ゲーデルの不完全性定理。おわりに。	• • —	同上

## = 生活科学 I ( '05) = (R) - 食の科学 -

[主任講師:中谷延二(放送大学教授)] [主任講師:小城勝相(奈良女子大学教授)] [主任講師:菊﨑泰枝(大阪市立大学大学院助教授)]

#### 全体のねらい

生活科学には主として人々の日常的生活環境の中での衣、食、住および人間を対象とする研究分野がある。本科目ではヒトの生命維持に直接関わる「食」を現代の科学的知見を盛り込んで解説する。食に関する基本的概念を論じ、食品の機能、健康を維持・増進する機能性食品、食による生活習慣病の予防、高齢者の食生活など常にヒトの健康を視野に入れて論述し、理解を深める。

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
1	生活科学におけ る食の科学	生活科学は人間の日常的営みの中で関わる様々な事象を科学的に分析し、解明する学問である。この「生活科学 I」では健康な食生活を目指すことに視点を置き、食品の機能から、食材、嗜好性、生活習慣病の予防、高齢者の食生活、食品衛生などを論ずる。	中谷 延二 (放送大学 教授)	中谷 延二 (放送大学教授)
2	食品の機能	食品には3つの機能があるといわれる。我々の生命維持に関わる最も重要な栄養機能(一次機能)、感覚に訴える嗜好機能(二次機能)、生理的作用に関わる生体調節機能(三次機能)である。これらの機能を発現する成分を列挙し、その機能性を評価し、解説する。	中谷 延二	中谷 延二
3	世界の食料	世界の食料生産状況を地域別に概観し、地球規模での食料自給の現状に触れる。次いで急激に増加する人口と発展途上国における生活水準の向上がもたらす食糧需要増大に農業生産がどこまで対応できるかについて、食糧増産の技術的問題を検討し、食料の需給予測について代表的な研究例を紹介する。	(石川県立	谷口 肇 (石川県立 大学教授)
4	日本の食料	飽食、グルメ、簡便が高度に進んだ日本の食の現状について整理し、戦後日本で進展した食品科学および食品製造技術の発展について紹介する。次いで 狂牛病に代表されるような食の安全に対する懸念の 増加と国際的に見ても異常に低い食料自給率の問題 を取り上げ、日本の食のあり方について考察する	谷口 肇	谷口・肇
5	糖質の科学	糖質 (炭水化物) はエネルギー源として最も獲得しやすい栄養素である。食材として米、麦などの穀類、いも類、豆類などがある。デンプンが主なエネルギー源であるが、ショ糖、グルコース、乳糖、麦芽糖などの糖類もある。オリゴ糖、多糖類(食物繊維も含む)についての多くの有用な機能も紹介する。		中谷 延二

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
6	食品の嗜好性に 関わる機能 一香、味, 色-	食品の第二の機能といわれる嗜好性に関能について概説する。我々の感覚を直接和品の香り、味の成分を化学構造から分類でに発現機構の複雑さについて触れる。食品観とともに見た目のおいしさ、食欲との浴がある。食嗜好のファクターを考察する。	川激する食 (大阪市立 トるととも 大学大学院 品の色は外 助教授)	菊﨑 泰枝(大阪市立 大学大学院 助教授)
7	おいしさの科学 食肉のおいしさ	食肉のおいしさを構成する要素は、他の様に調理前の外観に関するものと、調理後でから知覚されるものに大別される。前者と脂肪の色、赤身のきめ、締り、脂肪交換り、後者には食感、味、香りがある。本調種食肉について、それらがどのように成りるかを解説する。	後口に入れ (日本獣医 音には赤身 畜産大学教 誰などがあ 授) 構義では各	(日本獣医
8	生活習慣病と食 生活	生活習慣病は加齢に付随して起こるものしかし名前の通り生活習慣によって、そのくなることも悪化することもある病気であを防ぐには、何よりもその発症機構を知っ生活を見直すことが大切である。本講義で慣病を引き起こす代表的な物質である活性用について我々の最近の研究成果を含めて	○発症が早 (奈良女子 うる。それ 大学教授) った上で食 ごは生活習 は酸素の作	小城 勝相 (奈良女子 大学教授)
9	カルシウムと骨	人体のミネラルの約半分を占めるカルシの 99%が骨と歯に存在する。リン酸、コラともに骨形成には重要な役割を演じている質として細胞分裂、血液凝固、神経活動の生命現象にも大きく関与している。カルシ謝をはじめ骨の健康に関わる生理的機構を	ラーゲンと 5が、電解 0維持など vウムの代	小城 勝相
10	新しい食品の創 出	食生活や運動習慣のアンバランス、生活 じるストレスなどが原因で発症する生活習 増している現在、これらの疾病を医療、技 のではなく、日常的に摂取する食品で予じ が広がってきた。そのひとつに特定保健用 養機能食品の創出、サプリメント類の増加 る。この経緯、背景を解説する。	習慣病が急 と薬に頼る うする試み 目食品や栄	中谷 延二
11	日本人の食生活	国民栄養調査の結果から国民の栄養状態取レベルの実態を概説する。その現状を顕が国の少子・超高齢化社会を支えるべく、の延伸と壮年死亡の減少をめざした食生活について考える。食と生活習慣病に関わる体例を例示しながら、食生活の面から健身増進を図るための指針を述べる。	を は は は は は は は な き は の な き は の な き は の の な き は の の は の の は の の の の の の の の の の の の の	菊﨑 泰枝

囯	テーマ	内	容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属・職名)
12	高齢者の食生活	高齢社会を迎えたわが国づけでなく、いかに健康で豊かるか、高齢者の生活の質の同課題である。本講座は、高齢調理上の工夫、高齢者用食器の向上を食生活の面から支援	いに長寿をまっとうでき 向上を図ることが重要な 者のための食品の創出、 器の創出など、生活の質	和田 淑子 (関東学院大学教授)	
13	食中毒による健康被害の現状	私達は生物資源を食材としている存在であり、環境問題でいる存在であり、環境問題で命の問題へと帰着する。2 関わる生物学的問題が身近れることを促す目的で、食中でる健康被害の現情を紹介し間	題は直ちに食の問題とし ト講座では食の安全性に よ危機として再認識され 最を中心にわが国におけ	(大阪市立	(大阪市立
14	食中毒の基礎知 識と環境問題	食中毒の生物学的要因をあいてその生態や病原機構に関る。また、本来自然に存在すの生物学的危害要因が実は利と密接に関連している可能性のようについて受講生自身が	関する基礎知識を講義す すると考えられるこれら 公達の社会経済活動など 性を紹介し、食環境のあ	西川 禎一	西川 禎一
15	健康な食生活	若年層から高年齢層にわた病や肥満症,高血圧症などの齢者の健康維持・増進などの食生活に大きく関わっているから健康な食生活を論ずる。	O生活習慣病の発症、高 多くの課題が、私たちの	中谷 延二	中谷 延二 小城 勝相 西川 禎一 秦枝

# 生活科学Ⅱ ( '06) = (TV)一住民主体の居住環境整備~

[ 主 任 講 師 (現職名) : 本間 博文 (放送大学教授) ] [ 主 任 講 師 (現職名) : 小林 秀樹 (千葉大学教授) ] [ 主 任 講 師 (現職名) : 藤本 信義 (宇都宮大学教授)]

#### 全体のねらい

居住環境整備は21世紀の日本社会が取り組むべき重要な社会課題の一つである。従来のように行政や民間のディベロッパーなど供給者側に依存した整備手法は、様々な限界を露呈し近年急速に居住者参加型のプロジェクトが増えつつある。本講義では、このような住まいづくり、まちづくりに参加する住民に対し、有効な知識や様々な情報並びに手法を提示し、プロジェクトの推進を支援しようとするものである。2章から8章までが住まいづくり、9章から15章までがまちづくりと2部構成になっている。

	· ·				
回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
1	居住者参加の意 味	集合住宅づくり、並びに居住者参加の意味を解説し、記2回目以後は、前半を住ま環境整備について論じる。	構義全体の狙いを述べる。	本間博文 (放授) 養本信義 (字教授)	(放送大学 教授)
2	世界のコープ住宅	居住者組合( housing co-o 給は、欧米、カナダで盛ん の全体像を概観する。併せ 合住宅の位置づけを明らかり 海外取材映像を活用する。	に取り組まれており、そ て日本の居住者参加型集	小 林 秀 樹 (千葉大学 教授)	小 林 秀 樹 (千葉大学 教授)
3	日本のコーポラ ティブ住宅	日本のコーポラティブ住宅る。とりわけ、最近企業や企画型コープが増えてきて、映像を交えてその実態を解説がストー中林由行氏(NP0コ局長)	コーディネーター主導の いるが、現地ロケなどの 说する。	本 間 博 文 (放送大学 教授)	本 間 博 文 (放送大学 教授)
4	スケルトン定借 マンションの事 業プロセス	スケルトン定借マンション 条件ではないが、通常のコー て土地取得のハードルがな 半を占める。この新しい住 事業プロセスを解説する。 ゲスト 田村誠邦㈱アーク	ーポラティブ住宅に比べ い分、参加型の事業が大 宅供給システムの紹介と	小 林 秀 樹 (千葉大学 教授)	小 林 秀 樹 (千葉大学 教授)

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師 名
5	居住者参加による環境共生住宅	環境と共生することにより、 荷を出来るだけ軽減し、出来 分たちの居住環境を造ろうと と一体となって実現している 境共生住宅の現状を紹介する ゲスト 甲斐徹郎 ㈱チーム	そるだけ良好な状態で自 さする運動がコープ住宅 ら。居住者参加による環	本 間 博 文 (放送大学 教授)	本 間 博 文 (放送大学 教授)
6	コレクティブハ ウジング	家族形態の多様化を受けて生住まい方を求めたコ・ハウシはコレクティブハウス)が関る。現地での取り組みと近年する。	ジング(スウェーデンで 大米を中心に定着してい	小谷部育子 (日本女子 大学教授)	小谷部育子 (日本女子 大学教授) 小 林 秀 樹 (千葉大学 教授)
7	住民参加による 公共住宅の再生	公共住宅の建て替えや大規模 参加を重視する動きが出てき 題について事例を交えて考察	ている。その背景と課		横 (大教本) 人数本 (大学) 間送 (大学) 間送 (大学)
8	マンション建て 替え ・	老朽化するマンションの建て問題に発展する可能性が高いって事業を進められることにが大きな課題になる。近年の今後の取り組みへの指針を探ゲスト 田村誠邦㈱アークブ	、当然居住者参加によこなるが、参加のあり方 の事例を紹介しながら、 そる。	本 間 博 文 (放送大学 教授)	本 間 博 文 (放送大学 教授)
9	まちづくりワー クショップ (1) 参加型まちづく りの手法	参加型まちづくりの手法とし 広く適用されるようになって 容、適用範囲は多岐にわたっ ショップとは何かを明らかに 例に学びながら適用の実態を 運営方法等について論じる。	ているが、その種類、内 っている。まず、ワーク こしたうえで、米国の事	(宇都宮大	
10	まちづくりワー クショップ (2) ワークショップ の実際		こついて、経験してみなっえにくい。そこで、参 ひとつの事例を採り上	1 ' ' '	藤 本 信 義 (宇都宮大 学教授)
11	「つなぎ」の戦 略によるまちづ くり		いる。モノ・ヒト・コト 5きとしたまちづくりが する。都市農村交流や、	藤 本 信 義 (宇都宮大 学教授)	藤 本 信 義 (宇都宮大 学教授)

回	テーマ	内容		放送担当 講 師 名 (所属·職名)
12	NPO によるまち づくり	NPO によるまちづくりへの取り組みが盛んになりつつあることに焦点をあて、NPO の活動領域をまず概観し、実際にまちづくり活動を展開している NPO の位置づけを行う。具体的な事例としては、特定地域のまちづくりに関わる NPO と、全国を視野に入れて都市農村交流を図る NPO の 2 つを紹介する。	(宇都宮大学教授)	
13	景観に配慮した まちづくり	欧米に比べて遅れをとってきた我が国の景観行政も、「景観法」の公布・施行によって、良好な景観を国民資産として守り育てることを明らかにした。景観に配慮したまちづくりを行うためには、市民が景観をどのように評価し、どのように行政との協働を図るべきかを、先進的な自治体の取り組みをもとに検討する。また、景観規制の厳しいフランスの事例から、景観計画の視点を学ぶ。ゲスト 和田幸信(足利工業大学教授)	(宇都宮大 学教授)	
14	グラウンドワー ク	行政依存により身近な居住環境と関わることが希薄化してしまった現代社会で、ボランティアなどコミュニティやNPOの力を引き出し、企業や行政と連携して身近な居住環境をコミュニティが創造していく動きをつくろうとするのがグラウンドワークである。1980年代はじめに英国に端を発し日本のみならず世界に広がりつつあるグラウンドワークの考え方と実践方法を紹介する。 グスト 小山善彦 (バーミンガム大学講師)	(宇都宮大 学教授)	三橋伸夫 (宇都宮大 学教授)
15	グリーンツーリ ズムと農家民宿	過密な大都市に生まれ育ち、時間に追われてストレスを抱える都市生活者が増えるにつれて、緑豊かな田園環境でゆったりとした時間を家族や友人と過ごすグリーンツーリズムが注目され、こうした人々を引き受け交流するため農家が自らの居住環境を整える農家民宿が増えつつある。その動きを先進地のひとつである英国やわが国の事例を通して紹介しながら今後のあり方を探る。 グスト 青木辰治 (東洋大学教授)	(宇都宮大 学教授)	., . , ,

## = 健康科学('05)= (TV) -人々の健康を支える基盤-

[主任講師: 多田羅 浩三(放送大学教授)] [主任講師: 瀧澤 利行(茨城大学教授)]

#### 全体のねらい

平均寿命世界一の社会は、世界一多様な健康状態の人たちが生活する社会であり、そのような社会が求めている新しい科学の役割こそ、「健康科学」が担わなければならないか。そうした観点に立って、講義ではヒポクラテス以来の人類の医学のあゆみ、また人々の健康を支える制度の構築に先駆的な取り組みをすすめてきたイギリスのプライマリケアの現状についての理解をもとに、21 世紀の「健康科学」が、人々の多様な健康状態を支える科学として、どのような方向を目指すべきか、考えたい。

	TO CONTRACTOR OF THE CONTRACTO				
回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名	
1	医学のあゆみ その1	西洋医学の父といわれ、医神アスクレピオスを奉じて活躍した、ヒポクラテスの医学の、症状の観察、液体病理学、瘴気論という方法と考え方、またヒポクラテスの医学を継承したローマ時代の医師、ガレノスの生気論を中心に、その内容、特徴について学び、西洋医学の原点を確認したい。	多田羅 浩三 (放送大学教 授)	多田羅 浩三 (放送大学教 授)	
2	医学のあゆみ その 2	人間の発見をモットーとする、ルネッサンスという時代を迎え、ヴェザリウスの解剖学が生まれ、ハーベイ、ラマッツィーニ、モルガーニ、ビシャー、シュヴァン、ウイルヒョウらによるヒポクラテスの液体病理学への挑戦をつうじて得られた人間の疾病の本態についての理解、またスノー、パスツール、コッホ、フレミングらによる瘴気論への挑戦、ナイチンゲール、ペッテンコーフェルらによる瘴気論の継承によって進められてきた疾病への闘いのあとをたどり、その特徴について考えてみよう。(パスツール以下は、医学のあゆみ その3で講義)	多田羅 浩三	多田羅 浩三	
3	医学のあゆみ その3	ヒポクラテスの医学において、最も重視されたのは症状の詳細な観察と記録である。その伝統を継承したのは、シデナム、ブールハーヴェであり、産業革命を背景に登場してきた病院を舞台に区分収容という方法を取り入れ、症状の中に疾病を発見するという診断学の手法を明らかにしたのがブライトである。3回の講義のまとめとして、長いあゆみを経て到達した現代の医学の特徴をふまえ、21世紀の健康科学の目指すべき方向について考えてみたい。		多田羅 浩三	
4	イギリスのプライ マリケアに学ぶ その1 人々の健康を支え るシステム	イギリスでは、1911年の国民健康保険制度の発足以降、公衆衛生、一般医の医療の上に、病院の医療が重ねられるよう、プライマリケアの管理システムをどのように構築するか、1948年の国民保健サービスの実施を経て、100年に近い取り組みがすすめられてきた。講義では、その意義、特徴について考えてみたい。現地にオックスフォード・プライマリケア・トラストを訪問し、現状や課題について話しを聞き、紹介したい。	多田羅 浩三	多田羅 浩三	
5	イギリスのプライ マリケアに学ぶ その2 人々の健康を支え る施設	プライマリケアの中核を担っているヘルスセンター、また地域の多様な住民を対象にした母子保健事業の拠点となっているファミリーセンター、在宅での療養を中心にしたケアをすすめるために設置されている成人用、小児用のホスピスなどが、人々のプライマリケアを支えている。オックスフォードに設置されている、これらの施設を訪問し、施設の特徴や課題について、話しを聞き、紹介したい。	多田羅 浩三	多田羅 浩三	

回	テーマ	内容	講 師 名	放送担当 講 師 名 (所属・職名)
6	イギリスのプライ マリケアに学ぶ その3 人々の健康を支え る多様なスタッフ	地域にあって、疾病ではなく人間を診るという理念のもとに 活躍している一般医、また健康課題のよき相談相手として活 躍している保健師、ナイチンゲール以来の伝統の中で在宅看 護を担っている地区看護師など、多様な専門職によって、人々 の健康は支えられている。これらの専門職の人たちをオック スフォードに訪問し、その仕事ぶりを紹介したい。	多田羅 浩三	多田羅 浩三
7	現代社会における健康問題の多様化	現代社会における健康問題は先進国においては、ライフスタイルの変化にともなう生活習慣病を中心とした慢性疾患と社会構造の複雑化に起因する心身のストレス性疾患が増加しており、発展途上国では貧困による栄養障害や感染症がなお健康阻害要因として大きな位置を占めている。文明化の過程で疾病像がどの様に変化するかを検討しながら、現代社会における栄養、運動、こころの健康問題について検討してみよう。	(茨城大学教	瀧 澤 利 行 (茨城大学教 授)
8	ヘルスプロモーションと <b>健康増</b> 進	こんにち、多様化した健康問題を解決するための国際的動向としてヘルスプロモーション運動が展開されている。個人の健康向上のためのスキルアップや技術向上と社会的環境整備の両面を指向したこの活動は、先進諸国においても発展途上国においても共有できる理念・方法として普及している。ここでは、その理論的背景と具体的構成要素について、考察を加える。	瀧澤 利行	瀧澤 利行
9	健康管理・健康教育 の新しい展開	急性疾患から慢性疾患への疾病像の変化にともない、プライマリケアの重要性が提起されるようになって久しいが、こんにちではさらに健康管理においては根拠にもとづく健康管理(EBHC)やケアの質管理の問題が論じられ、健康教育においても行動変容からさらに住民参加型の健康教育へと方法論が拡大している。ここでは、専門家の裁量や経験性への依存にとどまらず、情報の共有による創造的・双発的な健康管理と健康教育の動向を検討する。	瀧澤 利行	瀧澤 利行
10	健康と文化	人々の健康に関する働きかけは、前回までの講義で明らかに されたような科学的方法論による追求とともに、個別の地域 や集団の文化性に強く規定される。人々の健康増進をその生 活の次元に合わせて融和的に実現するためには、対象集団の 文化的特性や地域的実情を十分に知る必要がある。ここでは 地域への保健活動の前提としての健康と文化的特性との関係 を主要な理論や実例を通して考えていくことにする。	瀧澤 利行	瀧澤 利行
11	人々の健康を支え る事業・成果と展 望-	わが国の公衆衛生は、保健所の機能を基盤として成長してきた。近年、多くの事業が保健所から市町村へ移行している。 市町村が実施している母子保健事業、老人保健法による保健 事業、介護保険事業計画、健康日本 21 地方計画などについて、 大阪府摂津市を訪問し、現状を中心に、その実績から、人々 の健康を支えている事業の役割、成果、展望などについて考 えてみよう。	多田羅 浩三	多田羅 浩三
12	健康の危機管理	人々の健康を支えるという課題について考えた場合、人々の 健康は、大きな公害や震災、流行病などによって大きな被害 を受けてきた。それらの経験から学ぶことは極めて多く、貴 重であると思われる。とくに戦後、わが国が経験した水俣病 やイタイタイ病、阪神淡路大震災、大腸菌 0157 食中毒、バ イオテロ、SAHS などの事例を振り返り、危機管理の基本的 なあり方について考えてみたい。	多田羅 浩三	多田羅 浩三

口	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
13	公衆衛生の役割と 展望	人類の公衆衛生は、19世紀、産業革命を背景とした人口の都市への集中と国際的な経済交流の発展を背景とした感染症の流行という事態に直面して生まれた社会の制度である。フランクやチャドウイック、ラムゼイ、シモンらの活躍によって構築されてきた、公衆衛生の伝統について学び、とくに社会の関与が人々の健康に対し、どのような役割を担うことができるか、公衆衛生の展望について考えてみたい。	多田羅 浩三	多田羅 浩三
14	健康日本 21 の意義 一国民の責務と 人々の健康一	西洋医学は、人類の疾病への闘いに大きな成果を挙げてきた。 その現代の優等生は日本である。昭和 61 年には男女ともに平 均寿命世界一の記録を達成した。そのような実績にもかかわ らず、わが国の生活習慣病による死亡数は激増している。平 均寿命世界一の社会は、最も多様な健康状態の人たちが生活 している社会である。結果として、人々の生活習慣、医療保 険制度、保健事業や福祉事業のあり方が厳しく問われている。 そのような状況の中ですすめられている、健康日本 21 の意義 について考えてみたい。	多田羅 浩三	多田羅 浩三
15	人々の社会を 支える制度	人類の歴史の中で生まれ発展してきた制度の中で、とくにイギリスの歴史にみられる、陪審制度、議会制度、大学、修道院の解体と教貧法、プロフェッションの誕生、医療保障制度の成立などにフォーカスをあてて、長い歴史の中で人々の社会を支える制度が築かれてきた歴史について考えてみたい。その中で、講義の最終回として、人々の健康を支える基盤が目指すべき方向について、考えてみたい。	多田羅 浩三	多田羅 浩三

## = 精神医学('06)=(R)

〔主任講師:仙波 純一 (放送大学教授)〕 〔主任講師:石丸 昌彦 (桜美林大学教授)〕

#### 全体のねらい

この科目は臨床心理士養成コース大学院の科目として作成されたものである。したがって、ある程度 医学的な知識がなくとも、精神医学の役割を理解できるように工夫されている。診断学は簡単な記述に とどめ、精神科疾患を提示し、その治療の道筋を把握できるように作成した。

回	テーマ	內容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
1	精神医学とは何か	医学における精神医学の占める位置を説明し、次に精神医学の簡単な歴史と現状について述べる。精神症状を把握するための面接法、臨床検査法、および診断法の概略を述べる。	(放送大学	仙波 純一 (放送大学 教授)
2	精神医学的面接法	精神医学的な面接は、症状の聴取だけでなく、診 断あるいは治療にも直結する重要な行為である。	仙波 純一	仙波 純一
3	統合失調症(1)	精神医学の最大の課題のひとつである統合失調症 をとりあげ、その疫学、症状、推定されている成因 などについて述べる。	石丸 昌彦 (桜美林大 学教授)	石丸 昌彦 (桜美林大 学教授)
4	統合失調症(2)	統合失調症の治療法すなわち、薬物療法、精神療 法、社会復帰療法などについて述べる。	石丸 昌彦	石丸 昌彦
5	気分障害(1)	従来の診断名では躁うつ病とよばれる気分障害を とりあげ、その疫学、症状、推定されている成因な どについて述べる。	仙波 純一	仙波 純一
6	気分障害(2)	気分障害の治療法を構成する薬物療法と精神療法 の役割を述べる。	仙波 純一	仙波 純一
7	不安障害(1)	伝統的には神経症と呼ばれてきた疾患群を不安障害としてとりあげ、その主なものについて、疫学、症状、治療法などを述べる。	石丸 昌彦	石丸 昌彦

Ħ	テーマ	内	容	講師	i 名	放送 講 師 (所属・	下 名
8	不安障害(2)· 摂食障害	第7章に続き、不安障害につい 拒食症・過食症などの摂食障害の て述べる.	•	石丸	昌彦	石丸	昌彦
9	人格障害	境界性人格障害などを含む人格 ティ障害)の概念、特徴について		石丸	昌彦	石丸	昌彦
10	薬物・アルコー ルや身体疾患に よる精神障害	社会問題化しているアルコール 存症などの疫学、症状、治療につ 神経系疾患の部分症状として現れ て解説する。	いて述べる。中枢	仙波石丸	—	仙波石丸	純一昌彦
11	老年期の精神障 害	高齢化社会で問題となる老人性 うつ病をとりあげ、その疫学、類 ついて述べる。	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	石丸	昌彦	石丸	昌彦
12	児童青年期の精 神障害	小児期に明らかとなる広汎性発達 注意欠陥多動性障害などについて達		1	宏伸可都立		京都立
13	精神科治療(1)	精神科治療薬の種類とその推定 ついて述べる。	される作用機序に	仙波	純一	仙波	純一
14	精神科治療(2)	精神科治療における心理・精神 その基本原則について述べる。	療法をとりあげ、	石丸	昌彦	石丸	昌彦
15	日本の精神医療 の現状	日本の精神医療の現状を行政や法 る. 同意の得られない治療は精神 いて行われる。また刑事責任能力 上の問題が生じることもある。さ が地域に住み満ち足りた生活や活 地域で行うべき精神医療や福祉に	保健福祉法に基づ などについて司法 らに,精神障害者 動を行えるために	仙波	純一	仙波	純一

## = 経営システム I ( '06) = (R) -企業の公的経営-

[ 主 任 講 師 (現職名) : 佐々木 弘 (神戸大学名誉教授) ] [ 主 任 講 師 (現職名) : 山田 幸三 (上智大学教授) ]

#### 全体のねらい

受講者が関心をもつテーマや修士論文で取り上げようとするテーマをより広い学習分野の中から選択できるよう「経営システム I 」は、講義内容を大きく、二つに分けた。前半の第 I 部では私企業(民間企業)の経営を対象とし、後半の第 II 部では公企業の経営を対象とする部分から構成させるよう努力した。それぞれの分野の重要問題を簡潔に学ぶことにしよう。

回	テ	_	7			内			容				講	師	名	放送講師属	币 名
				第	I	部	私	企	業	の	経	営					
1	環境の		で生き	企業は経体であり が存続に で単に受 的な活動	)、そ 二影響 を動か	この環境 学を及ぼ かに適応	とのさ す。し するだ	まざま かし、 けでに	なや 企業 tなく	り取 は環 、自	り の <sup>刀</sup> 寛 に 文	が けし	山 ( 教 教	上智力	<b>幸三</b> 大学	山田 (上 <sup>4</sup> 教授)	幸三四大学
2	経営戦	略の	策定	経営戦略的に高いでは、	片構想 いして 経営	!であり   いくた   戦略の	、能動 めに不	的な活 可欠な	動に :役割	よっ を果	て経営 たす。	環こ		上智っ	学 プラ	山田 (上旬 教授)	幸三 習大学
အ	全社戦	略		経営全構 を 業	战略と 対戦略 を期的	に分け な も い な 視 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点	ること ばれ、 から分	ができ 企業全 析して	る。 体に 事業	全社 関す 戦略	戦略に る課題 間の整	事を合		上智力	三学	山田 (上 <sup>4</sup> 教授)	幸三四大学
4	事業戦	略		事業戦略「何を」化を図るの分析を	「v 必要 と中心	かに」 がある いに事業	という 。ここ 戦略を	3 つの では、	)問題 顧客	に答: の分	えて差 折と <i>が</i>	别争		上智力	学	山田 (上和 教授)	幸三智大学
5	<b>競争優</b> システ	•	事業	持続的な ビスのレ のレベハ 質的な影 優位に関	/ベル /で蘇 !題で	√ではな 6争相手 ある。	く、事 との差 ここで	業シス 別化を は、事	テム 実現 業シ	といっ	う仕組 ことが	lみ 本	,	田 君 上智力 受)	' I		幸三

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
6	事業システムの設計と構築	事業システムでの競争優位に 性質をもっている。ここでは 構築のための基本的な選択と ための基本的な論点について	は、事業システム設計と と事業システムの設計の	山田 幸三 (上智大学 教授)	
7	情報化時代の事業システム	1990 年代以降の競争では、は 俊敏性がキーワードとなって 戦略の実現に必要な組織の必要な役割を果たす。情報とこクの特性に見合った事業シスいる。	いる。情報化の進展は、 後敏性を高めるために重 コンピュータネットワー	(上智大学	
8	新事業開発と支 援システム	新事業開発は企業の主要な単企業の成功確率は決して高いは、新事業開発のための戦闘基本的な論点を説明する。	いとはいえない。ここで	山田 幸三 (上智大学 教授)	山田 幸三 (上智大学 教授)
		第 Ⅱ 部 公	企業の経営		
9	公企業とは何だ ろうか	公企業とは何だろうか。資本なぜ私企業だけで、すべてを の存在理由や意義は何か。な て) どのような経営原則に基 のか。	とやれないのか。公企業 公企業は(私企業に比し	佐々木 弘 (神戸大学 名誉教授)	佐々木 弘 (神戸大学 名誉教授)
10	公企業と公益企 業	公企業としばしば混同される う用語がある。そこで、公益 との相違点はどこにあるのか な産業群にみられる企業をV 年の公益企業規制改革の動向	益企業とは何か。公企業 い。具体的にはどのよう いうのか。できれば、近	, , ,	
11	公企業の経営形 態(その1)	公企業とひとくちでいっても 様々な経営形態をまとって有 公企業の経営形態を類型化し 主要な形態のいくつかをとり 題を明らかにしていくことが	存在している。そこで、 して示したうえで、その ) 出して、その特徴や課	(神戸大学	
12	公企業の経営形 態(その2)	前章につづいて、ここでは、 心を集めている「第三セクタ その理論と実際、いくつかの い。	アー」形態をとりあげ、	(神戸大学	

旦	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師 名
13	公企業の経営効 率化をいかに促 すか (その1)	公企業の経営効率化をいかに促すか。物価安定政策 会議や経済企画庁(現内閣府)での議論、さらには、 欧米における動向等を参考にしつつ、公企業の経営 効率化への方策をいくつかの視点から論じる。	佐々木 弘 (神戸大学 名誉教授)	佐々木 弘 (神戸大学 名誉教授)
14	公企業の経営効 率化をいかに促 すか (その2)	最近、PFI 方式や独立行政法人制度をはじめ、上下分離論方式や多様な経営委託など、公的サービスの供給方式の多様化が注目されるようになった。このような流れの中で、公企業はどうあるべきかを考えてみよう。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	佐々木 弘 (神戸大学 名誉教授)
15	公企業の経営改 革の方向をめぐ って	公企業の今後のあるべき姿、経営改革のめざすべき 方向が模索されている。ここでは、その主な立場の 一つとして総合規制改革会議の考え方とそれに対す る私自身の批判的論文を示すことによって、読者自 身に考えてもらう材料を提供することにしたい。	佐々木 弘 (神戸大学 名誉教授)	佐々木 弘 (神戸大学 名誉教授)

# 経営システムⅡ ( '05) = (R)経営者機能 -

[主任講師:吉森賢(放送大学教授)]

#### 全体のねらい

経営破たん、違法行為などにより今日ほど企業経営者が厳しい批判に曝されている時代は過去に少ない。このため経営者にはさまざまな要求がつきつけられている。この講義は経営者の視点からその基本的機能を再構築し、新たな指針の一助とすることを試みる。具体的には経営者の機能を経営理念、企業文化、企業倫理、企業統治、経営戦略の策定・実施・維持・改変と定義し考察する。また日本のみならずアメリカ、イギリス、ドイツ、フランスの実態をも検討し、参考にする。

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師 名
1	経営者機能	経営者が果すべき企業理念、企業 治、企業戦略の5機能について定義 連性と階層関係をソニーの例により を実践するために最高経営責任者に リーダシップ、企業家精神について	をし、これら相互間の関 説明する。次いでこれら 求められる態度、責任、	吉 森 賢 (放送大学教授)	吉 森 賢 (放送大学 <b>教</b> 授)
2	企業理念	企業理念を企業の目的、利害関係 治、企業戦略などに関して成文化され これがなぜ企業の永続的発展に重要 た企業理念とその評価基準を示し、	れた基本的方針と定義し、 なのかを理解する。優れ	同上	同上
3	企業文化-類型と 経営成果	企業文化とは企業理念に基づき形 から従業員に至るまで共有され、実 指針を意味する。成功する企業とそ 文化にどのような違いがあるかを類	践され、伝承された行動 うでない企業とでは企業	同上	同上
4	企業文化-形成と 変革	企業文化の形成過程と変革におい 割を理解する。企業文化形成のため し、その風化と変革が必要となる過 解する。企業文化の変革において企 を理解する。	の組織、人事制度を概観 程および変革の方法を理	同上	同上
5	企業倫理一制度的 側面	企業倫理の実践における経営者の 社会的責任、持続可能性の側面を把 るための倫理・行動規範の策定、倫 倫理教育、順守状況の点検、内部告	握する。これらを実践す 理・行動委員会の設置、	同上	洞上

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
6	企業倫理-利害関 係者-日本・ドイ ツ・フランス	利害関係者、中心的利害関係者、主権者としての顧客の地位を定義し、日本、ドイツ、フランスの従業員中心主義とアメリカ、イギリスの株主至上主義を比較する。この二つの異なる利害関係者概念の歴史的源泉を概観する。	吉森 賢	吉森 賢
7	企業倫理-利害関 係者-アメリカ・イ ギリス	アメリカとイギリスが共有する株主至上主義の歴史的源泉 をイギリスの資本主義発達の初期条件まで辿る。また法的に はこの概念が修正を受けていること、株主至上主義を拒否し つつ高い経営成果を実現しているアメリカ企業の成功要因を 分析する。	同上	同上
8	企業統治	企業統治は最高経営責任者の候補者選出、最高経営責任者に対する監督、場合により更迭、解任という他の全ての経営者機能に優越する最も重要な役割が与えられている。企業統治の重要性とその制度の5カ国比較を行い、次回以降の各国の企業統治改革への取組みの理解を容易にする。	同上	同上
9	日本の企業統治改 革	日本における取締役会改革の歴史を概観し、2003年の 改正商法実施により、企業は監査役を維持する従来型取締役 会と、監査役を廃止し代わりに取締役会に三種の委員会を設 置する改革型取締役会のいずれかを選択できる。これらの内 容を考察し、選択制による改革の実施状況を検討し、今後の 問題点を指摘する。	同上	同上
10	アメリカの企業統 治改革	アメリカにおいては2001年のエンロン他の大企業不祥 事以降、大規模な取締役会改革が実施された。この不祥事が 生じた原因と内部告発により表面化した過程を明らかにす る。このような不祥事防止のため取られたサーベンズ・オク スレー法を中心とする様々な改善措置を検討する。	同上	同上
11	イギリスの企業統 治改革	イギリスの企業統治改革はその先駆性と立法によらない改革方式によりドイツ、フランスにも影響を及ぼした。90年代から今日に至るまでのその改革の過程と特質を検討する。また改革の内容を検討し、その実施状況と実効性を評価する。	同上	同上
12	ドイツの企業統治 改革	ドイツにおける企業統治改革の背景を明らかにし、二層型 取締役会と共同決定に特徴付けられる企業統治の特質を概観 する。その欠陥を是正するために取られた政府主導の改革と クロメ委員会による企業統治行動規範を解説し、評価する。	同上	同上
13	フランスの企業統 治改革	フランスの企業統治制度はアメリカとドイツの特質を併せ 持つ。その内容を把握した後に、これまでの経営者による自 主的な改革の過程と成果を考察する。これが立法化されて新 経済規制法となったがその内容を検討し、実効性を評価する。	同上	同上

旦	テーマ	内	容	執 筆 講 印 (所属・	5 名	放 送 i 講 師 (所属・)	名
14	企業統治の有効性 と限界	と Xerox の企業の比較により あるが、それには限界もあり、	恒性をトヨタと GM、キヤノン 巴握する。企業統治は重要では それ自体が経営成果を決定す この発揮によりはじめて永続的 なする。	吉森	賢	吉森	賢
15	企業戦略と経営成 果	施である。他の経営者機能との られた役割を事業分野の特定、	5妥当性のある戦略の策定と実 5関連において企業戦略に課せ 中核能力の規定、多角化、製 統合戦略、競争戦略などの視	同	Ŀ	同」	=

## = 経済政策 I ( '05) = (TV) - 現代政策分析 -

[主任講師: 林 敏彦(放送大学教授)]

#### 全体のねらい

政府の経済政策は、民間経済活動が円滑に行われるための制度的および経済的基盤を整え、市場制度を補完し、必要に応じて自ら市場に参加して、効率的で、公正で、よりよい資源配分の実現を目指すことを目標とする。この講義では、現代の経済政策が果たすべき役割について、理論的、実証的に検討する。

回	テーマ	内 容		放送担当 講師名 (所属・職名)
1	経済政策はなぜ必 要か	政府が行う政策のうち、ひとびとの経済生活に直接影響する ものを経済政策と呼ぶ。日本のような市場経済において、経 済政策はなぜ必要なのだろうか。シカゴ学派の考え方と制度 学派の考え方を比較検討してみよう。		林 敏彦 (放送大学教 授)
2	社会の厚生	政策効果は、社会全体の厚生を基準にして判断されなければならない。社会的厚生は、市民主権の原則のもとに、効率性と公正さを追求することによって高まる。経済政策決定、実行過程への参加のあり方も重要な政策評価の対象となりうる。	同上	同上
3	カルドア=ヒック ス基準	政策がひとびとの全員一致で支持される場合には問題ないが、一般にある政策がとられれば、それによって新しく利益を受ける人と利益を失う人が現れる。利害得失を超えた政策 判断はどのような基準に基づいて行えばよいのだろうか。	同上	同 上
4	市場の成功と失敗	市場メカニズムによって最適な資源配分が実現されるというのはどういうことだろうか。市場はどのような場合に成功し、 失敗するのだろうか。どのような財でも市場取引に委ねることで社会的最適が実現されるのだろうか。	同上	同上
5	外部効果と政府の 役割	企業や消費者の経済活動が、契約当事者以外の第3者に影響を及ぼすことを外部効果という。外部効果の例としてはどのようなものがあり、外部効果が存在すれば市場が失敗すると言われるのはなぜだろう。	同上	同上
6	公共財	社会の構成員が同じ量だけ消費するしかないサービスは、公 共財と呼ばれる。市場は公共財の最適供給に失敗するという のはどういう意味なのか。公共財のただ乗り問題とは何か。 公共財は政府が供給すべきなのだろうか。	同上	同上

回	テーマ	内	容	ì	当 放 送 担 当 名 講 師 名 3) (所属·職名)
7	不確実性と情報	金融活動に限らず経済活動のほとんとている。リスクと不確実性には民間のだろうか。情報が偏っている場合、すろうか。何らかの政府の介入は必要だ	)保険だけで対応が可能 j場はうまく機能するだ	同 上	同上
8	政府の失敗	外部効果、公共財、情報の偏在などかると言われる。では、それらを補正すだろうか。投票のパラドックス、政府ンシー費用などについて見てみよう。	る政府は失敗しないの	同上	同 上
9	政策分析	政策の立案、策定、実行には膨大な情とされる。費用・便益分析、産業連関イデアの市場のあり方、および民主主の関係について考えてみよう。	分析を紹介し、政策ア	同上	同上
10	マクロ財政政策	経済全体に占める政府の経済活動が大は景気や雇用、物価や国際収支など、きな役割を担うと考えられている。政マクロ経済をどこまでコントロールで	マクロ経済の運営に大 府は財政政策によって、	同上	林 敏彦 ゲスト出演 吉川 洋 (東京大学教 授)
11	金融政策	市場経済が円滑に機能し、貯蓄が有意られるためには、金融システムおよひされなければならない。現代の日本が的課題は何だろうか。	通貨供給が適切に運営	同上	林 敏彦 ゲスト出演 岩田 一政 (日本銀行副 総裁)
12	労働政策	日本の家計所得の 8 割を占めるのは第 場にはどのような変化が起こっている 働き方に変化が見られるのだろうか。 て考えてみる。	のであろうか。人々の	同上	林 敏彦 ゲスト出演 大竹 文雄 (大阪大学教 授)
13	通信政策	情報通信技術の社会的経済的インパクは、ネットワークインフラからデジタ報通信産業にどのような規制政策や産だろうか。	ルコンテンツまでの情	同上	林 敏彦 ゲスト出演 中村 伊知哉 (スタンフォ ード日本セン ター)
14	地域経済政策	地方自治体も経済政策を担当している ルとは異なる自治体の政策手段選択上 激化、地域経済ビジョン政策、利用者 スの問題などについて考えてみよう。	の制約、地域間競争の	同 上	林 敏彦 ゲスト出演 石井 正弘 (岡山県知事)

回	, テ ー マ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師 名
15	国際的課題	近年、マクロの政策協調、国際組 オソン層破壊・種の多様性など 国際的広がりをもつ政策課題の 府なき国際公共政策は可能なの	のグローバルな環境問題等、 重要性が増している。世界政	同上	林 敏彦 スタンフォー ド日本センタ ーでの米 生の授業 景。

# 経済政策 II ( '05) = ( R )財政金融政策 −

[主任講師: 土居 丈朗 (慶應義塾大学助教授)]

### 全体のねらい

経済政策の中心である、財政政策と金融政策について、わが国の制度と理論を学ぶ。この講義で主立って取り上げる内容は、社会保障、公共投資、地方財政、租税、財政投融資、国債管理政策、金融政策についてである。これらの政策に関して、どのような仕組みの制度に基づいて運営されているか、そしてその政策効果を高めるには理論的にみてどのようにすればよいか、などについての理解を深める。

田	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
1	財政制度(1)	わが国の財政制度を概観し、データを用いてその現状を解説する。日本のマクロ経済における財政の位置付け、その国際 比較、国民を取り巻くわが国の財政制度、わが国における国 家財政の仕組みなどについて扱う。	土居 丈朗 (慶應義塾大 学助教授)	土居 丈朗 (慶應義塾大 学助教授)
2	財政制度(2)	第1回に引き続き、わが国の財政制度を概観し、データを用いてその現状を解説する。国の予算・決算過程、近年における国家財政の動向などについて扱う。	同上	同上
3	租税制度	わが国の租税制度を概観し、データを用いてその現状を解説 する。租税原則、国の税制、地方の税制、データで見た近年 における税収の動向などについて扱う。	同上	同上
4	租税の経済理論	経済理論に基づいて、租税制度のあり方を議論する。最適課税理論、理論からみた所得税や消費税のあり方、資産課税のあり方、改成における税制改革の行方などについて扱う。	同 上	同 上
5	社会保障(1)	わが国の年金制度を解説し、経済理論が示唆する今後のあり 方について議論する。公的年金制度、企業年金などの公的年 金を取り巻く諸制度、年金の財政方式、公的年金改革のあり 方などについて扱う。	同上	同上
6	社会保障(2)	わが国における医療保険、介護保険の制度を解説し、経済理論が示唆する今後のあり方について議論する。医療保険制度、介護保険制度、これらを総合的に見た社会保険改革のあり方などについて扱う。	同上	同上
7	公共投資	わが国の公共投資について、制度と現状を解説する。これまでの公共投資の動向、公共投資の分野間配分・地域間配分、 経済理論から見た公共投資のあり方などについて扱う。	同上	同 上

回	テーマ	内容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属·職名)
8	地方財政(1)	わが国の地方財政制度を概観し、データを用いてその現状解説する。国と地方の財政関係、地方税制、地方交付税制度地方債制度などについて扱う。		土居 丈朗 (慶應義塾大 学助教授)
9	地方財政 (2)	第8回の内容を踏まえて、近年におけるわが国の地方分権 革について議論する。わが国の地方財政制度は、これまで 央集権的であるといわれてきた。近年になって、それを分 化する動きが進んでいる。地方分権改革の内容や、経済理 から示唆される今後の行方などについて扱う。	中 権	同上
10	財政投融資と地方 債	国の金融活動の1つである財政投融資について理解を深る。財政投融資は、郵便貯金や年金積立金として集められ資金などを用いて、特殊法人や地方自治体などに貸し出す度である。その仕組み、近年における改革の動き、そして政投融資と地方債の関係などについて扱う。	た 制	同上
11	財政と金融	これまでの講義で扱った財政政策を踏まえ、財政政策と金 政策の関係を議論する。財政金融政策に関するマクロ経済 論、財政政策と金融政策の役割分担などについて扱う。		同上
12	金融政策	わが国の金融政策を取り巻く制度を概観し、データを用い その現状を解説する。金融指標の見方、金融政策の手段と 標、中央銀行の独立性、インフレ・ターゲティングなどに いて扱う。	目	同上
13	国債管理政策	わが国の国債管理政策を取り巻く制度を概観し、データをいてその現状を解説する。公的債務の範囲、国債の累増、 債の満期構成、国債管理政策のあり方などについて扱う。	,	同上
14	経済政策の政治経 済学	経済政策の政治的意思決定に関する経済分析について解説 る。公共選択論、民主主義の経済分析、官僚制の経済分析 政治経済学的に見た日本の経済政策などについて扱う。		同上
15	経済政策のあり方	これまでの講義のまとめとして、わが国におけるこれまで 経済政策がどのように行われてきたかを展望し、今後の経 政策の課題について議論する。その中で、近年着手した改 として、財政投融資改革、特殊法人改革、公会計改革など ついても触れる。	済 革	间 上

# 地方自治政策 I ( '05) = (TV)自治体と政策 -

〔主任講師: 天川 晃(放送大学教授)〔主任講師: 澤井 勝(奈良女子大学名誉教授)〔主任講師: 北村 喜宣(上智大学教授)

# 全体のねらい

分権改革後の自治体は、自治体運営(ガバナンス)の主体としての責任が大きくなった。都道府県、 市町村を問わず、それぞれの自治体は、地方制度の枠組みの中で、自らが持つさまざまな資源を活用し つつ住民の求める政策を展開することになった。この科目では、政策主体としての自治体という観点か ら、制度、政策など自治体が当面する課題について検討する。

回	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
1	自治体と政策	講義全体のイントロダクション。自治体の活動はあるサイクルを持って展開される。4年毎に行われる 選挙のサイクルと、1年毎に編成される予算のサイクルである。また、自治体はさまざまな類型の政策 を展開するが、個別政策のサイクルがある。これら がどのように交錯するのか、自治体の政策を取り着	(放送大学 教授)	天川     晃       (放送大学       教授)       澤井     勝       (奈良女子
		く環境変化やこれを捉える新しい概念について検診 する。		大学名誉教 授) 北村 喜宣 (上智大学 教授)
2	自治体の制度	憲法と地方自治法にある現行の自治体の制度とその 歴史的背景を説明する。とくに、中央政府と自治体 の関係、自治体における長と議会の関係などを中心 とし、自治体制度と民主主義の発展の関連について 考える。		天川 晃
3	自治体の組織と 人事	自治体組織の組織をめぐる問題を説明する。自治体は公平で効率的な行政を展開するために、通常の行政組織のほかに行政委員会や第三セクターなどさまざまな形態で行政を行っている。また有能な人材を確保・育成するための人事問題についても検討する。	同上	同 上
4	自治体の予算	自治体の予算編成をめぐる問題を考える。歳入と歳出について基本的な理解を得ると共に、予算編成のスケジュールと決算過程、および最近の自治体における予算改革について理解する。	(奈良女子	澤井 勝

回	テーマ	内	容	講倒	名	放 送 講 御 (所属・	i 名
5	条例による政策 の形成	自治体行政が活動する根拠と を説明する。とくに、分権改 例制定権の内容を解説し、程 にするための法解釈および行 法務の発想についても触れる	で革によって拡大した条 極的な条例制定を可能 「政組織のあり方や政策	(上智		北村	喜宣
6	法律・条例の実 施	自治体は法律や条例を執行す 過程における行政の活動の実 法投棄対応や路上喫煙対応を 制度の実効性確保のためには 効果的なのかについても解説	態を、産業廃棄物の不 例にして解説する。法 は、どのような仕組みが	同	Ŀ	同	Ł
7	環境保全と土地 利用	自治体がこれまで実施してき 利用政策を振り返り、国の政 を説明する。そこで用いられ 律との関係についても解説す	な策を先導してきたこと いる行政手法の特徴や法	同	Ŀ	同	Ł
8	高齢化社会と福 祉	自治体の福祉行政をめぐる間の高齢社会と少子社会における、地域福祉計画と介護保険さらに、福祉におけるガバナズムについて理解を深める。	ける福祉政策の中心とな 事業との関係を考える。	澤井	勝	澤井	勝
9	情報公開と行政 手続	自治体の情報公開と行政手続し、とりわけ分権時代の下で保のために、今後、どのようついて解説する。パブリックても触れる。	で、透明性と公平性の確 な発展が望まれるかに	北村	喜宣	北村	喜宣
10	住民自治と住民 参加	自治体の住民自治を実現する 直接請求、住民投票などの制 個別の政策過程における住民 討する。	度を説明するとともに、	天川	晃	天川	晃
11	自治体のネット ワーク	自治体の近隣自治体との関係 自治体間の水平的全国組織と をめぐる問題など、自治体の ワークをめぐる諸問題を検討	この関係、さらに国際化 O「対外関係」とネット	1	Ŀ	同	£

回	テーマ	内容	講師名	放送担当 講 師 名 (所属·職名)
12	税財政構造	中央地方関係の中で地方税財政の構造を説明する特に地方交付税について理解を深める。その上で国庫支出金と地方債、地方税の関係を理解する。のあり方についても検討する。	3	澤井 勝
13	自治体の理念と 歴史 (1)	分権改革の実績と課題について検討する。特に、 位一体改革など税財政改革の背景と意味を考える 法律の解釈権が地方自治体に付与され、国と地力 治体が対等な関係であることを支える財政改革に いて検討を加える。		同上
14	自治体の理念と 歴史 (2)	「地方自治は民主主義の学校」という理念が語らるが、実際の地方自治の歴史はどうであったのが地方自治の歴史をたどりながら、理念と現実にて検討する。	),°	天川 晃
15	地方自治の国際 比較	日本の地方自治のあり方の特質を明らかにするは、諸外国の地方自治との比較検討が必要であるヨーロッパにおける地方自治をめぐる動きやアミでの動きと比較しながら、日本の自治体の特質をえる。	ジア	同上

# 地方自治政策 II ( '04) = (R)-自治体・住民・地域社会-

〔主 任 講 師: 倉沢 進(東京都立大学名誉教授)〕 〔主 任 講 師: 小林 良二(東洋大学教授) 〕

# 全体のねらい

日本の地方自治は、明治以降の中央集権的政策のもとで、地方統治機構として機能してきたが、近年地方分権・住民自治など住民を主体とした自治的な地域社会運営をめざす、新しい動向が生まれてきた。従来の自治行政のからを破るさまざまな動きに注目しつつ、コミュニティ論に立脚した自治と地域社会の在り方を探る。

	テ		マ	内容	講	É	節 名	講	担 当 師 名 ・職名)
1	地域生ニティ	活と	コミュ	地域生活ー地域性と共同性、伝統的地域社会とその解体、社会目標としてのコミュニティ。コミュニティ行政の展開。	倉(『	沢東京	進	倉 沢	進京都立大
2	日本の 自治体	地域	社会と	日本の伝統的地域社会、都市化ー伝統的地域社会の解体、自治制度の展開と町内会。		同	上	同	Ł
3	コミュ会理論	ニティ	ィの社	コミュニティ論の二つの流れ、コミュニティ理論の系譜、 コミュニティの社会理論。		同	£	司	上
4	まちづ	くりと	上市民	まちづくりと市民、まちづくり参加の変遷、市民によるまちづくり、地方分権時代のまちづくり。	斉 (		進 大学教	斉 藤 (産能 授)	進
5	まちづく	くりの	仕組み	まちづくりとマスタープラン、市町村の総合計画、都市計画とマスタープラン、マスタープランづくりの今後。		同	Ŀ	同	Ŀ
6	まちづ	< b 0	り手法	参加型まちづくりの取組みと背景、まちづくりワークショップ、まちづくりワークショップの進め方、まちづくりワークショップの進め方、まちづくりワークショップの成果と展望。		同	Ŀ	同	Ŀ
7	まちづ 体行政	< 9 &	:自治	地方分権と自治体まちづくり、成熟都市型社会とまちづくり課題、協働型まちづくりと市民。		同	Ł	同	Ł

0	テ ー マ	内容	執筆担当 講師名 (所属・職名)	講師名
8	地域、自治体と福祉	ケアの時代の福祉、介護サービスの担い手、ケアの時代に おける地域の役割。福祉国家の発展に伴って、自治体は住民 に対してさまざまな社会サービスを、提供するようになった。 自治体は各種の社会サービスをどのような仕組みによって提 供してきたか、又今後それがどのように変化するかについて 考える。	小 林 ,良 二 (東洋大学教 授)	I I
9	社会福祉サービス への住民参加	社会福祉サービスの拡大とその背景、住民参加型の在宅福祉サービスの登場、参加型住民サービス活動と行政。	同上	同上
10	社会福祉計画と モニタリングへの 参加	社会福祉における計画参加の基礎、住民の計画参加のための施策、市民によるモニタリング活動、計画参加と住民。	同上	同上
11	地域社会と住民の 学習活動	地域社会と教育・学校、学習活動の場と社会教育施設、自 治体の事業としての社会教育。	鈴 木 眞 理 (東京大学助 教授)	鈴 木 真 理 (東京大学助 教授)
12	自治体の学習支援 活動	地域社会における住民の学習機会・資源、学習活動として のボランティア活動、自治体の自己変革と生涯学習支援。	同上	同上
13	社会的不平等と 空間構造	社会的不平等と空間構造、社会的不平等の多元性、空間的 不平等と階層的不平等。	倉 沢 進	倉 沢 進
14	自治体行政と住民	住民参加、町内会・自治会、町内会の行政補完とボランタ リーアソシエーション。	同 上	同上
15	自治体と社会調査	自治体にとっての社会調査、標準化調査の企画を実施、調 査主体の問題。	同上	同上

事務局 開設 科目 科目 履修 単位 平成 19 年度 大学院科目 8930333 無 2 記載欄 年度 区分 ゴート" 制限 数

科目名 (メディア) = 世界の芸術文化政策 ( '07) = (TV)

[ 主 任 講 師 (現職名) : 笠原 潔 (放送大学助教授) ] [ 主 任 講 師 (現職名) : 西村 清和 (東京大学大学院教授)]

### 講義概要

芸術文化は、一つの民族、一つの文化が生きた証であり、また、後世に多くのことを伝える貴重な文化遺産でもある。そうした芸術文化を現在に活用し、また後世に伝えていくためには、的確な芸術文化政策を採る必要がある。この講義では、そうした芸術文化・芸術文化政策に関する世界の取り組みの現状を紹介しながら、今後、どのような芸術文化・芸術文化政策を創出していくべきかについて考える。

### 授業の目標

本講義の第1の目標は、芸術文化や芸術文化政策の重要性を受講者に理解させることにある。また、芸術文化を保護・保存し、さらには新たな芸術文化政策を創出していくために、世界では現在どのような取り組みがなされているか、また、芸術文化政策を実際の現場で運用する際にはどのような留意点が生じてくるか、といった点に関する認識を受講生に深めさせることも、本講義の目的である。

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
	芸術文化政策原 論	芸術は、ある民族、ある文化が生きた証であり、人類にとって貴重な文化遺産である。そうした芸術文化の意義、また芸術文化政策の意義について、3人の講師がそれぞれの立場から語る。	(東京大学	西村清和 (東京大学 大学院教 授)
1			徳 丸 吉 彦 (放送大学 教授)	徳 丸 吉 彦 (放送大学 教授)
			笠 原 潔 (放送大学 助教授)	笠 原 潔 (放送大学 助教授)
2	古代中国音楽論 に見る芸術文化 政策の諸相	古代中国の音楽論は、実は、芸術文化政策を巡る議論であった。この講義では、孔子・墨子・孟子・「楽記」などの音楽論の紹介しながら、芸術文化政策上の諸問題について考える。		笠 原 潔 (放送大学 助教授)
3	近代日本の西洋 音楽教育政策	芸術文化政策の1ケース・スタディーとして、明治 以後昭和戦前期までを中心に、日本が西洋音楽をど のように取り入れ、国民教育に利用したかを考えて みる。唱歌のような国家による公的な教育政策だけ でなく、校歌、民謡など、幅広い事例をとりあげ、 それらの音楽が、人々が近代国家日本の「国民」と しての意識や心性を身体化させてゆく上でどのよう な機能を果たしたかを明らかにしてゆきたい。		渡 辺 裕(東京大学 大 学 院 教 授)

日	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
4	ミュージアムの 思想	展示法を越え、展示品からするような新しい展示法が	品を展示するだけの従来の ら何を学ぶのかを明らかに が試みられている。海外の た試みを実写映像を交えな	笠 原 潔 (放送大学) 助教授)	笠 原 潔 (放送大学 助教授)
5	アーカイヴの思 想	るかに充実している。諸道 て過去から何を学ぼうとす イヴ活動の実写映像を交え	アーカイヴ(文書館)がは 資料を集積することによっ するのか、海外でのアーカ えながら、文化を支えるア 考える。併せて、日本のア こついても触れる。	笠 原 潔 (放送大学 助教授)	笠 原 潔 (放送大学) 助教授)
6	資料の保存・修 理・測定の科学	が、こうした資料を後世ん存・修理、さらには測定の	としては各種の資料がある に伝えていくためには、保 の科学が不可欠である。こ ・修理・測定に関わる現場	(京都国立 博物館学芸	森 田 稔 (京都国立 博物館学芸 課長)
7	無形文化財のド キュメンテーシ ョン	うに、形のないものもある ように記録し、また、後世	の中には、無形文化財のよる。そうした文化財をどの に向けて保存していくか、 見一郎ユネスコ事務局長へ いら紹介する。		徳 丸 吉 彦 (放送大学 教授)
8	エリート文化と 大衆文化	点とする高級文化こそを 喜ぶキッチュやオリジナル 衆文化をえせ文化とする	オリジナルな芸術作品を頂 真の文化とし、一般大衆が ルの大量の複製からなる大 価値観が支配的であった。 またして文化の真正性とは ためて考えてみたい。	1	
9	写真がもたらし た文化変容	る見方が大きく変化し、文 写真は、貴族しか持てなる 衆も持つことを可能にし、	たことで、人類が世界を見て化のありようも変容した。 いった自己の肖像を一般大いわばイメージ・デモク 司時に新たな疎外も生み出 文化の深層を探る。	(東京大学	(東京大学
10	電子メディアが 開く美的文化の 諸相	はわれわれの環境となっ に乗って日常的に交換さ 葉やイメージや音は、ヴ	イ、ゲームは、こんにちで てしまった。電子メディア れ消費される膨大な量の言 アーチャルな空間に渦巻い はどのような生活環境や美 かを考える。	(東京大学 大学院教 授)	(東京大学

回	テーマ	内容		放送担当 講師名 (所属・職名)
11	展覧会の企画か ら開催まで	芸術文化政策の講義で学んだことの実践への応用の 1例として、展覧会の企画から準備、開催に至るま での過程を実際に即して紹介し、シミュレーション する。	(京都国立	(京都国立
12	コンサートの企 画から上演まで	第 11 回の講義と同様に、コンサートの企画から準備、上演に至るまでの過程を紹介し、芸術文化政策を実際の現場で実践する際には、どのような視点が必要か、どのような問題が生じるか、などについて考える。		徳 丸 吉 彦 (放送大学 教授)
13	海外への日本の 芸術文化の紹介	今日、海外への日本の芸術文化紹介の試みは、国の機関、民間団体、個人などさまざまなレベルで行われている。また受け入れ側の団体の種類や機能も多様である。日本の伝統音楽の場合を例にして、日本と海外の相互の立場から文化の紹介について考える。	薦 田 治 子 (武蔵野音 楽 大 学 教 授)	薦 田 治 子 (武蔵野音 楽 大 学 教 授)
14	インドネシア、バリ島の芸術文化 政策	インドネシアでは、1950年代から、国家の文化指針のもと、バリ島の芸能に対する文化政策がバリ州政府によって進められ、その結果、現在の「バリ芸能」が誕生した。本講義では、インドネシアの社会的背景を踏まえながら、バリ芸能に関する文化政策の内容やその過程について論じる。	梅 田 英 春 (沖縄県立 芸術大学助 教授)	梅 田 英 春 (沖縄県立 芸術大学助 教授)
	新しい芸術文化 政策の創出	全 15 回の講義のまとめとして、今後どのような新しい芸術文化政策を創出していくべきか、これまでの講義の内容を踏まえて、3人の講師がそれぞれの視点から提言する。	(東京大学	
15			徳 丸 吉 彦 (放送大学 教授)	徳 丸 吉 彦 (放送大学 教授)
			笠 原 潔 (放送大学 助教授)	笠 原 潔 (放送大学 助教授)

事務局 開設 科目 履修 単位 科目 平成 19 年度 大学院科目 8930341 無 2 年度 区分 コート 制限 数 記載欄

科目名 (メディア) = 文化政策の展開 ( '07) = (R)

―芸術文化の振興と文化財の保護―

[ 主 任 講 師 (現職名) : 根木 昭 (東京芸術大学教授)]

#### 講義概要

総論として、文化政策学の体系、文化政策の意義、基礎となる事項、一般的な構造、法制と予算を概観し、本講義で主たる考察対象とする芸術文化の振興、地域文化の振興、文化財の保護の意義と一般的な枠組みについて把握する。各論として、国による芸術文化活動の支援、国立文化施設の設置・運営、地域文化活動の支援、地域文化施設の設置・運営、文化財をめぐる国際的な動向、文化財の新たな類型である文化的景観について考察する。最後に、21世紀における文化政策の新たな方向性を提示する。

#### 授業の目標

授業の目標は、次の 6 点に要約される。①文化政策学の「学」としての体系を把握する。②文化政策の意義、一般的な構造等の基本的な事項を押さえる。③芸術文化の振興の意義と一般的な枠組み、現状の把握と今後の在り方を考察する。④地域文化の振興の意義と一般的な枠組み、現状の把握と今後の在り方を考察する。⑤文化財の保護の意義と一般的な枠組み、国際的な動向、文化的景観の価値について考察する。⑥以上を総括し、今後の文化政策の新たな方向性を探る。

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
1	文化政策学の体 系 ーその視点と枠 組み、隣接分野 との異同ー	文化政策学を、学問の一領域 (discipline) として、 どのような視点から、どのような体系のもとに、そ の対象と範囲を把握するか。文化政策学が提唱され るに至った経緯を踏まえ、かつ隣接学問分野である 文化経済学、文化経営学 (アートマネージメント論) とも比較しながら、総括的に考察する。	l .	根 木 昭 (東京芸術 大学教授)
2	文化政策の意義 一その性格と特 質一	文化政策は、他の政策分野に比し、どのような性格を持っているか。文化政策の主体、民間との相互連携の必要性、行政的側面における規制行政と給付行政との二重性、給付行政の面に現れる行政作用の特殊性など、文化政策の特質を、文化芸術の人間社会における役割を踏まえて考察する。	(東京芸術	根 木 昭(東京芸術 大学教授)
3	文化政策の基礎 ーその背景、形 成過程と評価ー	文化政策の背景をなしているものは何か、また文化 政策の形成過程はどのようにとらえられるか。今日 の文化政策の背景として考えられる 4 つの事項を整 理するとともに、政策形成の一般的プロセスを踏ま え、国(文化庁)・地方公共団体の文化政策の形成 過程と評価について眺める。	(東京芸術	根 木 昭 (東京芸術 大学教授)

回	テーマ	内	\$	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
4	文化法制と文化 予算―法制の体 系と予算の構造 ―	文化法制の体系、文化予算の構造は、っているか。文化法制については、名理し、体系的に把握するとともに、受権について考察する。文化予算にして文化庁の予算を中心に、その構造ともに、諸外国の文化予算とも比較す	その全体像を整 文化芸術創造享 ついては、主と 造を把握すると	根 木 昭(東京芸術大学教授)	根 木 昭(東京芸術 大学教授)
5	文化芸術振興基 本法と文化振興 条例一文化政策 の法的基礎—	文化芸術振興基本法、文化振興条例にものであろうか。文化芸術振興基本語と制定の意義、文化芸術の基本理念の基本方針の性格と構成の概要等についともに、地方公共団体の文化振興条例相互の関係、制定・策定の状況を眺め	たの全体の構成 の構造、第一次 いて理解すると 別と文化計画の	根 木 昭 (東京芸術 大学教授)	根 木 昭 (東京芸術 大学教授)
6	芸術文化の振興 一その意義と一 般的な枠組み―	芸術文化振興の意義と一般的な枠組みにとらえられるか。文化政策の中に化」の位置付けを確認し、支援行政と把握するとともに、その一般的枠組み基盤の整備、奨励・援助、場の確保、成、国際交流の推進)を把握する。	おける「芸術文 としての側面を タ (芸術活動の	根 木 昭 (東京芸術大学教授)	根 木 昭(東京芸術 大学教授)
7	地域文化の振興 一その意義と一 般的な枠組み―	今日、地域文化の振興は、地域の固て た地域振興へと変わりつつある。地域 発化した原因とその背景、住民の動き 共団体等行政側の施策の取組みとその るとともに、現在地域が置かれている 合わせながら、地域文化の振興策を挟	成文化活動が活きと国・地方公 の意義を把握する状況と照らし	枝 川 明 敬 (東京芸術 大学教授)	枝 川 明 敬 (東京芸術 大学教授)
8	文化財の保護― その意義と一般 的な枠組み―	今日、文化財は、地域の経済社会を行力な手段として大きな期待が持たれての概念を明らかにし、文化財保護の歴生とそのとともに、文化財保護法の誕生とその握し、現行制度における文化財の対象手法を理解し、今後の方向性を探る。	ている。文化財 歴史を跡付ける D後の進化を把	垣内恵美子 (政策研究 大学院大学 教授)	(政策研究
9	国による芸術文 化活動の支援一 支援行政の実態 と在り方―	国による芸術文化の振興施策の中で4 文化活動の支援行政は、どのように2 国(文化庁)の文化芸術創造プラン、 日本芸術文化振興会の芸術文化振興を メセナ活動による支援を概観すると、 支援に関する包括的な枠組みの在りた	なっているか。 独立行政法人 基金等、民間の ともに、今後の	根 木 昭 (東京芸術 大学教授)	" ' '
10	国立文化施設の 設置・運営―国 立劇場・国立博 物館・美術館等	国立文化施設の設置・運営は、設置されるが、平成の行政改革に伴い、そのすべて独立行政法人となった。この、施設の設置・運営の意義を確認する。立文化施設について、その目的を踏まれぞれの具体的な事業内容を把握する。	り母体は、今日 ような国立文化 とともに、各国 まえた上で、そ	(東京芸術	

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 節 名
11	地域文化活動の 支援一国と地方 公共団体の役割 一	地域文化活動の支援は、基本的には地方公共団体の 責務であるが、国としても、一定の文化水準の維持 を図る観点から、全国的な規模や視点で行うべき事 業もある。地域文化活動支援の根拠を探るとともに、 国と地方公共団体の機能分担、現実の支援策につい て眺め、今後の方向性について考察する。	枝 川 明 敬 (東京芸術 大学教授)	枝 川 明 敬 (東京芸術 大学教授)
12	地域文化施設の 設置・運営一文 化会館と博物 館・美術館—	地域文化施設としては、文化会館、博物館・美術館がある。文化会館は、音楽、演劇、舞踊、オペラ等の舞台芸術の上演可能な施設である。博物館・美術館は、社会教育施設であるとともに文化施設でもある。これら文化施設の実態と課題について眺め、併せて、指定管理者制度についても考察する。	枝 川 明 敬 (東京芸術 大学教授)	枝 川 明 敬 (東京芸術 大学教授)
13	文化財保護をめ ぐる国際的な動 向一世界遺産条 約、無形遺産条 約と文化多様性 条約—	今日、文化財は、広く人類共通の遺産として、保護されるべきことが認識されるようになり、そのための条約として、ユネスコの世界遺産条約、無形遺産条約及び文化多様性条約が締結されている。この三条約について、誕生の経緯、その意義と一般的な枠組み、今後の課題と方向性を探る。	垣内恵美子 (政策研究 大学院大学 教授)	垣内惠美子 (政策研究 大学院大学 教授)
14	文化財の新たな 類型-文化的景 観-	文化的景観は、世界遺産条約における文化遺産の拡大議論を踏まえ、国内的には、景観法と足並みをそろえて誕生した新たな文化財の類型である。景観概念の発展を見た上で、国際的な動向と景観法の枠組みを確認し、文化的景観の現状と定量的な評価の可能性を探り、その社会的価値を考察する。	垣内恵美子 (政策研究 大学院大学 教授)	1
15	文化政策の今後 の方向—21世紀 の新たな文化政 策を目指して—	l	根 木 昭 (東京芸術大学教授)	根 木 昭 (東京芸術 大学教授)

# 福祉政策 I ( '06) = (R)-福祉政策の形成と実施-

[主任講師(現職名):大森彌 (東京大学名誉教授)] [主任講師(現職名):松村祥子(放送大学教授)]

### 全体のねらい

この講義でいう福祉政策は、主として、政府活動のうち人々の安心と社会の安定に結びついていく政策の東を指している。人々は、しばしば、福祉政策の適否や有効性によって政府自体へ支持を与えるかどうかを判断する。その意味で、福祉政策は、政府の存在と活動の正統性にかかわる重要性をもっている。しかし、安心と安定に寄与する政策の展開には個人、家族、団体、地域、中央と地方の政府などさまざまな活動主体の間で、資源の動員と連携・協働が不可欠である。したがって、福祉政策の制度の変更や設計にも具体的な施策・事業の実施にも、多くの活動主体が参加し、その過程は開かれたものにならざるをえない。本講義は、現代日本に焦点をあて、その全容の解説を試みる。

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
1	福祉政策の体系	どんな方向と方法によっ が緩和され、生活問題が何の回では、この講義で扱 福祉及び所得保障、地域社 保障の中でどのような位置	)再編が目指されているが、 て、現代日本人の生活不安 解決されるのだろうか。こ う「児童・高齢者・障害者 冨祉等の福祉政策」が社会 圏を占めているのかを明ら を実効性のあるものにする 優かについて検討する。		
2	現代生活の課題 に応える福祉政 策とは	応は、21世紀のわが国の石といえるだろう。変動で個人、家族の生活困難のと的責任とするのか。また、あたって、行政、事業者、相互関係の位置づけ等が明ない。この回では、「個人	流動化する雇用環境への対 か福祉政策にとっての試金 する経済社会条件の中で、 どの部分をどの程度、社会 福祉政策の形成と実施に 利用者それぞれの役割と 月らかにされなければなら 人の生活の質」と「社会の す福祉政策の展開について	松 村 祥 子 (放送大学 教授)	大森 彌 (東京大学) 名誉教授) 松 村 子 (放送) 教授)
3	公共政策としての福祉政策	サービスを、誰の負担で、 の暮らしの安心を保障し、 同時に、政府への信頼とう を持っている。こうした領域、政府間(国・地方)	と対象とし、いかなる財といかに供給するかは、人々いかに供給するかは、人々社会の安定に影響するとを持の基礎ともなる重要性見点から、個人・家族、地関係、国際社会の変化も視しての福祉政策の特色	大森 彌 (東京大学 名誉教授)	大森 彌 (東京大学 名誉教授) 松 村 祥 子 (放送大学 教授)

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
4	福祉政策の制度 設計	福祉政策は、憲法・法律・条例の中で展開されている。制度は容とともにその達成のために人仕方を枠付けている。それが時で桎梏となれば新たな制度設計制度設計と政策革新をめぐる理や「政策の窓」)とその政治過分権改革など)の特色を解説す	福祉政策の目標・内々がとりうる行動の代と社会の変化の中が問題となる。この論(「ごみ箱モデル」程(福祉構造改革・	大森 彌 (東京大学 名誉教授)	大森 彌 (東京投) 名誉教授) 松 村 祥 子 (放送大学 教授)
5	福祉政策のプロ セス	福祉政策は、福祉分野における記 企画立案・決定・実施・評価と 捉えることができる。これらの の顔ぶれと関係は変わるが、そ のような一定の構造もみられる。 の資質や能力、動員される資源 現場・地域・第一線職員の役割 どにも言及し、このプロセスの する。	いう政策過程の中で 段階ごとにアクター こには「政策共同体」 。アクター (「人」) 、駆使される手法、 、政策情報と参画な	大森 彌 (東京大学 名誉教授)	大森 彌 (東京大学 名誉教授) 松 村 祥 子 (放送大学 教授)
6	福祉の法律と政治	社会福祉政策を実施組織に関するは、大き福祉を関する。また、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	る法、社会な法、社会を を主義を を主義を を主きないないでは、 を主きないないでは、 を主きないないでは、 ではりにはないでは、 ではりにはないでは、 ではりにはないでは、 ではりにはないでは、 ではりにはないでは、 ではりにはないでは、 ではないでは、 ではりにはないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	栃本一三郎 (上智大学 教授)	栃本一三郎 (上智大学 教授)
7	福祉の供給体制	社会福祉の供給体制の骨格を構えば、中央政府をピラミッドのがあり、それを通じて公費の配え方が、わが国では一般的であ自由な活動を特色とする NPOよる民営化や地方分権化のなか件整備と新たな自己規律をどが、大きな政策課題になってい	頂点とする行政組織 分を行うというとらった。しかし市民の や企業などの参入に で、供給多元化の条 う形成していくのか		栃本一三郎 (上智大学 教授)

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
8	福祉の資源 一財源と人材そ して福祉実践の マネジメントー	福祉政策に関する国、都道変化する中で、それぞれの再編が進んでいる。特にといる。特に対応するためにどががするというで質量を確保する人材ーがをはないがなってきた。それではないできた。それではないできた。それがよいでも論	立場の責任と活動内容の口構造や経済環境の変化に社会福祉の財源や人材な課題となっている。とかす、さらにはそのようをどのように提供するの政策では欠かせない領域人材とともに福祉実践の	栃本一三郎 (上智大学 教授)	栃本一三郎 (上智大学 教授)
9	児童家庭福祉政 策	児童家庭福祉の制度と政策 ことを検討する必要がある 国家の三者の関係」や、「 のバランス」の問題である 計に際しては、所得保入れる 携についても視野に入れな のことを念頭において、少 家庭福祉の制度と政策の う。	。それは、「個人-家族- 家族の自律と国家の介入 。また、具体的な制度設 策や労働市場政策との連 くてはならない。これら 子高齢社会における児童	' ' '	· ·
10	高齢者福祉政策	高齢者の福祉に関する施策 い浮かべる人が多いであろ らしを支えるという点から なる老齢年金、医療を保障 欠な施策である。この講義 合的に取扱う。そのうえで あり方を考えていきたい。	う。しかし、高齢者の暮 みれば、生活費の原資と する老人保健も必要不可 では、これらの施策を総	倉田 聡 (北海道大 学教授)	倉田 聡 (北海道大 学教授)
11	障害者福祉政策	障害者福祉の領域では、平月が施行された。これによっ動がどのように変容しつつら障害者福祉施策はどのよかを考えていく。より具体きながら、施策の方向性をている。	て、障害者福祉の実践活 あるのか、そしてこれか うな方向に進んでいくの 的な実践事例を念頭にお	1	倉田 聡 (北海道大 学教授)
12	所得保障政策	所得保障の制度と政策を考 方法や保障水準に関する理 る必要がある。同時に、次 れる必要がある。それは、 政策との連携、民間保険 る。これらのことを念頭に おける所得保障の制度と政 を行なう。	論と現状について検討す の点についても視野に入 所得保障政策と労働市場 (私的保険)の活用等であ おいて、少子高齢社会に		1

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
13	地域福祉政策と 地域社会の再構 築	人々の生活の拠点である地域社会は、社会福祉の利用と供給の交差点でもある。 経済社会構造の変化の中で、家庭と職場の通過点となった地域社会を再編して新しい生活安定のネットワークを作らねばならない。 施設福祉と在宅福祉をつなぎ、公的福祉と民間福祉が協働する場としての地域のあり方と地域福祉政策の課題を示す。さらに地域包括経済の形成やソーシャルキャピタルと地域社会政策についても論じていく	栃本一三郎 (上智大学 教授)	栃本一三郎 (上智大学 教授)
14	リスクの拡大と福祉政策	リスク・マネジメントの中でミクロの部分は、社会福祉施設等の運営管理の問題として、管理者や経営者の責任問題に直結するために、かなり論議され、対応策が検討されてきている。しかし、マクロの拡大においてはある程度予測・破綻に対する対応として政治・財政・制度の欠陥が考察されているが、予測困難なリスクとして、自然災害や国際的なテロ・紛争などはクライシス・マネジメントとして困難な課題を抱えている。今日、こうしたリスクの拡大に対して福祉政策はいかなる備えをすべきであろうか。そこに「予防」という古くて新しい理念が登場する。	秋 山 智 久 (昭和女子 大学院 教授)	
15	福祉政策研究の 方法	修士課程で、福祉政策研究をする為の基本的な手続として ① テーマの設定 ②先行研究業績の精査・分析 ③資料の収集・分析 ④考察と課題の提示 ⑤論文の執筆がある。ここでは資料の入手と分析についての基礎的な方法を中心に、修士研究への取り組み方について解説する。	松 村 祥 子 (放送大学 教授)	

# = 福祉政策Ⅱ('06)=(R)

-福祉国家と福祉社会のゆくえ-

〔主任講師: 武川 正吾(東京大学大学院教授)〕 〔主任講師: 大曽根 寛(放送大学教授)〕

## 全体のねらい

福祉政策 II ('06) では、福祉国家や福祉社会のあり方について、社会学、経済学、法律学など社会科学の視点から考察する。福祉制度の内容を学習するというよりも、政治・経済・社会の構造的な変化を踏まえつつ、福祉政策の拠って立つ根拠、公共政策・経済政策・社会政策など他の政策との関連、国際社会における位置などを明らかにし、政策への客観的な分析を加え、福祉国家と福祉社会のゆくえを考えることとする。

	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	福祉政策とは何か	この回の講義では、「福祉」や「福祉政策」といった概念について検討する。特に、社会政策など関連する概念との関係を歴史的背景も踏まえながら論じつつ、公共政策や経済政策など既存の政策の大きな枠組みとの関係についても議論する。	-	武川 正吾 (東京大学大学院 教授)
2	福祉政策の範囲	この回の講義では、この科目で取り扱う範囲を明らかに する。福祉政策は最も広い意味では、雇用、所得保障、保 健・医療、福祉サービス、住宅、教育、環境、まちづくり などが含まれる。この科目では雇用・社会保障・住宅など が主な対象である。	同 上	同上
3	人権と福祉政策	この回の講義では、福祉政策の根拠となる人権の概念と その体系性について検討する。日本国憲法上の根拠として、 従来しばしば引き合いにだされてきた「生存権」だけでな く、「幸福追求権」や「平等権」「自由権」「社会権」と呼 ばれる人権の類型との関係、さらにいわゆる「人格権」「健 康権」などの新しい人権についても学習する。	大曽根 寛 (放送大学教授)	大曽根 寛 (放送大学教授)
4	立法の構造と動向	この回の講義では、社会福祉に関する国際的な条約・宣言と日本国憲法、法律、政令、条例など広義の立法が社会福祉の仕組みをどのように作り上げているのかを学習する。そのために法令の形式的な階層構造を学ぶだけではなく、関係する法令がいかなる社会的・経済的・政治的背景から登場してきたのかを理解する。	同上	同上
5	法と行政の実務	この回の講義では、法と行政の関係について議論する。 最近の裁判事例を通して、福祉政策を具体的に担う行政機 関がどのような責任を負っているのかを考察してみよう。 裁判過程を分析することによって、市民と福祉施設、そし て、行政機関の関係を見つめなおす契機となるだろう。	同上	同上
6	権利擁護システム	この回の講義では、当事者の権利を守る方策について学習する。従来は、行政機関の介入・指導によって解決されてきたことが多いように思われる。しかし、今後は、当事者の行政に対する権利だけでなく、当事者を取り巻く多様な関係者との権利義務の確認と実現が必要となるだろう。	同上	同 上

				放送担当
0	テーマ	<b>内</b> 容	講師の名 (所属・職名)	講 師 名    (所属・職名)
7	必 要 と 資 源	この回の講義では、必要 (ニード) と資源を結びつける 福祉政策の役割について論ずる。福祉政策における必要の 概念が、需要、行政需要などといった概念との関連で説明 される。これらに、資源をどのように結合させるかが問題 となる。		武川 正吾 (東京大学大学院 教授)
8	福祉政策の実施過 程	この回の講義では、福祉政策の実施過程について検討する。選別主義と普逼主義など原理的な課題を考察しつつ、 資源の分配過程・供給システムを多面的に明らかにする。 そこでは専門職の役割も再検討されることとなるだろう。	三重野 卓 (山梨大学教授)	三重野 卓 (山梨大学教授)
9	政策評価とサービ ス評価	この回の講義では、福祉政策の評価について学習する。 政策評価の視点、指標、方法、手段、情報公開、住民参加 などを議論するとともに、具体的なサービスを提供する事 業所のサービス評価の課題にも言及する。	同 上	同上
10	分配的正義 〜福祉政策の根拠 〜	この回の講義では、分配的正義という観点から福祉政策をとらえ直す。正義論と厚生経済学の最近の動向を踏まえながら、所得や資産などの再分配のあり方やその根拠について検討する。これにより、福祉政策が政治哲学や経済思想と密接に関係していることを学習する。	後藤 玲子 (立命館大学教 授)	後藤 玲子 (立命館大学教 授)
11	ジェンダー・エクイ ティー	この回の講義では、福祉政策をジェンダーの視点から検討する。男女共同参画社会の推進が福祉政策にどのような影響を与えているのかを考察するとともに、今後を展望するうえで焦点となるアンペイドワークの配分状況や、ジェンダー・エクイティの考え方について解説する。	下夷 美幸 (法政大学助教 授)	下夷 美幸 (法政大学助教 授)·
12	福祉国家と福祉社 会	この回の講義では、福祉国家と福祉社会という概念について、歴史的背景を踏まえながら学習する。福祉国家の登場と変遷、福祉社会論の意義と展開を検討する。さらに福祉国家と福祉社会の関係にも論及する。	武川 正吾 (東京大学大学院 教授)	武川 正吾 (東京大学大学院 教授)
13	福祉レジームの考 え方	この回の講義では、福祉多元主義について議論する。 エスピン・アンデルセンなどに依拠しながら、福祉政策の いくつかのモデルを描き出す。国際比較の中で、日本の福 祉政策について位置づけてみたい。	筒 上	同上
14	グローバル化と福 祉政策	この回の講義では、1980 年代から 90 年代にかけてのグローバル化が各国の福祉政策に与えた影響について検討する。資金、物資、人が国境を越えて移動するとともに企業も多国籍化していったボーダレス社会において福祉政策はどのように変貌してきたのかを振り返る。	同 上	同上
15	福祉政策と学問	この回の講義では、これまでの学習を踏まえ、福祉政策について学問的なアプローチをするとはどういうことか、 政策動向の解説でもなく、単なる実践の紹介でもなく、学 問として福祉政策に取り組もうとするときの心構え、方法、 課題などを検討する。政策実務や実践と学問とをどのよう にしたら結びつけることができるかついても考える。	大曽根 寛 (放送大学教授)	武川 正吾 (東京大学大学院 教授) 大曽根 寛 (放送大学教授)

# 法システム I ( '06) = (R)-生命・医療・安全衛生と法一

[ 主 任 講 師 (現職名) : 中嶋 士元也 (放送大学教授) [ 主 任 講 師 (現職名) : 町野 朔 (上智大学法学研究科教授)]

[主任講師(現職名):野村豊弘 (学習院大学教授) ]

#### 全体のねらい

国民一般ないしは職業に携わる人々(被用者)の生命の維持あるいは健康の保全に係わる法思想、法制度や法理論を解説し、医療・保健をめぐる種々の法律問題を研究しようとするものである。そのうちでも、この印刷教材で取り扱う対象は限定され、国民を対象とする一般医療における医師・医療機関と患者の契約関係をめぐる法律問題ならびに被用者を対象とする産業保健が中心的に考察される。そして、その前提として、生命倫理と医療道徳のあり方と法規範との相互関係を論じなければならない。この観点は、現代の先端医療がはらむ問題との関係で特に重要である。

旦	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 節 名
1	生命倫理と法	そもそも、生命倫理・医療倫理を維持するために法律を使うことは許されるか。平成 14 年にクローン人間の作成を厳罰に処する「クローン技術規制法」の成立をめぐる議論を照会しながら、法と倫理の関係を考察する。	(上智大学 法学研究科	町 野 朔 (上智大学 法学研究科 教授)
2	国境を越える生命倫理	「クローン技術規制法」は、各国はクローン人間禁止のための措置を執るべきだという国際的合意に後押しされて成立したものである。しかし、人クローン胚の作成も禁止されるべきかを巡って、各国の議論は大きく分かれている。生命倫理の国際化を考慮しながら、わが国の生命倫理立法のあり方を探る。	(上智大学 法学研究科 教授)	i
3	終末期医療と法	ある場合には国民の生命をも剥奪する刑法は、法律の中でも最も峻厳なものである。医療過誤、患者の自己決定権侵害に対して、日本の刑事司法はどのように対応してきたか、またその刑事立法はどうあるべきか、を検討していく。	町 野 朔 (上智大学 法学研究科 教授)	(上智大学
4	生殖補助医療と 民事法	医学の世界では、人工授精・体外受精・受精卵移植等の生殖補助医療技術はめざましい発展をとげている。そこで可能とされる技術のうち、どこまでが法的に認められるのか。日本では、この問題については、医学の専門家集団の判断に委ねられてきた。しかし、法的な観点からの考察は不可欠であり、また、そのような医療技術によって生まれてきた子どもの法的な親子関係をどのように決定するのかという問題を明らかにしなければならない。	(学習院大学教授)	

П	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
5	医療行為・医療 契約	治療に関して、医者と患者と 締結されると考えられる。 ついて、どのような要件を 結されると評価できるかが 活されると評価できるからに 不明の救急患者などのように きない場合に、医師が治療内 か。さらに、医師が治療内よう いても考察する。	かし、幼児や高齢者に たせば、医療契約が締 題となる。また、意識 、患者が意思を表明で のように締結されるの をどのように説明し、	野村豊弘 (学習院大学教授)	野 村 豊 弘 (学習院大 学教授)
6	医療過誤紛争	医師の手技上の過失、説明義 過誤に基づく損害賠償につい 般的な不法行為の場合とはど 目する。また、死亡が確実で て、診断の遅延があったよう 診断がなされても、死亡は避 ある)などを例に、医療過誤 についても取り上げる。	て考察する。特に、一 のように異なるかに着 あるような疾患につい な場合 (適切な時期に けられなかったときも	l	i ' '
7	職場における安 全衛生	労働安全衛生法(安衛法)な 働基準法とあいまって、職場 康を確保し、また系的な職場 ことを目的として制定されて につき考察する。	で働く人々の安全と健 環境の形成を促進する	f	中嶋士元也 (放送大学 教授)
8	労働災害(1)- 実態と補償の仕 組み	安衛法が労災防止のために、 いるにもかかわらず、不幸に している。本章では、労災の 解説する。	して労災は絶えず発生	中嶋士元也 (放送大学 教授)	中嶋士元也 (放送大学 教授)
9	労働災害(2) - 救済方式	法制度は、不幸にして仕事を した場合に、被災労働者や遺 (補償) や裁判ルート(損害 を救済しようとする。本章で 組みを探る。	族のために行政ルート 賠償)をもって、これ	(放送大学	中嶋士元也 (放送大学 教授)
10	過労死・過労自殺の予防と救済	労基法や労災保険法は、けが て救済するが、一定の要件の ない作業関連疾病をも救済す が、日本で深刻な問題を提起 労死・過労自殺である。本章 題を検討する。	下に、職業病とはいえる。その代表的な疾病 している、いわゆる過	1	中嶋士元也 (放送大学 教授)

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
11	公衆衛生・感染 症・予防接種	これらは、医学としての公衆衛生学・予防医学の対象であるが、法律制度は、これらの分野の効果的な対策のために、どのような仕組みを用意しているであろうか。本章では、この問題を概観する。	(放送大学	中嶋士元也 (放送大学 教授)
12	精神障害者の権 利と精神医療	我邦十何万ノ精神病者ハ実ニ此病ヲ受ケタルノ不幸 ノ外ニ、此邦ニ生レタルノ不幸ヲ重ヌルモノト云フ ベシ。これは、1918 年、日本の精神医学と精神医療 の創始者・呉秀三博士の遺した言葉である。日本の 精神医療と精神医療法は、博士の言葉にどのように 応えてきたのか。	町 野 朔 (上智大学 法学研究科 教授)	
13	医療・健康情報の保護	医療機関においては診療情報や薬剤情報が、また職場での健康診断等を通じて多くの被用者の健康情報が発生する。これら医療・健康情報は、個人情報保護法の下においても、特に厳正な処理の求められている情報である。法的問題点を探る。	中嶋士元也 (放送大学 教授)	中嶋士元也 (放送大学 教授)
14	医薬品の安全と 被害の救済	医薬品は、患者の治療に不可欠なものであるが、合成化学物質を素材とする医薬品等は、内在的な危険性をも包蔵している。医薬品事故(薬害)が発生した場合、製薬会社の製造物責任や医師の使用上の過失は法律上どのように扱われるであろうか。	中嶋士元也 (放送大学教授)	中嶋士元也 (放送大学 教授)
15	食品の安全と被 害の救済	食品に含まれる有害物質は、人間にとって一般に危険であるばかりではなく、母親を通して胎児にまで多大な悪影響を及ぼす。すなわち、食品の安全は、全国民の最大の関心事である。法は、これにどのように対処しようとしているか。	中嶋士元也 (放送大学 教授)	

事務局 開設 科目 科目 履修 単位 平成 19 年度 大学院科目 8930368 2 ゴート\* 記載欄 年度 区分 制限 数

科目名 (メディア) = 法システムⅡ ( '07) = (TV) -比較法社会論-日本とドイツを中心に-

[ 主 任 講 師 (現職名): 広渡 清吾 (東京大学教授)]

### 講義概要

日本の法と社会にはどのような特徴がみられるだろうか。その特徴を明らかにする一つの方法としてドイツの法と社会との比較を行う。近代日本の法制度は、ドイツの法制度を模範にして作られ、また、日本法の理論もドイツから継受されてきた。この歴史的な背景に加えて、第二次世界大戦後のドイツと日本は、敗戦国として共通の課題をかかえながら、それぞれに固有の歩みをみせ、国際社会においてもしばしば比較される地位にある。様々な領域と問題に即して、二つの法と社会を比較し、日本の特徴を示したい。

#### 授業の目標

日本とドイツの比較を通じて、日本の社会における憲法の意義、戦後責任の問題、女性の法的地位、労働者と企業をめぐる法的問題、外国人と共生する社会をめぐる法的問題、社会における法と法律家の機能と役割、また、法の形成における市民の役割などについて特徴づけを行い、理解を深める。法制度の内容を把握するとともに、社会のなかで法がどのように機能するか、どのような条件によって法の機能が左右されるかについて考察し、理解を深める。

п	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
1	比較法社会論は 何を問題とする のか	比較法社会論は、日本の法と社会の特徴を明らかにするための方法論である。法と社会の比較の意義とその方法について検討し、ドイツを比較の対象とすることの意味について明らかにする。第2回以降の各論のための総論を提示する。	1 4	広 渡 清 吾 (東京大学 教授)
2	戦後の反省とし ての憲法	敗戦国としての日本とドイツは、新憲法を制定して 戦後の歩みを始めた。新憲法は「戦争」をどのよう に位置づけるか、「軍事力」をどのように取り扱う かを最大の問題の一つとした。二つの社会の歩みの 共通性と差異について考える。	同上	同上
3	「戦後」はどの ように終わるの かー戦争責任と 戦後責任			同上

			,	
回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
4	社会のなかの憲法 - 統治構造の あり方および憲 法と国民の関係	憲法は国家と国民の関係を定める基本法である。では憲法と国民の関係は、具体的にどのようなものであろうか。統治構造のあり方、基本権の位置づけ、憲法裁判の役割、憲法が社会の統合に果たす役割などについて、比較して考える。	同上	同上
5	法のなかの女性 - 男女 平等 の 法的意味	近代の法は人の平等を原則にしながらも、 性による 平等を承認してこなかった。第2次世界大戦後には おおむね男女の平等が実現するが、抽象的なものに とどまり、なお実質的な平等に向けての問題が法と 社会に残る。この流れを整理し、現在の問題を明ら かにする。	同上	同上
6	婚姻・家族の変 容と法	女性の役割を家庭に閉じこめ、政治や経済活動を男性固有のものとする「性別役割分業」の考え方は、社会において根強くあり、また、法制度を伝統的に規定してきた。婚姻と家族の大きな変容のなかで、法制度の対応が要求されている。その状況を比較的に分析する。	同上	同上
7		日本法は、夫婦と親子(未婚の子)が同じ氏であるべきことを定めている。氏は、「個人の呼称」であるから別氏を認めよとする主張も強い。ドイツはすでに夫婦が別氏を選択することを認めている。同氏制にはどのような根拠があるのか。それぞれの議論を比較しながら考える。	同上	同上
8	企業のあり方と 法の役割	ドイツの企業は、「社会国家」という憲法の規定を 背景にして、労働者の企業運営への参加を認める独 特の制度を法によって与えられている。「共同決定 制度」というこの仕組みを中心にして、日本の企業 との比較を考える。		同上
9	法からみる労働 者の組織と働き 方	労働者は集団を組織して労働条件の改善のために 企業と交渉する。労働者組織は、企業のなかでの労 働者の働き方に大きな影響を及ぼす。法は、労働者 組織のあり方や労働者の働き方を規制する。一方で 労働者組織、そして他方で法が、労働者の働き方に どのような役割を果たしているか、日本とドイツを 比較してみる。		同上
10	国民国家と多様 な共生社会 - 国 民と外国人の 2 分法の揺らぎ	ドイツ社会に住む外国人の比率は1割に近くなっている。日本でも1980年代後半から外国人労働者が増加してきた。外国人を国民から区分する法制度の比較しながら検討し、外国人と共生する社会の法制度のあり方を考える。		同上
	i			·

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
11	グローバル化の 下での国際移住 と法	グローバル化の下で国境をこえる人々の流れは、ますます増大している。各国は、このような国際移住にどう対応するか、政策と法制度の検討をたえず迫られている。とくに、ドイツも日本も少子化・高齢化への対策として移民の活用が提案されている。国際移住の実態をみながら、日本とドイツの問題と政策、法制度の変化を比較してみよう。	同上	同上
12		人々の法の利用の程度(裁判所の利用の頻度 )を 比べるとドイツは、日本よりもはるかに大きい。つ まり、ドイツは日本に比べて「社会の法化」が進ん でいるといわれる。これは、どのような原因による ものかを法制度や人々の法意識、法についての観念 などを比較して考える。	同上	同上
13	社会のなかの法 律家-どのよう に養成され、ど のような役割を 果たすのか	い。法律家(弁護士・裁判官・検察官)の養成はどのように行われているか。また、法律家はどのよう	同上	同上
14	法における市民 の役割一市民に よる法形成・司 法参加	る役割を果たす。日本で新たに実施される裁判員制	同上	同上
15	法と社会」をと らえる一講義の	l		同上

# = 法システムⅢ ( '06) = (R)- 情報法 -

〔主任講師: 宇賀 克也(東京大学大学院教授)〕 〔主任講師: 長谷部 恭男(東京大学大学院教授)〕

## 全体のねらい

情報に関する法律問題について、憲法、行政法、民法、知的財産法、刑法の観点から多角的に分析する とともに、情報倫理の問題、図書館の機能についても解説する。情報のデジタル化、ネットワーク化に伴 う問題に比重を置くが、基礎的な法原則についても十分な理解が得られるように配慮する。

0	_	<del>7</del>		マ	内容	執 筆 担 当 講師名 (所属・職名)	放送担当 講師名 (所属・職名)
1	情	報治	<b>き</b> の	概要	情報法の講義においては、憲法、行政法、民法、知的財産法、刑法という法律学の視点で情報に関する諸問題を取り扱うとともに、情報倫理の問題や図書館の機能についても解説する。初回は、その全体の概要を説明する。	宇(大授長(大授他者) 名字教 男学教 力	全員
2	憲	去上	の割	<b>皆原則</b>	表現の自由、プライバシー、知る権利、財産権な ど、情報法に関わる憲法原理について概略を説明し、 あわせて異なる憲法原理が対立する可能性について 触れる。	長谷部恭男	長谷部恭男 (東京大学 大 学 院 教 授)
3	情	報	備	<b>市</b> 理	インターネットなどのコンピュータネットワーク 社会の秩序を保つには、従来の法律による規制だけ でなく、情報倫理と呼ばれる規範が必要となってい る。この情報倫理について、具体的な問題を通して、 さまざまな側面から考えていく。	山口 和紀 (東京大学 教授)	山口 和紀 (東京大学 教授)
4	放	送	伟	<b>月</b> 度	放送の規律根拠、番組編集準則、集中排除措置、 NHKと民間放送の二本立て体制など、放送制度の 基本原則について説明し、多メディア化・多チャン ネル化に伴うこれらの原則の変容について触れる。	長谷部恭男	長谷部恭男
5	通	信	串	度	電気通信事業は、20世紀最後の約20年間に、国家による独占(あるいは国家によって保護された独占)事業から、その民営化および競争の導入へと大きな変革を遂げた。この章では、通信事業に関わる法制度を概観した後、通信事業の特質を検討し、さらに通信の秘密について説明する。	同上	同上

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講師名 (所属・職名)	講師名
6	情報公開	政府情報の原則公開の理念に立脚して、国民・住 民等に情報開示請求権を付与する情報公開法・情報 公開条例の基本的構造がどうなっているのか、電磁 的記録の情報公開についてはどのような問題がある のかを解説する。	宇賀 克也	宇賀 克也 (東京大学 大 学 院 教 授)
7	個人情報保護	個人情報保護の法制度が備えるべき基本的要素は何かをOECD8原則、EU指令等を参照しつつ検討し、わが国の個人情報保護に関する法制度の特徴を説明する。あわせて、行政情報化に伴う個人情報保護の課題につき述べる。	同 上	同上
8	行 政 情 報 化	行政情報化推進基本計画に基づく国の行政情報化 の推進状況と今後の課題、とりわけ、申請・届出と いう行政手続のオンライン化に関する法律問題を検 討する。	宇賀 克也	宇賀 克也
9	データベースサ ービスとコンテ ンツ		中川 裕志 (東京大学 教授)	中川 裕志 (東京大学 教授)
10	電子商取引(その1)	取引に関する情報がデジタル化・ネットワーク化されることで、紙を前提として行われてきた取引に大きな変化が生ずる。これが電子商取引である。では、いったいどのような電子商取引が発展しようとしているのだろうか。また、そこに含まれる法的問題はどのようなものだろうか。これらについて、国際的な視点を含めて考えたい。	(京都大学	山 本 豊 (京都大学 大 学 院 教 授)
11	電子商取引 (その2)	インターネットを通した電子商取引においては、 相手が誰であるか、また送られてきた情報が改ざん されていないかを確かめることが難しい。このセキュリティ上の問題を解決するために考案された電子 署名と、それをめぐる法制度を中心に、電子商取引 についての法律問題をより掘り下げて検討する。	同上	同上

					執筆担当	放送担当
	テ		マ	内容	講師名 (所属·職名)	講 師 名   (所属・職名)
12	知的		産 法 の1)	特許法、著作権法、不正競争防止法などの知的財産法は、情報の財産的価値を保護するための法と で捉えることができる。この観点から、知的財産 が、どのような目的で、いかに設計されているかい いうことを概観する。	オ ン 井上由里子 去 (神戸大学	井上由里子 (神戸大学
13	知的	財 <i>j</i>   (そ	産 法 の2)	デジタル化、ネットワーク化の進展に伴って、約 的財産法に関する新たな問題が次々に生じている。 個々の論点につき、国際的動向も踏まえて検討する		同上
14	情報	の刑を	生的保	情報を刑法でどのように保護するかについては、 国家機密、財産的情報、個人情報など、その性質に 応じた議論が必要である。現行法における情報の 法的保護を概観した後、将来のあるべき姿につい 検討することにしたい。	と 佐伯 仁志 別 (東京大学	佐伯 仁志 (東京大学 大学院教 授)
15	インと刑		ネット	インターネット上の様々な不正行為に対して、「存の刑罰法規をどこまで適用することができるのか、適用できない場合にどのような刑罰法規が新た設けられたのか、今後設けられるべきなのか、いった点を検討することにしたい。	の き 同 ト	同上

# = 技術社会関係論('04) = (R)

[主任講師:森谷正規(LCA大学院大学教授)]

## 全体のねらい

日本は技術を大きく進ませ産業を発展させて、とても豊になったようであるが、環境問題、廃棄物処理、交通渋滞・事故、防災の不備、医療・福祉・教育の後れなどの社会問題が山積している。それは「社会」に向けた技術が進まないからであり、なぜ進まないのか、どうすれば進めることができるのか、技術と社会の関係を深く考えて、よりよい技術のありかたを考える。

旦	テ ー マ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
1	I 技術社会関係の あり方 技術進展の変革	技術は「産業」「家庭」「社会」に向けられるが、「社会」に向ける技術が後れている。したがってさまざまな社会問題が激化しているが、なぜこうした技術が後れているのか、これまでの技術進展の全体を見通して、問題点を挙げ、変革の必要性を指摘する。	森谷 正規 (LCA 大学 院大学教授)	
2	技術社会関係の基 礎	技術は一般に市場をもとにした経済原理によって進展していくが、「社会技術」は経済原理が効きにくいものが多い。 その「社会技術」をどのようにすれば進ませることができるのか、技術と社会の関係の基礎をしっかりと把握しておく。	同上	同上
3	技術に果たす政治 の役割	「社会」において強いニーズがある技術がいっこうに進展 しない場合、政治がそのニーズを正しく把握して、技術が進 むような何らかの「仕組み」を作り出す必要がある。現代は 技術に果たす政治の役割が大きくなっているのであり、それ について深く考える	同上	同上
4	「社会技術」を進め る制度	「社会技術」を進めるために政治が作る「仕組み」の主なものは制度である。それには、各種の規制による採用の義務づけ、経済的な不利を補う補助金、税の優遇措置などがある。その財源として環境税などが必要になる。	同 上	饲 上
5	「社会技術」を進め る組織	「社会技術」を進める組織は、実施主体としては企業が主であるが、その企業をより積極的に組み込むためにPFI(プライベート・ファイナンス・イニアシャティブ)を活用する。また、企業と生活者の間で調整をするNPO、NGOも大きな役割を果たすことが期待される。	同 上	同上
6	Ⅱ 各分野毎の課題 と対応 エネルギー・環境	環境破壊が地球規模に広がって深刻になっているが、その 主たる原因はエネルギー (化石燃料) の大量消費である。こ れからエネルギーの使用をいかに抑え、新しいエネルギー供 給によって環境破壊を防ぐかが大きな課題である。		同 上
7	廃棄物处理	廃棄物は、都市ゴミ、家電・自動車など大型ゴミ、各種の 産業廃棄物など非常に多様なものがあり、それぞれに対応し なければならない。いかに廃棄の量を減らすか、どのように 処理しサイクルするのか、それをいかに進めるのかの方策を 示す。	同上	同上

回	テーマ	内 容 都市では、鉄道ははなはだしく混雑しているが、混雑緩和 にいっこうに進まず、道路交通は、渋滞、事故がいっそう深	講	筆 担 当 師 名 属·職名)	講	: 担 当 師 名 ・職名)
8	都市内交通	刻になっている。なぜ抜本的な対策が立てられないのか、ど のようにすれば改善に向かうのか、その方向を明らかにする。	森:	谷 正規	森谷	正規
9	都市問題	日本の都市は、景観、アメニティが欠如しており、ヒート アイランド現象が問題化している。また、地震への防災が不 備である。これらの重大な都市問題がなぜ解決に向かわない のか、いかに対応できるのかを考える。	同	上	同	<b>.</b>
10	医療・福祉・教育	医療・社会・福祉にも問題が多々あるが、その解決には、主としてIT (情報技術) が利用できるはずである。ITが 急速に進む時代であるにもかかわらず、なぜ、これらの分野では利用が進まないのか、いかにして進めていくかを考える。	同	上	同	上
11	課題と対応のまと め	五つの分野の課題と対応を示してきたが、それに関して挙げた多くの技術について、いかに進めるべきかの視点からいくつかのタイプに分けてまとめる。政府、自治体が進めるべきもの、事業体が力を注ぐべきもの、生活者の意識にかかわるものなどがある。	同	Ŀ	同	Ŀ
12	Ⅲ良好な技術社会 関係を目指して 企業が果たす役割	「社会技術」を進めていくには、開発者として、またサービス提供者としての企業が果たす役割が大きく、各企業に自主的な努力が求められる。その具体的な行動として現れているグリーン調達、環境会計、ゼロエミッションなどについて、その状況を明らかにする。	同		同	上
13	市民が持つべき意 識	さまざまな社会問題に対して、市民は被害者であるばかりではなく、問題を生じる当事者の一人である場合も多い。そうした社会問題の中での市民の行動をとらえて、問題解決のためには各人がいかなる振る舞いをすべきか、その意識のあり方について考える。	同	Ŀ	同	Ŀ
14	国際社会に向けて	急速に発展しているアジア諸国において、社会問題はこれから激化していく。温室効果ガスの削減、廃棄物リサイクル、交通渋滞・事故の緩和などの諸問題について、日本が寄与できるものは大きい。海外に向ける日本の技術の有力な発展方向である。	同	£	同	Ŀ
15	望ましい技術の進展	21世紀において技術が進んでいく方向を挙げて、その中での「社会技術」の位置付けを明確にして、それが最も重要な将来技術であることを明らかにする。その上で、全体として望ましい技術進展のあり方を示す。	同	上	同	£

# = 環境マネジメント ( '06) = (TV)

[主任講師(現職名):山口光恒(帝京大学教授)]

### 全体のねらい

環境問題の対象が、従来の公害問題から、地球温暖化・オゾン層破壊などの地球規模の環境問題に拡大している。これに伴い企業、消費者、政府などの役割に大きな変化がみられる。本講座ではこれら当事者の新たな役割を探ると共に、地球温暖化、廃棄物問題、環境保護と自由貿易の両立については特に章を設けて考察する。

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
1	地球環境問題 とは	はじめに、公害問題との対比で地球環境問題の特徴を述べる中で、持続可能な発展(sustainable development)につき説明する。次いで地球環境問題の原因と本質を探り、政府、企業、消費者等の役割に簡単に触れる。	(帝京大学	山口 光恒 (帝京大学 教授)
2	地球環境問題と 企業	企業が変わらねば環境問題は解決しない。企業を動かす主体である政府、消費者・NGO、企業、自治体、金融機関、投資家等と企業の関係を考える。次に、企業を取り巻く世界の情勢及び日本企業の対応を概観し、企業経営と環境問題の関わりに触れる。	同上	同上
3	ISO環境管理 システム	国際標準化機構(ISO)での環境管理標準化の経緯を振り返り、このうち特に第三者認証の対象でもあるISO14001環境管理システム制定を巡る国際会議での日米欧の立場や、規格制定に際するNGOの役割を解説する。その上で、14001のポイントと日本企業の対応を海外の事例も含めて紹介する。	同上	同上
4	製品面での環境 配慮(LCA)	製品面での環境配慮の中核となるのは、製品の製造・使用・廃棄のライフサイクル全体を通した環境への影響評価(LCA)である。ISOのLCA規格の内容を説明し、オランダや日本で研究が進められている環境負荷の重み付けについて検討する。それと並んでLCA手法による製品比較広告の困難性も検証する。	同上	同上

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
5	政府介入の必要 性とPPP	環境破壊のメカニズムを明の介入の是非を検討する。 支払いの原則)の意味や、る。次いで、環境政策の目的 達成と、所与の水準の最小と 考察する。	この中でPPP(汚染者 コースの定理を取り上げ 的を最適汚染削減水準の	同上	同上
6	環境政策の手段 (直接規制、税)	環境政策の手段のうち、直接の検討を行う。一般に直接を 果を、経済的手法については 傾向にある。後者については に何故理論と実際が乖離する	規制については現実の効 は理想的効果を比較する はヨーロッパの実例を基	同上	同上
7	環境政策の手段 (排出権取引、 自主協定)	排出権取引は直接規制と経 る。効率面では排出権取引 同等の効果を持つが、排出 等で異なる。こうした点を 主協定は最近注目され、ド 日本等で用いられている。 等を検討する。この他、環 も触れる。	とボーモル・オーツ税は 量規制、コスト安定の面 含め両者を比較する。自 イツ、オランダ、英国、 この環境効果、費用効果	同上	同上
8	消費者、NGO の役割	消費者は企業行動を変える 欧米を中心にグリーンコン る。消費者は住民でもある。 設にみるごとく環境保護 い。NGO(非政府組織) 実際の環境政策に影響を与 Oの実態に迫る。	ンシューマーの動きを探。日本の廃棄物処分場建 での住民の役割も大き は政策提言能力を持ち、	同上	同上
9	地球温暖化(I PCC第3次報告)	IPCC (気候変動に関する政 気候変動枠組み条約締結に 書採択に大きな役割を果た の第3次報告を中心に、温 その影響、それに対する適 き解説する。最後に2004年 次報告についても触れる。	、第2次報告は京都議定 した。講義では2001年春 室効果ガス排出見込みと 応策と防止軽減策等につ		同上
10	候変動枠組み条 約と京都議定	1994 年発効の気候変動枠組 本理念を解説し、問題点を 択され、先進諸国に初めて 定書の内容と、ここで新た 等の「京都メカニズム」に 途上国問題を展望する。	深る。次いで 1997 年に採 数量目標を課した京都議 に導入された排出権取引		同上

日	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
11	地 球 温 暖 化 (日・米・EU の 対応)	2001 年3月アメリカは京都議策した。EU は 2002 年に京都議定 2005 年からは域内排出権取引を中で日本も京都議定書目標達成るが道のりはかなり険しい。京米・EU の対応とその背景を解説	書を推進すると共に、 を開始する。こうした 対に全力を尽くしてい 京都議定書を巡る日・	同上	同上
12	地球温暖化(ポスト京都議定書)	京都議定書が規定するのは 201 し議定書加盟国の温室効果ガス 1/3に過ぎない。100 年後の名 現在の水準以下に削減すること アメリカと主要途上国の参加を めるための方策を探る。	ス排出量は世界全体の グローバルな排出量を とが求められる中で、	同上	同上
13	廃棄物問題(拡 大生産者責任— その1)	2001 年春、拡大生産者責任(E イダンスマニュアルが完成した の生産物の処理責任を自治体が 動きが世界で相次いでいる。主 動きを中心に、拡大生産者責任	た。これを機に廃棄後 いら生産者に移転する Eとしてヨーロッパの	同上	同上
14	廃棄物問題(拡 大生産者責任— その2)		レ法が制定され、自動 ながった。他方、近年 がている。この点に関 均有効利用という両面	同上	同上
15	自由貿易と環境 保護	環境政策が自由貿易の阻害要因いる。環境条約非加盟国に対す 由貿易の衝突がその典型である 化政策(自動車燃費規制)や日 指令を巡り、環境規制が結果と 可能性を巡り具体的事件が発生 易の両立をはかる方策につき検	ける貿易制裁措置と自 る。この他日本の温暖 E Uの廃電気電子機器 として貿易障害となる として貿易障害となる としている。環境と貿	同上	同上

事務局 開設 科目 科目 履修 単位 平成 19 年度 大学院科目 8930350 無 2 記載欄 年度 コート゛ 区分 制限 数

科目名 (メディア) = 環境工学 ( '07) = (TV)

[主任講師(現職名): 鈴木 基之(放送大学教授)]

## 講義概要

環境工学は、環境問題の解決手法開発の学問である。環境問題そのものは、過去半世紀の間に大きく変化し、従ってその問題の解決のための考え方も変化している。工学は単なる個別の技術開発ではなく、将来ビジョンに基づく総合的なシステム確立を目指して、そのために科学技術を総動員することが求められる。本講義においては、いくつかの重要な分野における最先端の研究がどのようになされているのかを紹介し、総合的な見方を身につける助けとしたい。

#### 授業の目標

地球上の限られた資源の量、限られた自然環境の恩恵という制限の中で、ますます人間活動が増大していくことが予想されている現在、人類が活動を持続していくために何が必要とされるのか、何が可能なのかが今問われており、授業を通じて、この答えを見出すための「考え方」を学んで欲しい。

п	テ		マ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
1	環境間	題と	は	人間の活動の拡大・活性化による環境との間に相克が生じてきた。動による環境の劣化が人間の生存ととなった。環境問題の発生、発決のために工学がどのようになるのかを考えてみよう。	すなわち、人間活 字に制約を与えるこ 変化を概括し、その	鈴 木 基 之 (放送大学 教授)	鈴 木 基 之 (放送大学 教授)
2	環境「化の心			生産活動、人間活動から環境中にのような挙動をとるのか、自然と間活動がどう影響するのかなどでうえで基本となる物質収支の考えどについて基本的な考え方を概認の変化とエネルギー収支との関る。	界の物質の流れに人 を定量的に理解する え方、変化の速度な 说する。さらに物質	同上	同上
3	環境リ	<b>リ</b> スク		人間活動に起因する化学物質が 巡り巡って人体に影響を与えたり 全性に影響を与えたりすることが ような環境リスクには多種多様が 異なった形で現れるものとなるが 評価して、どのような対策を考え のような種々の環境リスクを総合 理解するようにしよう。	り、自然生態系の健 が懸念される。この な要因、その影響も とめに、どのように えるべきなのか、こ	同上	鈴 (教 ) が 本 送 ) が 中 で 産 発 で 子 で 産 業 所 と で で 業 形 と で で 長 ) で で そ の で と か と か と か と か と か と か と か と か と か と

回	テーマ	内容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属·職名)
4	空気環境	大気・室内の空気を通じて人体、生態系に える有害物質の存在も重要である。近年重 ている室内空気環境のおける問題として新 などが原因となっている室内空気汚染に対 はどのような対応をしているのかを解説す	重要となっ 所しい建材 対して工学	鈴 水 基 之
5	水管理(1)上 水処理	水環境の劣化に伴い安全な飲料水確保のため技術が用いられる。我が国における飲料る発展の状況を概説するとともに、汚濁なするなど、飲料水処理に関する新しい浄なする工学の基礎を解説する。	料水に関す 水源に対応	鈴 木 基 之 ・ 教授) ゲスト・ 森道 ・ 本 選 ・ 本 選 ・ 大 表 道 ・ 大 た ま た 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
6	水管理(2)流 域の水管理	環境水域は産業排水や生活排水、さらに 雨排水、農地、山林からの流出水など流域 派生する排出水などによる多様な影響を受 や水域生態系の劣化が生じている。水域を るためには、河川流域の総合的な管理が できており、それによって下流の海域の となる。東京湾流域に関する研究事例を診	或全体から 受けて水質 を健全に守 必要となっ 呆全も可能	鈴 木 基 之
7	水管理(3)薬 場・干潟の生態 工学	自然環境は身近なところを考えても、色色間活動の影響を受け、また同時に環境浄化きな役割を果たしている。水域環境におい機能を活用すると同時に、自然環境も保証には人間がどのような工学的な配慮が可能域と海の接線である藻場・干潟における特例に考えてみよう。	比の面で大 ける種々の 全するため おなのか陸	鈴 木 基 之 (放送大学 教授) ゲスト: 岡 田 出大 (広島 教授)
8	水管理(4)地 球規模の水資源	地球上の水は海域に大量に存在するが、スギーを受けて蒸発し、降水となって地上にるわずかの水が淡水資源として人間活動、系を支えている。食料生産もその持続性にかかっている。世界的な水危機を迎ええる生産にかかわる大量の水の仮想的な移動だに工学としてどのようにかかわるのかをあう。	こ戻ってく 陸上生態 は水資源に 5今、食料 など水問題	鈴 木送 大送 大 教授) ゲスト大大 東産 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大

П	テーマ	内 容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
9	資源循環 (1) 資源生産性	現在の社会は大量な資源の採取、大量な廃棄に支えられている。資源の有効利用を図り、廃棄物をも最小にすることが資源の有効利用と環境保全のために必要である。資源生産性という概念の重要性について考え、循環型社会を構成するための技術的方策、社会的方策などについて考えてみよう。	同上	鈴 (教 が が が が が が が が が が が が が が が が が が
10	資源循環 (2) 固体廃棄物	活発化する人間活動から発生する固体廃棄物は、その処分場の問題や、廃棄物が生む環境影響の問題など多面にわたる問題を生じている。資源化が求められる廃棄物に関する現在の状況と今後の方向をプラスティック廃棄物などを考慮しつつ考えてみよう。	同上	鈴 木 基 之 (放送大学 教授)
11	資源循環(3) バイオマス地域	循環型社会を構築していくためには自治体、地域、 国など種々の単位での検討が必要であろう。このよ うな方向での取り組みの例として千葉県山田町のバ イオマスを中心としてたプロジェクトを取り上げ、 完結した物質循環を地域において構築していく上で の問題などを検討している例をみてみよう。		鈴木 基之 (教授) ゲスト: 章大 (東産 大 (東産 大 (東産 大 (東産 大 (東 大 (東 大 (東 大
12		バイオマスの利活用は資源循環・温暖化対策の上でも重要な課題である。大量のバイオマスを利用するにあたっては、バイオマス生産におけるプランテーション、生産物の工業的な変換など持続可能なシステムの設計・構築が必要となる。インドネシアにおけるバイオマス生産、利活用プラントの設計について示す。		鈴 大 基 大 差 大 巻 大 巻 グ ス 江 橋 豊 術 大 芸 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻
13	地球環境(1) 温暖化の予測	地球環境のように種々の現象が複雑に絡み合った対象の将来予測を行うのは容易ではない。このような場合に有効となる数理モデルはどのように構築されるかを考え、このモデルを用いて地球温暖化のどのような予測がなされているかの例を見てみよう。これによりモデル化の有効性と限界を理解しよう。	;	会 大 基 大 表 大 表 授 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師 名
14	地球環境 (2) 温暖化への対策	地球温暖化は主として化石燃料 炭素ガスの発生により大気の過 その原因がある。この温暖化制 取り組みを都市から発生するこ に考えてみよう。	温室効果が増すことに 問題に対応する工学の	同上	鈴(教 ゲ花(大系授 大 京院究 ス 木 京院究 ・ 啓 大工科 京院究 ・ アン・ ・ アン
15	問題解決型から着地点誘導型へ	人間活動は全ての面で環境と何している。最終的に人類の活動としてなにを考えていく必要が源と環境の下で人間活動のあるためにはどのようなパラダイムを本講義の総括として考えてみ	かを持続していく条件 があるのか、有限な資 らべき姿を考えていく いの変更が必要なのか	同上	鈴 木 基 之 (放送大学 教授)

## = 都市デザイン論 ( '06) = (TV)

[主任講師(現職名):香山壽夫(放送大学教授)]

#### 全体のねらい

私達の生活する都市を、どのようにつくるのか。そもそも、都市とは何なのか。近代の都市設計理念は何を作り出したか。それは、今どのような問題に直面しているか。今日の都市に求められているものは何か。それを解決するための方法は何か。こうした問題について具体例に即して考察する。

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
1	序・都市とは何 か	都市デザインの目的と方法について考察する 1) 私達の生きる空間としての都市 2) 醜い日本の都市の現実 3) 社会の枠組みとしての都市 4) 都市はどのようにしてつくられるか	香山 壽夫 (放送大学 教授)	香山 壽夫 (放送大学 教授)
2	都 市 の か た ち (1) 一京都と江戸	3回にわたって、歴史的な都市をとりあげて、都市のかたちと、その意味について考察する 1)都市のかたちー計画性と自発性 2)京都のかたち 3)江戸のかたち 4)美しかった日本の都市	同上	同上
3	都 市 の か た ち (2) 一古代と中世ヨ ーロッパ	<ol> <li>都市のかたち-幾何学形態と自然形態</li> <li>古代の都市のかたち</li> <li>中世の都市のかたち</li> <li>都市のまとまり-「親近性(コンパクトネス)」</li> </ol>	同上	同上
4	都市のかたち (3) ールネサンスと バロック	<ol> <li>都市のかたち-持続と変革</li> <li>ルネサンス都市のかたち</li> <li>バロック都市のかたち</li> <li>都市の持続性</li> </ol>	同上	同上
5	近代の都市デザ イン理念(1) 一庭園都市	2回にわたって近代の指導的な都市デザイン理念について考察する 1)産業革命の生んだ都市の悲惨 2)ユートピア的工業都市 3)エベネッツァ・ハワードの「庭園都市」 4)郊外への展開	同上	同上

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
6	近代の都市デザ イン理念(2) 一塔の都市	<ol> <li>モダニズムの都市デザイン</li> <li>ル・コルビュジエの都市革新理念</li> <li>合理主義と革命願望</li> <li>新都市「チャンディガール」の悲惨</li> </ol>	同上	同上
7		明治以降今日までの日本の都市デザインは何を行ってきたのか、2回にわたって考察する 1)消された町、江戸 2)文明開化の都市イメージ 3)市区改正から震災復興までの東京 4)実らずに消えた新都市の夢	同上	同上
8	近代日本の都市 デザイン(2) 一戦災復興と再 開発	2) 戦災復興とニュータウン建設	同上	同上
9	新しい都市デザ イン理念(1) -再開発批判か ら住区再生へ	新しい都市デザインの動きについて2回にわたって	同上	同上
10	イン理念(2)	<ol> <li>まちづくりの新しい動き</li> <li>アメリカの「ニュー・アーバニズム」</li> <li>イギリスの「アーバン・ヴィレッジ」</li> <li>町の秩序は住民がつくる</li> </ol>	同上	同上
11	都市デザインの 要素 (1) ー通り	これから4回にわたり、都市デザインを実際に行う時の手がかり、すなわち要素、について考察する 1)歩行者のための都市 2)「通り」の成立条件 3)「通り」のかたち 4)道は部屋になりたがっている	同上	同上
12	都市デザインの 要素(2) 一町広場	<ol> <li>人間のための広場</li> <li>「町広場」の成立条件</li> <li>「町広場」のかたち</li> <li>公共建築とは何か</li> </ol>	同上	同上

囯	テーマ	内容	•	放送担当 講 師 名 (所属·職名)
13	都市デザインの 要素 (3) -水と緑	<ol> <li>都市と自然</li> <li>身近な自然</li> <li>「小自然」のかたち</li> <li>都市も人間も自然の一部</li> </ol>	同上	同上
14	都市デザインの 要素 (4) -都市住居	<ol> <li>1)住居は全て集合住宅である</li> <li>2)日本の町家</li> <li>3)ヨーロッパ・アメリカの連続住宅</li> <li>4)新しい試み</li> </ol>	同上	同上
15	結・都市をいか につくるか	1)都市の素晴らしさ 2)共同体のかたちとしての都市 ·3)「親近都市空間」をいかに実現する	か	同上

### = 教育文化論('05)=(R)

-人間の発達・変容と文化環境-

[主任講師: 住田 正樹(放送大学教授)] [主任講師: 鈴木 晶子(京都大学大学院教授)]

#### 全体のねらい

教育文化は、ある社会の人々の間に広く見られる教育や発達についての信念・価値、態度、感情などの伝統的な志向パターンというほどの意味である。個々の人々は、日常生活のなかで、とくに意識することなく、こうした教育文化に規定されて教育についての信念・価値、あるいは態度・思考といった教育観、教育意識を形成していく。この講座では、教育文化が人々の教育観や教育意識、そして人間の発達をどのように規定しているか、また方向づけているか、について考える。

H	テ ー マ 教育文化とは何か	内 容  I 部 教育文化へのアプローチ  教育文化についての概念は、未だ必ずしも明確にされているわけではない。それだけにいろいろなアプローチが可能である。  第1回は、教育文化をどのように捉えることができるか、	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名) 住田 正樹 (放送大学教 授)	講師名(所属・職名)
		また本講座ではどのように捉えたかについて講師2人が対談形式で説明していく。	鈴木 晶子 (京都大学大 学院教授)	鈴木 晶子 (京都大学大 学院教授)
		Ⅱ部 教育文化の原理		
2	教育的まなざしの 誕生	近代学校教育の制度化に伴い、職業教師に専門的知見を提供するために成立した教育学という学問。その学問の発生現場に立ち返り、近代科学的な発想が教育を見る眼、その教育的まなざしをどのように規定しているのかみてみよう。	鈴木 晶子	鈴木 晶子 弘田 陽介 (関西大学人 間活動理論研 究センターポ ストドクトラ ルフェロー)
3	教育的まなざしの 増殖	近代教育および近代教育学を規定している教育的まなざしが、今日私たちが教育について考えたり、語ったりしている際に、どんな働きをしているのか、またそうしたまなざしはいかにして増殖するのか、その仕組みを探ってみよう。	鈴木 晶子	同上
4	教育を語る言葉の病	教育を見る眼、教育的まなざしが、社会や文化の枠組みによって強く縛られてしまっていることは、教育について語るその言葉の貧困という状態となって現われてくる。教育を語る言葉について考えてみよう。	皇 紀夫 (大谷大学教 授)	皇 紀夫 (大谷大学教 授) 鈴木 晶子

垣	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	放送担当 講 師 名 (所属·職名)
5	教育文化臨床と言 語	人間が人間と成り行くなかで、読む、書く、話すという言葉との出会いはその変容を大きく規定している。私たちはどのようにして言葉と出会い、言葉を通して変容していくのだろうか、言葉の働きを探ってみよう。	皇 紀夫	皇 紀夫 鈴木 晶子
6	言葉と身体	言葉と身体は実は不可分の関係にある。近代教育の制度化 とともに、言葉や身体はどのように変化してきているのだろ うか。それは人間の生きる意欲や力の源ともいえる情念や欲 望の発露形式の変容とみることもできる。	鈴木 晶子 弘田 陽介	鈴木 晶子 弘田 陽介
7	死ぬこと・生きるこ と	いかに死に、いかに生きるか、これは人間一人ひとりにとって固有の主題である。個々の人間の人生の旅路で出会う風景は様々である。教育とはその個別性をこそ愛おしむべき営みである。人間としての普遍性と個人としての特性とをともに掬うことのできる教育文化の再生は可能だろうか。	鈴木 晶子	鈴木 晶子 皇 紀夫
		Ⅲ部 教育文化の諸相		
8	育児文化の変容	今日、育児不安や育児ノイローゼ、また虐待など育児を巡っての問題が噴出しているが、育児についての考え方や行為は、どのように変化してきたのか。今の親は育児についてどのように考えているのか、今日の育児問題の背後にある社会的・文化的条件を考えてみる。	住田 正樹 田中 理絵 (山口大学助 教授)	住田 正樹田中 理絵(山口大学助教授)
9	子どもの遊びと遊び文化	遊びと遊び方とは異なる。遊びの変化を捉えるためには、 遊び方の変化を捉えねばならないが、そもそも遊びは子ども 発達にとってどのような意味があるのか、そして子どもの遊 びはどのように変化しているのかについて考えてみる。	住田 正樹	同上
10	学歴社会の変貌 ー学歴インフレの 時代―	高学歴化が進行すると、学歴インフレが生じ、学歴の価値が下がる。しかし今日にあっても、依然として学歴獲得競争は激しい。どうしてなのか。学歴インフレの時代にもかかわらず、子どもも親も学歴獲得競争に邁進する理由を考えてみる。	住田 正樹田中 理絵	同上
11	メディア環境の形 成と拡大	現代のメディアは巨大化、多様化、複雑化してわれわれの 環境を形成しているが、取り分けエレクトロニクス系メディ アの進展はめざましい。こうしたメディアが拡大していって 教育環境・文化環境をどのように形成しているかについて考 えてみる。		同 上

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
12	ジェンダーの世界	「男らしさ」、「女らしさ」という概念は社会的・文化的 条件によって規定される。今日の日本にあっては、どのよう な条件が男らしさ・女らしさを規定しているのか、そしてそ の内容はどのように変化してきたのか。	住田 正樹田中 理絵	住田 正樹 田中 理絵
13	子ども観の世代差 -子どもはどう変 わったか-		住田 正樹	同 上
14	子どもたちの生活 世界と自己意識の 変容-社会・世間・ コモンズの観点か ら-	子どもを取り巻く社会環境はどのように変わってきたのか。日本人に特有と言われる行動や態度の準拠枠としての「世間」は、これまで良くも悪くも個人の自己性を規定してきたが、私生活中心となった現代の日本で育つ子どもたちの生活世界はどうなっているのか、社会化・共同化の観点からとらえる。	南 博文 (九州大学院教授) 圆田 美保 (鹿児島女子短期大学講師)	(九州大学大学院教授) <b>園田美保</b>
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	IV部 教育文化研究の現在	i	
15	教育文化論の課題	講師2人の対談形式によるまとめと今後の課題。教育文化の研究の必要性と研究を進めていく上での今後の課題あるいは可能性について述べる。	住田 正樹	住田 正樹 鈴木 晶子

## = 教育経営論( '04) = (R)

〔主 任 講 師: 新井 郁男(上越教育大学名誉教授)〕

#### 全体のねらい

わが国を中心とした現下の教育改革の方向に照らして、これからの教育経営の在り方について、単なる理論の紹介というのではなく、内外の実践を紹介もまじえながら、わたしの考える教育経営論を展開する。

	<i>∓</i> − マ	内容	講	担 当 師 名 ·職名)	講館	币 名
1	教育経営の原理 1 一計画性	教育経営の基本的原理の一つとして、プラン(Plan)ードゥ(Do) ーシー (See) といった計画性の原理について考える。	新 井 (上越 学名誉	教育大	新 并 (上越 学名誉)	教育大
2	教育経営の原理 2 一多様な教育観の 調整	教育経営においては、教師や保護者などの多様な教育観を 調整することが重要であること、調整するためのさまざまな ストラテジーについて考える。	同	Ł	同	Ŀ
3	教育経営の原理3 一柔軟な教育課程 経営	教育の重要な側面である教育課程の経営に当たっては、目標、時間、空間、教職員組織、などについて柔軟な姿勢をとることが重要であることについて考える。	同	上	同	Ŀ
4	学校の創造性	これからの学校は、それぞれの実態をふまえながら特色を 出していくことが求められているが、その課題を達成するに はどうしたらよいかについて考える。	同	Ł	同	Ł
5	学校に基礎を置い たカリキュラム開 発	学校の創造性において最も重要な課題であるカリキュラム 開発を各学校が主体的に行う場合のアプローチについて考え る	同	, Ŀ	同	Ł
6	カリキュラムと学 校組織	新しいカリキュラムを開発し、それを実際に機能させるためには、学校組織の改革の重要であることについて述べる。	闻	上	同	上
7	教授組織の革新	新しいカリキュラムの導入に対応する学校組織の観点としてティーム・ティーチングの意義などについて考える。	同	Ŀ	問	Ŀ

	テ ー マ	内容	講	筆 担 当 師 名 属·職名)	許ら	市 名
8	地域社会学校の創 造1	学校と地域の連携を密にした地域社会学校について、アメリカで展開された論やわが国の第2次大戦後の動向、最近の動向などを踏まえて、地域社会学校を経営していくにはどうしたらよいかについて考える。		1 L	同	上
9	地域社会学校の創 造2	第 8 回を受けて、現在、現在再び地域社会学校の理念が復活していることの拝啓や意義などについて考える。		司 上	同	±
10	地域社会学校の創 造3	地域社会との連携を深めている、わが国のさまざまな実践 例に目を向けながら、その意義や課題などについて考える。		司 上	同	上
11	学校経営における リーダーシップ 1	校長などの管理職や指導的な立場にある教員などのスクール・リーダーの問題について、ウェーバーの指導者論などを紹介しながら考える。		司 上	亩	Ŀ
12	学校経営における リーダーシップ 2	教育経営が適切に遂行されるには校長をはじめとするスク ール・リーダーがどのような役割を果たさせばよいかについ て、具体的な例を出しながら考える。		司 上	同	上
13	開かれた学校 経営1	現下の教育改革において重視されている「開かれた学校」 とは何か、そのような学校を創造するためには教育経営はと のように転換しなくてはならないのかについて考える。	1	司 上	同	上
14	開かれた学校 経営 2	開かれた学校をめざす開かれた教育経営の具体的な対応の問題として、学校評議員制度、PTA、学校選択、行政との関係などについて考える。	•	司上	同	Ł.
15	学校組織体として の学校の創造	1 回から 14 回までに考えたことを、学習組織体としての学校の創造という観点から整理して、今後を展望する。		司 上	同	Ŀ

事務局 開設 科目 科目 履修 単位 平成 19 年度 大学院科目 8940231 有 2 記載欄 年度 区分 ין-ב 制限 数

科目名 (メディア) = 学校システム論 ( '07) = (TV)

[主任講師(現職名):竹内洋(関西大学教授)]

#### 講義概要

「学校」という言葉も実態もいまのわれわれには自明視されている。しかし、学校は人類の歴史のある段階で発明された人工装置である。学校という人間形成装置が社会の変化のなかでどのように変貌してきたのか、そしていまなにゆえ学校の秩序の揺らぎが問題化されるのであろうかを講義する。

#### 授業の目標

文明としての学校の可能性と問題を浮かびあがらせ、これからの学校像を描きたい。

旦	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
1	学校が輝いたと き	敗戦後、日本人は教育の拡大によって悲惨と不幸の脱 出を願った。新潟県佐渡島両津町(現、佐渡市)を事 例としながら戦後の貧困のなかから新制高等学校創 設に立ち上がった人々の希望と努力の跡をふりかえ る。	(関西大学	
2	高度成長・教育 拡大・大衆勉強 社会	1955年から73年までは、年平均10%以上の経済成長がつづいた。日本社会は急激に豊かになり、多くの人々が義務教育以上の高等学校そして大学に進学できるようになった。こうして生じた教育拡大のメカニズムについて考える。	(関西大学	竹 内 洋 (関西大学 教授)
3	大衆受験社会の 誕生と衰退	教育拡大は、大衆勉強社会と大衆受験社会をもたらした。過熱した大衆受験社会の隠れたカリキュラムについて考えるとともに、少子化による近年の受験圧力の低下がどのような学校に入学するのかではなく、なにを学ぶのかの学校の力の重要性を立ち上げていることを探る。	(関西大学	竹 内 洋 (関西大学 教授)
4	教育問題の変貌	1970年前後までは、学校は希望の場として内部が問われることはなく、教育問題は、学校をとりまく、外部(社会)におかれた。しかし、しだいに学校そのものが教育問題の場としてまなざしをそそがれるようになる。このような教育問題のまなざしの変化とその背景について考える。	(関西大学	竹 内 洋 (関西大学 教授)

回	テーマ	内容	1 - 1 - 1	放送担当 講 師 名 (所属·職名)
5	学校への疑惑; 脱学校論と社会 的再生産理論	学校という装置そのものへの疑惑理論の代表的なものは、学校は自発的学びを衰弱させるとする「脱学校論」(イヴァン・イリッチ)と学校は社会の階級構造を再生産するという「社会的再生産理論」であるが、これらの理論について検討する。	(関西大学	竹 内 洋 (関西大学 教授)
6	学校をめぐるふ たつのモデル	学校組織のモデルには教師や生徒の統合された配置がなされており、学校内の逸脱や葛藤を従とする機能モデルと学校組織の本質は内部に矛盾をかかえた葛藤のほうが主であるとする葛藤モデルとがある。夏目漱石の「坊ちゃん」などを題材にしながら、学校を考える視角について講述する。	(関西大学	竹 内 洋 (関西大学 教授)
7	教育問題の考え 方	いじめや校内暴力などの教育問題についてのアプローチについて実証主義的方法と解釈主義的方法を紹介し、それぞれのアプローチの特質を明らかにする。 いじめ問題については解釈主義的アプローチで具体 的に考えてみる。	竹 内 洋 (関西大学 教授)	竹 内 洋 (関西大学 教授)
8	パブリック・ス クールというノ スタルジア(1)	英国のパブリック・スクールについては全人教育がなされる学校の理想として多くの国々でモデルとされてきた。なにゆえパブリック・スクールが学校の模範とされたかを、パブリック・スクールの誕生と展開のなかで探る。	(関西大学	竹 内 洋 (関西大学 教授)
9	パブリック・ス クールというノ スタルジア(2)	前回の続きを講述し、さらに変化の激しい現代社会のなかで学校の模範とされたパブリック・スクールはどのようにして伝統を守り、21世紀に適応しているのか。教育における保守と革新について考える。	竹 内 洋 (関西大学 教授)	竹 内 洋 (関西大学 教授)
10	反抗少年徒トニ ー・ブレアとパ ブリック・スク ール	英国のブレア首相はパブリック・スクール、フェテス 校出身である。規律の厳しいパブリック・スクールの 中での苦悩と反抗の青春がたくましい人間形成につ ながったことを、ブレア首相を教えたフェテス校教師 のインタビューなどを通じて、考える。	竹 内 洋 (関西大学 教授)	竹 内 洋 (関西大学 教授)
11	プレーバック旧 制高等学校(1)	戦前日本には、パブリック・スクールに対応したエリート学校としての旧制高等学校があった。旧制高等学校もよき学校のモデルとされている。旧制高等学校の 誕生と展開を探る。	竹 内 洋 (関西大学 教授)	竹 内 洋 (関西大学 教授)

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
12	プレーバック・ 旧制高等学校	パブリック・スクールとの比較もまじえながら 等学校教育の功罪について考える。	旧制高 竹 内 洋 (関西大学 教授)	竹 内 洋 (関西大学 教授)
13	旧制高等学校と 教養主義	旧制高等学校は、教養主義のメッカだったとる。教養主義という学生文化はどのようなものたか。教養主義の現代的意味はなにかなどにつえる。	であっ(関西大学	竹 内 洋 (関西大学 教授)
14	学力世界一の国 を訪ねて	PISA の学力テストでフィンランドは世界一だしかし、フィンランドの生徒の学校外学習時間多いというわけではない。フィンランドの学校ながら、どのようにしてこのような成果を挙げか学校力の成功について紹介しながら、これか本の学校改革について考える。	が特に (関西大学 を訪ね 教授) ている	竹 内 洋 (関西大学 教授)
15	学校・教育・学び	学校と教育、学びの意味について総括的に考え	たる。 竹 内 洋 (関西大学 教授)	竹 内 洋 (関西大学 教授)

## = 教育課程編成論 ( '06) = (R) -学校は何を学ぶところか-

[主任講師(現職名):安彦忠彦(早稲田大学教授)]

#### 全体のねらい

副題に「学校は何を学ぶところか」とあるように、学校教育の独自性について、その明確な理解を得ることを目的とする。とくにそれについて、「教育課程」がどうつくられているのか、を詳しく見ていくことにより、その独自の性格を理解し、その限界や問題点をも認識することをめざす。

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
1	教育課程とカリ キュラムと教育 内容	+ ·····	い。また学界では「カリ が使われる。加えて「教 般的に使われている。本 句なので、まずその意味	(早稲田大	
2	日本の学校の教 育目標と教育課 程	理論的な検討をする前に、 と「教育課程」の実際につ の範囲と性格を理解してお 程」とは学校にしかないも ものであり、だからこそ当 れないものであることを明	いて、その基本的な内容 くことにする。「教育課 のであり、計画レベルの 該の学校の教師にしか作	回上	同上
3	教育課程の構成 要素:内部要素 と外部要因	教育課程を「編成」すると ることなのかについて、「 としての「編成」という観 要素を明らかにし、それを け、それぞれをどういう関 のかについて検討する。	構成」や「開発」の一部 点から、教育課程の構成 内部要素と外部要因に分	同上	同上
4	教育内容の組織 化と入格・学力 との関係	教育内容は学校の教育目標 それによって具体化する教 力」の両方を形成するよう の両方は、教育内容をどの よって組織化すればよいの する。	育課程は「人格」と「学 期待されている。ではそ ような比重や関係づけに	同上	同上

	<u> </u>		<del>,</del>	
回	テーマ	内容	1	放送担当 講 師 名 (所属·職名)
5	教育内容として の学校知:理論 知と体験知	教育内容は、教育課程を通して「学校知」として教 えられる。それは基本的に「理論知」であり「学問 知」である。しかし、問題とされているのは、それ が子どもの日常の「体験知」と結びつかず、所期の 教育的効果を挙げていない、という点である。学校 はこの問題をどう解決すればよいのかを考える。	(早稲田大	安彦 忠彦 (早稲田大 学教授)
6	教育内容選択の 基礎原理:存在 論的基礎	教育課程編成の際、その内容範囲をどこまで含むものにするのかについて、とりあえず一定の哲学的・思想的立場を決めねばならない。一回目は、どんな内容を選んで教えるのかの基準について、その哲学的・思想的立場の相違がどのように具体的な教育課程の相違となって表れるかを検討する。		同上
7	教育内容組織の 基礎原理:認識 論的基礎	教育課程編成の際、その中身である教育内容を、子 どもがどのような学習を通して身に付けていくか、 その認識形成の様相を広い視野から考えておく必要 がある。二回目は、人間の認識が一通りではなく複 数あると考えて、その違いによって教育課程がどの ように違ってくるかを考察する。	同上	同上
8	教育内容構成に おける三本柱と 四本目	教育内容の背後には、伝統的に「学問的要請」「社会的要請」「心理的要請」の三つが欠かせない柱としてあるとされてきた。近年、環境・国際・情報・福祉・平和などの現代的・今日的課題への対応を図るため「人間的要請」とも言うべき、先の三本柱を貫く重要な内容を含める必要に迫られている。	同上	同上
9	教育課程編成に おける学問的要 請の吟味	教育課程編成で最も古典的な教育内容は「学問的要請」による「教科・科目」である。その中核は「哲学」「文学」「言語学」「自然科学」「社会科学」であり、付随して「音楽」「や「美術」などの芸術分野がある。現在では、その中身が「学び方」の方に大きく移ってきていることに注目する。	同上	同上
10	教育課程編成に おける社会的要 請の吟味	教育課程編成上、歴史的に見て最も興味深いのが「社会的要請」による「教科・科目」や「領域」である。 その特徴は、時代の政治的・社会的変化により、教育課程の中に、政治的要請や経済的要請ないし職業的要請から準備教育的な意味をもつ内容が導入されてきた点である。その変容と特質を探る。	同上	同上

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
11	教育課程における潜在的部分の吟味	最近の教育課程研究で注目されているのが「潜在的カリキュラム」と呼ばれるものである。それは主として社会的要因に結びつくもので、種々の面での差別、階層の固定化と再生産、学力格差による不平等の拡大などの問題が取り上げられる。現在、この点の「分析」は「編成」上も不可欠である。	(早稲田大	安彦 忠彦 (早稲田大 学教授)
12	教育課程編成に おける心理的要 請の吟味	教育課程編成で、学習者が子どもである場合、その 生理的・心理的発達や興味・関心などの状況を可能 な限り把握し、個々の子どもに即した効果的な学習 が展開できるように工夫しなければならない。最近 の脳科学などの研究成果などを踏まえながら、編成 上の位置づけを吟味する。	同上	同上
13	教育課程における個性の位置づけの吟味	教育課程編成における「個と集団」の問題は古典的なものの一つであろう。それを「個性」及び「個人差」の観点から検討し、望ましい個と集団の関係がどのような特質をもち、それをどのように実現すればよいかについて、集団のもつ教育上の長所・短所を明確にしながら吟味する。	同上	同上
14	教育課程の類型: 古典的類型 からハイブリッド・モデルへ	教育課程をどういうデザインのものに編成するかは、教師のデザイナー意識が必要である。これまでの類型を押さえ、最近の類型を知り、自分の学校ではどういうものにするかのデザインを決めることができなければならない。目的に応じて、これらの類型を修正したり、使い分けたりする視点を考える。		同上
15	教育課程の経営 と評価:デザイ ナーとしての教 師・カリキュラ ムの一部として の教師	らない。子どもによってそれは絶えず評価される。 教師はその意味で「カリキュラム・マネージャー」と しての側面をもつとともに、その際、教師自身が潜	同上	同上

単位 科目 履修 事務局 開設 科目 平成 19 年度 大学院科目 8940240 2 有 区分 J--}\* 制限 数 記載欄 年度

科目名 (メディア) = 認知過程研究 ( 'O 7) = ( R ) -知識の獲得とその利用 -

> [ 主 任 講 師 (現職名) : 稲垣 佳世子 (千葉大学教授) ] [ 主 任 講 師 (現職名) : 鈴木 宏昭 (青山学院大学教授)] [ 主 任 講 師 (現職名) : 大浦 容子 (新潟大学教授) ]

#### 講義概要

ここでは高次の認知(思考)過程における知識の獲得と利用に焦点をあてる。日常場面や教育場面での私たちの活動の多くは問題解決と理解の過程として捉えられるが、上手な問題解決や、物事のよりよい理解には「理解力」や「問題解決力」といった一般的能力ではなく、その領域に関する「知識」が重要な役割を果たしていることを示す。さらに認知の主体としての人間(幼児、児童、大人)が頭の中にモデルを構成し、それを通して外界に対処する能動的な存在であることを示す。

#### 授業の目標

- (1) 認知過程に関する主要な研究成果・最近の研究成果を伝えること
- (2) 学生が認知過程についての研究をみずからおこなう時の手助けになること

п	テーマ	· 内 容		放送担当 講 師 名 (所属·職名)
1	認知過程を研究 するとは	「認知過程」を研究するとはどのようなことだっいての道案内をする。教育場面や日常場面 私達のさまざまな活動の多くは問題解決と理解 過程と捉えられること、認知過程研究で使われ 知識や推論など重要な概念について解説する。	での (千葉大学 解の 教授)	'
2	子どもが世界を 理解する仕方	子どもはかなり早い時期から特別教えられていたもかかわらず、世界の重要な諸側面を切け、それぞれに異なる因果的な説明を適用できいう点で、今まで考えられてきたよりも有情存在であることを示す。	り分 (千葉大学 きる 教授)	
3	概念変化:知識 の大幅な組み替 え	日常生活場面や学校場面で獲得する知識のは、新しく情報を取り入れるたびに少しずつはされるが、時を隔ててみると知識の大幅な組えが生じていることがある。日常場面と学校におけるこうした概念変化について解説する。	改変 (千葉大学 み替 教授) 場面	

垣	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
4	熟達者と初心者 のちがい	熟達者と初心者はどこがど 主にスポーツや芸術、職業 しながら、熟達者の豊かで らかにする。	場面での熟達者を例に	大浦容子(新潟大学教授)	大浦容子(新潟大学教授)
5	熟達化の社会・ 文化的基盤	初心者が熟達者になってい 達者のコミュニティに実践 いくことである。熟達化の がつくり出した道具につい 作っていくことを明らかに	活動を通じて参加して 過程で他の人々や文化 てのメンタルモデルを	大浦容子(新潟大学教授)	大 浦 容 子 (新潟大学 教授)
6	問題解決の基本 図式	問題解決を問題空間内での見方を解説する。次に、探えティクスについて解説を決で得られた知識の転移に 題表象の重要性を指摘する。	素を制御するヒューリ 行う。最後に、問題解 ついて説明を行い、問	鈴 木 宏 昭 (青山学院 大学教授)	鈴 木 宏 昭 (青山学院 大学教授)
7	教科学習におけ る問題解決と転 移	算数や理科などの教科におってまず解説を2 の特徴についてまず解説を2 習を困難にする原因を、知 念の観点から検討する。最2 克服するためのいくつかの2 介する。	行う。次に、教科の学 職表象の性質、素朴概 後に、こうした困難を	鈴 木 宏 昭 (青山学院 大学教授)	鈴 木 宏 昭 (青山学院 大学教授)
8	外的資源を用い た問題解決と学 習	人間は、通常さまざまな外に 図表、他者)を意識的、無 問題解決を行っている。外に 決の事例を紹介しながら、 において果たす役割を明られ	意識的に利用しながら 的資源を用いた問題解 それらが認知プロセス	鈴 木 宏 昭 (青山学院 大学教授)	鈴 木 宏 昭 (青山学院 大学教授)
9	創造的問題解決	洞察、発見を含むような創 は、通常の問題解決とは異 表象をつくり出す必要があ 題解決を制約の緩和過程と 場から、ひらめきの生じる。	なり、非定型的な問題 る。ここでは創造的問 してとらえるという立	鈴 木 宏 昭 (青山学院 大学教授)	鈴 木 宏 昭 (青山学院 大学教授)
10	推論の諸相	人間の思考において問題解推論である。ここではまずる帰納、類推)の区別を行う。いて、演繹、帰納、類推がかを論じる。	さまざまな推論(演繹、 次に、日常的思考にお	服部雅史(立命館大学助教授)	服 部 雅 史 (立命館大学助教授)

旦	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
11	判断・推論にお けるバイアス	人々が事象について行う推論にはさまざまなバイアス(偏り)があることが知られている。その主なもの(カーネマン、トヴァスキー、ギーゲレンツァーなどの研究)を紹介し、それらがなぜ簡単には消去されないかを考える。	(京都大学 大学院助教	楠 見 孝 (京都大学 大学院助教 授)
12	批判的思考とメ タファ的思考	人は論理的な規準にもとづいて批判的に思考し、 推論におけるバイアスを最小限にしようとしてい る。他方では、類似性や近接性にもとづく比喩を 使って理解したり、新たな表現を生み出しており、 このメタファ的思考は文学作品だけでなく、日常 生活でも発揮されている。	楠 見 孝 (京都大学 大学院助教 授)	
13	認知と社会的相 互作用	推論は個人の頭の中で生じるとはいえ、その個人を とりまく文脈、とくに異なる立場の他者の存在によ って強く影響されること、逆に他者との相互作用を 通して推論や認知が促進されることをしめす。	大浦容子(新潟大学教授)	大 浦 容 子 (新潟大学 教授)
14	談話理解	談話理解の研究のために、いわゆる認知心理学でとりあげられてきた実験はどのようなもので、そこから明らかになったことは何か、未解決な問題は何かを検討する。合わせて談話の産出(作文など)についてもふれる。	秋田喜代美 (東京大学 大学院教授)	秋田喜代美(東京大学大学院教授)
15	教室における談 話	教室学習における教師と生徒、生徒同士の談話を 調べることによって生徒の思考を促す教師のこと ばや子どもの発言がどのようなものかを検討す る。こうした談話については文化差のあることも 知られている。	(東京大学	秋田喜代美 (東京大学 大 学 院 教 授)

# 教授・学習過程論( '06) = (TV)- 学習科学の展開 -

〔主任講師(現職名): 大島 純(静岡大学教授)〕 〔主任講師(現職名): 野島 久雄(成城大学教授)〕

#### 全体のねらい

こうした名称の科目では、通常教室での教授・学習のみを取り上げることが普通だが、この科目では、学習心理学で扱ってきた実験的研究や、認知科学などでの学習研究の対象になってきた「非公式の」教育場面での教授・学習も含めて、なるべく包括的に見ていく。ヒトという種は、単に生物として進化してきたばかりでなく、文化という人工物の体系を作り上げ、それを各個体が学習により内化することで有能さを増大させてきた。その意味で広義の学習ないしそれを援助する教育が決定的に重要なことは確かだし、子どもの側には成人の行動様式を真似ようとする傾向、おとなの側には子どもに教えようとする傾向が元々備わっているとみられる。さらに、実践と並行して学習の援助をある程度意図的、計画的に行おうとする試み(例えば徒弟制度)も、古い歴史を持つ。これらについての説明が、前半の中心になる。

公式の教育とは通常、小学校、中学校など、学習者の将来の生活のための一般的な準備を行う機関での教育を指すが、そうした学校は多様な教育の機会の一つにすぎず、まして今日見られるような欧米型の学校が普及したのはわが国でもここ百年たらずのことでしかない。制度としての学校は、人々の全面的な支持を得ているといえないどころか、それに対する非難や批判が高まりつつある。しかし、今日の高度に技術化された社会の教育において学校が占める位置は無視できないものである。この科目の後半では、学校の独自の役割が何か、それを効果的に果たすためにはどのような視点や接近が必要であるかを吟味する。

回	テ		マ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師 名
1	学習4 科学	研究	之学習	ヒトの生物学的特徴として、 いう人工物の体系を各個体が と、こうした広義の学習ない が決定的に重要なことを述べ び教室外での学習の様相とそ 意識的な試みである教育、お 明しようとする学習科学の性	が学習により内化するこいしそれを援助する教育である。 さらに、教室およれを援助する意図的・るよびそうした過程を解	波多野誼余 夫(元教授) 大学教授) 大島 一 大学 教授)	波多野誼余 夫(一、大学教授) 大(一、島) 大(一、大) 大(一、大) 大(一、大) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本
2			科学か トの学	さまざまな種の動物の社会的 験に基づく行動変容の可能性 報告から、学習に関してヒト 生物学的基盤を共有している を持っているのか考える。	tなどについての最近の 、が他の動物といかなる	藤田和生 (京都大学 大学院教 授)	
3	言語	<b>菱得</b> σ	諸相	米、欧で大ベストセラーに 『「本能」としての言語』と 獲得の社会的、実用的基盤を マセロの批判を手がかりに、 る。	:、これに対する、言語 :強調する立場からのト		波多野誼余 夫 (元放送 大学教授)

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
4	素朴理論獲得に おける生得的制 約と経験	最近の概念発達研究によれば、乳幼児はかつて考えられていたよりもずっと知的に有能な存在であり、世界の限られた側面についてではあるが、特徴的な 因果的説明を行うことのできる知識の体系を持つという。このことを実験的に示す。	大 島 純 (静岡大学 教授)	大 島 純 (静岡大学 教授)
5	熟達化	初心者と熟達者の知識、技能の差異、さまざまな領域における熟達化の諸相、熟達の型の違い、熟達を促進する経験などについて述べる。	野島久雄(成城大学教授)	
6	日常的認知と非 公式の教育	教育とは広く学習を援助しようとする意図的、意識的な営みであり、学校教育はそのごく一部にすぎない。徒弟性や実践への参加という形態での教育のもつ強みや限界について考える。発展途上国での例のほか、わが国などでの学校外での学習や広義の教育についても論ずる。	野 島 久 雄 (成城大学 教授)	野 島 久 雄 (成城大学 教授)
7	文化の中の学習	学習すなわち知識獲得の過程は、社会文化的文脈により直接に影響されるのみならず、社会文化的価値の内化された形態ともいうべきメタ認知的信念(例えば学習観)によっても影響される。したがって、教育技術を輸出入することには慎重でなくてはならない。	波多野誼余 夫 (元放送 大学教授)	
8	帰納推論と学習 メカニズム	ヒトという種は、相関関係にもとづいて要素間の構造を決定しうるばかりでなく、それを媒介している観察できない過程を想定しうる、ある特定事象をより抽象的な事象の事例とみなして、抽象的な規則性を抽出しうる、など特有の強力な学習メカニズムを持っている。ここではこれについての実験心理学的知見を提供する。	波多野誼余 夫 (元放送 大学教授)	波多野誼余 夫 (元放送 大学教授)
9	学習の認知神経 科学	脳と心の関連についての関心が高まるなか、高次の 学習の理解にも、認知神経科学からの寄与が期待さ れるようになった。急速に進展しつつある認知神経 科学からの知見のうちで、学習科学にとって見落と せないのはどんなことか、今後期待されるのはどん な発展かを論じる。	酒 井 邦 嘉 (東京大学 大学院助教 授)	(東京大学

回	テーマ	内	容	執筆担当 講 節 名	放送担当
		7.4	4	(所属・職名)	
10	学びにおける協 調の意味	学びを展開するときに、学習 行為がその認知過程に多大なっている。こうした学習者に 及ぼす影響を整理する事は、 立案の中に適切に導入してい 具体的な研究事例をふまえて メカニズム、およびその教育 する。	ま影響を及ぼす事がわか 引士の協調作業が学習に 協調作業を教育計画の いくために重要である。 こ、協調作業の認知的な		白 水 始 (中京大学 専任講師)
11	学習環境のデザ インと原則	情報テクノロジやその他の多るいは学習活動のあり方などくときに検討すべき多様な要していくときに必要な考えた学習研究の知見をベースに対すな対策を対する立案を捉え面し、た計画自体の評価をその後の法を紹介する。	ご、教育計画を立案して 要素を総合的にデザイン 可について、これまでの きえていく。また、そこ インするという立場から その行為自体が立案し		大 島 純 (静岡大学 教授)
12	授業研究と教師 教育	学校における学習環境をデサ 教師である。それ故に、教師 案をとおした知的生産活動に 学習者のための適切な学習 い。教師の職業的発達におい 動システムを適切に利用した めの学習環境を構築している のか、具体的な事例をもとに	が自らの教育計画の立 に従事し続けなければ、 環境の発展もあり得な いて、授業研究という活 ながら、新しい学びのた くとはどのようなことな	(静岡大学 教授)	大 島 純 (静岡大学 教授)
13	情報テクノロジ の教育への導入	その発展が著しい情報テクク 接ツールとして大きな期待な ジの機能が学習者の内的な し、学習効果を生成している 「学習者とテクノロジ」の協 クノロジに支援された学習者 について、の認知的なメカニ た教育計画の立案のための く。	が持たれている。クノロ 資源とどのように関連 くのかといった、わゆる 調的な学び、るいは「テ 皆同士」の協調的な学び =ズムやそれをもとにし	(静岡大学 教授)	大 島 純 (静岡大学 教授)
14	教育評価一新しい学びの視点ー	学びは終わる事のない学習をある。うした活動において、大きい。価とはそれまでの者が評価するだけでならないならないかと言う処方箋を見した形成的評価の重要性と同のが持つ長期的な効果を検討をアプローチについて表	価の持つ意味は非常に 学習者の達成状況を教授 の先学習者がより自らを うなことを考えなくては 是示する必要がある。う 司時に、来教育というで 対するための新しい研究	(静岡大学 教授)	大 島 純 (静岡大学 教授)

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
15	学習科学の展開	これまでの14回の講義を 科学の新しい動向、それか のように取り入れうるかを	ぶわが国の教育的伝統にど	波多野誼余 夫(元放送 大学教授)	波多野誼余夫 (元放送大学教授)
		·		大 島 純 (静岡大学 教授)	大 島 純 (静岡大学 教授)

単位 事務局 開設 科目 科目 履修 平成 19 年度 大学院科目 無 2 8940258 区分 ゴート゛ 制限 記載欄 年度 数

### = 学校臨床社会学( 'O 7) = ( R )

[ 主 任 講 師 (現職名):酒井 朗 (お茶の水女子大学教授)]

#### 講義概要

学校臨床社会学は今日の学校教育や児童生徒が抱える種々の問題の社会学的理解とそれへの対応や支援の取り組みの意義や課題を社会学的な視点や方法論を用いて検討する新しい学問領域である。この講義では、マクロな視点から急激な社会変容が学校教育や個々の児童生徒に及ぼす影響を論じるとともに、具体的問題の実相を現場に即して解明する。それと同時に問題への対応や支援の在り方とその効果・課題等について論じる。

#### 授業の目標

- 1) 学校教育や児童生徒が抱える諸問題への社会学的洞察力を養う
- 2) 研究方法論のバリエーションを理解し、それぞれの有効性と留意点を把握する。
- 3) 学校や児童生徒への支援に対して社会学的視点を採り入れることの意義を理解する。

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
1	学校臨床社会学 とは何か	学校臨床社会学の学問的視座や「臨床」の意味合いを解説するとともに、そうした新しい学問が要請されている社会的背景を説明する。また、2回目以降に取り上げるトピックについて概説するとともに、それらを通じて深めていきたい中心的テーマを紹介する。	(お茶の水	酒 井 朗 (お茶の水 女子大学教 授)
2	学校の秩序のゆ らぎ	従来は自明のように維持されてきた学校内における 秩序が、近年「学級崩壊」「私語の蔓延」などの形 でゆらぎ始めている。こうした現象を通じて、学校 の秩序の脆さと、秩序の再生がいかにして可能かに ついて考える。	(駒沢大学	伊藤茂樹(駒沢大学教授)
3	不登校をどう見 るか	近年不登校という現象は、矯正すべき病理としてよりも、調整や介入の必要な問題という位置づけに変化しつつある。このように至った経緯やそこで行われている取り組み、それらがもたらす新たな問題などについて、多面的に考える。	同上	同上
4	「総合的な学習 の時間」と授業 の課題	2002 年度より学校現場で「総合的な学習の時間」が 完全実施となった。「総合的な学習の時間」への学 校現場の取り組みを紹介するとともに、その実践が 抱えている課題を概観し、併せて、その実践を通し て学校教育や教師がどのように変わろうとしている のかを検討する。	(滋賀大学	

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
5	教師の抱える問 題と教師の成長	教師のバーンアウトや不適格教員が社会問題化する一方で、「生きる力」の育成や学力の向上に効果的に取り組むことができる、実践力のある教師が強く求められている。多様な課題を抱えて成長していく教師のあり方と、彼らの成長を支える教師集団の《協働性》について考察する。	田上	同上
6	保健室の構造・ 機能・意味	1990年代初頭、「保健室登校」のことばとともに学校の保健室が社会的に注目されるようになった。なぜ保健室なのか、子どもたちにとって保健室はどのような場所なのか。そこでは、どのように日々子どもと向き合っているのか。その基本的なメカニズムを会話分析的に可視化し、保健室のリアリティを明らかにする。	秋 葉 昌 樹 (龍谷大学 助教授)	秋 葉 昌 樹 (龍谷大学 助教授)
7	演劇的手法を用 いた会話分析研 究の実際	臨床的研究において重要なポイントは、〈いま・ここ〉の当事者性にいかにアプローチするかというところにある。演劇的手法と会話分析を組み合わせたアプローチによって、当事者性を可視化しつつ、研究する者自身が当事者の〈いま・ここ〉を再体験する研究法について、具体例を交えつつ紹介していく。	同上	河 上
8	現代高校生の進 路選択と支援の 取り組み	フリーターやニートの問題が注目される今日、高校 の進路指導の在り方が問われている。こうした中で、 筆者自身がとり組んでいる進路選択支援の取り組み を踏まえ、高校生の進路選択意識のあり様と、その 変容にむけた支援の在り方を検討する。	酒井 朗	酒井 朗
9	学校不適応問題 に対する校種間 連携の意義と課 題	学校不適応の要因の1つとして指導や学校文化が校 種毎に違うことが指摘されている。その現状と問題 の背景を読み解くとともに、幼小連携、小中連携の 意義とその実践にむけた原理的検討を行う。	同上	同上
10	ニューカマーと 学校教育	「ニューカマー」と呼ばれる外国人児童生徒の学校 経験、およびかれらを受け入れた学校現場における 対応のありように注目することで、日本の学校教育 の特質と課題が明らかになる。外国人児童生徒への 支援を実りあるものとするには、何をどのように認 識し、どのような問いの立て方をする必要があるの かを検討したい。	児島 明 (和光大学 専任講師)	児島 明 (和光大学 専任講師)
11	学校教育とジェ ンダー問題	近年の学校現場では、男女の望ましい関係やそれを 達成するための取り組みに関して、異なる見解が錯 綜している。様々な見解を類型的に把握することで、 学校現場でのジェンダーをめぐる混乱の背景を理解 し、ジェンダー問題とどう向き合うべきかを考える。	多 賀 太 (久留米大 学助教授)	多 賀 太 (久留米大 学助教授)

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
12	青年期とジェン ダー	青年期の葛藤や問題行動の多くは、その様相が男女で大きく異なるが、そうした男女差が生じる社会的背景が改めて問われることは少ない。ジェンダーの視点からとらえ直すことで、青年期の諸問題を多角的に理解し、問題への取り組み方を考える。	一同 上	同上
13	少年非行と学校	近年その増加や凶悪化が喧伝される少年非行は、学校との関連で論じられることが多い。しかしこれはどこまで妥当なのだろうか。少年非行と学校の関連を冷静にとらえなおし、学校現場で何ができるか、何をすべきかを考える。	伊藤 茂樹	伊藤 茂樹
14	ケータイ、イン ターネットと青 少年	社会の情報化の進展が青少年の生活や人間関係に及 ぼす影響を、ケータイ、インターネットを例に検討 するとともに、予想される問題とそれへの対応につ いて検討する。		酒井 朗
15	まとめ〜社会変 容とこれからの 学校教育	授業の目標に掲げた3点に沿って、この講義で扱った各トピックの意味や意義を整理する。それとともに、学校臨床社会学研究の今後の発展の可能性ならびに実際に研究を進めて行く上での倫理問題について検討する。	ļ	同上

## = 学校臨床心理学( '05) = (R)

[主任講師: 滝口 俊子(放送大学教授)]

#### 全体のねらい

教育現場における学校臨床心理学の理論と実際とを、紹介する。どの講師も教育に深く関わっている 臨床心理学者なので、教育現場の諸課題に臨床心理学が如何に関与しているかが伝わるであろう。学校 教育と心理臨床は、手を携えて、未来を担う子どもたちの成長に携わっているのである。 学部の科目「スクールカウンセリング」をも視聴することをすすめる。

囯	テーマ	内容		放送担当 講 師 名 (所属・職名)
1	学校臨床心理学の 輪郭	教育の場である学校は、多様で複雑な人間関係を生きることを体験的に学習する場である。そこでは、お互いの心に触れ合いながら、個々の個性を形成してゆく。学校臨床心理学は、このような人間関係と一人ひとりの個性を育む専門的な関与であることを、概説する。	1 注	滝口 俊子 (放送大学教 授)
2	学校臨床心理学の 実践思想	学校臨床心理学は、臨床心理学の理論や心理療法の実践力法を、たんに学校という教育の場に援用したり応用したりする領域ではない。臨床心理学の歴史がそうであったように、学校臨床心理学もまた、学校教育における多種多様な人間関係のなかで児童生徒の人間形成に苦闘する、まさに実践のなかから生まれてきたと言うことができる。したがって、学校教育という独自の人間関係の場の在りようが、この学問の実践思想の基盤となっている。そして、現代という時代との相対のなかで、学校教育における人間関係の新たな実践思想の創出が強く要請されており、そうした要請の中心に「関係の場としての学校」という視角がある。今回は、臨床心理学の場合、理療法の実践方法を瞥見しつつ、この視角について考える。	皆藤 章 (京都大学助 教授)	皆藤 章 (京都大学助 教授)
3	学校臨床心理学の 実践	学校臨床心理学の実践は、実に多種多様な領域に及ぶが、 児童生徒が抱える諸問題への教師の対応という関係の在りようが中心になってくる。問題を抱えて生きる児童生徒にいか に関わり、その世界を共に理解しようとするのか、そうした 実践をとおして児童生徒がみずから生きる意味を創出してい くプロセスに学校教育の本質がある。その際、児童生徒が抱 える問題は、たんに解決すべき否定的な在りようとしてに なく、生きる意味が創造される契機と言うことができる。こ のように、今回は、「問題」という表現が過去に背負ってき た否定的含意を払拭して、教師のみならず児童生徒に関わる すべての人間に共通する視点として、問題を「創造へと向か うテーマ」として捉える必要性について考える。	同上	同上

田	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
4	学校臨床心理学か らみた学校支援シ ステム	学校はそれ独自に成立している固定的な場ではなく、家庭・地域との緊密な関わり合いのなかで、きわめて動的に生きている場である。児童生徒をはじめとして、学校の場に生きる人間はすべて、家庭や地域と交流しながら日常を生きている。このような動的に生きた場として学校を捉えるとき、学校は家庭や地域の人的資源を積極的に活用して児童生徒の人間形成に資すると同時に、家庭や地域は積極的に学校を支援していく必要性を認識することが重要となる。このような、学校と学校外との人間的・動的交流をどのようなシステムで機能せしめるかについて考える。	<b>皆藤</b> 章	皆藤 章
15	学校支援に応える 教師と学校臨床心 理士の連携と課題	学校支援システムの一環として、スクールカウンセラー制度が進められ着実な成果をあげてきている。その典型例としての学校外部の専門家である臨床心理士との連携が、児童生徒はもとより教師自身ひいては学校内での臨床心理士の活動に関するシステムはまだ生成途上にあると言える。それは、学校がきわめて動的な場であり、臨床心理士の活動が人間と係を中心として機能するという意味で、人間と人間との出会いの一回性という性質が濃く反映されることに大きな要因がある。学校はこの要因を問題と捉えるのではなく、ここに対象者の本質があるとする視角をもって、児童生徒が生きる知恵を創出するために、多様な教師と臨床心理士の連携と新しい学校教育システムを探求していく必要がある。今回は、こうしたシステムについて考える。	同上	同上
6	学校理解 (その 1)	学校臨床心理業務で対象理解が重要なのは、個人心理臨床 と同様である。これを学校理解(学校コミュニティ査定)と 呼ぶ。学校理解は個人査定と共通点があり、学校コミュニテ ィを対象とするゆえの特徴をも有する。個人査定には、査定 面接、心理検査、行動観察などの方法がある。また、主訴や 家族構成、生育歴、現病歴、相談契約・構造、相談経過など、 学校理解の方法や着目点を、具体的に考えてみる。	機養 美昭 (日本女子大	鵜養 美昭 (日本女子大 学教授)
7	学校理解 (その 2 )	若い学校臨床心理士 (スクールカウンセラー) の方を招き、 実際の学校コミュニティに接した体験による学校理解につい て伺う。この対話から学校理解の要点、着目点、学校理解を 進める留意点を浮き彫りにしたい。受講者は、自分が学校に 参入していく際に、何が起き、どう感じ、どう対応するかを イメージし、その作業を通じて、学校コミュニティをどのよ うに見立てて、見通しをたてるかをシュミレートしていただ きたい。	同上	同上
8	依存と自立のサイ クルをともにした 生徒理解	人間は依存と自立を繰り返しながら成長していくのであり (依存と自立のサイクル)、親や大人の役割は子どもに安心 基地を供給するとともに、自立のための支援をすることであ る。このような考えをもとに、子育てや生徒指導における優 しさと厳しさ、スキンシップ、保護と過保護、自立への支援 などについて考えていきたい。	山下 一夫 (鳴門教育大	山下 一夫 (鳴門教育大 学教授)
9	生徒指導における 3 つの立場と基本 的態度	生徒指導(教育相談・生徒理解)においては、集団の規律 やきまりをより重視する立場(検察官)、子どもの心や自発 性をより重視する立場(弁護人)、そして双方の立場を尊重 しそれらを統合する立場(裁判官)がある。この3つの立場 をもとに生徒指導における教師の基本的態度について考えた い。	同上	同上

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
10	スクールカウンセ ラーによる学校支 援の実際	スクールカウンセラーとして学校支援に関わった経験から、その具体的な実践活動について概説を行う。主なテーマは、《子ども対象の面接》《保護者の相談》《教師へのコンサルテーション》《外部専門機関との連携》《研修・講演活動》《広報活動・その他》とし、具体的な場面を紹介しながら論じたい。	伊藤美奈子 (慶應義塾大 学助教授)	伊藤美奈子 (慶應義塾大 学助教授)
11	スクールカウンセ ラーの業務の特殊 性	スクールカウンセラーによる学校支援実践は、それ以外の 心理臨床活動とは異なる特徴を持っている。教育臨床の特殊 性と難しさを、《外部性(教師とは異なる専門性)と内部性 (教師の一人として)》《関わりの三相(点の関わり・線へ の関わり・面への関わり)》という観点から考察してみたい。 また、学校に根付き、教師と協働するために必要とされる資 質や留意点についても述べる。	同上	同上
12	スクールカウンセ ラーの研修	専門職としてのスクールカウンセラーは、教育現場を理解し、関係者との連携をスムーズにするために、日夜研修に努めなくてはならない。カンファレンス、スーパーヴィジョン、研究会、教育分析など、その目的と方法について述べる。	滝口 俊子	滝口 俊子
13	スクールカウンセ ラーの倫理	スクールカウンセラーが学校現場で出会う大きな問題は、 守秘義務というカウンセラーの倫理と、情報を共有して健全 な教育を目指そうとする教育現場の要請との間の葛藤であ る。本講では、いくつかの具体的な事例を踏まえながら、特 にこの問題について、どのような姿勢で望むべきかについて 実践的に論じたい。	高石 浩一 (京都文教大 学教授)	高石 浩一 (京都文教大 学教授)
14	大学における学生 相談	学校臨床のなかにあって、大学における学生相談は、教育なのか発達援助なのか心理臨床なのかといった、根本的ないくつかの問題をはらんでいる。本講では大学という組織の中で行われる学生相談について、多角的な視野から切り込むことによって、大学における学校臨床心理学の基本的枠組み、見方や問題点などを詳らかにしていきたい。	同上	同上
15	学校臨床心理学の 展望	京都大学名誉教授河合隼雄先生をゲストにお迎えして、永年の心理臨床の指導者としての経験から「教育とカウンセリングの関係」および「学校臨床心理学の課題と展望」についてお話いただき、本講座のまとめをする。	滝口 俊子	滝口 俊子

# 生涯学習論( '06) = ( R )現代社会と生涯学習 –

[主任講師(現職名): 岩永 雅也(放送大学教授) 〕

#### 全体のねらい

先進諸国の教育システムにおいて、生涯学習あるいは生涯教育という概念が重要な位置を占めるようになってから、すでに 30 年余りが経過した。その間、多くの社会で人々の教育水準や知的レベルが上昇したが、技術革新の一層の進展には人々にそれを上回る勢いでより高度な社会生活上の技能の獲得を求めるようになっている。さらに、少子高齢化、産業の空洞化と経済システムの変質といった社会経済的要因の変動も著しい。そうした中にあって、生涯学習自体も大きく変化している。旧態依然とした理念はすでに有効性を著しく減じ、時代と人々の変化に即応した新しい生涯学習のあり方がさまざまに模索されているのが現状である。本講義では、そうした今日的な状況をふまえ、社会全体から問題を把握していくというマクロな立場から、まず現代社会における生涯学習概念の出自を俯瞰し、ついで生涯学習を取り巻く現代社会の諸環境を概観する。さらに、行政、経済、産業といった社会の諸相と生涯学習の関わりについて整理し、近似の環境を有する世界各国の生涯学習の現状を見た上で、生涯学習がわれわれの生きる現代社会においていかなる意味を持っているのか、また持とうとしているのかについて考察を進める。本講義の履修にあたっては、ミクロな分析視点に立つ学部科目『生涯学習と自己実現』の履修もあわせてお勧めしたい。

□	テーマ	内容	講	筆 担 当 師 名 属・職名)	講館	币名
1	生涯学習の理念	生涯学習の理念はどのような背景のもとで、いつ、 どのようなものとして登場し、社会にどう受け入れ られてきたのだろう。ここでは、まず生涯学習の出 自とその背景を整理し理念の変遷を跡付けること で、生涯学習を社会全体の視点から検討するという 姿勢を明確にしていく。	1	张 雅也	岩永	雅也
2	近代化と教育	近代国民国家は、例外なく学校教育制度を近代的国 民の形成に利用してきた。そうした近代化における 国民教育としての学校教育の意味と役割について検 討する。その上で、特にわが国の明治初期に早生的 に萌芽していた生涯学習的理念の国民教育的理念へ の転換についても考察を加える。		<b>张</b> 雅也	岩永	雅也
3	人材養成と学校 教育	わが国は、戦後教育改革以後、高度経済成長期を経 て、学校教育による付与資格が労働市場での人材配 分の大勢を決するという、いわゆる「学歴社会」の システムを作り上げてきたといわれている。生涯学 習の理念とは対極にあるともいえるその人材育成・ 配分システムについて検討する。		永 雅也	岩永	雅也

回	テーマ	内容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属・職名)
4	職業と教育訓練	わが国は、伝統的に 0JT(就業しながら技能を修得する)の比重が高い社会であった。しかし、生産技術や情報技術の著しい進歩は、0JT 中心の技能修得を困難にしつつある。労働とその技術習得を巡る環境変化と、新しいリカレント教育の潮流について紹介し、その今日的な意味を探る。	岩永 雅也	岩永 雅也
5	成人教育と社会 教育	成人教育には、移民や長期滞在外国人に対する再教育という政策的側面があったが、広義の社会政策の視点から、伝統的な成人教育の政策的な意義とその変遷、そして現代の生涯学習への継続性といったテーマを詳細に検討する。また、その日本的な形態である社会教育が社会の多様化と自由化の潮流の中で大きく変容しつつある現状についても俯瞰し、その歴史的な意義についても整理して考察する。		岩永 雅也
6	学校と社会の連携	従来は全く別個のシステムと考えられてきた学校と 社会教育あるいは地域での学習も、少子高齢化の進 展とともにその連携が積極的に主唱されるようになった。しかし、歴史的に異質なものとして存在して きた両者の連携・融合には多くの問題も併存してい る。ここでは、学社連携、学社融合の意義と課題に ついて、現状を基に考察を進める。	岩永 雅也	岩永 雅也
7	大学と生涯学習	大学をはじめとする高等教育機関は、これまで比較 的生涯学習に冷淡であったが、国立大学の独法化を 契機として大学等の生涯学習への関心は高まりつつ ある。現在のその両者の関係について、事例に則し つつ具体的に検討する。	岩永雅也	岩永 雅也
8	余暇と生涯スポーツ	労働環境の変化、あるいは主婦のライフコースの変化に伴い、自由裁量時間のあり方が質量ともに変化してきている。また、余暇活動の一環としてのスポーツ活動も変わりつつある。日本人の余暇生活とスポーツ活動の変化をさまざまな側面から検証し、それが生涯学習とどう関わっているかについて実証的に検討する。	岩永雅也	岩永 雅也

回	テーマ	内	容	講師名	放送担当 講 師 名 (所属·職名)
9	行政による生涯 学習支援	ながら生涯学習に関するま 行政による生涯学習支援の 考察し、あわせて生涯学習 成が地域的にどのように行 検証する。また、生涯学習	D現状と問題点を具体的に 習指導者のリクルートや育		岩永 雅也
10	生涯学習市場の 展開	から見ても決して無視し後ットを形成しつつある。 を の確立した事業分野として 事業あるいは経済活動とし はどのように発展してきた	しての生涯学習、生涯教育 たのか、また現在どのよう 寺っているのかといった諸	岩永 雅也	岩永 雅也
11	海外の生涯学習 (1)	習の現状を知ることは重要回にわたり世界各地の生態 その特色を紹介する。ここ 育制度が発祥し、生涯学習 ヨーロッパ諸国を中心に関	る上で、他の諸国の生涯学 要である。そこで、前後二 重学習の歴史と現状および こでは、特に、近代学校教 習理念もそこに起源を持つ 取り上げ、その伝統と社会 能性を模索する現状を紹介		岩永 雅也
12	海外の生涯学習(2)	特色を紹介する。ここでに 国であるアメリカ、さらに 以上も遅れて近代化の歩いの国、中国と韓国を取り上 社会経済的発展の過程も 異なり、また、それ故に 著しく違っていたといえる 生涯学習の状況を把握する	他の生涯学習の現状とそのは、現在生涯学習の現状とそのは、現在生涯学習の最先進い、現在生涯学習の最近に、100年の時間がある。これらの国々では、100年である。これらの国とは大環境を取り巻には環境を取りをして、100年では、1		岩永雅也

口	テ	<u>.</u>	マ	内	容	講師	币 名	放 送 講 師 (所属・	有名
13	情報:		技術と	情報通信技術の飛躍的な進展とりわけ個別在宅学習者によ ツールが提供されるようになれる現代と近未来のメディア 生涯学習への影響と今後の る。また、放送大学同様にな 教育を行っている各国の諸 の社会的背景と課題について	とって非常に強力な学習 なった。IT 時代とも呼ば 環境を概観し、IT 化の 可能性について考察す メディアを利用して遠隔 大学の現状を紹介し、そ	岩永	雅也	岩永	雅也
14	生涯を調査		O評価	生涯学習は、ややもするとはシステムの構築といったインちであって、その成果や学習価調査が見落とされる傾向は学習への評価および学習者の体的な方法について学習する	ンプットのみで語られが 習者の達成についての評 こある。ここでは、生涯 の意識などを調査する具	岩永	雅也	岩永	雅也
15	生涯	- , ,	課題	ごく近い将来、すべての定理軸に統合され、学ぶことに関ない「学習社会」が出来するかし、その実現のためには、善されなければならない。望するための条件、課題にどのべきかについて議論を展開す	関する限り規制や障害のると期待されている。しるくの問題が解決、改選ましい学習社会を実現のように取り組んでいく	岩永	雅也	岩永	雅也

## = 人間情報科学とeラーニング ( '06) = (TV)

〔主任講師(現職名):野嶋 栄一郎(早稲田大学教授)〕〔主任講師(現職名):鈴木 克明 (熊本大学大学院教授)〕〔主任講師(現職名):吉田 文 (メディア教育開発センター教授)〕

#### 全体のねらい

高度情報化社会の技術革新を利用した教育改革が e<sup>-</sup>learning である。しかし、e<sup>-</sup>learning は教育革新である以上、人間の側のサイエンスから変革をされていかねばならない。情報科学と教育科学の間に立って、教育の革新を進める原動力としての人間情報科学を提案する。

田	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
1	人間情報科学と e-learning 概説	日本における e-learning の状況 インターネットという技術革新を教育革新につなぐ 人間情報科学	野嶋栄一郎 (早稲田大 学教授)	
2	「人間情報科学」 より「人間と映像の関わり」を 考える	人間情報科学と認知心理学	中島義明(早稲田大学教授)	
3	ネットワーク社 会における学習 環境のデザイン	情報技術による学習環境のデザイン	菅 井 勝 男 (大阪大学 名誉教授)	菅 井 勝 男 (大阪大学 名誉教授)
4	ネットワーク社 会における情報 教育	l	赤 堀 侃 司 (東京工業 大学大学院 教授)	
5		ID の生みの親ガニェ教授の研究業績を中心に、ID の目標は教育の効果・効率・魅力を高めることであることを解説する。 あわせて、動機づけを扱った ARCS モデルの提案者ケラー教授と ID モデルを集大成したテキストの編者ライゲルース教授の訪問インタビューから、ID モデルの実際を紹介する。	(熊本大学	鈴 木 克 明 (熊本大学 大 学 院 教 授)

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 節 名
6	システム的アプ ローチと学習心 理学に基づく ID	IDの歴史に詳しいリーサー教授と評価の4段階モデルの提唱者カークパトリック教授へのインタビューを交えて、IDの歴史を概観する。あわせて、ゴールベースシナリオ理論の提唱者シャンク教授のインタビューを交えて、行動主義・認知主義・構成主義の学習心理学に基づいた ID モデルの実際について紹介する。	鈴 木 克 明 (熊本大学 大 学 院 教 授)	(熊本大学
7	自己管理学習を 支える構造化技 法と学習者制御	e-learningに必要な自己管理学習を支えるID技法について構造化と学習者制御の概念を中心に紹介する。教授カリキュラムマップの提唱者ウェージャー教授、精緻化理論の提唱者ライゲルース教授、画面構成理論の提唱者メリル教授のインタビューを交える予定。	鈴 木 克 明 (熊本大学 大 学 院 教 授)	(熊本大学
8	e-learning にお ける学習者中心 設計と ID の今 後	講義中心の学習環境を再設計する手段として WebPSI による大学の授業実践例を紹介しながら、 学習者中心設計の原則に基づいた対面講義そのもの の再設計について解説する。e-learning と ID の今後 について、訪問インタビューからメッセージをまと めて紹介する。	鈴木克明 (熊本大学 大学院教 授)	鈴 木 克 明 (熊本大学 大 学 院 教 授)
9	我国の高等教育 に見る e-learning	信州大学大学院の e-learning 東北大学大学院の e-learning 園田学園女子大学の e-learning	野嶋栄一郎 (早稲田大 学教授)	野嶋栄一郎 (早稲田大 学教授)
10	早稲田大学にお ける e-learning の実践と評価	早稲田大学 e スクールの立ち上げと背景 早稲田大学 e スクールの構成 授業のライブ撮影とブロードバンド 教育コーチの役割と評価 教育の時間的、空間的拡大	野嶋栄一郎 (早稲田大 学教授)	
11	我国の企業内教 育と e-learning	我国の企業内教育の現状と問題点を整理し、今起こっているパラダイムシフトとそこにおけるe-learningの役割についてのべる。また、企業内教育でのe-learningの導入事例(NTT東日本、フォーラムエンジニアリング、日本ユニシス)から、教育モデル、評価モデル、運用モデルを整理、概観し、その現状と課題を整理する。	(早稲田大	松 居 辰 則 (早稲田大 学教授)
12	高等教育における e-learning の 世界的展開	高等教育の世界における e-learning は、1990 年前後にアメリカにおいてはじまった、比較的新しい現象であり、それは瞬く間にヨーロッパやアジアにおいても普及した。それぞれの地域での普及の程度や様態を、e-learning 提供機関の形態、提供プログラムの内容、教職員や学生の特徴から概観し、高等教育における e-learning の特色を把握する。	吉田 文 (メディア 教育開発セ ン タ ー 教 授)	教育開発セ

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
13	e-learning によ る高等教育シス テムの変容	e-learning が高等教育システムに導入されたことによって、従来の高等教育システムでは想定していなかった事態がいくつか生じているが、ここでは、ミクロな観点からみた提供プログラムの質保証の問題と、マクロ的にみたグローバリゼーションという問題とが交差する、アクレディテーションに焦点を当てて論じる。	<ul><li>(メディア 教育開発センター教</li></ul>	教育開発セ
14	e-learning が開 く高等教育の未 来	インターネットの特性は様々であるが、ここではオープンネス(公開性)に焦点を当てて、その特性が新たな知の構築にどのような可能性を秘めているかを、MIT によってはじまった OCW (Open Course Ware)、カーネギー財団の知識メディア研究所のCASTLE などアメリカで開始されたいくつかのプロジェクトから考察することを目的とする。	(メディア 教育開発セ	教育開発セ
15	e-learning は教 育の変革にどの ように寄与する か	日本の高等教育における e-learning 展開の実情 e-learning は教育の何を変えうるか? 人間情報科学と e -learning 再考	野嶋栄一郎 (早稲田大 学教授)	

事務局 開設 科目 科目 履修 単位 平成 19 年度 大学院科目 8940266 有  $\mathbf{2}$ 記載欄 年度 区分 コート゛ 制限 数

科目名 (メディア) = 発達心理学特論 ( '07) = (TV)

〔主任講師(現職名): 内田 伸子(お茶の水女子大学大学院教授)〕 〔主任講師(現職名): 氏家 達夫(名古屋大学教授)

#### 講義概要

「生涯発達」・「生涯学習」の視点に立って、ヒトの発達過程を、気質、感情、対人関係、自己意識、言語、思考などの諸相から最新の知見を紹介しながら講義する。臨床知と学問知を架橋するためのコラムを手がかりにして人間の生涯発達過程について理解を深め、さらに発達研究の実証的な方法を知ること、さらに発達研究の方法論について考察する。

#### 授業の目標

ヒトは回りの人々との対人的なやり取りを通して人間化、文化化へ道程をたどる。生涯発達の過程では生物学的制約を受けながらも、環境からの入力によって、さらに自分自身の自己意識や自由意志の力によって発達を遂げる。人間は生涯発達し続け、自己をつくりかえていく存在である。講義から人間発達の可塑性の大きさを実感すると共に、自分自身の生き方を省察し、生きることの意味に到達することが目標である。

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
1	発達をとらえる:生得-経験論 争	発達心理学では、生まれかめぐる20世紀の間にかったがどのようになった相互にかった。 ら盛んになった相互脱れで、 ら出てきた文化の導入との ら出てきた文化の導入とした をといるの方法論を例学、 ための方法論を が選挙を が選挙を がある。 にのの方法 がある。 にのの方法 にのの方と にのる。 にの。 にのる。 にのる。 にのる。 にのる。 にのる。 にのる。 にのる。 にのる。 にのる。 にのる。 にの。 にの。 にの。 にの。 にの。 にの。 にの。 にの	学における「発達」の捉きたか、1960年頃から、1960年代からに1980年代からは出紀に意識されはじめままと認識の起源を探るなり上げ、発達研究に進化心理学の視点の意義を述る、発達心理学はどのよ	(お茶の水	(お茶の水
2	子どもは変わる、大人も変わる:人間発達の 可塑性	生物学で 生物には、 生物には、 生物には、 を関いたので を関いを を を を を を を を を を を を を を	能することなしに環境には人間を電気では、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないが、は、大きないが、は、大きないが、はないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、ないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、	同上	시 厄

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
3	感じる心:情動の発達	情動の研究がさかんに行れ 情動の脳モデルを進化心が 情動の機能主義的モデルが れるようででいる。これを いるこれを いるででいれば、 のでではない ででいる。 を 達のプロセしない を 発達の関係を して、 も を 進める。 も りに、 も の に は の に な う の と の と う に な う に る ら の と う に る ら の と う に る ら の と う に る ら ら ら ら 、 に る ら ら に る ら に る 。 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 。 し 、 し 、	理学が注目されているし、 ぶますます広く受け入れら では、情動の理論として、 紹介する。情動の機能主義 は個人の行動やそれにとも 連動しながら発達する。 こいることを示す研究やデ が発達の仕組みについての	氏 家 達 夫 (名古屋大 学大学院教 授)	
4	思い出はどこから:出来事の記憶と想起	の記憶を話すようになる。 て、過去を振り返り思い出 3歳頃からの記憶である。 ら人生を左右するような 時間、場所で起きた、体験 の履歴となり、現実感を組 くりだす。このようなエピ る要因は何か。体験を分か	性特し,将来への展望をつ ピソード記憶の成立を支え いち合うことを促す対話, つどこで体験したかという	(北海道大 学大学院教	
5	想像する心:思考と談話の成立	取りの手段として、またり成する手段となる。やがで 想像力が開花し幼児期を追 にして、ディスコース(記 ようになる。人は、世界を	こして成立し、人とのやり 内的なモデル(表象)を構 て、象徴機能を基礎として 通して発達するのと軌を一 炎話や物語)が生成される と語り、自己を語る。こと 意識を形成する有力な手段	(お茶の水 女子大学大 学院教授)	内 田 伸 子 (お茶の水 女子大学大 学院教授)
6	情報を分かち合う:出来事の報告と目撃証言	は情報提供の伝統となる。大きなであり、などの人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	というでは、 というでは、 では、情報が では、情報が では、情報が では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	(北海道大 学大学院教 授)	1

田	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
7	心を読み取る: 心の理論の発達	とは人も知っている。「「人も知られる。」「「人も通に見られる。」「一世の一世紀の一世紀の世紀での一世紀では、「人でではない。」「人でではない。」「人でではない。」「人でではない。」「は、「人間が進化の過程でする。」「人間が進化の過程でする。」「は、「人間が進化の過程でする。」「人間が進化の過程でする。」「人間が進化の過程でする。」「人間が進化の過程でする。」「人間が進化の過程でする。」「人間が進化の過程でする。」「人間が進化の過程でする。」「人間が進化の過程でする。」「人間が進化の過程でする。」「人間が進化の過程でする。」「人間が進化する。」「人間にいる。」」「人間にいる。」「人間にいる。」「人間にいる。」」「人間にいる。」」「人間にいる。」」「人間にいる」」「人間にいる」」」「人間にいる」」「人間にいる」」「人間にいる」」」「人間にいる」」」「人間にいる」」」「人間にいる」」「人間にいる」」「人間にいる」」」「人間にいる」」」「人間にいる」」「人間にいる」」「人間にいる」」」「人間にいる」」」「人間にいる」」」「人間にいる」」」「人間にいる」」」「人間にいる」」」「人間にいる」」」「人間にいる」」」」「人間にいる」」「人間にいる」」「人間にいる」」「人間にいる」」「人間にいる」」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」」「しまる」」」「しまる」」「しまる」」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」」「しまる」」「しまる」」「しまる」」」」「しまる」」「しまる」」」「しまる」」「しまる」」」「しまる」」」「しまる」」」「しまる」」」「しまる」」」「しまる」」」「しまる」」」」「しまる」」」「しまる」」」「しまる」」」「しまる」」」「しまる」」」「しまる」」」」「しまる」」」「しまる」」」」」「しまる」」」「しまる」」」「しまる」」」「しまる」」」「しまるる」」」「しまるる。」」」「しまるる。」」」「しまるる。」」」」「しまる」」」「しまるる。」」」「しまるる。」」」「しまる」」」」」「しまる」」」」」「しまる」」」」」「しまる」」」」」」」」「しまる」」」」」」」」「しまる」」」」」」」「しまる」」」」」」」」」」	いていた。 自分の思考」という。 自分の思考」という。 自かの思考」という。 というの思考」という。 との理解はいいの理解を との理解はないののででは、 をといいのがである。 といいのがである。 といいのがである。 といいのがである。 といいのがである。 はではをよるのです。 はいている。 はいている。 はいで、はかテかる。 をはいている。 はいる。 はいる。		子 安 増 生 (京都大学 大 学 院 教
8	心をはぐくむ: 自律性の発達	る。子どもは、養育者とのさせる。自律性の発達によった気質特徴が重要な意味でや認知能力の発達にともでや情動の制御のパターンで子どもに対する行動も変化ども自身の特徴との間になっている。また、子どで	面からとらえることができ の関係の中で自律性を発達 とって、子どもの運動能力 ない、子どもは自分の行動 を変化させるし、養育者の とする。養育者の行動とする。 とすることの行動とう と交互作用があることの もの行動に対する親の行動 会的条件の影響を受ける。	氏 家 達 夫 (名古屋大 学大学院教 授)	
9		(モジュール)から成り立 この 20 年ほどの間には、 た。多重知能理論では、 会的知能、芸術的知能に 性があるということ 立して発きなるであると 立して親なくるである。 を を があるとはうこと で 立して親なってみれば で た。 を が が が が が が が が が が が が が り に に い う に と い う に と い う に と い う に と い う に り た 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	位にいるという考えったいるというでは、一にでいるというでは、一にでいるというに知られる。ののでは、一にないのでは、一にでは、一にを立ってがある。ののでは、一にを立ってがある。まは、一にを立ってがある。まは、かっていると、一でと、人だった。まは、いった。まは、いった。まは、いった。まは、いった。まは、いった。まは、いった。まは、いった。ないでというでは、いった。ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、	(京都大学) 大 学 院 教	(京都大学
10	三つ子のたましい:幼児教育の 実践の特徴	育の経験を経ている。ここや親子関係が幼稚園や保証のながっていくのかを考え 教育における指導の方法を	りこどもが何らかの幼児教 こでは、家庭における養育 育園での経験とどのように たい。また、日本の幼児 やその基礎にある教師たち リカと比べてより明確にし		(北海道教

П	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
11	学びを学ばせる:学校文化の 談話構造	幼児が大きないというでは、からいいというでは、からいいというである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	へもどなこと 童伴こののが、うるすののが、うるすのととと 童伴こののが、うるするに ないに といて はいこと はいこと ない はいこと はい はい に とい はい はい に とい はい はい に とい はい に とい はい	(お茶の水	内 田 伸 子 (お茶の水 女子大学院教授)
12	メディアからの 学び:子ども文 化と発達	現代の子どもたちは、生まれている。というでは、というでは、ないによっている。これではいいちんとをかられていたができる。これでいちんとをの子どもできる。これではいいちんとをの子どもできる。これではないでものからないである。これではないできる。これではないできる。これではないできる。これではないできる。これではないできる。これではないできる。	ンピュータ、携帯電話なりまれて生たらどって生まれてからないといううか。にはいいであるでは、ありないがでいができまれてができませる。ないではいいでは、あのようない。ないの文化の文化の文化の文化の文化の文化の文化の文化の文化の文化の文化の文化の文化の	(京都大学	(京都大学
13	学びつづける 心:小学校6年 間の発達	学童期という名称があるよの生活時間のなかで一番多す。ここでは主に小学校の姿を見ていきたい。この時では、社会の構成メンバー、さいたり、それものである。それものである。それものであるとが学ばれている。というなとが対する動機づける変化についても考えている。	くの時間を学校で過ご 6年間の子どもの発達の 期の重要な発達課題の一 として必要な基本的なカリ には学校の全体的なカリ が、授業がそのもっでど 受業を見ていきたい。 で の性質とその学童期を通	(北海道教	-
14	子どもと大人の はざま:青年期 の意味	青年期の課題を自律一自立のから青年期にかけて、参照を化する。しかし、親の提供制を失うわけではない。早期を失うわけではない。早期結果を生まないし、非行な間の影響は、親との関係で終め、現との関係であり、	集団が親から仲間へと変 する行動基準や価値は役 期の自由は必ずしもよい どの問題行動に対する仲 緩衝される。自律―自立		(名古屋大

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
		は社会からの認証と自分らしさの間の葛藤を解消しなければならない。アイデンティティ確立のプロセスを、それを妨害する要因と関連づけて考察する。		
15	幸せを求めて: 生病老死の発達 心理学	加齢についての研究がさまざまな角度から進められている。この章では、加齢がわれわれの心の状態や能力にどのような影響を及ぼすのかを検討する。加齢は、基本的に生物学的現象である。しかし、加齢による変化には大きな個人差があることがわかっている。その個人差は、部分的に遺伝子レベルや物質代謝のレベルで理解されるが、心理学的要因が大きく関与していることも事実である。この章では、加齢の生物学モデルを前提に、加齢の個人差に対する心理学的要因の効果を検討することで、サクセスフル・エイジング(アンチ・エイジング)のための心理学的条件を明らかにする。	(名古屋大 学大学院教 授)	(名古屋大

# 才能教育論( '06) = (TV) -身体活動能力の開発-

[主任講師:宮下 充正 (放送大学教授)] [主任講師:大築 立志 (東京大学教授)]

#### 全体のねらい

才能教育論では、才能は遺伝的にどの程度決められているのか、そして、才能は教育を含めた環境的要因によってどの程度伸ばすことができるのか、という2つの問題解決がスタートであり、ゴールでもある。ところが、遺伝的要因と環境的要因とは相互に影響を及ぼし合うため、それぞれの効用については明確な結論が下せないまま推移してきた。本講義では、定量化しやすい身体活動能力の開発を中心として、才能教育のあり方を解説することにした。

□	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師 名
1	才能は教育でき るか	才能とは、特異的な目的を達成させることにできる、 遺伝的な要因が強く影響するが訓練すればそれだけ 高度になる能力と定義する。そして、才能教育の目 的は、それぞれの特異的な分野において優れた成果 を生みだすことができるように能力の向上をうなが すことである。	宮 下 充 正 (放送大学 教授)	宮 下 充 正 (放送大学 教授)
2	身体活動能力開 発と神経系の可 塑性		大 築 立 志 (東京大学 教授)	大 築 立 志 (東京大学 教授)
3	身体活動能力開 発と筋骨格系の 可塑性	人間は自分の意志を表現する際、しゃべる、書く、 跳び上がるなど、適当な筋群を活動させる。筋肉の 細胞については、遺伝的及び環境的要因によって、 どのような違いがみられるかなど広範囲な研究が行 われていてきた。本章では、それらの研究成果を身 体活動能力の開発という視点から紹介する。	八 田 秀 雄 (東京大学 助教授)	八 田 秀 雄 (東京大学 助教授)
4	身体活動能力開 発と呼吸循環系 の可塑性	人間を構成する細胞の生命保持のためのエネルギーは、エネルギー獲得代謝と呼ばれる体外から取り入れる栄養物質と酸素の反応によって得られる。このエネルギー獲得代謝の中核をなす呼吸循環系機能の可塑性について、身体活動能力の開発という視点から解説する。	(東京大学	八 田 秀 雄 (東京大学 助教授)

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
5	記憶能力と計算 能力	教育の原点は、記憶能力と計算能力を高めることに あるとされてきた。しかし、人間社会を構成する情 報量の肥大化は、個人の記憶能力の限界を超えてい る。また、最近のコンピュータは人間の計算能力を はるかにしのいでいる。このような環境下での教育 のあり方を、再考する。	伊東 乾 (東京大学 助教授)	伊 東 乾 (東京大学 助教授)
6	作曲家と演奏家 の相違	多くの人のこころをとらえる新しい曲を作りだす能力と、作られた曲を聴衆が満足するように演奏する能力とは、どこに違いがあるのだろうか。著名な音楽家の誕生の背景と音楽教育の実態を参考にして、音についての才能教育を解説する。	伊東 乾 (東京大学 助教授)	伊 東 乾 (東京大学 助教授)
7	偏差値に基づく 能力評価の意味 と限界	集団を構成する人々に、さまざまな課題を課して、その結果から構成員の序列を決める方法が広く行われている。序列は課題の内容と集団の特徴によって決まる。本章では、集団の構成員に序列をつける意義とその限界について論究したい。	渡 辺 哲 司 (九州大学 講師)	渡 辺 哲 司 (九州大学 講師)
8	身体活動能力と その発達に及ぼ す遺伝的要因	身体活動を遂行する能力は、どの程度先天的に決定され、あるいは、どの程度後天的に開発可能なのだろうか。最近、分子遺伝学的研究、双生児法・発育発達学を組み合わせた研究などにより、新たな知見が蓄積されつつある。それらの成果を紹介、解説する。	渡 辺 哲 司 (九州大学講師)	渡 辺 哲 司 (九州大学 講師)
9	絶対音感と学習 可能性	音を聞き分ける能力を音感という。このうち絶対音感とは、音高を楽器などの助けを借りずに識別する能力で、幼児期に訓練しなければ身につきにくいといわれる。才能教育という視点から音感教育に言及したい。	伊東 乾 (東京大学 助教授)	,-
10	からだを動かす 能力の開発	腕や脚を伸ばす、寝返る、這う、歩く、走る、跳ぶ。 これら自分のからだを動かす能力が身についていく 課程を観察し、自発的学習によるものなのか、他者 による指導の影響を受けるものなのかを検討し、か らだを動かす能力の開発について解説する。	平 野 裕 一 (国立スポーツ科学センター主任研究員)	(国立スポ ーツ科学セ
11	用具をあつかう 能力の開発	手に筆をもって絵を描く、字を書く、あるいは、手にもったボールを投げる、ラケットを振ってボールを打つ、といった能力の学習過程を観察し、運動指導の効率の高い至適年齢の存在を検討する。		(国立スポ ーツ科学セ

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
12	身体障害者の運 動能力の開発	からだを動かす能力の一部が先天的あるいは後天的 に失われた人たちが、適切な用具を使って、複雑な 運動の遂行能力を高め、パラリンピックと呼ばれる 競技会に出場している。そのような人たちの運動能 力開発の可能性を検討する。	臼 井 永 男 (放送大学 助教授)	臼 井 永 男 (放送大学 助教授)
13	知的障害者の能 力開発	学習困難、精神遅滞、その他、知的能力が低いと診断された人たちの中で、音楽、絵画などで優れた能力を表す人がいることは、よく知られている。そのような事例を取り上げ、知的障害者の特異的能力開発の可能性を検討したい。	大 築 立 志 (東京大学 教授)	大 築 立 志 (東京大学 教授)
14	成長と加齢にと もなうパフォー マンスの変化	オリンピックがその国のスポーツ振興の機会となることは良く知られている。2008年開催予定の北京オリンピックに向けて、国家がどのようにエリートスポーツ選手の育成を図っているか紹介する。他方、マスターズ競技会が盛んになりトレーニングを実践して参加する中高年齢者が増加している。高齢者に残された運動能力の開発の可能性を検討する。	宮 下 充 正 (放送大学 教授)	宮 下 充 正 (放送大学 教授)
15	発達と個性を重 んじた才能教育	1個の細胞から増殖し、複雑な組織体となって誕生した個人は、その遺伝的制約の範囲の中で、成長という時間と環境という刺激とによって影響されながらさまざまな身体活動能力は成熟していく。その課程で教育はどうあるべきか考えていきたい。	宮 下 充 正 (放送大学 教授)	宮 下 充 正 (放送大学教授)

開設 科目 履修 単位 事務局 科目 平成 19 年度 大学院科目 8940274 2 区分 J-1. 制限 数 記載欄 年度

科目名 (メディア) ー 市民性形成論 (  $^{\circ}$ 07) = ( R )

[ 主 任 講 師 (現職名) : 二宮 皓 (広島大学副学長)]

#### 講義概要

現代社会が価値観の多様化、社会の階層構造化、地球的広がりの中でのグローバル化、技術の先端化、揺らぎを見せる民主主義の問題など急激な変動に直面し、一人ひとりの市民の政治的社会化、とりわけシティズンシップと呼称される市民性形成をどのように推進・支援すべきかが社会政策・教育政策の重大な課題となっている。本講義では現代社会に投影される「市民性(市民的資質)」を考え、諸外国における市民性形成論やそのシステム並びにプログラムを検証しながら、「21世紀の市民性」形成のあり方を探る。

#### 授業の目標

「市民性」概念を多面的に理解し、諸外国の市民性形成の歴史、システム及びプログラムを学び、21世紀の社会に求められる「市民的資質」をどのように捉えることができるかその方法論を学び、わが国の市民性形成のあり方について各自の考え方を構築することを基本的な狙いとする。

亘	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
1	市民性概念を探る	市民性(Citizenship)について、「市民権」「国民」「公民」「エスニシティ」の問題と対比しながら、その概念を探り、いまなぜ市民性形成論なのかその意義を探り、21世紀の市民性形成論の課題を検討する(講義と対談形式)。	(広島大学	二 宮 皓 (広島大学 副学長)
2	市民性形成論(1)一民主主義的市民性形成論	民主主義的市民性(Democratic Citizenship)の概念、 政治的社会化理論の問題、民主主義的市民性形成論 の展開、「能動的で責任ある市民性(Active and Responsible Citizenship)」の形成論、及び民主主義 的市民性形成の課題について検討する。	(広島大学	二 宮 皓 (広島大学 副学長)
3	市民性形成論(2)一グローバル市民性形成論	グローバル市民性(Global Citizenship)の形成論及び 世界市民性(World Citizenship)の形成論を検討 し、世界市民性形成の一つの方法論としての「討議・ 熟慮に基礎をおくカリキュラム(Deliberation based Curriculum)」の適用可能性を検討する。	(広島大学 副学長)	二 宮 皓 (広島大学 副学長)
4	市民性形成論(3)一多性形成文性・ 主義的市民がデストーの 市民性・メデ市民性・ は、ア・民性 と・ で、民性・ と・ で、民性・ と・ で、民性・ と・ と・ と・ と・ と・ と・ と・ と・ と・ と・ と・ と・ と・	急激に変化する社会における市民性形成について、 新たな挑戦としての多文化主義的市民性 (Multi-cultural Citizenship)、ポストモダンと市 民性概念、メディア時代における市民性論、そして ジェンダーと市民性の関係などについて講義し、新 たな市民性形成への挑戦について検討する。	(広島大学 副学長)	二 宮 皓 (広島大学 副学長)

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
5	日本の市民性形 成論―公民教育 から新たな市民 性形成論へ	公民教育の歴史展開を簡単に振り返り、現在の公 民教育と市民性形成論について考察し、新たな動向 としての品川区の「市民科」導入の問題や学校にお ける市民性形成のためのカリキュラムを検討し、一 つの事例としてクロス・カルチュラル・コンピテン シー理論に依拠する市民性形成を提案する。	二 宮 皓 (広島大学 副学長)	二 宮 皓 (広島大学 副学長)
6	アメリカの市民 性形成論(1) 一歴史的・社会 的文脈	アメリカ合衆国における市民性概念の歴史的展開を 概観し、その形成論を考察する。	棚橋健治(広島大学教授)	棚 橋 健 治 (広島大学 教授)
7	アメリカの市民 性形成論(2) 一学校での教育 の展開	アメリカ合衆国の初等・中等学校における市民性教育の具体的なプログラムを取り上げ、そこで形成が 目指される市民性の内実とその形成の論理ならびに 課題など考察する。	棚 橋 健 治 (広島大学教授)	棚 橋 健 治 (広島大学 教授)
8	フランスの市民 性形成論(1) 一歴史的・社会 的文脈	「人権宣言」は個人を身分制から解放して「市民」 を創出し、すべての者を市民として育てることが公 教育の役目となった。フランス独特の市民性概念の 生成・変容と、市民性形成をめぐる種々の問題を検 討する。	藤井佐知子 (宇都宮大 学教授)	藤井佐知子 (宇都宮大 学教授)
9	フランスの市民 性形成論(2) 一学校での教育 の展開	第三共和制期に始まった学校での公民教育は、幾多 の姿を変えながら 1985 年以降段階的に再興がはか られてきた。知識のみならず、態度、価値を含める ことを課題としている市民性教育の具体的なプログ ラムとそれらをめぐる教育的諸問題を考察する。	藤井佐知子 (宇都宮大 学教授)	藤井佐知子 (宇都宮大 学教授)
10	イギリスの市民 性形成 (1) 一 歴史的・社会的 文脈	イギリスにおける市民性概念の歴史的変遷について 自由主義および公民的共和主義の伝統を概観する。 続いて今日の政治的・社会的状況と市民性形成につ いて考察する。	新 井 浅 浩 (西武文理 大 学 助 教 授)	l l
11	イギリスの市民 性形成 (2) ― 学校での教育の 展開	イギリスにおける市民性形成のための学校教育の取り組みについて、歴史的展開を概観する。その上で、近年のイギリスの教育政策について論じ、その論理やシステムあるいは具体的なプログラムについて初等中等教育を中心として講義する。	(西武文理 大 学 助 教	1 1
12	EUの市民性形 成論	ヨーロッパ (EU) における新たな市民性形成のための教育について概観する。欧州連合やユネスコ、OECD、欧州評議会などの国際機関によって提言され、推進されている市民性教育のプログラムを考察し、各国の取り組みの動向を講義する。	新 井 浅 浩 (西武文理 大 学 助 教 授)	新 井 浅 浩 (西武文理 大 学 助 教 授)

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
13	アジアの市民性 形成論 (1) — タイを中心とし て	タイ国における市民性形成について、日本との比較 を念頭におきながら、国家教育法の分析、カリキュ ラムの分析、児童生徒への意識調査結果の分析から 考察し、これからの市民性教育のモデル案を提案す る。	平 田 利 文 (大分大学 教授)	平 田 利 文 (大分大学 教授)
14	アジアの市民性 形成論 (2) 一 ムスリム (イス ラーム教徒) の 市民性形成論	タイにおける少数派であるムスリム(イスラーム教徒,タイ国民の約4%)の世界観や,ムスリムを対象として実施した市民性に関する意識調査結果の分析等から,ムスリムの市民性形成論を探る。	(大分大学	平 田 利 文 (大分大学 教授)
15	提言:21 世紀の 市民性形成論を 問う一多次元的 市民性理論を中 心として	21 世紀の市民的資質の把握、「多次元的市民性 (Multi-dimensional)」理論に基づいて新しい市民 性形成論を提案する。それと同時に諸外国の事例などから日本における市民性形成論が何を学ぶことができるか、今後の課題は何かについても話し合いを 行い、21 世紀の市民性形成論をについて検討する(講義と対談形式)。	(広島大学	二 宮 皓 (広島大学 副学長)

## = 逸脱行動論('06)=(TV)

[主任講師(現職名): 鮎川 潤(関西学院大学教授)]

#### 全体のねらい

この授業では、「逸脱行動」に関する理論を検討したのち、逸脱行動のもっとも代表的なものとされる「少年非行」と「犯罪」を主要なテーマとし、さらに「薬物依存」などについても考察を深めることとする。

とりわけ「逸脱行動」を、それを行う「逸脱行為者」ばかりではなく、逸脱行動によって被害を受ける「被害者」、逸脱行動をコントロールする「社会統制エージェント」、逸脱行動を直接目撃したり、マスメディアなどを通じて見聞したりすることによって逸脱行動への特定の社会的態度をとる「社会の構成員」の相互作用を通じて構成されるものとして考察したい。

逸脱行動への社会統制機関の対応を視野に入れ、逸脱行為者と被害者との関係についても検討することによって、受講生に対して新たな視点と気づき、知識と洞察の深まりを提供できることを願っている。

回	テーマ	内容		放送担当 講 師 名 (所属·職名)
1	逸脱行動とは何 か―逸脱行動の 諸相	「逸脱行動」は、「社会規範に違反したり、標準から大きくかけ離れているとみなされる行動」というように戦略的に定義される。 講義を始めるにあたって、まず「逸脱行動」の定義とその外延を検討したい。少年非行、犯罪、薬物依存などを取り上げ、逸脱行動に対する「許容化」と「拒否化」、「医療化」と「刑罰化」などについても考察する。	(関西学院	鮎 川 潤 (関西学院 大学教授)
2	逸脱行動の諸理 論(1)	逸脱行動に関する理論のうちで、古典的な理論に 属する「社会解体論」、「分化的接触理論」、「ア ノミー理論」などについての知見を確認し、逸脱行 動の分析を行うための素地を獲得したい。	同上	同上
3	逸脱行動の諸理 論(2)	逸脱行動に関する理論のうちで、1960 年代以降の主要な理論である「レイブリング・パースペクティヴ(ラベリング理論)」、「社会的コントロール理論」、「コンフリクト理論」、「発達犯罪学」などについて考察したい。	同上	同上
4	逸脱行動の諸理 論(3)	逸脱行動の理論のうちで、最近発達してきた「割れ窓(破れ窓)理論」などの理論と、少年非行を考察する上で有益な「中和化の技術理論」、「非行サブカルチャー論」などを検討する。少年非行や犯罪について具体的に考察する手がかりを得たい。	同上	同上

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
5	日本の少年非行	逸脱行動の代表として「少年まを取り上げ、以後7回にわたって少年非行」とはいったい何かれはどのようなものであったのまじえて検討したい。さらに現が進展するなかで、少年非行・な特徴を持っているのかについて	て考察する。 、わが国においてそ か、歴史的な視点を 在、急速な社会変動 少年犯罪がどのよう	同上	同上
6	少年非行と法執 行機関	少年による逸脱行動に対して、制機関が協働した結果として、る。 いったいどのような少年によ少年非行とされるのか、「犯罪少「不良行為少年」などに腑分けを、少年非行に対する第一線機を当てて考察したい。その際に着目したい。	少年非行は産出されるどのような行為が を「、「触法少年」、 されて析出するのか 関である警察に焦点	同上	同上
7	家庭裁判所と少 年非行	家庭裁判所において非行少年 がどのように行なわれるのかを 所の少年審判や調査官はどのよ 在どのような変化を迫られてい て考察する。	検討する。家庭裁判 うな役割を担い、現	同上	同上
8	少年院·保護観察	非行少年の処遇に関して、少地域で一般市民である保護司をれる保護観察の実際について考さまざまな処遇技法について考年院を仮退院した少年が社会復ある更生保護施設の取り組みしい。	担い手として行なわ 察する。少年院での 察するとともに、少 帰するための施設で		同上
9	触法少年の処遇 と少年の刑事裁 判	14 歳未満で犯罪に該当する 処遇と、14 歳以上で重大な犯罪 ように裁かれる少年について検 児童自立支援施設、さらに刑事 における少年をめぐる相互作用 ついて、北欧のスウェーデンで して考察したい。	を行って成人と同じ 討する。児童相談所、 裁判所や少年刑務所 や処遇の特徴などに		同上
10	犯罪被害者と修 復的司法	犯罪に対する対応として、犯 の更生とともに、被害者の心の なる。近年、被害者と加害者と どちらの課題にとっても有効で ている。これを修復的司法と呼 国やニュージーランドの例など 可能性について考えてみたい。	癒しが重要な課題と の直接対面・対話が、 あることが論じられ ぶが、アメリカ合衆	(関西学院 大学名誉教 授)	(関西学院

回	テーマ	内 容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
11	少年法改正と少 年司法の将来	2000 年 10 月に国会で少年法改正が成立し、翌年 4 月から改正少年法が施行された。この改正がどの ように審議されて成立したのかを分析する。 歴史的な発言をふまえて、少年非行への社会的対 応がどのように変化しようとしているのかについて も考察したい。		
12	成人犯罪一高齢 犯罪者の処遇	成人犯罪の趨勢と注目すべき犯罪現象について考察する。「性差・ジェンダー」と「年齢・エイジング」の観点をまじえて検討したい。 現在、過剰収容状態を迎えている矯正施設における処遇、ならびにわが国の刑務所の顕著な特徴となっている受刑者の高齢化とその対応についても分析を加えたい。	同上	同上
13	薬物乱用	薬物によって異なる薬理作用の特徴をふまえて、 薬物乱用について考察したい。その際、社会的に是 認された合法的薬物についても視野におさめること とする。 薬物乱用者に対する社会的対応については、北欧 のスウェーデンにおける薬物離脱プログラムや薬物 乱用者の自立施設を紹介しながら検討したい。	同上	同上
14	社会問題としての逸脱行動	「少年非行」、「少年犯罪」などの逸脱行動が社会的に注目を集め「社会問題」となっていくプロセスについて考察する。その際に、メディアの果たす役割にも注目して分析したい。 「ドメスティック・バイオレンス」、「ストーカー」、「いじめ」、「校内暴力」、「登校拒否・不登校」、少年非行の「凶悪化」「低年齢化」などについて考察する際にも利用可能であることを目指したい。	同上	同上
15	逸脱行動の将来	「逸脱行動」は英語の"deviant behavior"が翻訳されたものである。この概念もアメリカ合衆国における一つの社会的被拘束性のもとで構成されたものである。このカテゴリーとそれが包含する諸社会現象に関する研究を省察し、わが国における発展の可能性を展望してまとめとしたい。		同上

### = 臨床心理学特論('05)=(R)

[主任講師:齋藤 高雅(放送大学教授)] [主任講師:橘 玲子(新潟青陵大学大学院教授)]

#### 全体のねらい

臨床心理学特論では心理臨床活動の基礎となるさまざまな考え方(パラダイムや学派)や心理臨床で必要な知識や技法を述べる。心理臨床は多様な現場を持っているので(たとえば教育臨床とか病院臨床など)、それぞれの対象によって違いはみられるものの、こころの専門家として理解しておかなければならない基本的な視点が存在する。このような観点から、臨床心理学的知識や技法が心理臨床活動にどのように生かされていくのか、心理臨床行為の特異性は何か、また倫理の重要性などについて論ずる予定である。

□	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
1	臨床心理学とは	臨床心理学の研究分野、心理臨床家の活動領域、 臨床活動と倫理の問題、心理臨床の教育と訓練につ いて論ずる。	橋 玲子 (新潟青陵 大学大学院 教授)	橘 玲子 (新潟青陵 大学大学院 教授)
2	臨床心理学と 精神医学 1 臨床心理学の歴 史	臨床心理学の誕生と精神医学との関係についてふれ、臨床心理学が確立する過程をアメリカと日本の例で述べる。	同上	同上
3	臨床心理学と 精神医学 2 心の病:神経症	心の病、特に神経症について、神経症の概念やそ の特徴、発症機制、治療について述べる。	馬場 謙一 (中部大学 教授)	馬場 謙一 (中部大学 教授)
4	臨床心理学と 精神医学 3 心の病:精神病	精神病の分類、主な精神病である統合失調症(精 神分裂病)、躁うつ病、非定型精神病の紹介をする。	同上	同上
5	臨床心理学と 精神医学 4 心の病:心身症	心理的な負荷やストレスによって生ずる身体症状、心身相関の問題、心身症の種類、特異な心身症などについて述べる。	同上	同上
6	臨床心理学と 近接領域	臨床心理学にはたくさんの近接領域があるが、こ こでは特に哲学と文化人類学について述べる。	橘 玲子	橘 玲子

田	テーマ	内容	講	担 当 矿 名 ·職名)	講師	币名
7	臨床心理パラダ イム	臨床心理学にかかわる4つのパラダイム、生物学的、精神分析的、認知・行動論的、人間学派的パラダイムについて述べる。	橘	玲子	橘	玲子
8	心のはたらき 1 無意識の発見	心のはたらき方には無意識の問題を避けて通れない。無意識の発見、精神分析学的立場からとらえる 人間像について述べる。		高雅 送大学	齋藤 (放送 教授)	高雅 送大学
9	心のはたらき 2 自我と無意識の 関係	無意識のはたらきでは、特に自我との関係が重要になってくる。不安と防衛、自我の防衛機制、症状形成などについて述べる。	同	Ŀ	同	Ŀ
10	心のはたらき 3 イメージと身体	無意識には意識に至るさまざまなチャンネルがある。その中からイメージと身体感覚を取り上げ、心理臨床との関連を述べる。	橘	玲子	橘	玲子
11	心と身体: 性を考える	心と身体に直接係わるものとして、性がある。性 について臨床心理学の観点から考えてみる。	同	Ł	司	뉴
12	ライフサイクル 論 1 乳・幼児期	発達の課題と心の問題について、精神保健および 精神分析的発達論の観点から乳幼児期について述べ る。	齋藤	髙雅	齋藤	高雅
13	ライフサイクル 論 2 児童期	先に続いて、児童期の精神保健と臨床心理学的特 徴について述べる。	同	上	同	<u>+</u>
14	ライフサイクル 論 3 思春期・青年期	思春期・青年期の臨床心理学的特徴について述べ る。	同	上	同	<u>ተ</u>
15	ライフサイクル 論 4 中年期	成人期・中年期の臨床心理学的特徴について述べ る。	同	上	同	Ŀ

回	テーマ	内容	講角	1 名	放 送 講 師 (所属・	6 名
16	ライフサイクル 論 5 老年期	老年期の臨床心理学的特徴について述べる。	齋藤	高雅	齋藤	高雅
17	心理アセスメン ト1 アセスメントと は	心理臨床とアセスメント活動について、特にアセスメント面接、心理検査、観察について述べる。なお、精神医学的診断についてもふれ、心理臨床家のアセスメントと比較検討する。	橘	玲子	橘	玲子
18	心理アセスメン ト2 アセスメント面 接	アセスメント面接の目的、すすめ方、その必要性 など具体的な説明をする。さらに治療面接との違い にもふれる。	同	Ŀ	同	上
19	心理アセスメン ト3 心理検査	パーソナリティの説明、パーソナリティの全体的 理解について述べる。これらとの関連で、心理検査 のめざす点、テストバッテリー、心理テストの理論 にもふれる。	同	Ŀ	同	Ŀ
20	心理アセスメン ト4 知能検査・質問 紙法	知能検査の歴史、知能の概念と検査の関連、利用 上の留意点について述べる。質問紙法については、 各質問紙法の構成と特徴を代表的検査で紹介する。 さらに心理測定の考え方についてもふれる。	同	£	同	上
21	心理アセスメン ト5 投映法	よく利用されている投映法であるロールシャッハ 法、TAT、SCT、描画法を紹介する。投映法の特徴 を知り、利用上の留意点を述べる。事例で心理テス トの実践にふれる。		Ŀ	同	上
22	心理療法 1 精神分析療法	フロイト,S.に始まる精神分析療法について概説する。治療関係、抵抗、転移、逆転移、行動化、その他重要な概念について述べる。		<b>謙一</b>	馬場	謙一
23	心理療法 2 分析心理学的心 理療法	コング,C.G.に始まるユング派心理療法について、 そのもっとも基本的なところを紹介する。	大場(放為授)	送大学		送大学

回	テーマ	内容	1	講 自	担 当 币 名 ·職名)	講師	币 名
24	心理療法3 認知・行動療法	認知・行動療法における心理的援助活動の多様方法について述べ、さらに心理臨床で使われる知・行動療法の代表的な概念を説明する。ゲス招いて放送する予定。	5認	橘	玲子	橋ゲ嶋(学	洋徳 稲田大
25	心理療法 4 来談者中心療法	ロジャーズ,C.による来談者中心療法の展開る 徴、その理念などについて述べる。ゲストと共にロジャーズの人柄や理論を紹介する。		同	Ŀ	(九)	玲子 、正治 州産業 大学院
26	心理療法 5 森田療法と内観 療法	日本で発展した二つの心理療法、森田正馬がる した森田療法と吉本伊作が開発した内観療法につ て紹介をする。		同	上	橘	玲子
27	心理療法 6 臨床動作法	成瀬が発展させた臨床動作法について、特に身を通しての心理的援助という視点を紹介する。 たと共に放送する。		同	上	橋 ゲス 鶴 (秋野)	玲子 、 光代 田大学
28	心理療法 7 児童の心理療法	児童の心理的な問題に対して行われる遊戯療法 紹介をする。また、養育者との面接の必要性と 点について述べる。		滝口 (放记 教授)	俊子 送大学	滝口 (放 <sup>3</sup> 教授)	俊子 送大学
29	心理療法 8 集団心理療法	集団で行われる心理療法について、その考えた 実施の方法、個人療法との違い、適用範囲、今後 展開などについて述べる。		橘	玲子	橘	玲子
30	コミュニティと 心理臨床	学校臨床、被害者支援、HIV カウンセリングなコミュニティの中で展開する心理臨床は、これるの心理臨床とは異なる視点が必要になっている。れらの代表的なテーマについて述べる。	まで	同	上	同	Ŀ

事務局 開設 科目 科目 履修 単位 平成 19 年度 大学院科目 8950172 4 区分 記載欄 年度 コート。 制限 数

科目名 (メディア) = 臨床心理面接特論 (`07) = (R)

[ 主 任 講 師 (現職名):大場 登 (放送大学教授)] [ 主 任 講 師 (現職名):小野 けい子 (放送大学教授)]

#### 講義概要

心理療法を行う臨床心理士には、外科手術のためのメスも、化学的に身体(脳)に働きかける薬も与えられていない。基本は、クライアントの心身が訴える声に耳を傾けること・セラピストの心身で受けとめること。しかし、この「心身が訴える声に耳を傾けつづけること」が如何に困難な営みであるか、そして、逆に、「一人の生きた人間(セラピスト)が、長期間にわたって耳を傾けつづける・受けとめつづけること」によって、クライアントの心身がゆっくりとではあるが、確実に「変容」の歩みを始めるものであることを、30章(4単位)にわたって詳細に論じる予定である。

#### 授業の目標

実際の心理臨床の現場で臨床心理学的面接、ないし、心理療法を行ってゆくにあたって、臨床心理士に とって、もっとも基本となる姿勢・留意点、そして、心理療法技法論の基礎について体系的に学習するこ とを目的とする。

百	テ	_	マ	内容	3	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
1	はじ療法		: 心理	心理療法とは一体どのようなものでか? か?	あるのだろう	大 場 登 (放送大学 教授)	大 (教ゲ川(大ユ析場) 送) ト (大ユケー) 下 (大学ンデルを) がった (大・のでですができた。 (大・のできた。) 関立・分 (大・のできた。)
2	耳を作	頃ける	•	悩みや問題をもって来談した方に、 しても、それが効を奏するのは、よほ 場合である。心理療法において、サイ (以下セラピストと略) は、クライア ず耳を傾け、そこに示される感情を受	ど問題の軽い コセラピスト ントの話にま	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
3	心理(1)		の器	「器」に保護される中で、心理療法 初めて進行する。セラピストの守秘弟 て、面接時間・面接室・面接頻度・彩 いわゆる「面接構造」について述べ、 よる「器」の個性についても論じる。	務から始まっ ∤金といった、	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)

回	テーマ	内容	1	放送担当 講師名 (所属·職名)
4	心理療法の器 (2)	「器」に保護される中で、心理療法のプロセスは初めて進行する。セラピスト自身もまた、心理的変容 過程を守り保護する「心理療法の器」であるということができる。前章で述べた面接室、面接時間等に続き、本性では、「心理療法の器としてのセラピスト」について述べる。	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
5	トピックス:心 理臨床の現場か ら①児童相談 所		大 場 登 (放送大学 教授)	大 場 送 大 放 授 り ト き る り る り る り る り る り る り る り る り る り る
6	初回面接	「初回面接」はその後の長い心理療法の第一歩である。クライアントにとっても、このセラピストとやってゆくことができるかどうかを見極める機会であるのと同時に、もちろん、セラピストも面接を引き受けることにするか否かを決定する大切な面接である。	大場 登 (放送大学教授)	大 (教ゲ森 (大精学場 ) 大 (教 ) 大 な 慶 学神教 ( ) を 選 学
7	心理療法とアセ スメント (1) -成人の場合	心理アセスメントは心理療法を開始するにあたって必要不可欠である。アセスメントが確実になされることが、その後の心理療法にとっての基盤となる。	齋藤 高雅 (放送大学 教授)	齋藤 高雅 (放送大学 教授)
8	心理療法とアセ スメント(2) <del>-</del> 子どもの場合	年齢や性格によっては、心理検査を用いるアセス メントも行われるが、幼い子どもの場合は、プレイ セラピーをしながらのアセスメントになる。また、 親面接による情報も子どものアセスメントの素材と なる。	滝口 俊子 (放送大学 教授)	滝口 俊子 (放送大学 教授)
9	他職種との連携	医療機関で心理療法を行う場合に限らず、医師を始めとする他職種との連携は一つの大きなテーマである。学校領域での心理臨床業務の遂行には学校の教職員(クラス担任、養護教諭、教員、事務職員など)、場合により児童相談所、教育相談所、あるいは警察関係者等における他職種との連携は重要な課題である。	(放送大学)	齋藤 高雅 (放送大学 教授)

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
10	トピックス:心 理臨床の現場か ら―②医療機関	するとともに、放送授業で	心理士の業務について検討 では実際の現場の臨床心理 トにお迎えしてインタヴュ	齋藤 高雅 (放送大学 教授)	
11	セラピストによ る「仮説」の設 定	ていると、セラピストの。 想・イメージ、見立てや	ること・症状に「耳を傾け」 心に、いろいろな疑問・連 仮説も、そして、時にはそ ージが浮かんでくることも	大場 登 (放送大学 教授)	大 場 登 (放送大学 教授)
12	セ ラ ピ ス ト の 「問いかけ」と 「コメント」	一方の柱だとすれば、仮	ことが、サイコセラピーの 説に基づいて、クライアン つつ「問いかけ」をしてゆ と言えるだろうか。	大場 登 (放送大学 教授)	大場 登 (放送大学 教授)
13	セラピストとク ライアントの関 係性 (1)	クライアントの間で生起 アントの関係性について	、基本的にはセラピストと する。セラピストとクライ 、今回は、特にクライアン ける感情について取り上げ	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
14	セラピストとク ライアントの関 係性 (2)	の関係性について論じる	セラピストとクライアント が、今回は、クライアント ンセラーの側が経験する感	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
15	トピックス:心 理臨床の現場か ら―③保育カウ ンセリング	について紹介するととも 迎えして、インタヴュー	、「保育カウンセリング」 に、現場の臨床心理士をお を行う。	滝口 俊子 (放送大学 教授)	1 <i>7</i> 7 X N :

ョ	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
16	意識と無意識	心理療法に携わる中で、人間の心には、意識している部分の他に、無意識の領域が存在すると仮定したほうが理解しやすいという経験に遭遇する。治療論的にも、意識の統制力をやや弱めることによって、内面的なものに向かい、自己治癒力を活性化する方法がとられることについて論じる。	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
17	箱庭療法	内面的なものを言語に頼らず自由に表現する方法として、描画法、遊戯法などがあるが、ここでは箱庭療法を取り上げて、この方法を紹介するとともに、箱庭の中で自己表現をすることによる自己治癒力の働きについても論じる。	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
18	家族面接	心理療法においては、様々な問題を顕在化しておられる本人ではなく、そのご家族が面接にみえることも多い。また、本人とご家族両方への面接が求められることも多い。それらをどう考え、どうすれば良いのかについて取り上げる。	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
19	若者たちと心理 療法	思春期~青年期にあたる若者たち特有の心性と、いくつかの臨床現場でのセラピストとのやり取りを中心に論じていきたいと思う。思春期~青年期と出会う臨床現場での実際を織り込む予定である。	佐 藤 仁 美 (放送大学 助教授)	佐 藤 仁 美 (放送大学 助教授)
20	トピックス:心 理臨床の現場か ら一④犯罪被害 者支援相談セン ター	「犯罪被害者支援」の立場で活動をしておられる 臨床心理士の業務についてご紹介するとともに、放 送授業では、実際の現場の臨床心理士伊藤可奈子先 生をゲストにお迎えして、インタヴューを行いたい。		小(教ゲ伊(察部相者) かんぱい ・ 奈県警安被対け送) ・ 美島部察課策 ・ 奈県警安被室
21	夢 と 癒 し	古代ギリシャで、人々が心身の病に見舞われると、 人々はアスクレピオス医神の神殿を訪ねた。斎戒沐 浴の後、彼らは神殿最奥の小部屋で眠り、「癒しの 夢」の訪れを待った。日本の古代・中世においても、 人生の困難や病に出会った人々は、「貴船」や「石 山」に詣でたり、「観音」さんに篭って、「癒しの 夢」の到来を待った。	大 場 登 (放送大学 教授)	大場 登 (放送大学 教授)

旦	テ	<b>–</b> ч	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
22	心理(1)	療法と夢	古代ギリシャ・アスクレビが夢による癒しを求めた営みと呼ばれるが、Meier, C. Aキュベーションが 2000 年のこの診察室・自由連想のカウチる。	はインキュベーション A. によれば「このイン 眠りを経て Freud, S.	大場 登 (放送大学 教授)	大 場 登 (放送大学 教授)
23	心理 (2)	療法と夢	たしかに心理療法で、我々 耳を傾けていると、「そう言 ました」と報告されることが とは、この意味で、「心の最 「人間の意識を超えた領域が とでもあるのかもしれない。	えば今朝こんな夢を見 多い。「耳を傾ける」 奥からの声」あるいは、	大 場 登 (放送大学 教授)	大 場 登 (放送大学 教授)
24		を法とコン ノーション (1)	心理療法の面接でクライア深く聴いていると、クライアっているテーマと見事に対応クライアントの周囲で生じてる。だからこそ、一見「外的れるクライアントの経験にも寄せて傾聴することができる	ントの内界で問題とな する外界の出来事が、 いることをよく経験す 」・日常的」だけと思わ まなは、大きな関心を	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
25	理臨成		今回のトピックスでは、い ングにあたっている心理臨床 HIV 心理臨床の実際・チーム セクシュアリティ・日頃感じ HIV感染者の方々やエイズ を通して考えさせられたこと である。	の現場を紹介したい。 医療・仕事の困難さ・ ていること・いわゆる 態者の方々との出会い	大 場 登 (放送大学 教授)	大(教ゲ仲(機医一染場) が受ス倉国構療 症を発い、高病大ン疫) はのでのでのである。 たんりん はんしん はんしん はん
26	困難な 出会v	よ事例との	心理療法の営みを続けてい 必ずといってよいほど圧倒的 安を感ぜざるを得ないような ものである。人間の心の闇は 且つ深いものである。	な難しさ・無力感・不 ウライアントに出会う	大 場 登 (放送大学 教授)	大 (教 が 川 (大 ユ 析 家 送 ) ト 原 教 が が が が 大 ス 戸 阪 教 が が が が が が が が が が か か か か か か か か か
27	心理頻と記録	を と と	面接記録には、クライアンピストを自称してきた自分のは面接の行われた晩に眠れぬい夢」が書き留められることそも面接記録は、一体どのよ書いたらよいのだろうか。	不安や無力感、あるい 中で垣間見た「恐ろし も多いであろう。そも	大 場 登 (放送大学 教授)	大 場 登 (放送大学 教授)

囯	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
28	スーパーヴィジ ョン	心理臨床の研修にとって不 ーパーヴィジョンがある。個 とグループスーパーヴィジョ ァイザーの選び方や、スーパ 期間について。さらに個人分 述べる。	人スーパーヴィジョン ンの比較、スーパーヴ ーヴィジョンの料金、	滝口 俊子 (放送大学 教授)	滝口 俊子 (放送大学 教授)
29	トピックス:心 理臨床の現場か ら―⑥心理療法 機関	臨床心理士が企画運営する し、臨床心理士・西村寛子先 ンタヴューを行う。		大 場 登 (放送大学 教授)	大場 登 (放送大学 教授) ゲスト: 西山王教育 研究所)
30	おわりに:講師 からのメッセー ジ	30回にわたる授業の最後はの勉強を続け、将来的に心理心理士として仕事をしてゆこた主任講師からのメッセージ	臨床領域において臨床 うとする受講生に向け	大 場 登 (放送大学 教授)	大場 登 (放送大学 教授) 小野けい子 (放送大学 教授)

# = 臨床心理学研究法特論 ( '06) = (R)

[主任講師(現職名):齋藤 高雅(放送大学教授)]

#### 全体のねらい

臨床心理学研究の困難さと重要性について解説する。臨床心理学においては、臨床実践や調査研究と プライバシーを含む倫理面の問題および研究から得られる公共性との両立と相克が重要なテーマであ る。究極的には、クライエントの利益に還元されることが優先される。これらの点について留意しなが ら、臨床心理学研究法について解説する。

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
1	臨床心理学の領 域と研究法	臨床心理学の領域と研究法についてアセスメント、心理療法、家族、グループおよびコミュニティなど主な項目を取り上げ、そのアウトラインを述べる。臨床心理学研究として重要なことは、研究目的の明確化である。それによって、研究方法が自ずと絞られてくるからである。また、臨床心理学研究の基本的問題である、1)クライエントの利益の優先、2)プライバシーや倫理的な問題の重要性についてふれる。	(放送大学	齋藤 高雅 (放送大学 教授)
2	研究法の種類 量的研究と質 的研究	近年、研究対象の現象の背後にある重要な鍵概念を抽出したり、現象の構造的特徴を記述できるモデルや仮説を構築することに主眼をおいた「質的研究」への関心が高まっている。「量的研究」と「質的研究」の方法論上の特徴を研究例を通して概説する。	名取 琢自 (京都文教 大学教授)	1 11 1
3	研究の基礎 研究のプロセス	臨床現場で問題を感じ、その問題意識を研究として遂行していく研究のプロセスについて概説する。 文献検索、文献レビューを通じて先行研究の文献的 検討、さらに研究方法・対象を検討し、具体的な研 究計画の立案と実施など、一連の研究の過程につい て触れる。	(放送大学 教授)	齋藤 高雅 (放送大学 教授)
4	研究法① 面接法・観察法	臨床的面接と調査的面接に大別し、それぞれの面接の特質を概説する。面接・観察は、臨床実践としての活動に欠かせないが、同時に臨床心理学研究の研究方法論としても欠かせない手法である。近年、多く用いられるようになってきた構造化面接、半構造化面接ならびに観察法について触れる。	(放送大学 教授)	
5	研究法② 質問紙調査法	質問紙を用いた調査は、様々な研究で使われている。多変量解析を用いて、多次元的な質問紙尺度を 構成する方法について解説する。	I '	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

回。	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
6	研究法③ 投影法	投影法の特徴を、質問紙法などの他の方法と比較しながら説明し、その意義について考察する。代表的な投影法として、ロールシャッハ法研究の実際について紹介し、それを通じて投影法研究にまつわる留意点について解説する。最後に、大学院生が投影法研究をする際のポイントについてもふれる。	津川 律子 (日本大学 助教授)	津川 律子 (日本大学 助教授)
7	研究法⑤ 実験法	臨床心理学においても、実験による研究は重要である。その古典的1例として、ユングによる言語連想実験をとりあげ、心理学的事実を明らかにするための数量化の意義について解説する。また、実験研究を実施する際の基本概念(実験群・統制群など)についても説明する。		名取 琢自 (京都文教 大学教授)
8	研究法⑥ 事例研究法	事例研究法は臨床心理学において最も重要な研究法の1つである。本講では、知識伝達と技術習得のちがい、概念的知識と手続き的知識のちがいに注目しながら、臨床の場において人間を統合的にとらえる実践的方法として洗練されてきたこの事例研究法の意義と限界について検討したい。		-
9	領域と研究法① 心理療法	主に個人を対象とした心理療法における研究のトピックスを取りあげる。治療の場における治療構造の問題、見立てにおけるこころの病理学の役割、セラピストークライエント関係における職業的役割関係と転移・逆転移の問題、心理療法における過程研究、スーパービジョン・教育、治療効果判定などについて取りあげる。	齋藤 高雅 (放送大学 教授)	齋藤 高雅 (放送大学 教授)
10	領域と研究法② アセスメント	臨床心理学におけるアセスメントについて概説し、その重要性について述べる。主に面接におけるアセスメント、心理検査によるアセスメントなど心理アセスメントの諸方法を紹介し、留意点について述べる。また、アセスメント面接、心理査定などの方法を活用した研究についての概説を行う。	(放送大学	
11	領域と研究法③ 家族	家族療法の歴史を概観し、最近の動向として、ナラティブ・アプローチと心理教育について概説する。 家族を研究する方法として、家族の構造や関係性を 視覚化する方法や、家族成員の感情表出の評価方法、 家族を評価する質問紙法について解説する。	1	上別府圭子 (東京大学 大学院助教 授)
12	領域と研究法④ グループ・アプ ローチ	グループを利用して、個人の成長や適応に資する 活動が広い領域で活発に適用されており、グルー プ・アプローチ、集団心理療法などと呼ばれている。 これらの活動の意義や特徴を明らかにする研究法に ついて解説する。	香川 克 (京都文教 大学助教授)	

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師名
13	領域と研究法⑤ コミュニティ・ アプローチ	近年、学校や地域社会における心の問題が社会的に関心を集めている。臨床心理学はこの領域に様々な接近を試みている。その接近法から明らかにされる諸側面を概説する。	(京都文教	· .
14	評価(効果)研究	心理療法やコミュニティ・アプローチの効果を明らかにすることは、臨床心理学にとって重要な課題の一つである。心理療法の効果研究、対人サービス支援のシステマティックな評価研究、メタ分析について概説する。また、これらの効果評価を通して実践活動をどう改善していくかについてもふれていきたい。	(帝京大学 大学院助教	元永 拓郎 (帝京大学 大学院助教 授)
15	総括:臨床心理 学研究の難しさ と重要性につい て	臨床心理学研究法のまとめとして、研究の難しさと重要性について述べる。難しさに関しては、クライエントのプライバシーや利益、倫理問題が関わっていることがあげられる。重要性については、研究によって臨床的な活動が公共の知識として活用され、ひいてはクライエントに貢献することができることを概説する。	(放送大学	齋藤 高雅 (放送大学 教授)

# 社会心理学特論 ( '05) = (TV)発達・臨床との接点を求めて -

[主任講師: 大橋 英寿(放送大学副学長)] [主任講師: 細江 達郎(岩手県立大学教授)]

#### 全体のねらい

社会心理学は、パーソナリティ・社会・文化の3視点を有機的に統合して人間生活を理解しようとする学問分野である。この講義は三部から成る。第Ⅰ部で社会心理学に固有の視点と基本概念を概説する。第Ⅱ部ではライフサイクルにわたる社会化をめぐる多様なトピックをとりあげることで発達心理学との接点を探る。本講義が臨床心理プログラムのための講義であることを考慮して、第Ⅲ部では社会心理学と臨床心理学の接点を求めて地域のヘルスケア・システムに焦点をあてる。

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
		第1部 社	会心理学の視点		
1	社会心理学-人間 科学の礎-	社会心理学は、パーソナリラ学の接合するところに位置する それゆえに、活況をみせる一大 備範囲、研究法をめぐっては多 この錯綜状況に整序をこころみ 人間科学としての方法論上の独	で、この学問分野の定義、守 種多様な立場が併存している。 、マルチメソッドの必要性と、	大橋 英寿 (放送大学副 学長)	大 橋 英 寿 (放送大学副 学長)
2	社会心理学とパー ソナリティ	的要因と状況要因の相互作用を 関心が集まっている。こうした 況」に関する系統的な研究の必	¥、いいかえれば、歴史的・動 -ソナリティ心理学と社会心理	– – 1	堀毛 一也 (岩手大学教 授)
3	集団過程の社会心 理学	心理学の基本的アプローチのう 過程から考察する。二者関係か 集団的影響関係を整序し、安定	から多数者の組織的関係までの とした状況下にある「集団」の に、目標の共有、成員性、凝集 がもたらす諸問題(集団浅慮、	細 江 達 郎 (岩手県立大 学教授)	細 江 達 郎 (岩手県立大学教授)
4	文化と人間の心身 の関わり		いる現実の文化環境は、それ こうした文化環境が、人間の ているかを(1)胎児期の脳 (2)幼児期のメディア環境	箕浦 康子 (お茶の水女 子大学客員教 授)	

п	テーマ	内容		放送担当 講 師 名 (所属·職名)				
	第11部 社会心理学の展開 -社会化を中心に-							
5	社会化過程 - 発達 と時代史の交差 -	人が文化規範を学習して社会の一員となって程は、パーソナリティ心理学、社会心理学、社 類学の共通テーマである。社会化は幼少年期のとどまらず、ライフサイクル全体にわたる個性あり、さらに既存の社会と文化を変容させる要る。その実例をシャーマンの成巫過程を通して	会学、文化人 受動的過程に :化の過程でも !件にもなりう	大橋 英寿				
6	職業的社会化と同 郷ネットワーク	近代の社会変動にともなう村落から都市への動は伝統的な共同体の解体を一気に促したとさ沖縄の特定地域からの移動と定着の事例は、親よるネットワークの形成と職業的社会化の過程で進行したことを示している。出身地域での重を活用しながら、それぞれの移動先の状況に適あらたに編み出していった人びとの姿を考察す	れる。しかし、 態族や同郷人に 診が一体となっ 遠層的な繁がり 語しうる形を	石 井 宏 典 (茨城大学助 教授)				
7	移民の生活ストラ テジー	国境を越えて移動する「国際移動民」が地球している。日本でも近年、外国人労働者が増え、管法改正以降はブラジル、ペルー、アルゼンチなどの日系人の出稼ぎ者が急増し、一時的出稼向まで生活形態が多様化してきている。南米日トラテジー、日本体験に伴う二世・三世のエスデンティティの変容を事例をもとに解説する。	、1990 年の入 ン、ボリビア きぎから定住志 系人の生活ス	大橋 英寿				
8	組織に生きる個人 一企業の人的資源 管理と従業員の組 織内キャリアー	現代人にとって組織との関わりなしに生活すかしい。なかでも企業はそのメンバーに「よいし、彼/彼女の自己実現に資する一方、「会社死など病理的な影響をもたらす。企業に参入し織のなかでどのようにキャリアを展開し、メン要な能力や態度を身につけるのか。この問題を的資源管理の特質を踏まえながら検討する。	・仕事」を提供 (東北学院大 ・人間」や過労 学教授) ・た人々は、組 ・バーとして必	1				
9	非行・犯罪の理解	犯罪原因論は、行為者の内的過程を重視する 犯行・非行の生起は、実際には、行為者・被害 との動的関係で展開する社会心理学的現象であ て、その研究も社会心理学的アプローチが最適 に犯罪研究も犯非行の態度形成場面、犯罪発生 面、矯正場面にわたり広範囲に研究される必要 の心理学的研究の問題点をたどりながら、犯罪 に必要な概念や枠組みについて解説し、犯罪研 ついても考察する。	者・法裁定者 る。したがっ である。さら 場面、裁定場 がある。犯罪 ・非行の理解	細江 達郎				
10	遊びとしての逸脱 一暴走族のケース 一	逸脱行動の中には、従来の犯罪・非行理論に 社会的価値への同調や不利な社会環境に置かれ 社会的・心理的ストレスのみを強調する理論で できないものが含まれている。そのような逸朋 として暴走族活動をとりあげ、青年期における の背景と合法的生活への回帰のプロセスについ	ルたことによる には十分に説明 に行動の典型例 か一時的な逸脱					

日	テーマ	内容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属·職名)
		第Ⅲ部 社会心理学と臨床心理学の接点		
11	ヘルスケア・システ ムと住民の対処行 動	心身の不調に気づいたからといって、病院へすぐ出向くはかぎらない。現代医療にのみ頼るわけでもない。病者と族のとる対処行動を理解するには、〈疾病〉と〈病い〉、治療〉と〈癒し〉の複眼的視点とともに、民間セクター・門職セクター・民俗セクターがオーバーラップする地域のルスケア・システム全体を視野にいれる必要性を、フィードワークの知見にもつづいて検証する。	家 < 專 ~	大橋 英寿
12	祭りとヘルスケア 一高千穂夜神楽―	祭りは、地域の団結といった集団的意義にとどまらないで個人にも重要な意義をもたらしているのではないか。こうた観点から、祭りをヘルスケア・システムにおける民俗セターのー要素として位置づけてみたい。祭りを媒介として民間セクターと民俗セクターがオーバーラップするヘルスア・システムにおいてどのようなヘルスケア活動が行われどのようなヘルスケア効果を生み出されているのか、伝統祭りである高千穂夜神楽を例に検討する。	し (作新学院大 ク 学助教授)	福島 明子 (作新学院大 学助教授)
13	シャーマニズムに みる癒し	人類最古の治療者と目されるシャーマンが現在も世界各で活躍している。人々のシャーマン的職能者への依存の実は、医療従事者には見えにくいが、クライエントがとる対行動の見過ごせない一面である。土着コスモロジーを背景した信仰治療は自然界や宇宙との調和にもつづくホーリスィクな治療法として注目される。津軽のシャーマン「カミマ」の救いと沖縄のシャーマン「ユタ」の治療儀礼を通しその一端を紹介する。	態処こテ	大橋 英寿
14	被害者・被災者の援 助	犯罪や非行などを理解するには、加害者と被害者との関係さらに周囲の第三者との関係が欠かせない。社会心理学的観点が必要な理由はここにある。近年大きな問題になってる被害者支援は、この社会心理学的な視点に立つことが必である。又被害者への支援は被害者に直接接触する人々にどまらず地域社会全体の変容が期待される。社会心理学にけるコミュニティのアプローチを考え、あわせて災害等の災者の援助及びその研究のあり方についてもふれる。	ない要と	細江 達郎
15	臨床社会心理学に むけて	臨床的問題の発生過程と解決は個人の生きてきた社会文 的背景を抜きには理解できないであろう。カウンセラーと ライエントの対話である「心理臨床の場」そのものが心理 社会的リアリティで構成されていく。とすれば、臨床心理 者にとって社会心理学の知識は不可欠であろう。両分野の 点と相互交流の在り方を模索する。	ク ー 学	大橋 英寿

### = 家族心理学特論( '06) = (R)

[ 主 任 講 師 (現職名) : 横山 知行 (新潟大学教授) ] [ 主 任 講 師 (現職名) : 佐藤 仁美 (放送大学助教授)]

#### 全体のねらい

近年の少子高齢化社会、高度情報化社会の中で、私たちをとりまく社会環境は大きな変貌を遂げようとしている。こうした時代背景の中で、現代の家族には、これまでにない新たな課題が生じている。その一方で、いかなる時代、文化においても普遍的な課題を有してもいる。本講義では、まず、今日の家族が抱えるさまざまな課題について検討し、次に、この課題が果たせなかった場合に生じうる諸問題について取り上げることにする。そして、このような諸問題に対する援助の方法について、臨床の実際にふれつつ講じていきたいと思う。

田	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講師 名
1	家族心理学への誘い	家族は、個々の構成員の総和にととの自律性を有している「システム」とができる。このような観点を持ち造と機能を概観してみたい。	として捉えるこ	横山 知行 (新潟大学 教授)	横山 知行 (新潟大学 教授)
2	家族ライフサイ クル(1)	誕生から死まで、ライフサイクルの 化を、個と集団の両側面から考えて 時期に訪れる「危機」という出来事 人と家族の変化をながめてみる。	こみたい。 人生各	(放送大学	佐藤 仁美 (放送大学 助教授)
3	家族ライフサイ クル (2)	胎児期から青年期に至るまでの、子関係について、心理臨床の知見にま 子どもの変化成長は、祖父母・親・ 接に関係していることを学んでいた	もづいて述べる。 きょうだいと密	滝口 俊子 (放送大学 教授)	滝口 俊子 (放送大学 教授)
4	家族と離別	「家族」には、実は「離別」がつきの死・パートナーの死・子どもの死さまざまの事情による離婚。親の育もに訪れる一方の親との別れ。さまって生じる「生みの両親」との離別族と離別」について考えてみたい。	・兄弟姉妹の死。 雄婚によって子ど さざまの事情によ	大場 登 (放送大学教授)	大場 登 (放送大学教授)
5	家族の深層	個人に、自らが気づいていないのにの行動に影響を与えるという無意識るのと同様に、家族においても、そが意図せずまま影響をうける家族のることができる。この回ではこの記考してみたい。	はが想定されてい の構成メンバー )無意識を想定す	横山 知行 (新潟大学 教授)	横山 知行 (新潟大学 教授)

	<u> </u>			<del></del>
回	テーマ	内容	講 師 名	放送担当 講師名 (所属・職名)
6	家族内コミュニ ケーションとそ の病理	1	、 (新潟大学書 教授)	横山 知行 (新鴻大学 教授)
7	摂食障害と家族	家族療法家により指摘されてきている摂食障害家病理について、その代表的なものを中心に概説する加えて、近年実証的な方法論で検証されつつある 摂食障害の家族機能に関する研究結果についても介する。これらをふまえて、実際の臨床で経験す家族力動についても例示したい。	(群馬大学 , 講師) 紹	上原 徹 (群馬大学講師)
8	虐待・ドメステ ィックバイオレ ンス	( - 1)	題 (新潟大学 講師) 書 情にの	柳田 多美 (新潟大学 講師)
9	家族アセスメン ト(1)	家族機能評価に広く用いられている質問紙、Fami Adaptability and Cohesion Evaluation Sca FACES)、Family Assessment Device(FAD)、Fami Environment Scale(FES)について概説する。また 精神医療の領域で確実にエビデンスを蓄積してい 実証的家族評価である「家族の感情表出 Expresse emotion(EE)」について、その歴史的経緯、概念の がり、評価の実際について解説する。	le (群馬大学 ly 講師) るd	上原 徹 (群馬大学 講師)
10	家族アセスメン ト(2)	個人療法場面で表現される家族イメージを取り げ、そこから読みとれる家族アセスメントについ 考えてみる。家族イメージ法、遊戯療法場面での 画・箱庭表現、家族描画法を中心に紹介したい。	て(放送大学	佐藤 仁美 (放送大学 助教授)
11	家族療法の理論 と実際(1)	一口に家族療法といっても、さまざまなアプローがある。まず、家族システムの歴史・発達過程に点を当てる多世代家族療法(Transgeneration Family Therapy)について紹介し、その基本的な念(三角関係、破壊的権利付与など)とセラピスの態度(多方面に向けられた肩入れ)・技法(ジノグラム)について解説する。	無 (明治学院 al 大学講師) 既 ト	野末 武義 (明治学院 大学講師)

旦	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
12	家族療法の理論 と実際(2)	家族システムの構造に焦点を当てる構造派家族療法 (Structural Family Therapy) について、さらに家 族機能に焦点を当てる短期療法 (Brief Therapy) に ついて、その基本的な概念とセラピストの態度 (ジョイニング)・技法 (リフレーミングなど) につい て解説する。	(明治学院 大学講師)	野末 武義 (明治学院 大学講師)
13	家族療法の理論 と実際(3)	心理教育的アプローチを主とした家族介入・援助について、理論的基盤、代表的な構造、手法の概説、適応の拡大、について講義を行う。また、わが国での心理教育的アプローチの広がりと、ガイドラインの作成、さらにはさまざまな問題や領域への広がりについても考察したい。	(群馬大学 講師)	上原 徹 (群馬大学 講師)
14	個人療法におけ る家族	個人療法におけるクライエントの課題には、個人自身の問題とは切っても切り離せない家族との関わりがある。本章では、心理療法の中で生ずる家族イメージについて、部分的に遊戯療法などの事例を通してアプローチしてみたい。	佐藤 仁美 (放送大学 助教授)	佐藤 仁美 (放送大学 助教授)
15	家族とコミュニティー	コミュニティという視点から家族を考えてみる。特 に、学校臨床の現場から、子どもをとりまく家族と 学校のあり方を、一部事例を通して検討してみたい。	(放送大学	佐藤 仁美 (放送大学 助教授)

単位 科目 履修 事務局 開設 科目 大学院科目 8950164 平成 19 年度 無 2 区分 コート\* 制限 数 年度 記載欄

科目名 (メディア) = 臨床心理地域援助特論 (  $^{\circ}$ 07) = ( R )

[ 主 任 講 師 (現職名): 箕口 雅博 (立教大学教授)]

#### 講義概要

社会 (コミュニティ) とのかかわりのなかで生活している人間の心理社会的問題を解決するためには、人の環境への適応を援助するだけでなく、その個人をとりまく環境を人に適合するように改善していく働きかけが重要であると考える。本講義では、「臨床心理アセスメント」「臨床心理面接」に次いで、心理臨床実践の第三の柱と位置づけられる「臨床心理地域援助(コミュニティ援助)」の考え方と方法をコミュニティ心理学の視座から追求する。

#### 授業の目標

講義の前半では、臨床心理地域援助の定義、歴史、理論的背景、基本的発想、介入・援助の方法などについての概論的な解説をおこない、後半では、予防的介入、危機介入、コンサルテーション、社会的支援とネットワークづくり、他職種との協働などに焦点を当て、臨床心理地域援助の実際について、さまざまな領域における実践例を通して体験的理解を得ることを課題とする。

旦	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
1	現代社会と心の 問題一臨床心理 地域援助の視座	「社会 (コミュニティ) の変化に呼応する形で噴出している今日のさまざまな心理社会的問題の解決に心理臨床家がどのように応えられるか」について、コミュニティ心理学の立場から検討する。	箕 口 雅 博 (立教大学 教授)	I
2	臨床心理地域援 助とは何か―定 義・理念・発想・ 独自性―	「心理アセスメント」「心理面接」に次いで心理援助活動の第三の柱である「臨床心理地域援助(コミュニティ援助)」の定義・理念・発想・独自性について質疑応答形式で概説する。	箕 口 雅 博 (立教大学 教授)	
3	予防の概念と予 防的介入	コミュニティ・アプローチと伝統的心理臨床のそれ との大きな違いは、「治療より予防を重視する」点に ある。ここでは、精神保健領域における予防の概念に ついて明らかにし、予防的介入の実際について概説す る。	(上智大学	

日	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
4	危機理論と危機 介入	日常生活で危機に直面している個人や集団に迅速で 即効的な援助的介入をおこなうことは、独自の理論と 目的をもった心理援助の方法のひとつであり、コミュ ニティ援助を進めていくうえで欠かすことのできな いものである。ここでは、「脅威査定・管理」という	箕 口 雅 博 (立教大学 教授) 資料提供:	<ul><li>第 口 雅 博 (立教大学 教授)</li><li>対談:</li></ul>
		新たな危機介入の枠組みも紹介しつつ、危機介入の理 論と実際について概説する。	毛利 元貞 (モリインターナシ ョナル)	毛利 元貞
5	コンサルテーションによる介入 と援助	コミュニティ援助を進めていくうえの基本的な介入 方法であり、実践上の重要な戦略のひとつである、 心理コンサルテーションの理論と実践について、事 例を交えながら概説する。 ※現場インタビュー	箕 口 雅 博 (立教大学 教授)	箕 口 雅 博 (立教大学 教授)
	ポート・ネット ワーキング―連 携と協働による	ずさえ、どのような人びと対象に、どのような方法 でアプローチすれば、心理臨床が役に立つのかにつ いて、「ソーシャル・サポート・ネットワーキング」、	箕 口 雅 博 (立教大学 教授)	箕 口 雅 博 (立教大学 教授)
6	援助一	「連携」と「協働」をキーワードとしながら検討する。	高 畠 克 子 (東京女子 大学教授)	高 畠 克 子 (東京女子 大学教授)
			資料提供: 丹羽郁夫 (法政大学 助教授)	対談: 丹羽郁夫 (法政大学 助教授)
	学校臨床におけ る臨床心理地域 援助	今日、学校現場では、不登校・いじめ・学級崩壊・切れる子ども・LD・ADHDなどの問題が起こるだけでなく、学校内外での子どもの安全も脅かされる状況が発生している。このような学校コミュニティへの	箕 口 雅 博 (立教大学 教授)	箕 口 雅 博 (立教大学 教授)
7		多様なアプローチをどのように展開していくかについて、スクールカウンセラーの立場から検討を加える。 ※現場インタビュー	資料提供: 藤後悦子 (立教大学 講師)	対談: 藤 後 悦 子 (立教大学 講師)
8	軽度発達障害の 子どもへの地域 援助一特別支援 教育を中心とし て一	LD (学習障害)、ADHD (注意欠陥多動障害)、高機能自閉障害など、いわゆる「軽度発達障害」と呼ばれる子どもたちを、学校・地域ぐるみでどのように支援していくかは、今日、心理臨床家が取り組むべき重要課題のひとつとなっている。これらの課題について、応用行動分析および行動コミュニティ心理学の立場から述べる。 ※現場インタビュー	(立教大学	大石幸二(立教大学助教授)

囯	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
9	子育て・保育支援 におけるコミュ ニティアプロー チの実際	育児をめぐる不安と子どもを虐待する母親の増加、 家庭内離婚と夫婦(異性)間暴力の問題などにみられるように、家庭の機能は孤立化し、親と子は閉ざされた環境の中で向かい合っている。多くの親たちは、子育てに関して体験的な知識をほとんどもてず、苦労や喜びを分かち合う仲間も少ないなかで悪戦苦闘している。こうした問題への多様かつ予防的介入として、心理臨床家のおこなうコミュニティ援助の実際をとりあげる。 ※現場インタビュー	箕口雅博 (立教授) 資料提供: 養物 (資數大学 (講師)	(立教大学 教授) 対談: 藤 後 悦 子
10	暴力・犯罪に関するコミュニティ問題へのフェミニスト・アプローチ	児童虐待、異性間暴力(DV)、暴力犯罪の被害者とその家族など、暴力・犯罪の関与する心理社会的問題へのアプローチについて、「フェミニストセラピィ」および「脅威査定管理」の枠組みから検討を加える。 ※現場インタビュー	策 (教 ) 高 (大 ) 資毛(大) (大 ) 資本(大 ) 資本(大 ) 資本(大 ) (大 ) 資本(大 ) である。 まず (大 ) です (大 )	高 畠 克 子 (東京女子 大学教授)
11	大学キャンパス における学生支 援一コミュニティモデルにもと で学生支援 で中心に一	大学キャンパスで展開しうる学生支援活動の実際について、学生相談室・留学生センターにおける心理 臨床家の立場から検討する。 ※留学生、ボランティア学生インタビュー		加賀美常美 代 (お茶の水 女子大助教 授)
12	精神障害者への コミュニティ援 助	精神障害者が地域コミュニティで生活するためには、「生活する場」「仲間づくりの場」「働く場」が保証されていなくてはならない。ここでは、地域精神保健の領域で、その活動の基盤としている代表的な現場におけるコミュニティ援助について述べるとともに、そこで働く心理臨床家の他職種との連携と協働のありかたについて検討する。 ※現場インタビュー	高 畠 克 子 (東京女子 大学教授)	高 畠 克 子 (東京女子 大学教授)
13	保健・医療・福 祉領域における コミュニティ援 助	保健・医療領域におけるコミュニティ援助として、ターミナルケア・HIV カンセリングをとりあげ、心理臨床家の活動の実際を述べる。福祉領域におけるコミュニティ援助の実際として、児童相談所・児童福祉施設それぞれの場における児童虐待問題へのアプローチをとりあげる。 ※現場インタビュー	箕 口 雅 博 (立教大学 教授)	箕 口 雅 博 (立教大学 教授)

田	テー	マ	内容	講!	節 名	放送担当 講師名 (所属·職名)
14	産業領域に るコミュニ 援助―EA 動を中心と	- ティ A P 活	産業領域におけるコミュニティ援助とし EAP (従業員支援プログラム) 活動の実際 げ、その効用と意義について述べる。 ※現場インタビュー	をとりあ (立: 教授) 資料 松 本 (ジ	提供: 注 桂 樹 ヤパス	箕 口 雅 博 (立教 (立教 (立教 (立教 (立教 (注))) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (
15	臨床心理地 助の課題と 一研究とま 統合をめる	展望 ミ践の	臨床心理地域援助(コミュニティ援助)をように展開していくかについて座談会形式る。主なテーマとしては、「対象と領域ごと「理論と実践方法の検討」「教育と訓練」理」「研究と実践の統合」などを扱う予定で	で検討す (立 この展望」 教授) 「職業倫	雅 博教大学	座談会: 箕口雅博 高畠克子 久田 満

この冊子に掲載した平成19年度新規開設科目の講義内容は、教材の原稿等を作成する時点で主任講師等が執筆しており、実際に印刷教材及び放送教材を制作する時点で内容等を組み替えていることもあり、必ずしも最終的な印刷教材・放送教材と一致していない部分がありますので、ご容赦ください。

なお、放送大学ホームページに掲載されている講義内容については、 最新の内容にリアルタイムで更新しております。

